

子ども・子育て支援に関する アンケート調査

結果報告書

**令和6年 10 月
新居浜市**

目次

I	子ども・子育て支援に関するアンケート 調査概要	1
1	調査目的	1
2	調査設計	1
3	報告書の見方	1
II	子ども・子育て支援に関するアンケート 調査結果（就学前）	2
1	子どもと家族の状況	2
（1）	家族の属性	2
（2）	家族の生活状況	5
（3）	保育士等の資格保有状況と就労状況	8
2	保護者の就労状況について	10
（1）	母親の就労状況	10
（2）	父親の就労状況	15
3	平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	18
（1）	平日の定期的な教育・保育事業の利用状況	18
（2）	今後の平日の定期的な教育・保育事業の利用希望	25
4	土日などの定期的な教育・保育事業の利用状況について	29
（1）	土日・祝日の教育・保育事業の利用希望	29
（2）	長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望	31
5	「こどもだれでも通園制度」（仮称）について	32
（1）	「こども誰でも通園制度」の利用希望	32
6	地域子育て支援拠点施設等の利用状況について	34
（1）	児童館・子育てサロンの利用状況について	34
（2）	地域子育て支援拠点施設の利用状況について	35
7	子どもが病気の時の対応について	37
（1）	通常教育・保育事業が利用できない場合の対処方法	37
（2）	病児・病後児保育施設等の利用希望	39
8	子どもの一時預かりなどについて	40
（1）	不定期に利用している事業について	40
（2）	今後の一時預かり事業等の利用希望	41
9	小学校入学後の放課後の過ごし方について	43
（1）	低学年での放課後の過ごし方について	43
（2）	高学年での放課後の過ごし方について	44
10	育児休業について	45
（1）	母親の育児休業取得状況	45
（2）	父親の育児休業取得状況	48
11	子育て全般について	51
（1）	妊娠中・出産時の情報提供についての満足度	51

(2) 子育てに関する悩みや相談相手について.....	52
(3) 家事代行・育児支援サービスの利用希望.....	54
(4) 子育て支援に関する情報提供について.....	56
(5) 地域での子育てについて.....	58
(6) 新居浜市における子育てについて.....	60
(7) 児童虐待について	61
(8) 子どもを取り巻く環境について.....	63
Ⅲ 子ども・子育て支援に関するアンケート 調査結果（小学生児童）	67
1 子どもと家族の状況.....	67
(1) 家族の属性	67
(2) 家族の生活状況	70
(3) 保育士等の資格保有状況と就労状況.....	74
2 保護者の就労状況について	76
(1) 母親の就労状況	76
(2) 父親の就労状況	79
3 放課後児童クラブの利用状況について	81
(1) 放課後児童クラブの利用状況.....	81
(2) 放課後児童クラブの利用希望.....	89
4 子どもが病気の時の対応について	95
(1) 学校を休まなければならない場合の対処方法.....	95
(2) 病児・病後児保育施設等の利用希望.....	96
5 小学校での放課後の過ごし方について	98
(1) 低学年の放課後の過ごし方について.....	98
(2) 高学年の放課後の過ごし方について.....	99
6 子育て全般について.....	101
(1) 子育てに関する不安の有無.....	101
(2) 子育てに関する悩みや相談相手について.....	102
(3) 子育て支援に関する情報提供について.....	104
(4) 地域での子育てについて.....	106
(5) 新居浜市における子育てについて.....	107
(6) 児童虐待について	108
(7) 家庭の経済状況について.....	110
(8) 子どもを取り巻く環境について.....	117
Ⅳ 自由意見	123
1 就学前保護者.....	123
2 小学生児童保護者.....	129

I 子ども・子育て支援に関するアンケート 調査概要

1 調査目的

本調査は、「新居浜市子ども・子育て支援事業計画」の見直しにあたって、教育・保育施設のニーズや、子育てに関する支援サービスのニーズなどを把握し、今後、取り組むべき施策を検討する上での基礎的な資料とすることを目的として実施するものです。

2 調査設計

(1) 実施期間：令和6年7月8日～7月31日

(2) 調査方法

調査対象	調査方法
未就学児の保護者	郵送配布、郵送回収、Webによる回答
小学生児童の保護者	郵送配布、郵送回収、Webによる回答

(3) 配布・回収

調査対象	配布数	有効回収数 (郵送)	有効回収数 (Web)	有効回収数 (合計)	有効回答率
未就学児の 保護者	1,500	384	354	738	49.2%
小学生児童の 保護者	500	132	101	233	46.6%

3 報告書の見方

- (1) 基数となるべき実数は、(n=〇〇)と表示する。各比率はすべてを100%として百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。そのために、百分率の合計が100%にならないことがあります。
- (2) 質問文の中に、複数回答が可能な質問がありますが、その場合、回答の合計は回答者数を上回ることがあります。
- (3) 図中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している場合があります。また、0.0%の表記は省略している場合があります。

Ⅱ 子ども・子育て支援に関するアンケート 調査結果（就学前）

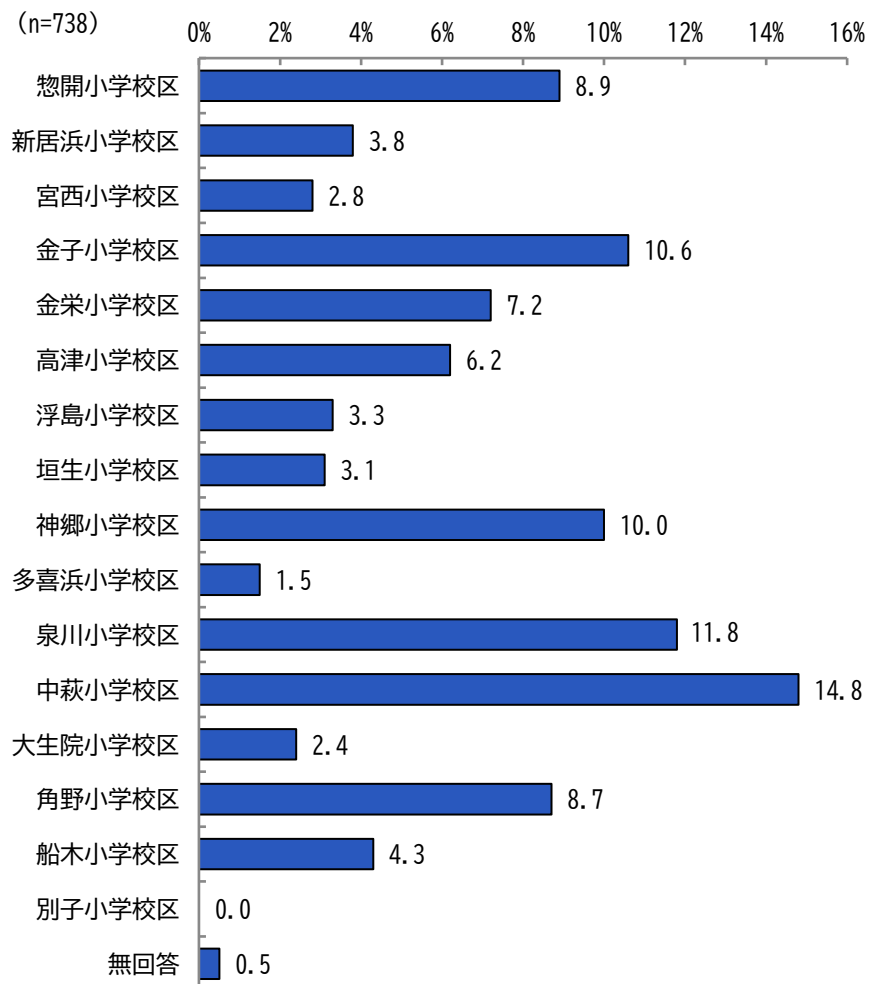
1 子どもと家族の状況

（１）家族の属性

問１ あなたのお住まいの小学校区はどちらですか。（○は１つ）

居住地域についてみると、「中萩小学校区」が14.8%で最も高く、次いで「泉川小学校区」（11.8%）、「金子小学校区」（10.6%）となっています。

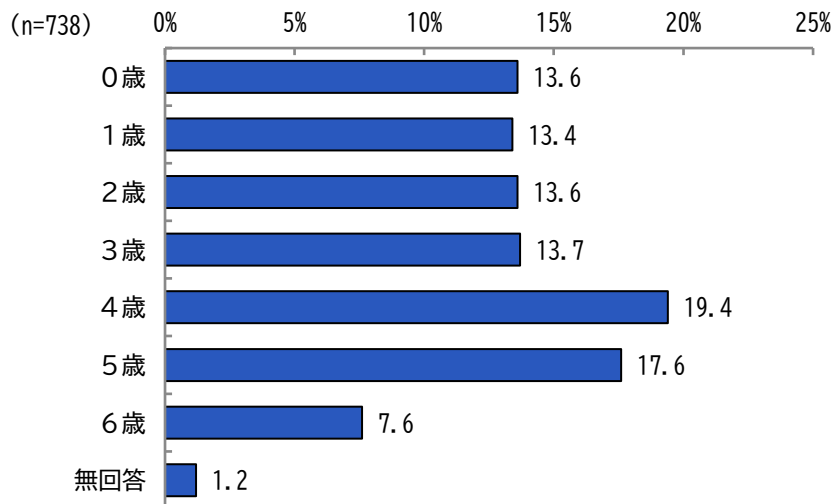
図表 1 居住区（全体）



問2 子どもの年齢

子どもの年齢についてみると、「4歳」が19.4%で最も高く、次いで「5歳」(17.6%)、「3歳」(13.7%)となっています。

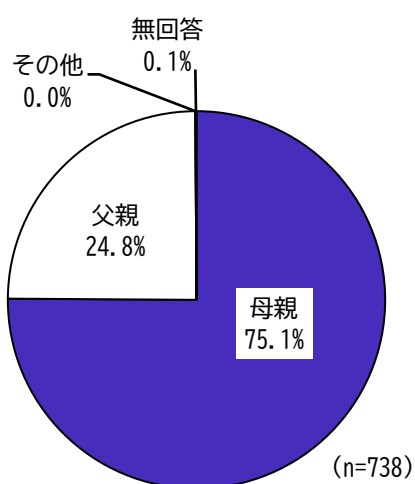
図表 2 子どもの年齢 (全体)



問3 この調査票にご回答いただく方について①続柄をお答えください。(○は1つ)

調査票の回答者についてみると、「母親」が75.1%、「父親」が24.8%となっています。

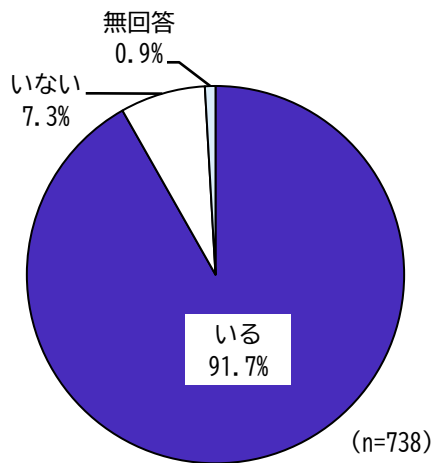
図表 3 調査票回答者 (全体)



問3 この調査票にご回答いただいている方の②配偶関係の有無についてお答えください。(○は1つ)

回答者の配偶関係についてみると、「いる」が91.7%、「いない」が7.3%となっています。

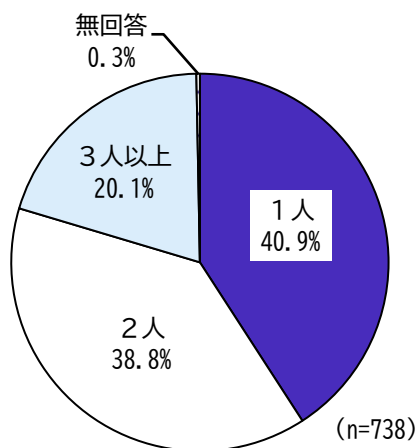
図表 4 回答者の配偶者の有無（全体）



問3 この調査票にご回答いただいている方の③子どもの人数（19歳未満）についてお答えください。

子どもの人数についてみると、「1人」が40.9%で最も高く、次いで「2人」が38.8%、「3人」(20.1%)となっています。

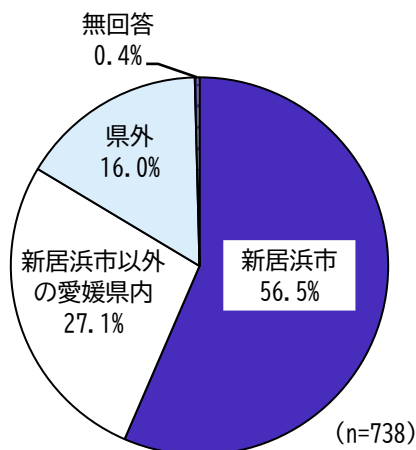
図表 5 子どもの人数（全体）



問3 この調査票にご回答いただいている方の④出身地についてお答えください。(○は1つ)

調査票の回答者の出身地についてみると、「新居浜市」が 56.5%で最も高く、次いで「新居浜市以外の愛媛県内」が 27.1%、「県外」が 16.0%となっています。

図表 6 回答者の出身地（全体）

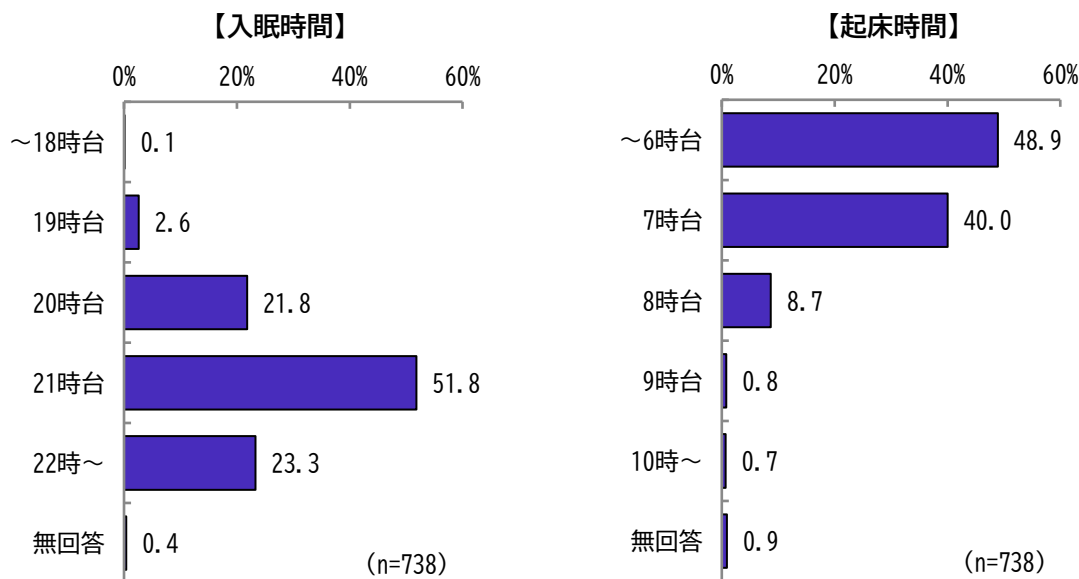


(2) 家族の生活状況

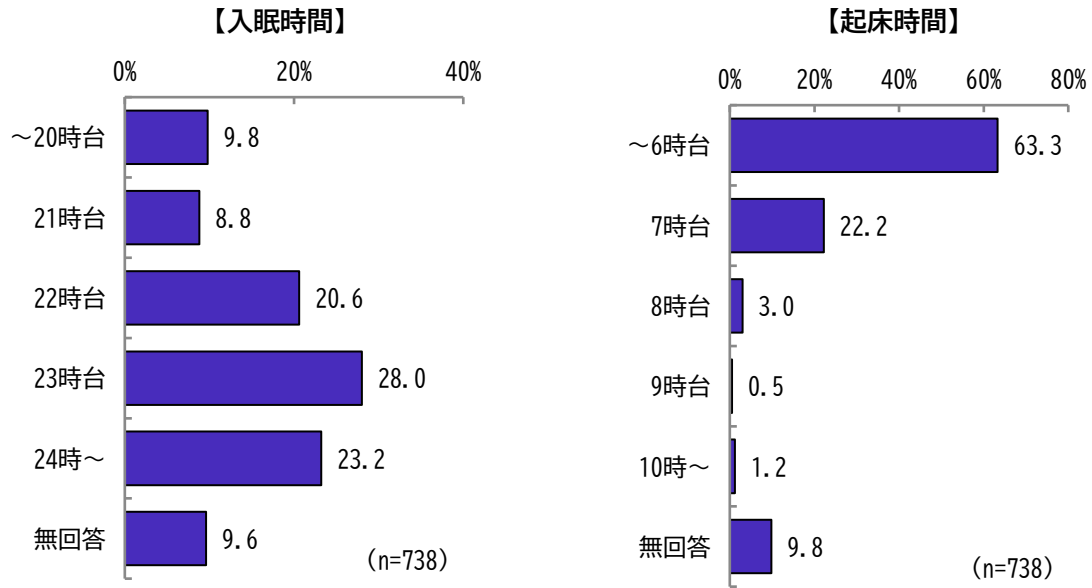
問4 ご家族の睡眠時間についてお答えください。

睡眠時間についてみると、子どもの入眠時間は「21 時台」が 51.8%、起床時間は「～6 時台」が 48.9%で最も高くなっています。また、父親、母親ともに入眠時間は「23 時台」、起床時間は「～6 時台」が最も高くなっています。

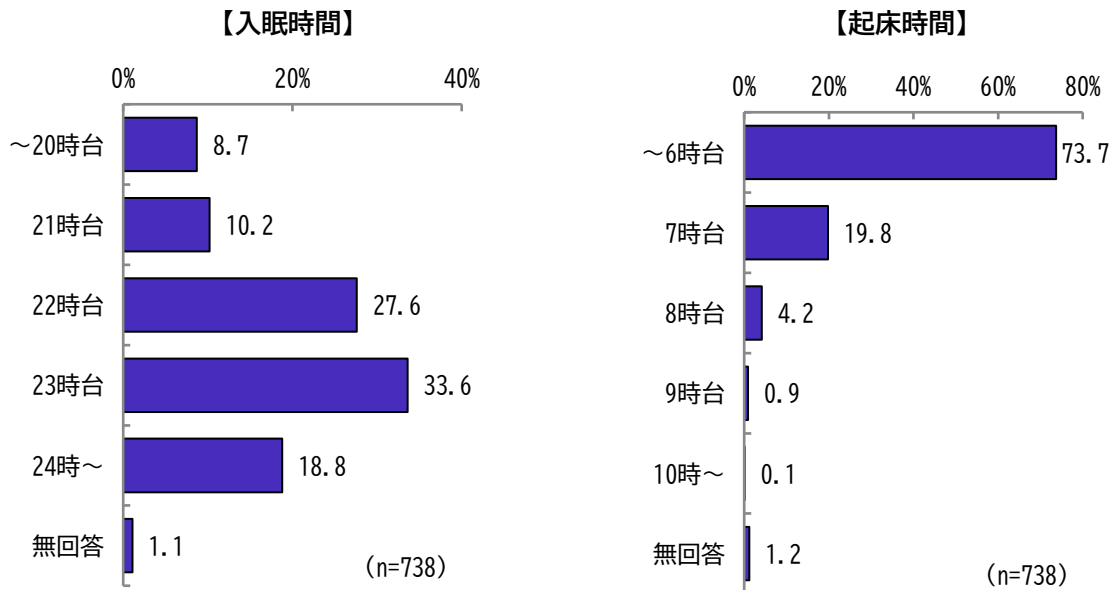
図表 7 子どもの入眠時間、起床時間（全体）



図表 8 父親の入眠時間、起床時間（全体）



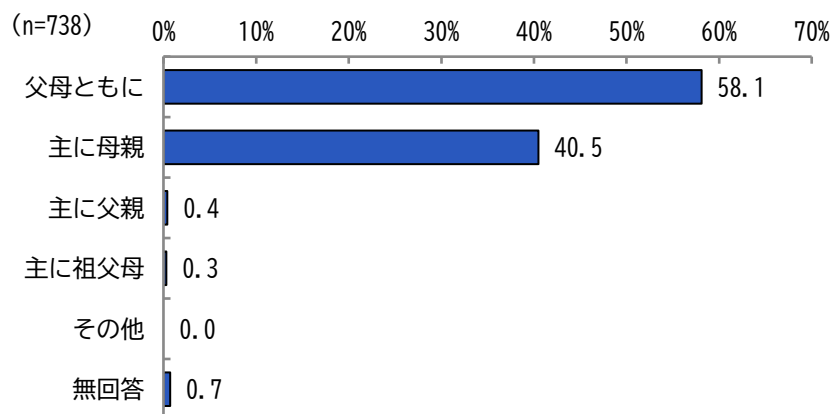
図表 9 母親の入眠時間、起床時間（全体）



問5 主に、子育て（教育を含む）をしている方はどなたですか。（○は1つ）

主に子育てを行っているのは誰かについてみると、「父母ともに」が 58.1%で最も高く、次いで「主に母親」（40.5%）となっており、この2項目が突出しています。

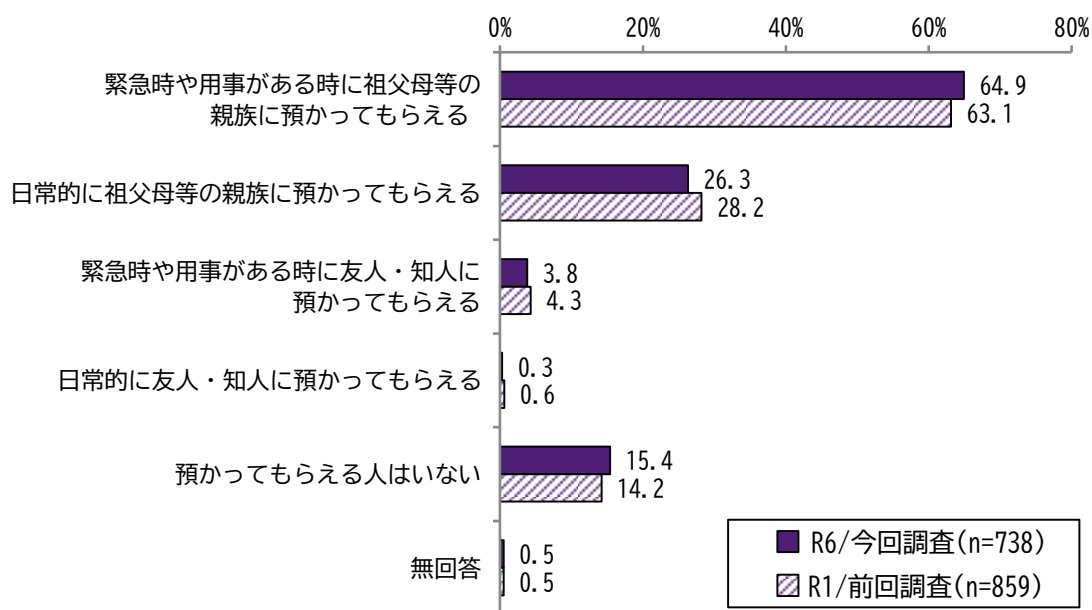
図表 10 主に子育てを行っているのは誰か（全体）



問6 日頃、お子さんを預けられる人はいますか。（あてはまるものすべてに○）

日頃、子どもを預けられる人の有無についてみると、「緊急時や用事がある時に祖父母等の親族に預かってもらえる」が64.9%で最も高くなっており、概ね前回同様の結果となっています。

図表 11 子どもを預けられる親族・知人の有無（全体、前回比較／複数回答）



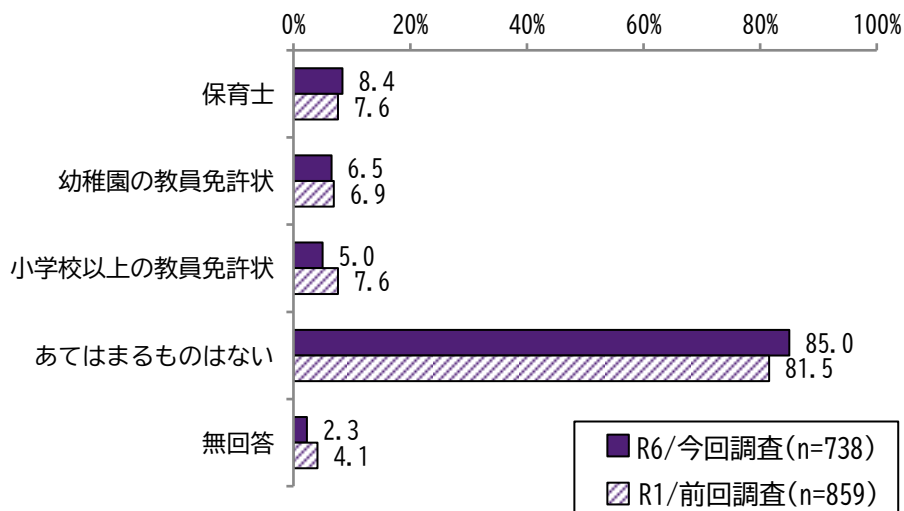
(3) 保育士等の資格保有状況と就労状況

問7 あなたがお持ちの資格の中で、次の項目にあてはまるものはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

保有している資格についてみると、保有している資格の内容としては、「保育士」が 8.4%となっており、「あてはまるものはない」が 85.0%と 8 割を超えています

前回調査と比較すると、「小学校以上の教員免許状」の保有者が 2.6 ポイント減少しています。

図表 12 保有している資格（全体、前回比較／複数回答）

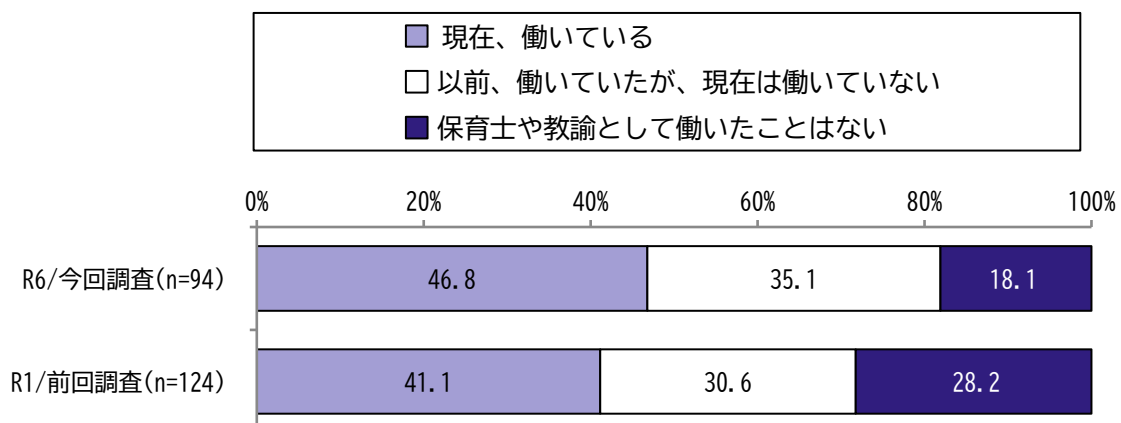


問7で何らかの資格を持っていると回答した方に

問8 現在、保育士や幼稚園・学校等の教諭として働いていますか。(○は1つ)

保育士等の資格保有者が現在も教諭として働いているかについてみると、「現在、働いている」が 46.8%となっています。前回調査と比較すると、「現在、働いている」が 5.7 ポイント、「保育士や教諭として働いたことはない」が 10.1 ポイント減少しています。

図表 13 保育士や教諭としての就労経験などについて（全体、前回比較）

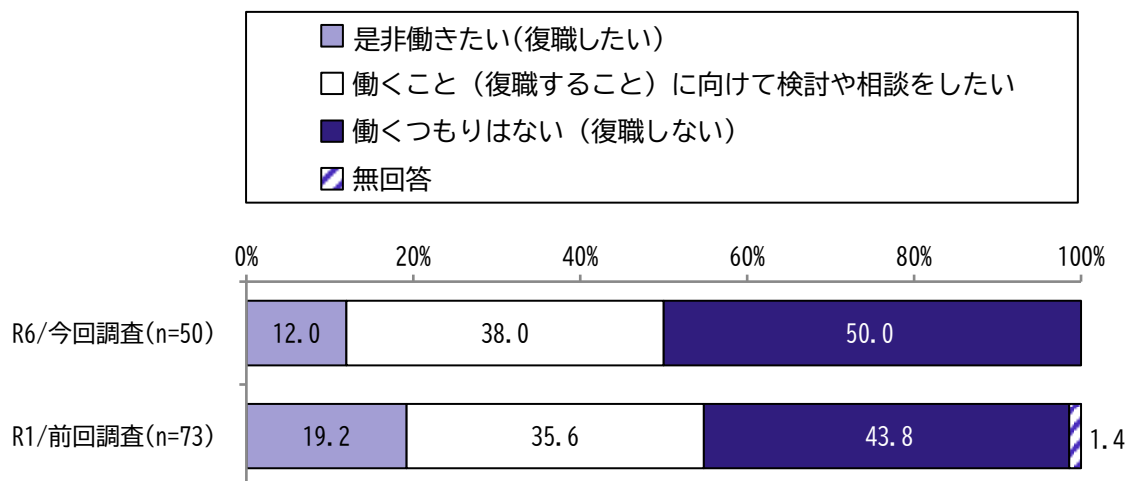


問8で「以前働いていたが、現在は働いていない」「保育士や教諭として働いたことはない」と回答した方

問9 あなたは、今後、保育士や幼稚園・学校の教諭として新居浜市で働きたいと思いますか（又は復職したいと思いますか）。（○は1つ）

現在保育士や教諭として就労していない方の今後の就労希望については、「働くつもりはない（復職しない）」が50.0%と最も高くなっています。前回調査と比較すると、「是非働きたい（就職したい）」が7.2ポイント減少しています。

図表 14 保育士や教諭としての就労希望について（全体、前回比較）

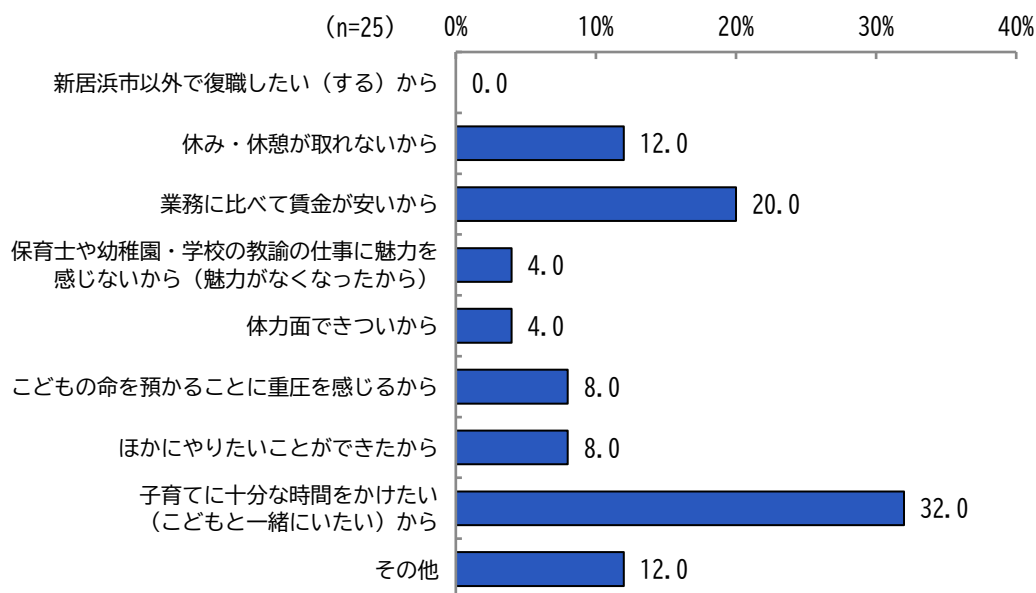


問9で「働くつもりはない（復職しない）」と回答した方に

問10 就職（または復職）しない理由は以下のうちどれに当てはまりますか？（○は1つ）

保育士や教諭として働くつもりはない人の理由については、「子育てに十分な時間をかけたい（子どもと一緒にいたい）から」が32.0%と最も高く、次いで「業務に比べて賃金が安いから」が20.0%となっています。

図表 15 保育士や教諭としての就労を希望しない理由（全体）



2 保護者の就労状況について

(1) 母親の就労状況

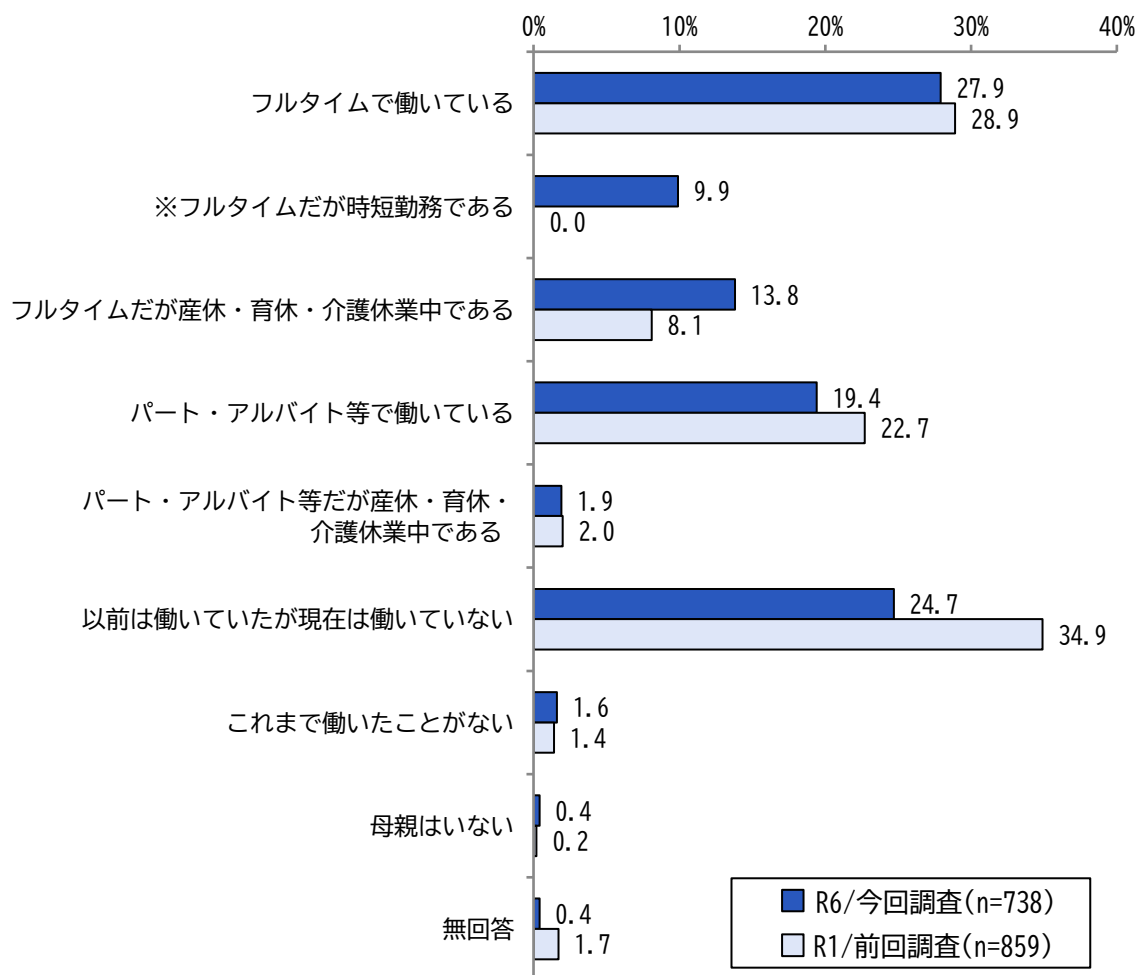
問11 お子さんの母親は、現在働いていますか。(○は1つ)

母親の就労状況についてみると、「フルタイムで働いている」が27.9%で最も高く、次いで「以前は働いていたが現在は働いていない」(24.7%)となっています。

また、就労している母親(休業中含む)の割合は合わせて72.9%となっています。

前回調査と比較すると、「以前は働いていたが現在は働いていない」が10.2ポイント減少しており、就労している母親(休業中含む)の割合は11.2ポイント増加しています。

図表 16 母親の就労状況(全体、前回比較)



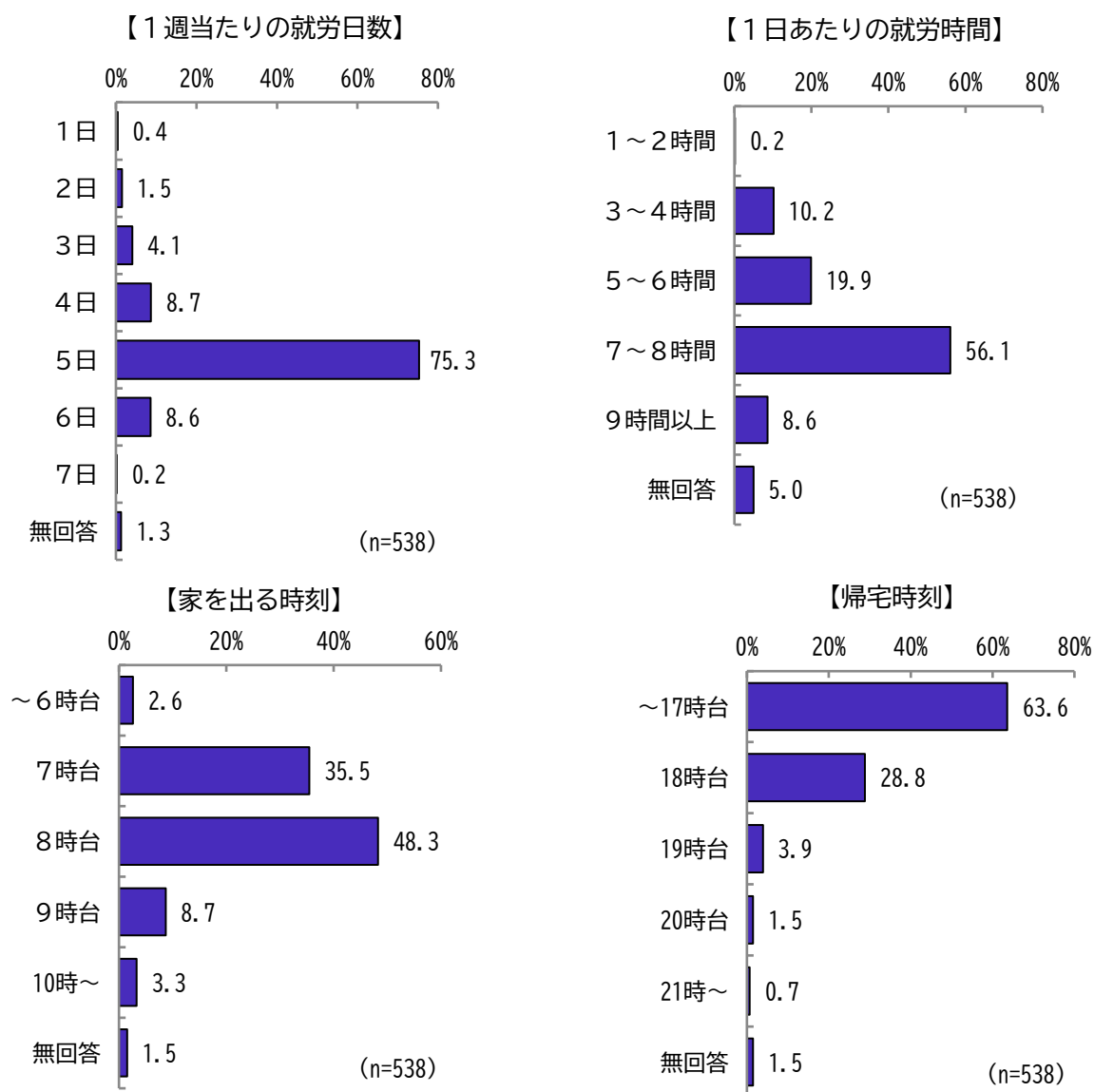
※前回調査では「フルタイムだが時短勤務である」の選択肢は無し

問 11 で「就労している」と回答した方にうかがいます。

問 12 働いている日数や時間などについておうかがいします。

母親の就労日数は「5日」(75.3%)、就労時間は「7～8時間未満」(56.1%)が最も高くなっています。また、母親の家を出る時刻は「8時台」(48.3%)、帰宅時刻については、「～17時台」(63.6%)が最も高くなっています。

図表 17 母親の平均的な就労状況（全体）



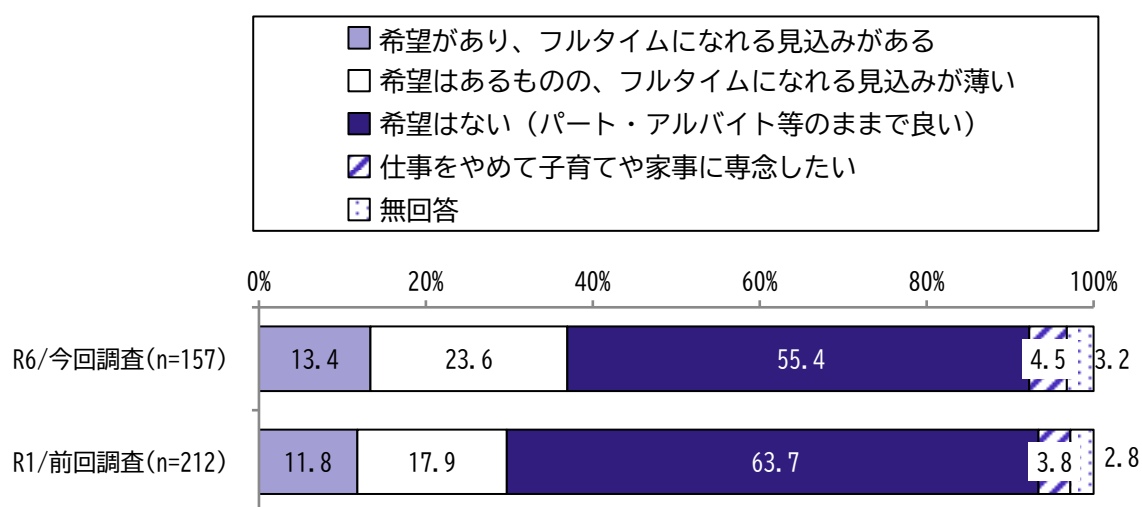
問 11 で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した方にうかがいます。

問 13 今後、パート・アルバイト等から、フルタイムへ転換したいですか。(○は1つ)

パート・アルバイト勤務等で就労していると回答した母親の、フルタイムへの転換希望についてみると、「希望はない」が55.4%と最も高く、次いで「希望はあるものの、フルタイムになれる見込みが薄い」(23.6%)となっています。また、「フルタイムへの転換希望がある」は37.0%となっており、そのうち実現できる見込みがある人は13.4%となっています。

前回調査と比較すると、「希望はない (パート・アルバイト等のままで良い)」が8.3ポイント減少しています。

図表 18 母親のフルタイムへの転換希望と実現の見込みの有無（全体、前回比較）



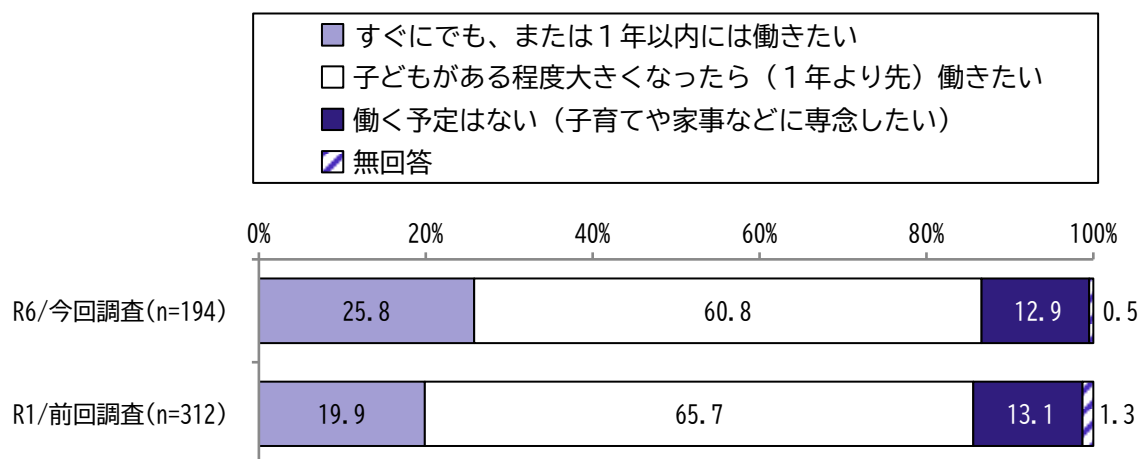
問 11 で「以前は働いていたが現在は働いていない」「これまで働いたことがない」と回答した方に

問 14 今後、働きたいとお考えですか。(○は1つ)

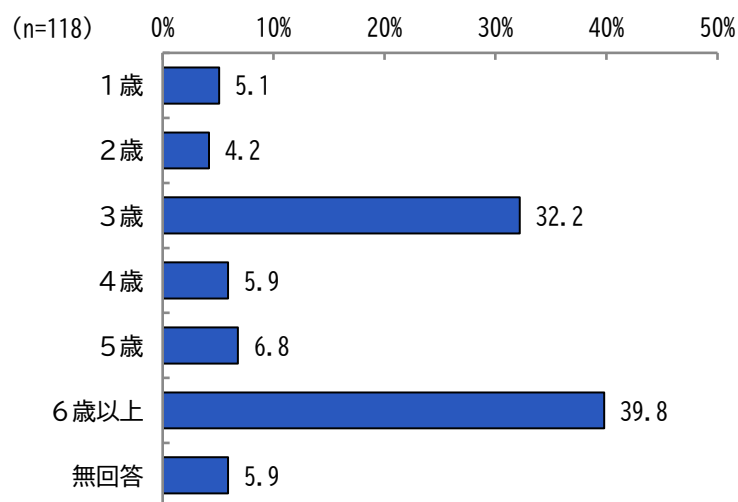
母親の今後の就労希望は、「子どもがある程度大きくなったら（1年より先）働きたい」が60.8%で最も高く、希望する就労開始時期は、「3歳」「6歳以上」がともに3割を超えています。

また、「すぐにでも、または1年以内には働きたい」については、25.8%にとどまっています。

図表 19 母親の今後の就労希望（全体、前回比較）



図表 20 1年より先、末子は何歳になったら働きたいか（全体）



問 14 で「すぐにでも、または子どもがある程度大きくなったら働きたい」と回答した方に

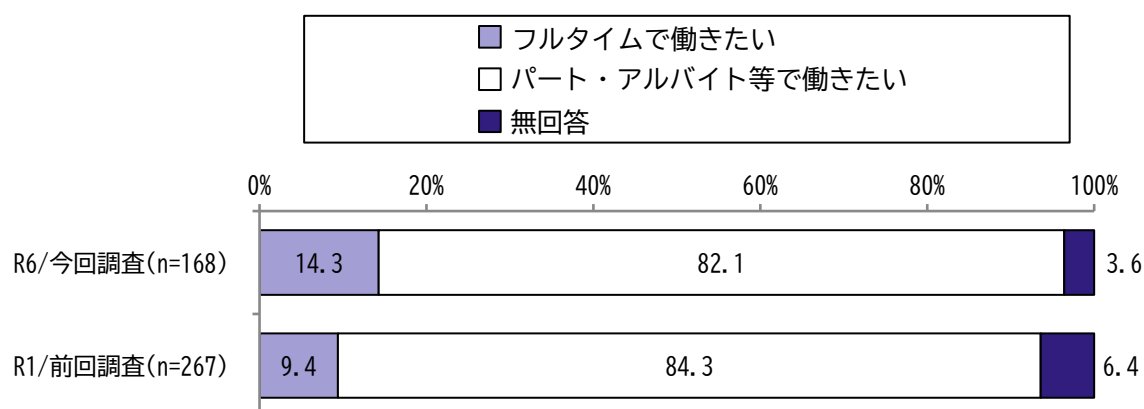
問 15 どのような形態で働きたいとお考えですか。(○は1つ)

すぐにでも、または子どもがある程度大きくなったら就労したいと回答した母親の、希望する就労形態については、「パート・アルバイト等で働きたい」が82.1%を占め、「フルタイムで働きたい」(14.3%)の5倍以上となっています。

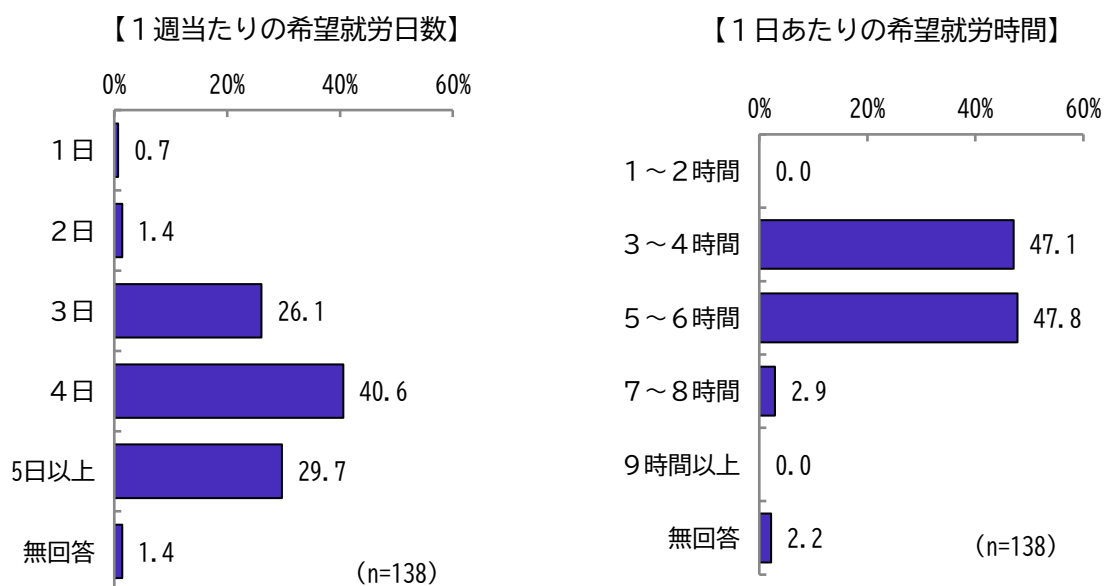
前回調査と比較すると、「フルタイムで働きたい」が4.9ポイント増加しています。

希望する就労日数は、週「4日」(40.6%)、就労時間は、1日「5～6時間」(47.8%)が最も高く、次いで「3～4時間」(47.1%)となっています。

図表 21 母親の就労形態の希望（全体、前回比較）



図表 22 母親のパート・アルバイト等の就労希望（全体）



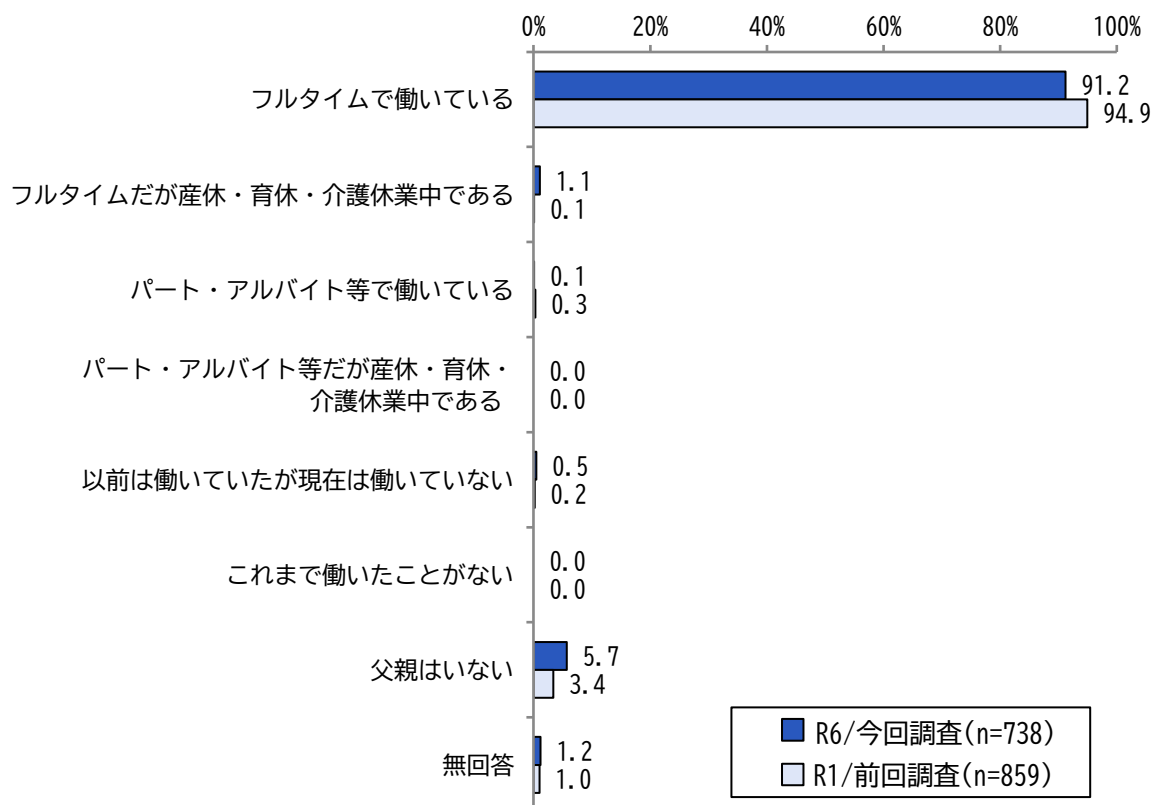
(2) 父親の就労状況

問 16 お子さんの父親は、現在働いていますか。(○は1つ)

父親の就労状況についてみると、「フルタイムで働いている」が 91.2%で最も高く、その割合は突出しています。

前回調査と比較すると、「フルタイムで働いている」が 3.7 ポイント減少しています。

図表 23 父親の就労状況（全体、前回比較）



問 16 で「就労している」と回答した方にうかがいます。

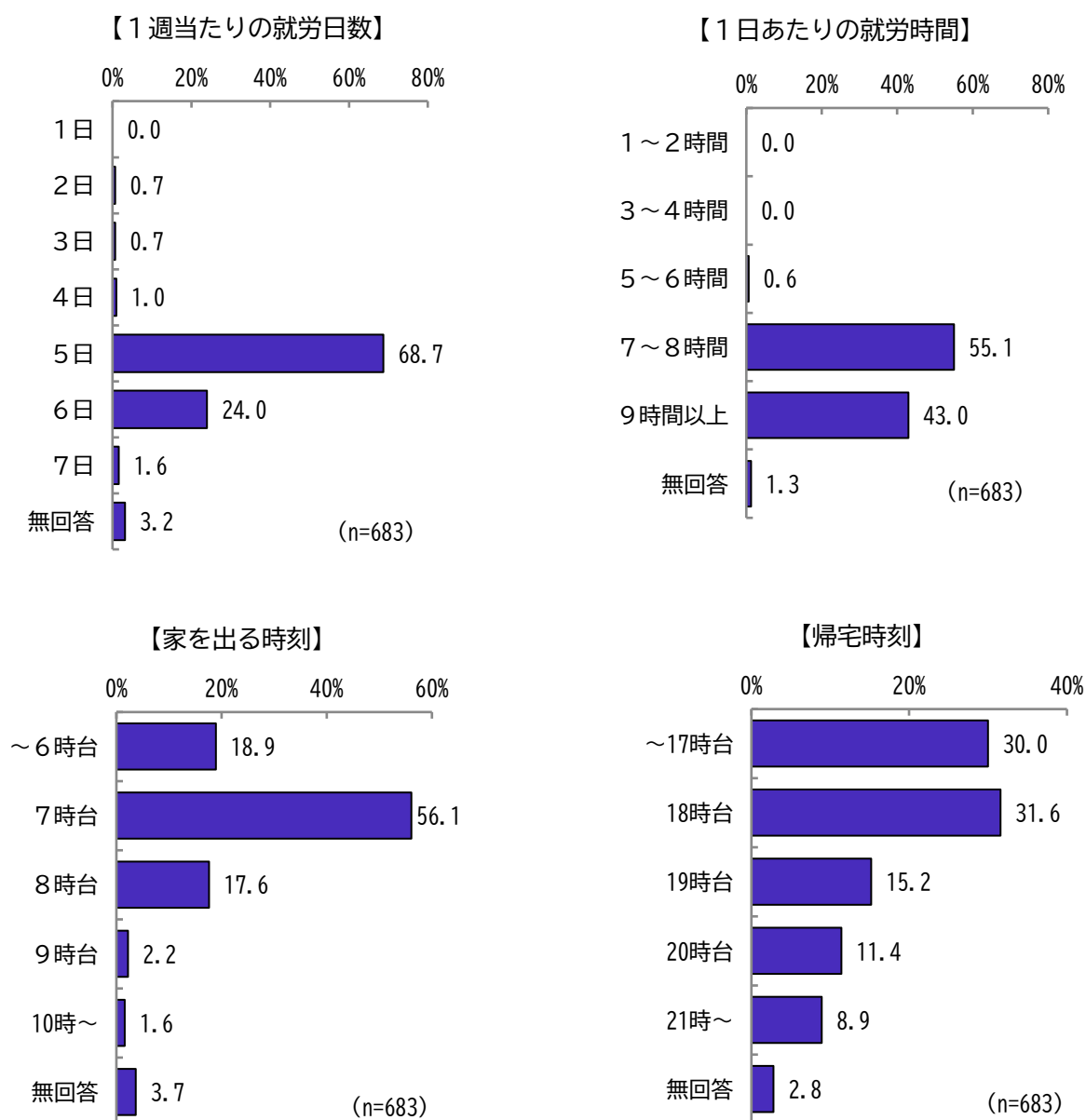
問 17 働いている日数や時間などについておうかがいします。

父親の就労日数は「5日」(68.7%)、就労時間は「7～8時間」(55.1%)が最も高くなっています。

また、父親の家を出る時刻は「7時台」が56.1%で最も高くなっています。

帰宅時刻については、「18時台」が31.6%で最も高く、次いで「17時台」(30.0%)、「19時台」(15.2%)となっています。

図表 24 父親の平均的な就労状況（全体）



問 16 で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した方にうかがいます。

問 18 今後、パート・アルバイト等から、フルタイムへ転換したいですか。(○は1つ)

問 16 で「以前は働いていたが現在は働いていない」「これまで働いたことがない」と回答した方に

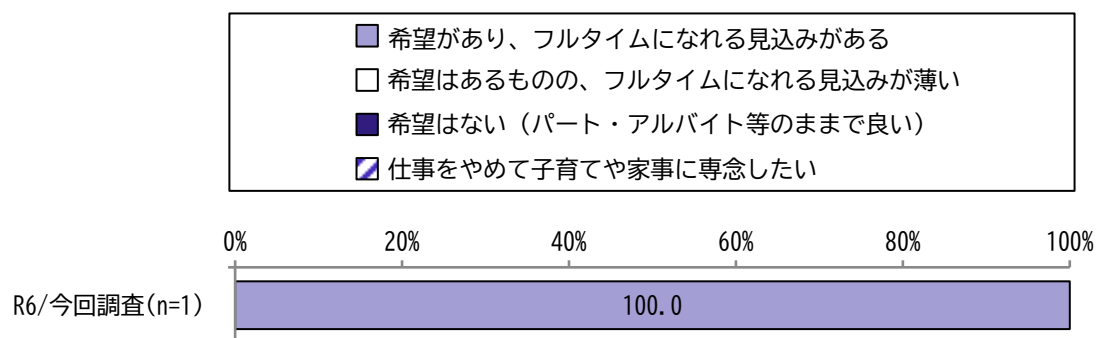
問 19 今後、働きたいとお考えですか。(○は1つ)

問 19 で「すぐにでも、または子どもがある程度大きくなったら働きたい」と回答した方に

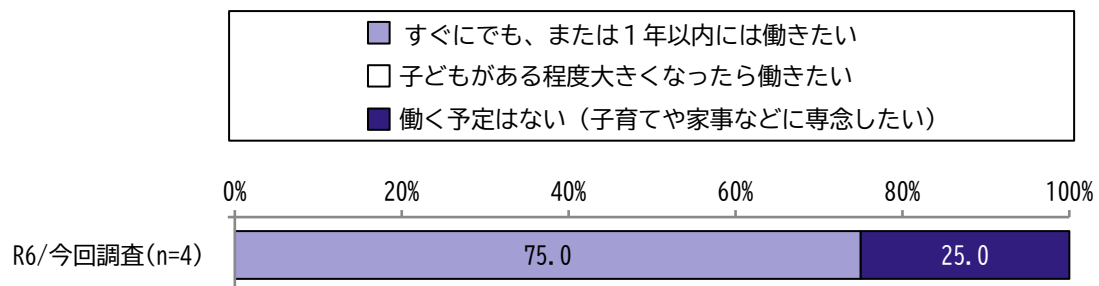
問 20 どのような形態で働きたいとお考えですか。(○は1つ)

父親のパート・アルバイト就労者は、フルタイムへの転換希望があり、見込みがあると回答しています。また、現在就労していないと回答した人の就労希望は「すぐにでも、または1年以内に働きたい」、「フルタイムで働きたい」と回答しています。

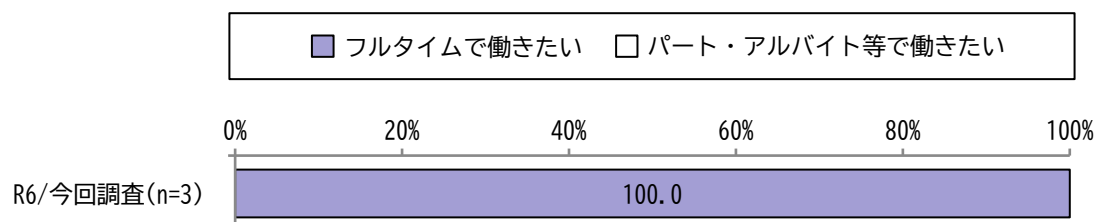
図表 25 フルタイムへの転換希望と実現の見込みの有無（全体）



図表 26 父親の今後の就労希望（全体）



図表 27 父親の希望の就労形態（全体）



3 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

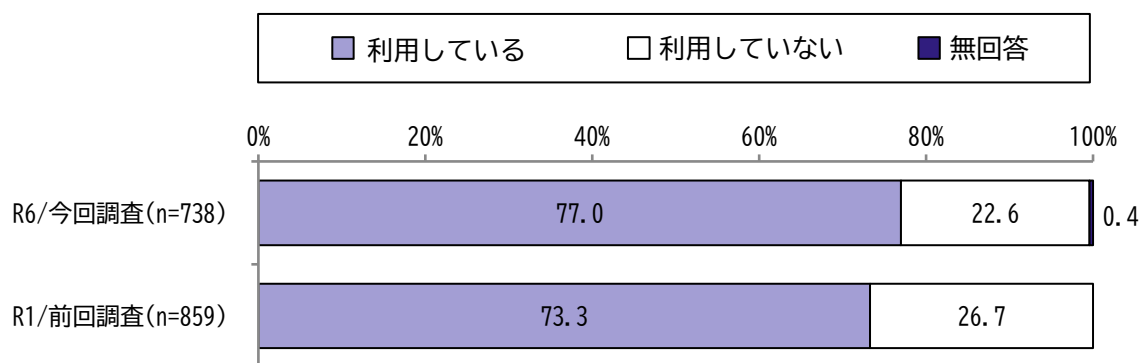
(1) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

問 21 お子さんは、平日、保育所や幼稚園、認定こども園、預かり保育などの事業を定期的に利用していますか。(○は1つ)

平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況についてみると、「利用している」が77.0%、「利用していない」は22.6%となっています。

前回調査と比較すると「利用している」が3.7ポイント増加しています。

図表 28 定期的な教育・保育事業の利用状況（全体、前回比較）



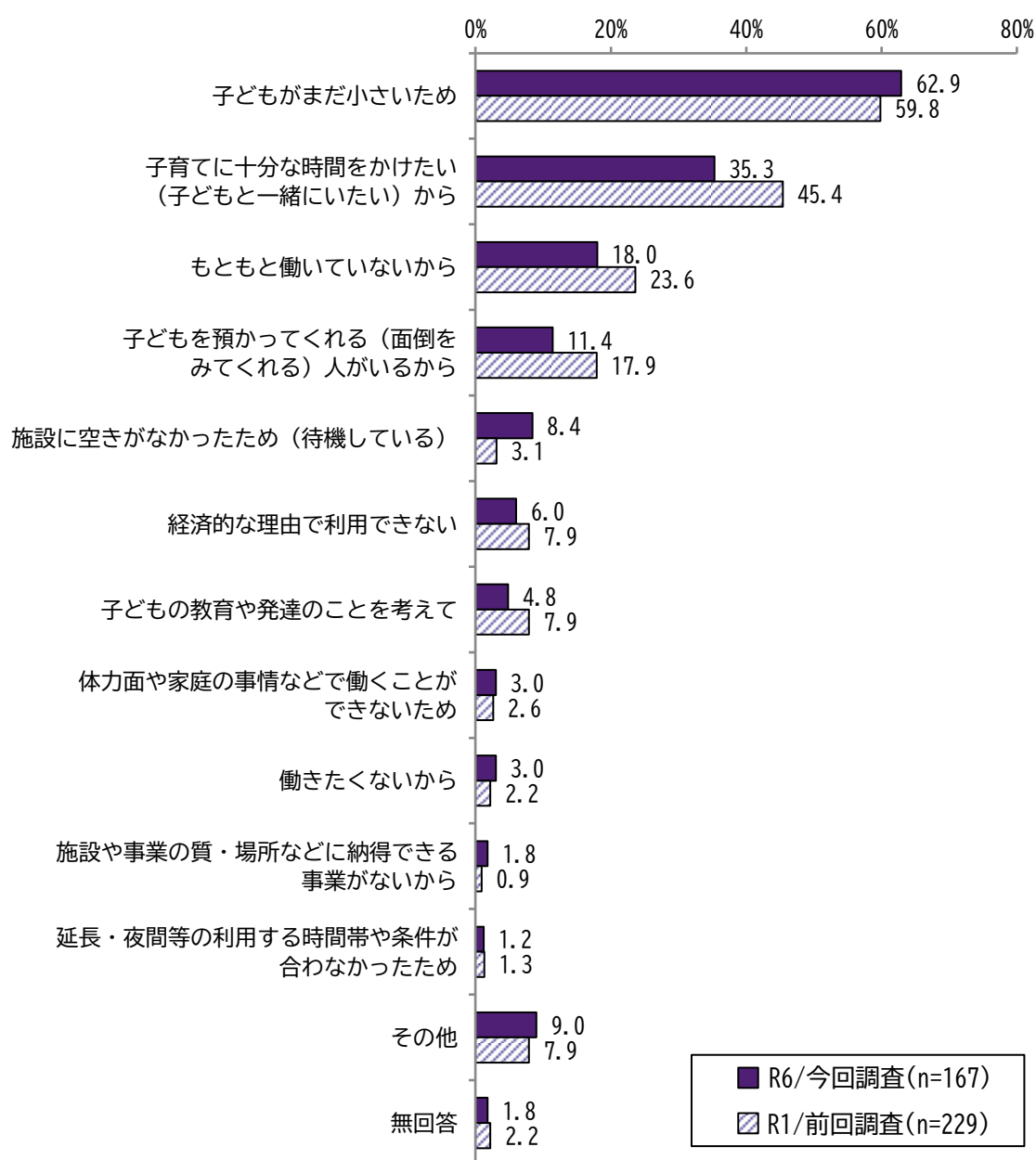
問 21 で「利用していない」と回答した方に

問 22 利用していないのは、どのような理由からですか。(あてはまるものすべてに○)

平日、定期的に事業を利用していない理由についてみると、「子どもがまだ小さいため」が 62.9%と最も高く、次いで「子育てに十分な時間をかけたい（子どもと一緒にいたい）から」（35.3%）、「もともと働いていないから」（18.0%）となっています。

前回調査と比較すると、「子育てに十分な時間をかけたい（子どもと一緒にいたい）から」「もともと働いていないから」「子どもを預かってくれる（面倒をみてる）人がいるから」などは減少し、「施設に空きがなかったため（待機している）」は 5.3 ポイント増加しています。

図表 29 定期的に事業を利用していない理由（全体、前回比較／複数回答）



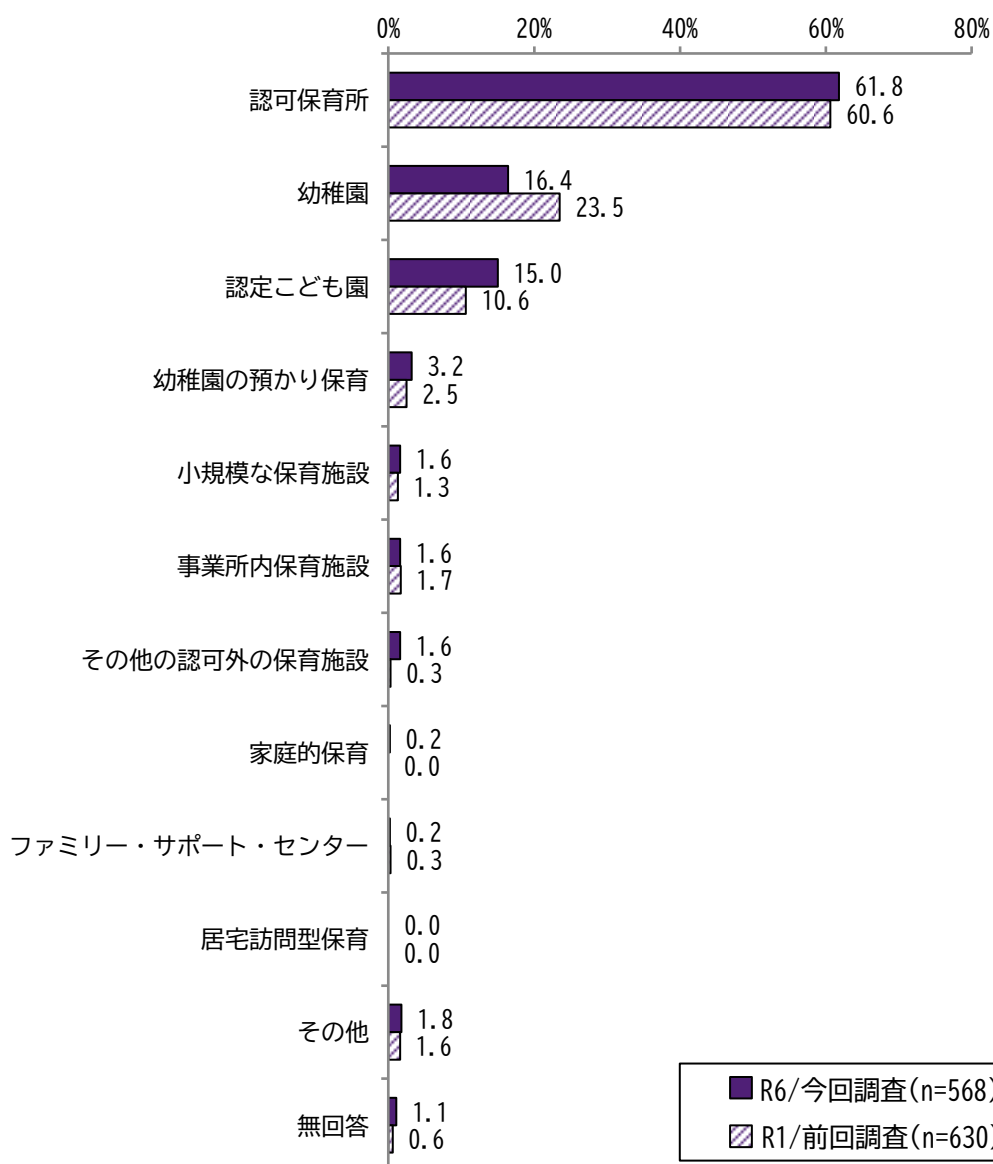
問 21 で「利用している」と回答した方に

問 23 ① 現在、どの施設や事業を利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

平日、定期的に利用している事業についてみると、「認可保育所」が61.8%で最も高く、次いで「幼稚園」(16.4%)、「認定こども園」(15.0%)となっています。

前回調査と比較すると、「幼稚園」が7.1ポイント減少し、「認定こども園」が4.4ポイント増加しています。

図表 30 現在利用している施設や事業（全体、前回比較／複数回答）



問 21 で「利用している」と回答した方に

問 23 ② 利用している施設や事業について、現在の利用状況と今後の希望についておうかがいします。

平日に定期的に利用している教育・保育の事業の利用状況についてみると、現在、希望いずれも 1 週当たりの利用日数は「5 日」が高くなっています。

図表 31 1 週あたりの利用日数：現在の利用（全体）

上段：回答者数（人） 下段：構成比（％）	全体	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
認可保育所	351 100.0	- -	- -	2 0.6	11 3.1	304 86.6	33 9.4	- -	1 0.3
幼稚園	93 100.0	- -	- -	1 1.1	- -	90 96.8	2 2.2	- -	- -
認定こども園	85 100.0	1 1.2	1 1.2	- -	- -	79 92.9	1 1.2	- -	3 3.5
幼稚園の預かり保育	18 100.0	2 11.1	- -	1 5.6	- -	11 61.1	- -	- -	4 22.2
小規模な保育施設	9 100.0	1 11.1	- -	1 11.1	- -	7 77.8	- -	- -	- -
事業所内保育施設	9 100.0	- -	- -	- -	- -	9 100.0	- -	- -	- -
その他の認可外の保育施設	9 100.0	- -	- -	- -	- -	9 100.0	- -	- -	- -
家庭的保育	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -
ファミリー・サポート・センター	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -
居宅訪問型保育	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
その他	10 100.0	1 10.0	3 30.0	1 10.0	- -	5 50.0	- -	- -	- -

図表 32 1 週あたりの利用日数：今後の希望（全体）

上段：回答者数（人） 下段：構成比（％）	全体	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
認可保育所	351 100.0	- -	- -	- -	5 1.4	248 70.7	48 13.7	2 0.6	48 13.7
幼稚園	93 100.0	- -	- -	- -	1 1.1	68 73.1	5 5.4	- -	19 20.4
認定こども園	85 100.0	- -	1 1.2	- -	- -	66 77.6	2 2.4	- -	16 18.8
幼稚園の預かり保育	18 100.0	1 5.6	- -	1 5.6	- -	10 55.6	1 5.6	- -	5 27.8
小規模な保育施設	9 100.0	- -	- -	- -	- -	6 66.7	- -	- -	3 33.3
事業所内保育施設	9 100.0	- -	- -	- -	- -	8 88.9	- -	- -	1 11.1
その他の認可外の保育施設	9 100.0	- -	- -	- -	- -	4 44.4	3 33.3	- -	2 22.2
家庭的保育	1 100.0	- -	- -	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -
ファミリー・サポート・センター	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 100.0
居宅訪問型保育	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
その他	10 100.0	- -	1 10.0	2 20.0	- -	5 50.0	1 10.0	- -	1 10.0

平日に定期的に利用している教育・保育の事業の現在の1日あたりの利用時間は、認可保育所、小規模な保育施設は「7～9時間未満」、幼稚園、認定こども園では「5～7時間未満」、幼稚園の預かり保育では「1～3時間」などが最も高くなっています。

今後の利用希望時間は、認可保育所では「9時間以上」、認定こども園では「7～9時間未満」が最も高くとなっており、現在の利用時間と比較して、利用希望時間は長くなっています。

図表 33 1日あたりの利用時間：現在の利用（全体）

上段：回答者数（人） 下段：構成比（％）	全体	1～3 時間未満	3～5 時間未満	5～7 時間未満	7～9 時間未満	9時間 以上	無回答
認可保育所	351 100.0	1 0.3	1 0.3	18 5.1	186 53.0	141 40.2	4 1.1
幼稚園	93 100.0	-	15 16.1	62 66.7	12 12.9	3 3.2	1 1.1
認定こども園	85 100.0	1 1.2	2 2.4	43 50.6	25 29.4	9 10.6	5 5.9
幼稚園の預かり保育	18 100.0	7 38.9	2 11.1	3 16.7	1 5.6	2 11.1	3 16.7
小規模な保育施設	9 100.0	-	-	-	8 88.9	1 11.1	-
事業所内保育施設	9 100.0	-	-	-	3 33.3	6 66.7	-
その他の認可外の保育施設	9 100.0	-	-	1 11.1	1 11.1	7 77.8	-
家庭的保育	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0	-
ファミリー・サポート・センター	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-
居宅訪問型保育	-	-	-	-	-	-	-
その他	10 100.0	2 20.0	3 30.0	1 10.0	3 30.0	1 10.0	-

図表 34 1日あたりの利用日数：今後の希望（全体）

上段：回答者数（人） 下段：構成比（％）	全体	1～3 時間未満	3～5 時間未満	5～7 時間未満	7～9 時間未満	9時間 以上	無回答
認可保育所	351 100.0	-	-	14 4.0	136 38.7	146 41.6	55 15.7
幼稚園	93 100.0	-	5 5.4	34 36.6	24 25.8	7 7.5	23 24.7
認定こども園	85 100.0	-	2 2.4	21 24.7	35 41.2	9 10.6	18 21.2
幼稚園の預かり保育	18 100.0	4 22.2	3 16.7	1 5.6	2 11.1	3 16.7	5 27.8
小規模な保育施設	9 100.0	-	-	-	2 22.2	3 33.3	4 44.4
事業所内保育施設	9 100.0	-	-	-	3 33.3	5 55.6	1 11.1
その他の認可外の保育施設	9 100.0	-	-	-	-	6 66.7	3 33.3
家庭的保育	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0	-
ファミリー・サポート・センター	1 100.0	-	-	-	-	-	1 100.0
居宅訪問型保育	-	-	-	-	-	-	-
その他	10 100.0	1 10.0	3 30.0	1 10.0	3 30.0	1 10.0	1 10.0

平日に定期的に利用している教育・保育の事業の現在の利用開始時間については、認可保育所、認定こども園などでは「8時台」、幼稚園では「9時台」が最も高くなっています。

今後の利用開始時間の希望は、幼稚園では「8時台」が最も高くなっています。

図表 35 利用開始時間：現在の利用（全体）

上段：回答者数（人） 下段：構成比（％）	全体	～7時台	8時台	9時台	10時台	11時～	無回答
認可保育所	351 100.0	64 18.2	207 59.0	69 19.7	2 0.6	-	9 2.6
幼稚園	93 100.0	3 3.2	43 46.2	45 48.4	1 1.1	-	1 1.1
認定こども園	85 100.0	11 12.9	42 49.4	21 24.7	3 3.5	-	8 9.4
幼稚園の預かり保育	18 100.0	-	3 16.7	2 11.1	-	10 55.6	3 16.7
小規模な保育施設	9 100.0	-	6 66.7	2 22.2	-	-	1 11.1
事業所内保育施設	9 100.0	-	9 100.0	-	-	-	-
その他の認可外の保育施設	9 100.0	5 55.6	2 22.2	1 11.1	-	-	1 11.1
家庭的保育	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-
ファミリー・サポート・センター	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0	-
居宅訪問型保育	-	-	-	-	-	-	-
その他	10 100.0	-	4 40.0	2 20.0	1 10.0	3 30.0	-

図表 36 利用開始時間：今後の希望（全体）

上段：回答者数（人） 下段：構成比（％）	全体	～7時台	8時台	9時台	10時台	11時～	無回答
認可保育所	351 100.0	62 17.7	174 49.6	51 14.5	1 0.3	-	63 17.9
幼稚園	93 100.0	3 3.2	41 44.1	24 25.8	1 1.1	-	24 25.8
認定こども園	85 100.0	12 14.1	33 38.8	16 18.8	1 1.2	-	23 27.1
幼稚園の預かり保育	18 100.0	1 5.6	3 16.7	2 11.1	-	7 38.9	5 27.8
小規模な保育施設	9 100.0	-	4 44.4	-	-	-	5 55.6
事業所内保育施設	9 100.0	-	8 88.9	-	-	-	1 11.1
その他の認可外の保育施設	9 100.0	5 55.6	1 11.1	-	-	-	3 33.3
家庭的保育	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-
ファミリー・サポート・センター	1 100.0	-	-	-	-	-	1 100.0
居宅訪問型保育	-	-	-	-	-	-	-
その他	10 100.0	-	3 30.0	2 20.0	-	4 40.0	1 10.0

平日に定期的に利用している教育・保育の事業の現在の利用終了時間については、認可保育所では「17 時台」、幼稚園、認定こども園などでは「～15 時台」、幼稚園の預かり保育では「16 時台」などが最も高くなっています。

今後の利用終了時間の希望は、幼稚園の預かり保育で「17 時台」が最も高く、現在の利用終了時間より希望の終了時間の方が遅くなっています。

図表 37 利用終了時間：現在の利用（全体）

上段：回答者数（人） 下段：構成比（％）	全体	～15時台	16時台	17時台	18時台	19時～	無回答
認可保育所	351 100.0	31 8.8	117 33.3	152 43.3	40 11.4	2 0.6	9 2.6
幼稚園	93 100.0	80 86.0	4 4.3	5 5.4	1 1.1	-	3 3.2
認定こども園	85 100.0	48 56.5	13 15.3	13 15.3	3 3.5	-	8 9.4
幼稚園の預かり保育	18 100.0	5 27.8	8 44.4	-	2 11.1	-	3 16.7
小規模な保育施設	9 100.0	-	4 44.4	3 33.3	1 11.1	-	1 11.1
事業所内保育施設	9 100.0	-	2 22.2	6 66.7	1 11.1	-	-
その他の認可外の保育施設	9 100.0	1 11.1	1 11.1	5 55.6	1 11.1	-	1 11.1
家庭的保育	1 100.0	-	-	1 100.0	-	-	-
ファミリー・サポート・センター	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0	-
居宅訪問型保育	-	-	-	-	-	-	-
その他	10 100.0	4 40.0	3 30.0	3 30.0	-	-	-

図表 38 利用終了時間：今後の希望（全体）

上段：回答者数（人） 下段：構成比（％）	全体	～15時台	16時台	17時台	18時台	19時～	無回答
認可保育所	351 100.0	19 5.4	73 20.8	120 34.2	69 19.7	8 2.3	62 17.7
幼稚園	93 100.0	44 47.3	14 15.1	7 7.5	4 4.3	-	24 25.8
認定こども園	85 100.0	27 31.8	17 20.0	11 12.9	5 5.9	2 2.4	23 27.1
幼稚園の預かり保育	18 100.0	1 5.6	4 22.2	5 27.8	3 16.7	-	5 27.8
小規模な保育施設	9 100.0	-	1 11.1	1 11.1	2 22.2	-	5 55.6
事業所内保育施設	9 100.0	-	2 22.2	4 44.4	1 11.1	1 11.1	1 11.1
その他の認可外の保育施設	9 100.0	-	-	3 33.3	3 33.3	-	3 33.3
家庭的保育	1 100.0	-	-	1 100.0	-	-	-
ファミリー・サポート・センター	1 100.0	-	-	-	-	-	1 100.0
居宅訪問型保育	-	-	-	-	-	-	-
その他	10 100.0	3 30.0	-	5 50.0	1 10.0	-	1 10.0

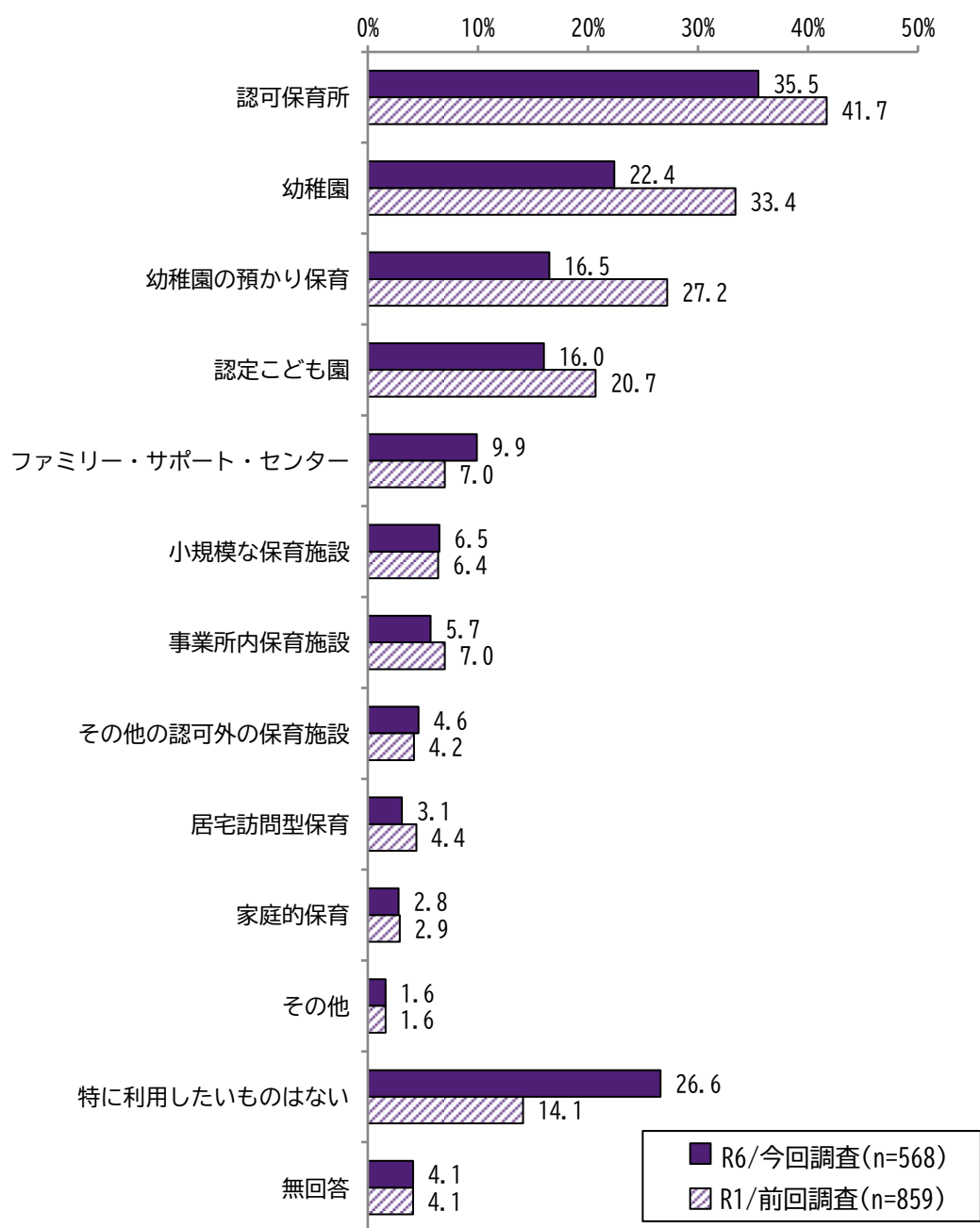
（２）今後の平日の定期的な教育・保育事業の利用希望

問 24 現在、利用している、利用していないにかかわらず、今後、平日に定期的に利用してみたい事業をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

今後、教育・保育事業として定期的に利用したい事業についてみると、「認可保育所」が 35.5%で最も高く、次いで「幼稚園」（22.4%）、「幼稚園の預かり保育」（16.5%）となっています。

前回調査と比較すると、「認可保育所」「幼稚園」「幼稚園の預かり保育」「認定こども園」などは減少し、「特に利用したいものはない」が 12.5 ポイント増加しています。

図表 39 定期的な教育・保育事業の利用希望（全体、前回比較／複数回答）

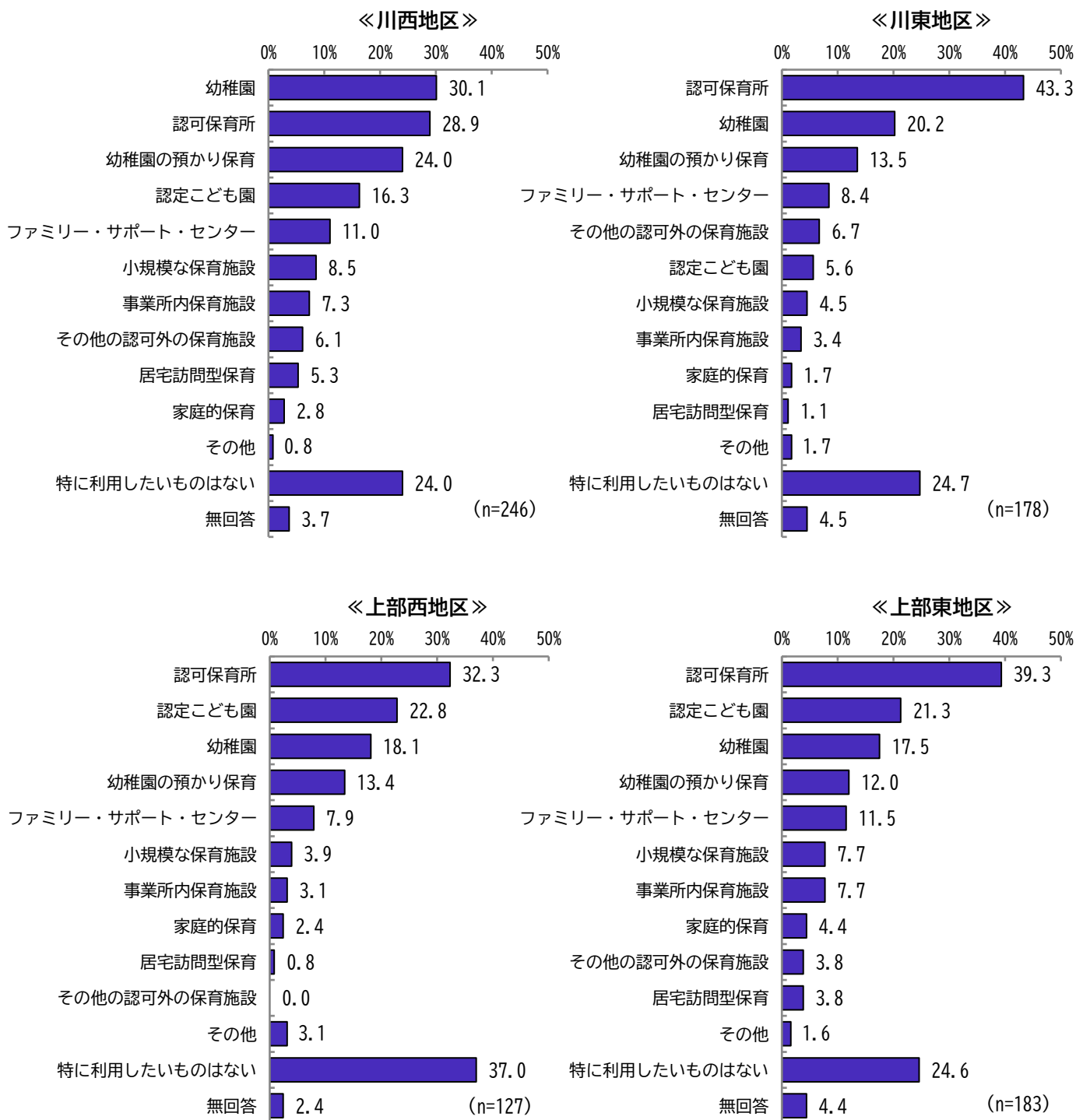


地区別にみると、今後平日に定期的にご利用したい事業は、川西地区では「幼稚園」(30.1%)、川東地区では「認可保育所」(43.3%)がそれぞれ最も高く、上部西、上部東地区よりも高い割合となっています。

また、川西地区では、「幼稚園の預かり保育」の割合が、他の地区よりも高くなっています。

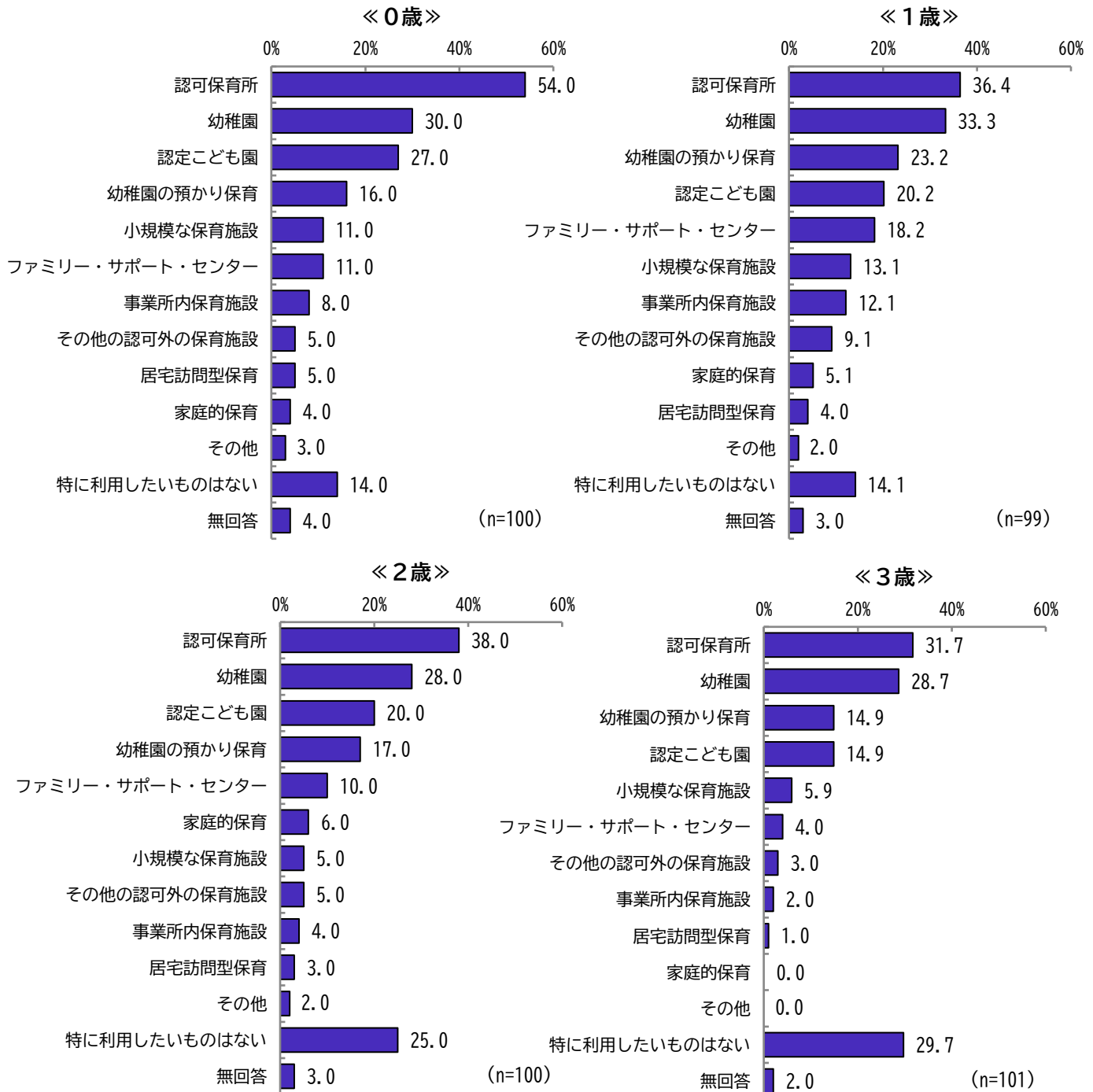
一方、上部西地区、上部東地区では「認可保育所」が最も高く、次いで「認定こども園」、「幼稚園」となっており、割合も概ね同様の結果となっています。

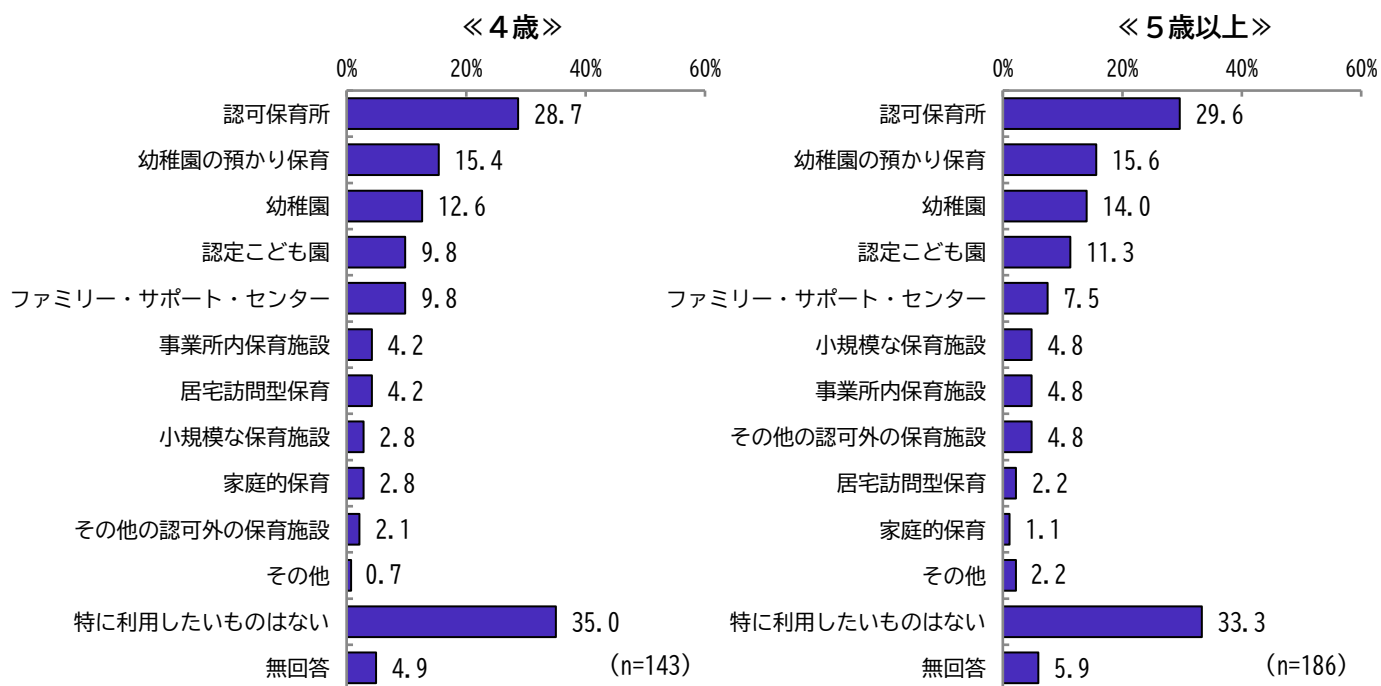
図表 40 定期的な教育・保育事業の利用希望（地区別／複数回答）



年齢別にみると、今後平日に定期的にご利用したい事業は「認可保育所」が最も高く、0歳では5割以上、1歳から3歳までは3割以上となっています。次いで0歳から3歳までは「幼稚園」、4歳、5歳以上では「幼稚園の預かり保育」と続いています。

図表 41 定期的な教育・保育事業の利用希望（年齢別／複数回答）

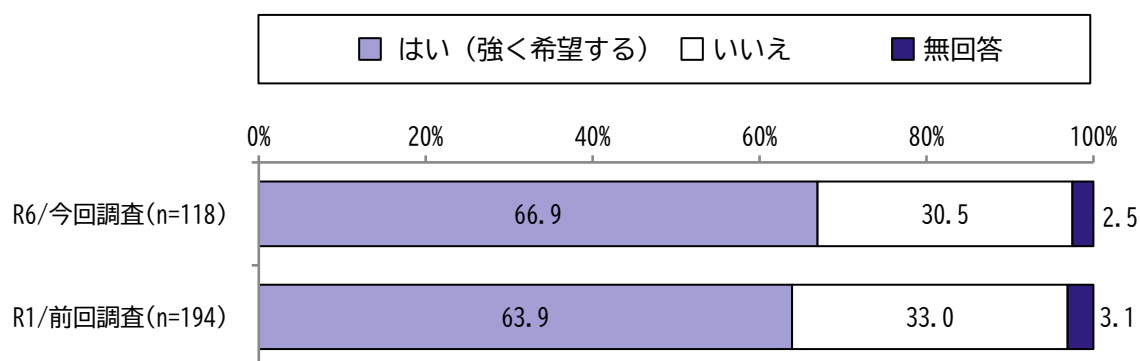




問 24 で「幼稚園」「幼稚園の預かり保育」および幼稚園以外の事業の利用希望があると回答した方に
 問 25 特に幼稚園の利用（幼稚園の預かり保育と一緒に利用する場合を含む）を強く希望しますか。
 （○は1つ）

今後幼稚園、幼稚園の預かり保育及び幼稚園以外の事業に利用希望があると回答した人が、幼稚園の利用を強く望むかについては、「はい（強く希望する）」が66.9%、「いいえ」が30.5%となっています。
 前回調査と比較すると、「はい（強く希望する）」が3.0ポイント増加しています。

図表 42 幼稚園の利用を強く望むか（全体／前回比較）



4 土日などの定期的な教育・保育事業の利用状況について

(1) 土日・祝日の教育・保育事業の利用希望

問 26 土曜日及び日曜日・祝日に、保育所や幼稚園などの利用希望はありますか。(○は1つずつ)

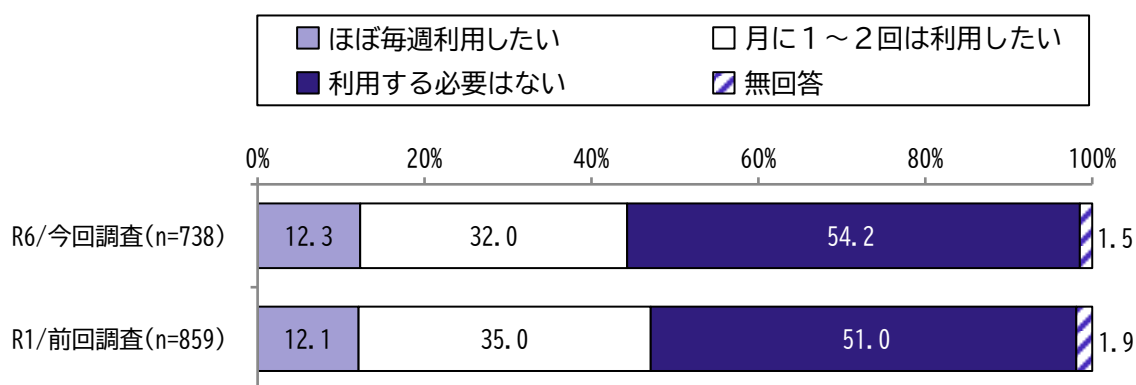
【土曜日の利用希望】

土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望は、「利用する必要はない」が 54.2%で最も高くなっています。一方、「月に1～2回は利用したい」が32.0%、「ほぼ毎週利用したい」が12.3%を占め、利用したい人の割合は、全体の44.3%となっています。

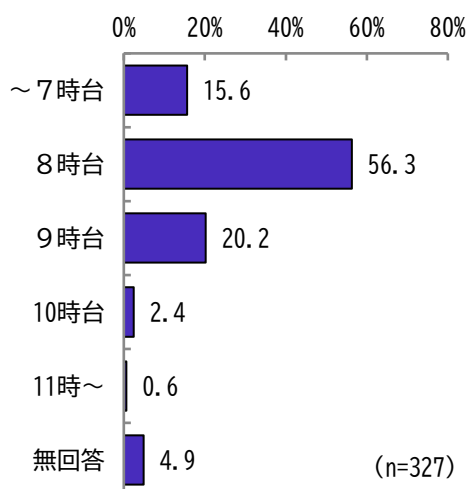
前回調査と比較すると、「利用する必要はない」が3.2ポイント増加しています。

また、希望する利用開始時間は「8時台」(56.3%)、利用終了時間は「17時台」(33.3%)が最も高くなっています。

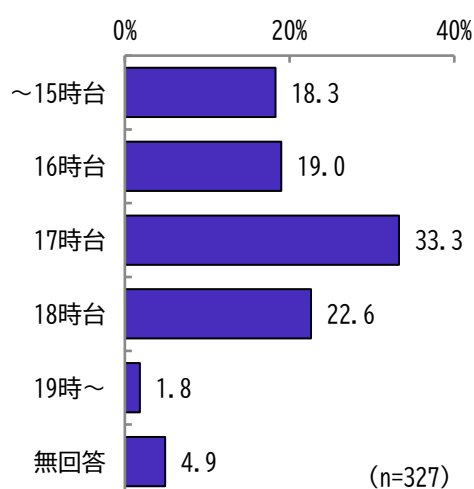
図表 43 土曜日の教育・保育事業の利用希望（全体、前回比較）



【希望する利用開始時間】



【希望する利用終了時間】



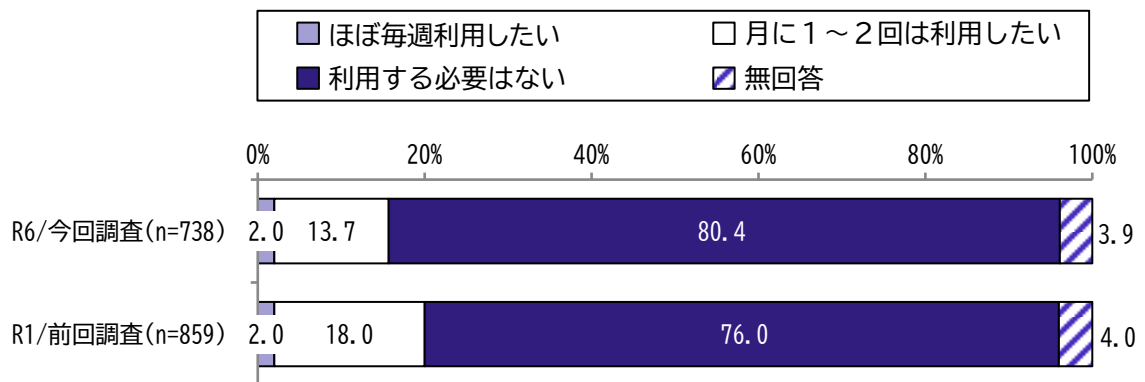
【日曜日・祝日の利用希望】

日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望は、「利用する必要はない」が 80.4%で最も高くなっています。一方、「月に 1～2 回は利用したい」が 13.7%、「ほぼ毎週利用したい」が 2.0%を占め、利用したい人の割合は、全体の 15.7%となっています。

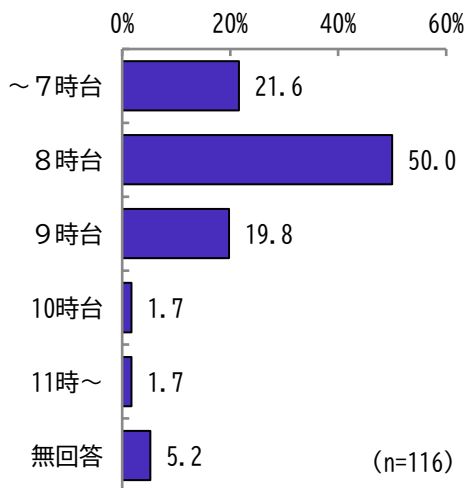
前回調査と比較すると、「利用する必要はない」が 4.4 ポイント増加しています。

また、希望する利用開始時間は「8 時台」(50.0%)、利用終了時間は「17 時台」「18 時台」(ともに 29.3%) が最も高くなっています。

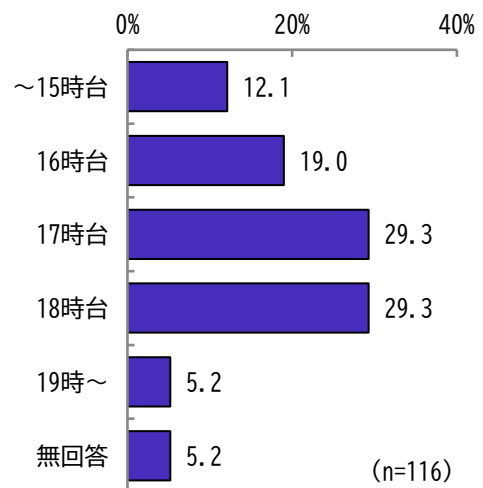
図表 44 日曜日・祝日の教育・保育事業の利用希望（全体、前回比較）



【希望する利用開始時間】



【希望する利用終了時間】



(2) 長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望

問 23①で「幼稚園」と回答した方に

問 25 夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中に、幼稚園などの施設を利用したいと思いますか。

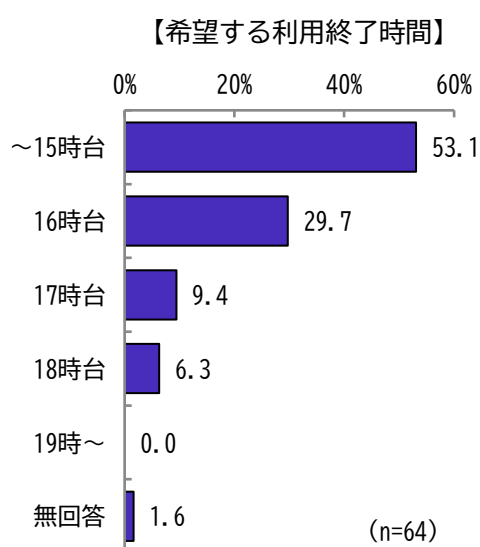
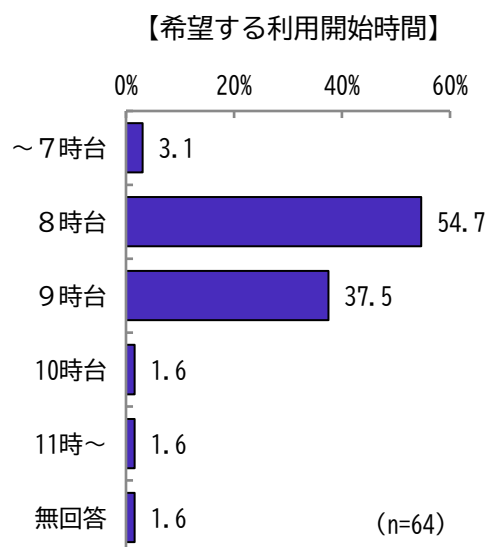
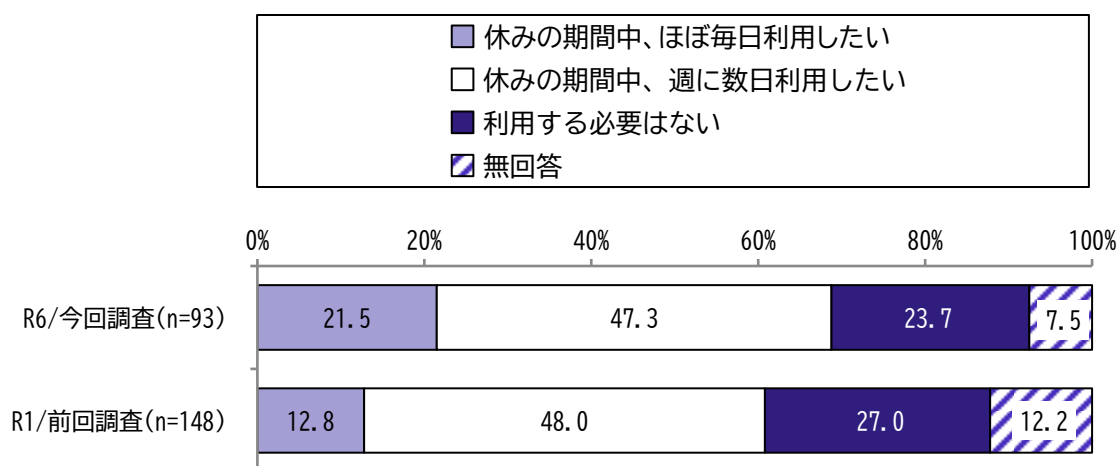
(○は1つ)

長期休暇中の定期的な教育・保育の事業の利用希望についてみると、「休みの期間中、週に数日利用したい」が47.3%で最も高く、次いで「利用する必要はない」(23.7%)、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」(21.5%)となっています。

前回調査と比較すると、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が8.7ポイント増加しています。

また、利用したいと回答した方の、希望する利用開始時間は「8時台」(54.7%)が最も高く、次いで「9時台」(37.5%)となっています。希望する利用終了時間は「～15時台」(53.1%)が最も高く、次いで「16時台」(29.7%)となっています。

図表 45 長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望（全体、前回比較）



5 「こどもだれでも通園制度」(仮称) について

(1) 「こども誰でも通園制度」の利用希望

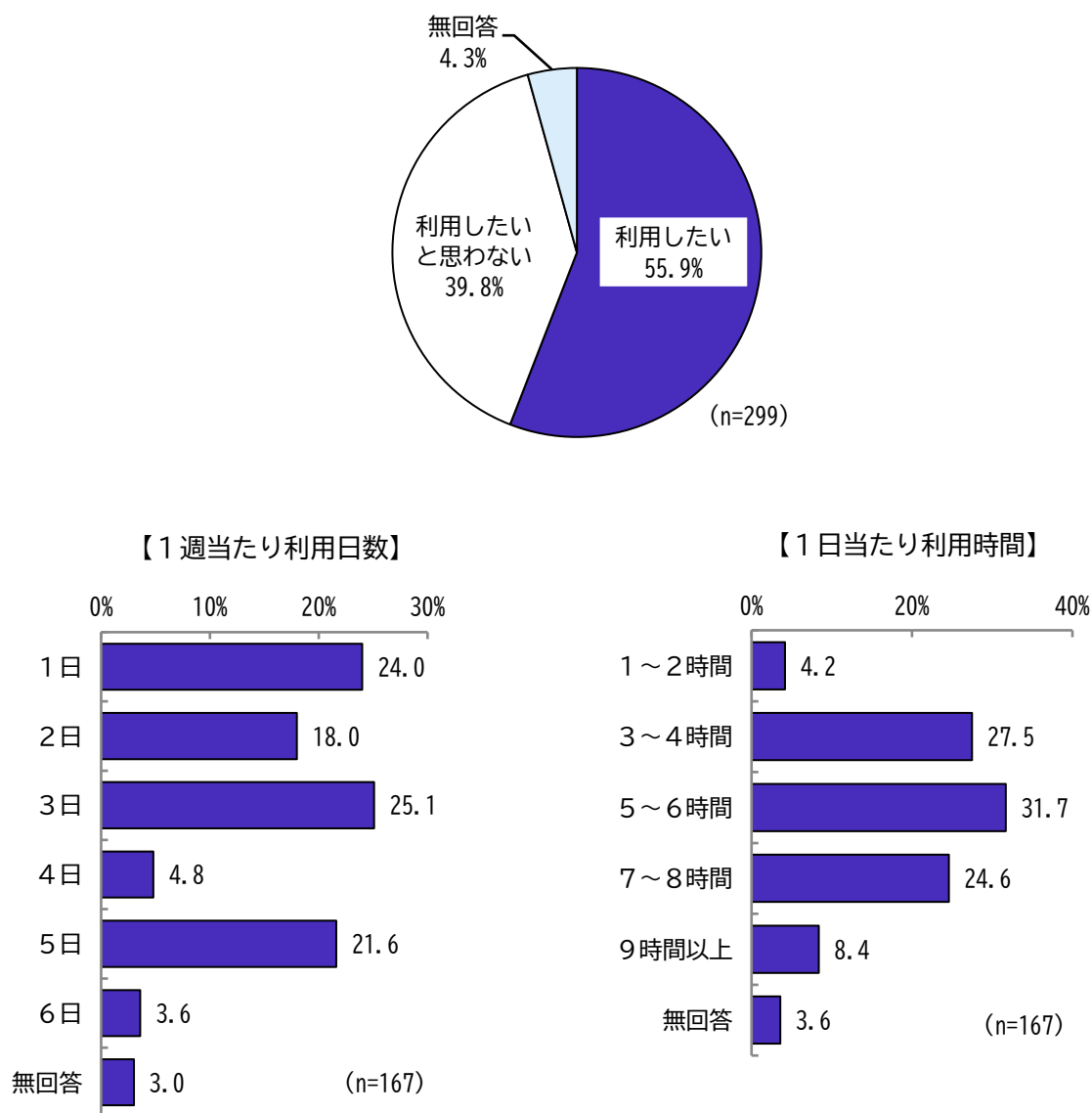
お子さんが0歳～2歳のかたにおうかがいします。

問 28 国が検討している「こども誰でも通園制度(仮称)」が認定こども園・保育所等で開始された場合
利用したいと思いますか。(○は1つ、利用したい場合は希望日数と時間を記入)

「こども誰でも通園制度」の利用希望をみると、「利用したい」が55.9%、「利用したいと思わない」が39.8%となっています。

利用したい人の利用希望日数では、1週当たり「3日」(25.1%)、1日当たり利用時間では「5～6時間」(31.7%)が最も高くなっています。

図表 46 「こども誰でも通園制度」の利用希望(全体)

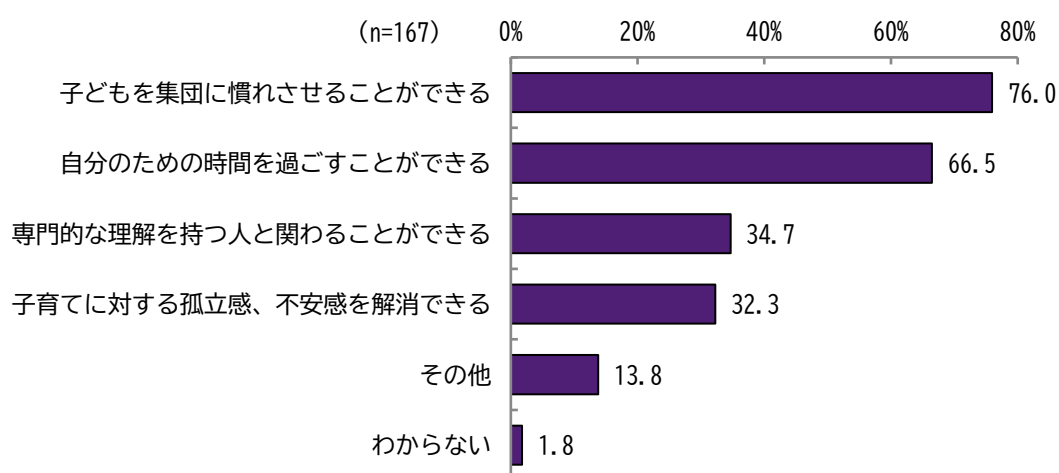


問28で「利用したい」と回答した方におうかがいします。

問29 利用したい理由はありますか。(あてはまるものすべてに○)

「こども誰でも通園制度」を利用したい理由についてみると、「子どもを集団に慣れさせることができる」が76.0%で最も高く、次いで「自分のための時間を過ごすことができる」(66.5%)、「専門的な理解を持つ人と関わることができる」(34.7%)となっています。

図表 47 「こども誰でも通園制度」を利用したい理由（全体／複数回答）



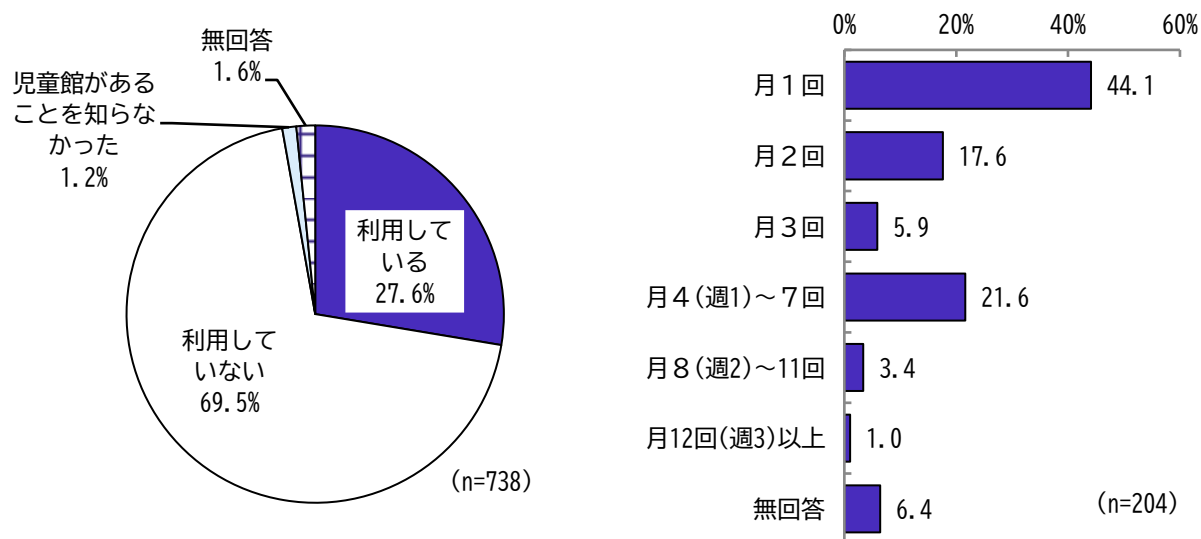
6 地域子育て支援拠点施設等の利用状況について

(1) 児童館・子育てサロンの利用状況について

問 30 あなたは「児童館」を利用していますか。(○は1つ)

児童館の利用状況についてみると、「利用している」が27.6%、「利用していない」が69.5%となっています。また、利用頻度をみると、「月1回」(44.1%)が最も高くなっています。

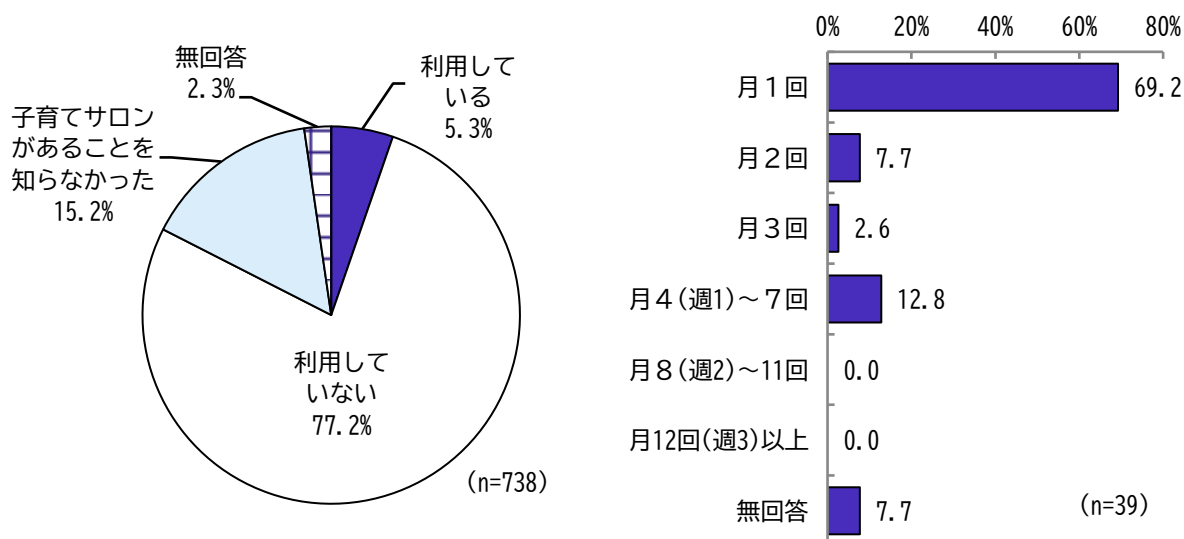
図表 48 児童館の利用状況（全体）



問 31 あなたは「公民館等で実施している子育てサロン」を利用していますか。(○は1つ)

子育てサロンの利用状況についてみると、「利用している」が5.3%、「利用していない」が77.2%、「子育てサロンがあることを知らなかった」が15.2%となっています。また、利用頻度をみると、「月1回」(69.2%)が最も高くなっています。

図表 49 子育てサロンの利用状況（全体、前回比較）



(2) 地域子育て支援拠点施設の利用状況について

現在お子さんが0歳～3歳の方に

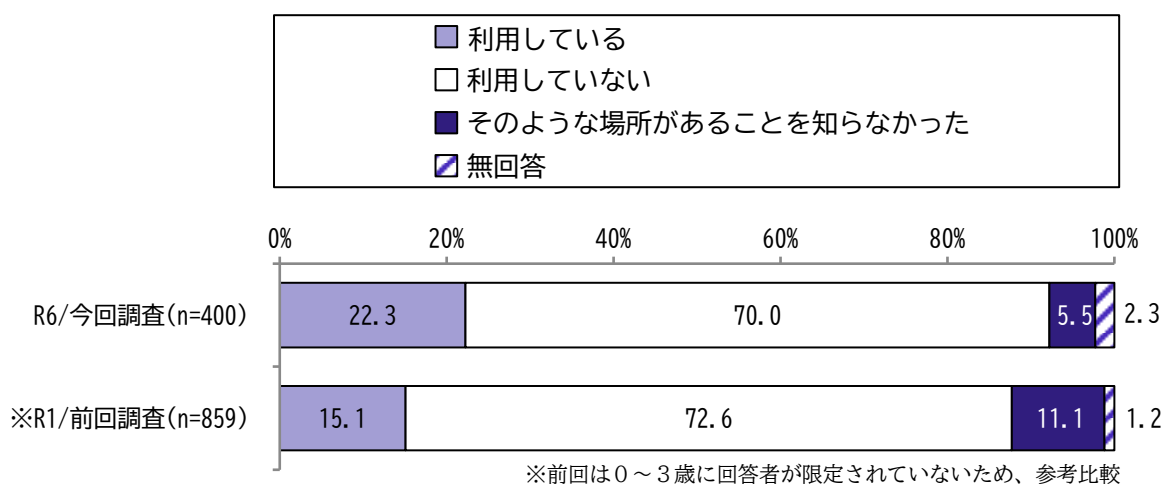
問 32 お子さんは、現在、地域子育て支援拠点施設を利用していますか。(○は1つ)

地域子育て支援拠点施設の利用状況をみると、「利用している」が22.3%、「利用していない」が70.0%、「そのような場所があることを知らなかった」が5.5%となっています。

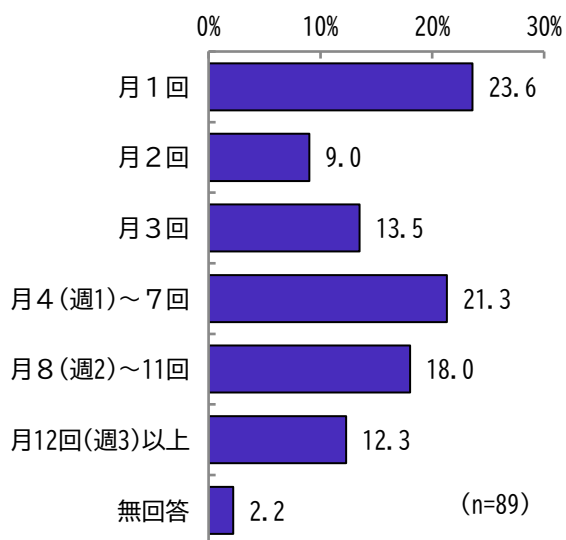
前回調査と比較すると、「利用している」が7.2ポイント増加しています。

また、地域子育て支援拠点施設の利用頻度は、「月1回」(23.6%)が最も高くなっています。

図表 50 地域子育て支援拠点施設の利用状況（全体、前回比較）



図表 51 利用者の利用回数（全体）



現在お子さんが0歳～3歳の方に

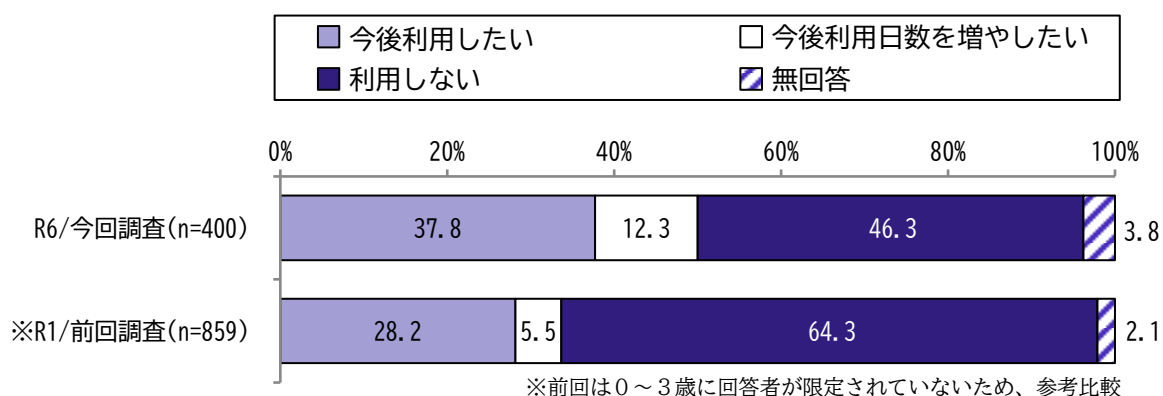
問 33 今後、地域子育て支援拠点施設を利用してみたいと思いますか。(○は1つ)

地域子育て支援拠点施設の利用希望についてみると、「今後利用したい」が37.8%、「今後利用日数を増やしたい」が12.3%となっています。一方、「利用しない」は46.3%となっています。

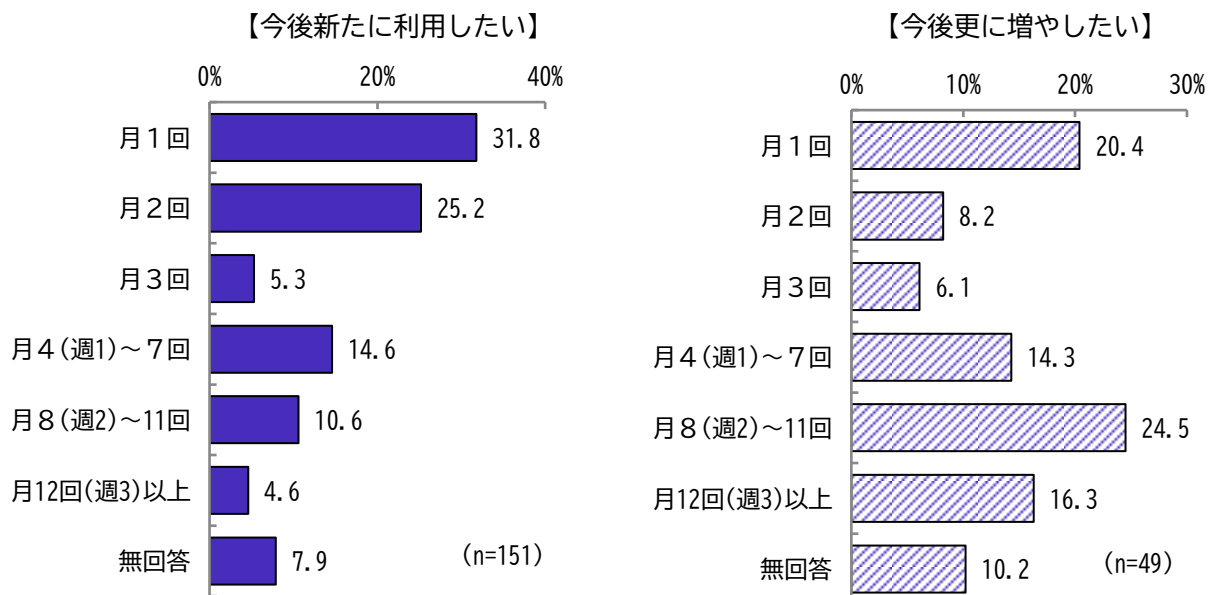
前回調査と比較すると、「利用しない」が18.0ポイント減少しています。

また、今後の利用希望回数は、新たに利用したい人で「月1回」(31.8%)、回数を増やしたい人で「月8(週2)～11回」(24.5%)がそれぞれ最も高くなっています。

図表 52 今後の地域子育て支援拠点施設の利用希望（全体、前回比較）



図表 53 今後の利用希望回数（全体）



7 子どもが病気の時の対応について

(1) 通常の教育・保育事業が利用できない場合の対処方法

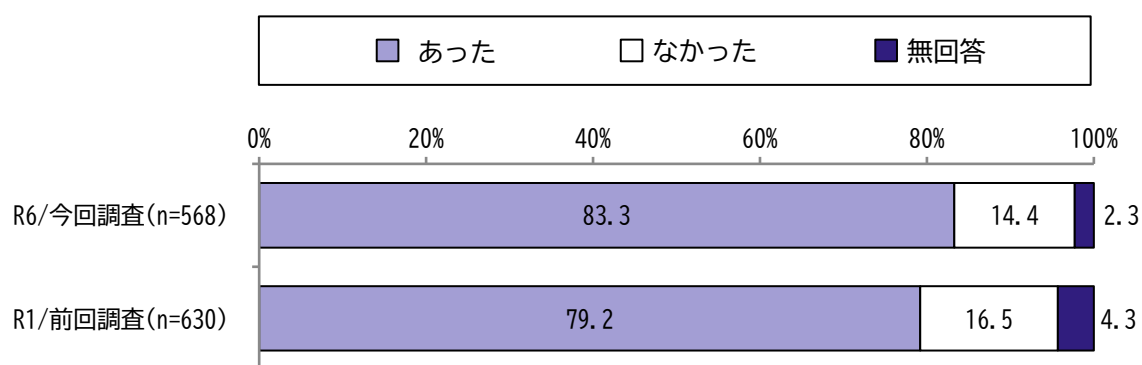
問 21 で保育所・幼稚園などを「利用している」と回答した方

問 34 最近1年間に、お子さんが病気やケガで保育所や幼稚園などを利用できなかったことがありますか。
(〇は1つ)

子どもが病気等で普段の教育・保育の事業が利用できなかったことがあるかについてみると、「あった」が83.3%、「なかった」が14.4%となっています。

前回調査と比較すると、「あった」が4.1ポイント増加しています。

図表 54 子どもが病気等で通常の教育・保育事業が利用できなかった経験（全体、前回比較）



問 34 で「あった」と回答した方にうかがいます。

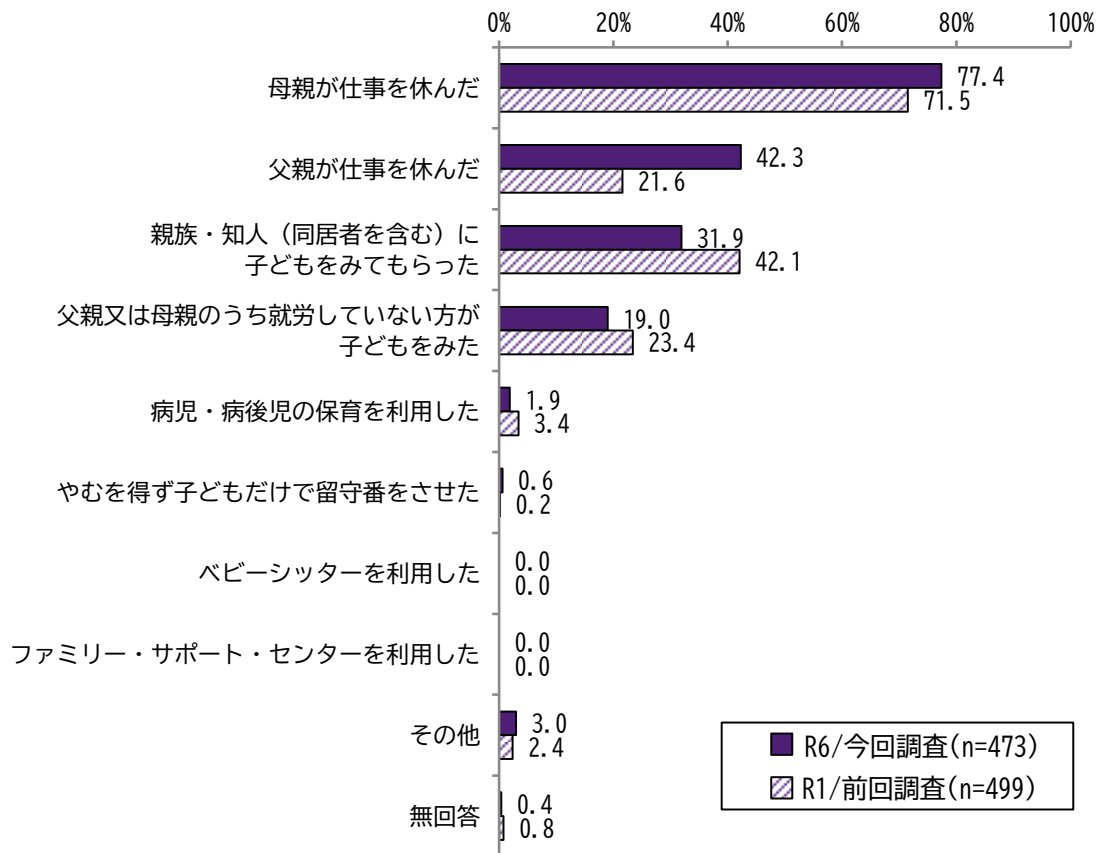
問 35 お子さんが、病気やケガで保育所や幼稚園などを利用できなかった時、どのように対処されましたか。また、その時の日数は何日くらいでしたか。(あてはまるものすべてに○)

子どもの病気等で、教育・保育の事業が利用できなかった際の対処方法についてみると、「母親が仕事を休んだ」(77.4%)が最も高く、次いで「父親が仕事を休んだ」(42.3%)となっています。

前回調査と比較すると、「父親が仕事を休んだ」が20.7ポイント増加しています。

また、対処方法別日数をみると、母親が仕事を休んだ場合では、年間「6～10日」、父親が仕事を休んだ場合では年間「5日」が最も高くなっています。

図表 55 通常の教育・保育事業が利用できなかった際の対応方法（全体、前回比較／複数回答）



図表 56 通常の教育・保育事業が利用できなかった際の対応方法別日数（年間）（全体／複数回答）

上段：回答者数（人） 下段：構成比（%）	全体	1日	2日	3日	4日	5日	6～10日	11～20日	21日以上	無回答
母親が仕事を休んだ	366 100.0	5 1.4	12 3.3	18 4.9	2 0.5	42 11.5	120 32.8	108 29.5	40 10.9	19 5.2
父親が仕事を休んだ	200 100.0	20 10.0	27 13.5	44 22.0	3 1.5	49 24.5	38 19.0	10 5.0	-	9 4.5
親族・知人（同居者を含む） に子どもをみてもらった	151 100.0	6 4.0	13 8.6	23 15.2	2 1.3	28 18.5	43 28.5	25 16.6	5 3.3	6 4.0
父親又は母親のうち就労して いない方が子どもをみた	90 100.0	3 3.3	2 2.2	3 3.3	3 3.3	9 10.0	32 35.6	16 17.8	18 20.0	4 4.4
病児・病後児の保育を利用した	9 100.0	1 11.1	1 11.1	-	1 11.1	1 11.1	1 11.1	3 33.3	-	1 11.1
やむを得ず子どもだけで 留守番をさせた	3 100.0	1 33.3	-	1 33.3	-	-	-	-	-	1 33.3
その他	14 100.0	-	-	1 7.1	-	2 14.3	8 57.1	-	1 7.1	2 14.3

※ベビーシッター、ファミリー・サポート・センターの回答者は無し

(2) 病児・病後児保育施設等の利用希望

問 35 で「母親が仕事を休んだ」「父親が仕事を休んだ」と回答した方

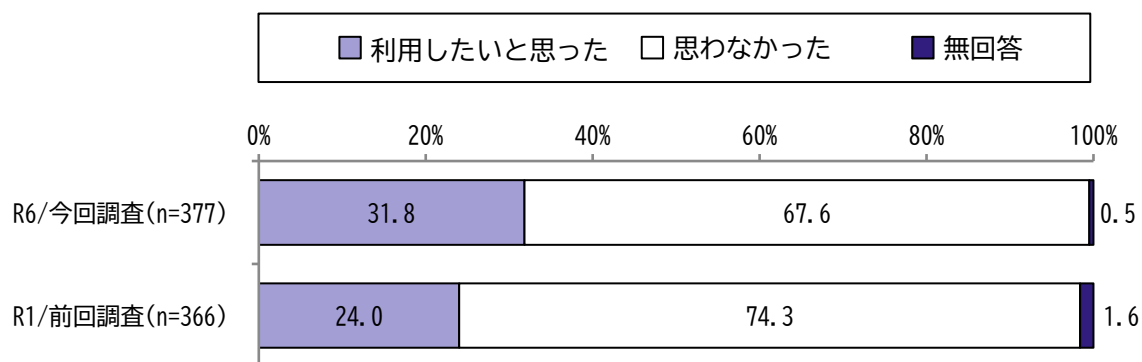
問 36 保護者が仕事を休んだ時、『病児・病後児のための保育施設等』があれば利用したいと思いましたか。
(○は1つ)

保護者が仕事を休んだ場合に、病児・病後児のための保育施設等を利用したいかについてみると、「利用したいと思った」が31.8%、「思わなかった」が67.6%となっています。

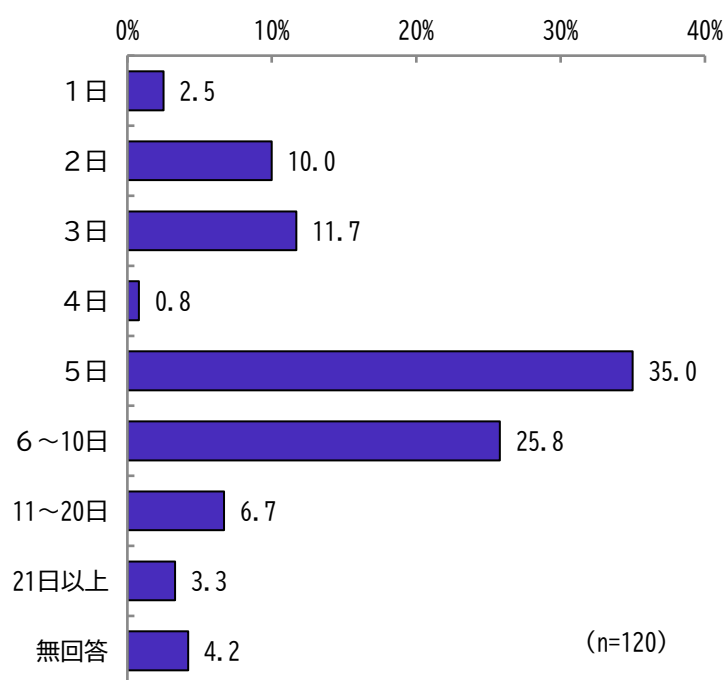
前回調査と比較すると、「利用したいと思った」が7.8 ポイント増加しています。

また、利用希望日数をみると、「5日」(35.0%) が最も高くなっています。

図表 57 病児・病後児保育施設等の利用希望（全体、前回比較）



図表 58 利用希望日数（全体）



8 子どもの一時預かりなどについて

(1) 不定期的に利用している事業について

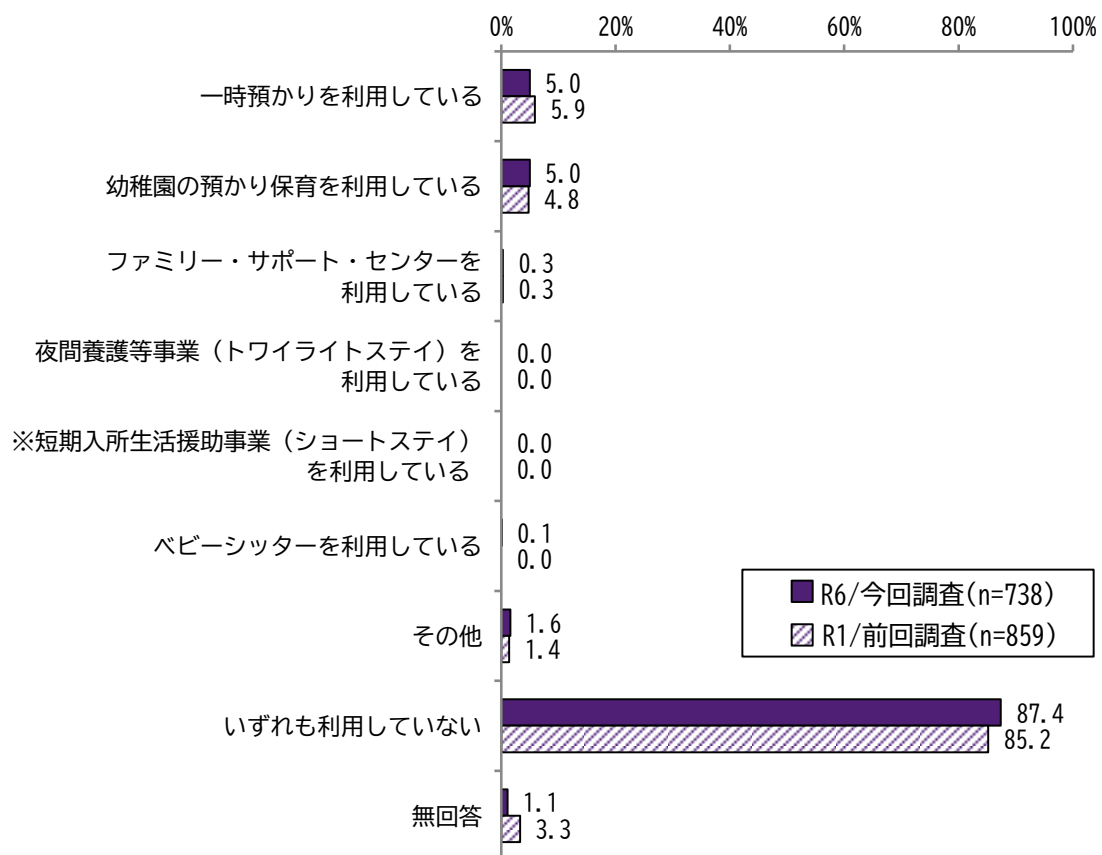
問 37 保護者の私用や通院、突発的な仕事や冠婚葬祭などの理由で、お子さんを、一時的にどこかに預けなければならない場合、一時預かり保育などを利用していますか。利用している場合、その時の日数は1年間で、およそ何日くらいですか。(あてはまるものすべてに○)

私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期的に利用されている事業についてみると、「いずれも利用していない」が87.4%となっています。一方、利用している事業としては、「一時預かりを利用している」「幼稚園の預かり保育を利用している」がともに5.0%となっています。

前回調査と比較すると、「いずれも利用していない」が2.2ポイント増加しています。

また、不定期的に利用している事業の利用日数については、一時預かりでは、年間「1日」「21日以上」、幼稚園の預かり保育では、年間「21日以上」が最も高くなっています。

図表 59 不定期的に利用している事業（全体、前回比較／複数回答）



※前回調査では「短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用している」の選択肢は無し

図表 60 事業別利用日数（年間）

上段：回答者数（人） 下段：構成比（％）	全体	1日	2日	3日	4日	5日	6～10日	11～20日	21日以上	無回答
一時預かり	37 100.0	6 16.2	5 13.5	2 5.4	-	4 10.8	5 13.5	5 13.5	6 16.2	4 10.8
幼稚園の預かり保育	37 100.0	-	1 2.7	3 8.1	1 2.7	7 18.9	6 16.2	3 8.1	8 21.6	8 21.6
ファミリー・サポート・センター	2 100.0	-	1 50.0	-	-	-	-	-	-	1 50.0
ベビーシッター	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-
その他	12 100.0	-	-	-	-	2 16.7	3 25.0	-	2 16.7	5 41.7

※夜間養護等義業、短期入所生活援助事業の回答者は無し

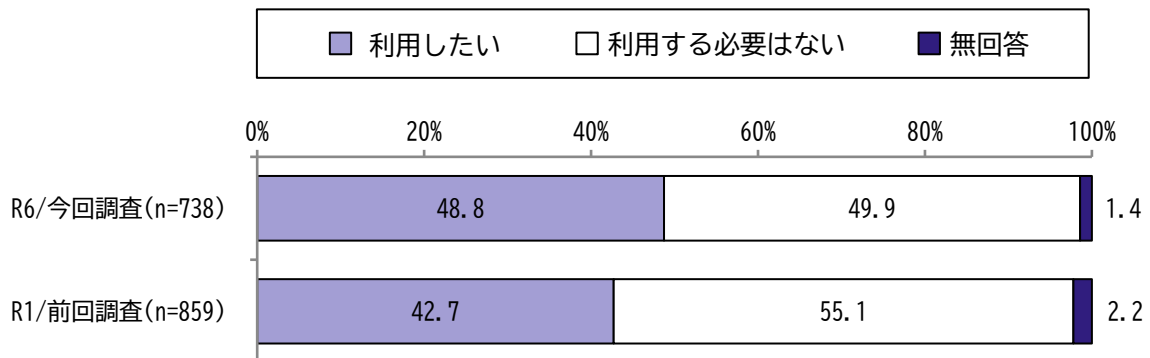
（２）今後の一時預かり事業等の利用希望

問 38 今後、お子さんを一時的に預かってもらえる事業を利用したいと思いますか。（○は1つ）

一時預かりなどの事業の利用希望についてみると、「利用したい」が 48.8%、「利用する必要はない」が 49.9%となっています。

前回調査と比較すると、「利用したい」が 6.1 ポイント増加しています。

図表 61 一時預かりなどの事業の利用希望（全体、前回比較）



問 38 で「利用したい」と回答した方

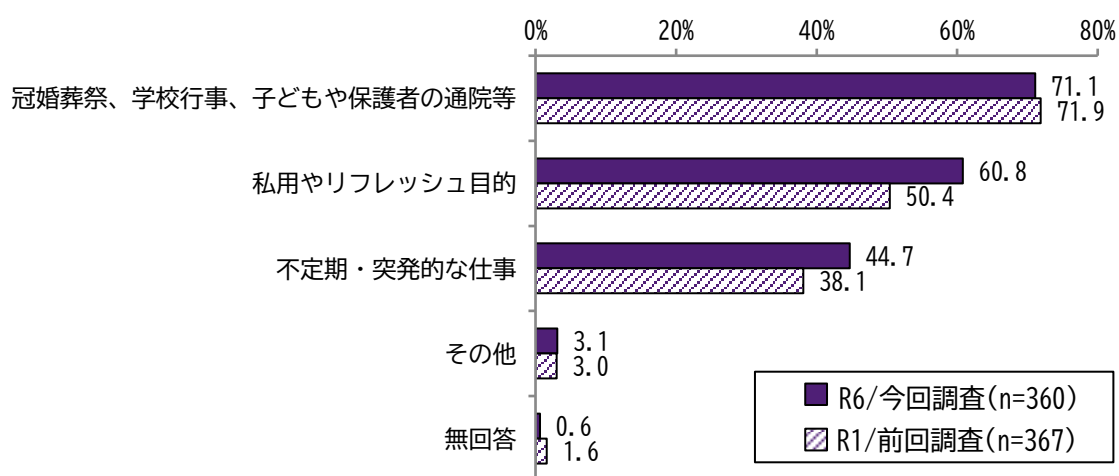
問 39 一時預かり保育等の事業の利用には、どのような場面が想定されますか。また、その時の日数は何日くらいと想定されますか。(あてはまるものすべてに○)

一時預かりなどの事業の利用目的は、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや保護者の通院等」(71.1%)が最も高く、次いで「私用やりフレッシュ目的」(60.8%)、「不定期・突発的な仕事」(44.7%)となっています。

前回調査と比較すると、「私用やりフレッシュ目的」が10.4ポイント増加しています。

理由別利用希望日数をみると、冠婚葬祭等では「5日」「6日～10日」、私用やりフレッシュ目的では年間「6日～10日」、不定期の仕事では「5日」がそれぞれ最も高くなっています。

図表 62 利用したい目的（全体、前回比較／複数回答）



図表 63 理由別利用希望日数（年間）

上段：回答者数（人） 下段：構成比（％）	全体	1日	2日	3日	4日	5日	6～10日	11～20日	21日以上	無回答
冠婚葬祭、学校行事、 子どもや保護者の通院等	256 100.0	15 5.9	18 7.0	47 18.4	6 2.3	59 23.0	59 23.0	18 7.0	6 2.3	28 10.9
私用やりフレッシュ目的	219 100.0	2 0.9	14 6.4	19 8.7	4 1.8	39 17.8	52 23.7	47 21.5	27 12.3	15 6.8
不定期・突発的な仕事	161 100.0	9 5.6	15 9.3	22 13.7	5 3.1	37 23.0	34 21.1	11 6.8	6 3.7	22 13.7
その他	11 100.0	-	-	2 18.2	-	1 9.1	3 27.3	3 27.3	2 18.2	-

9 小学校入学後の放課後の過ごし方について

(1) 低学年での放課後の過ごし方について

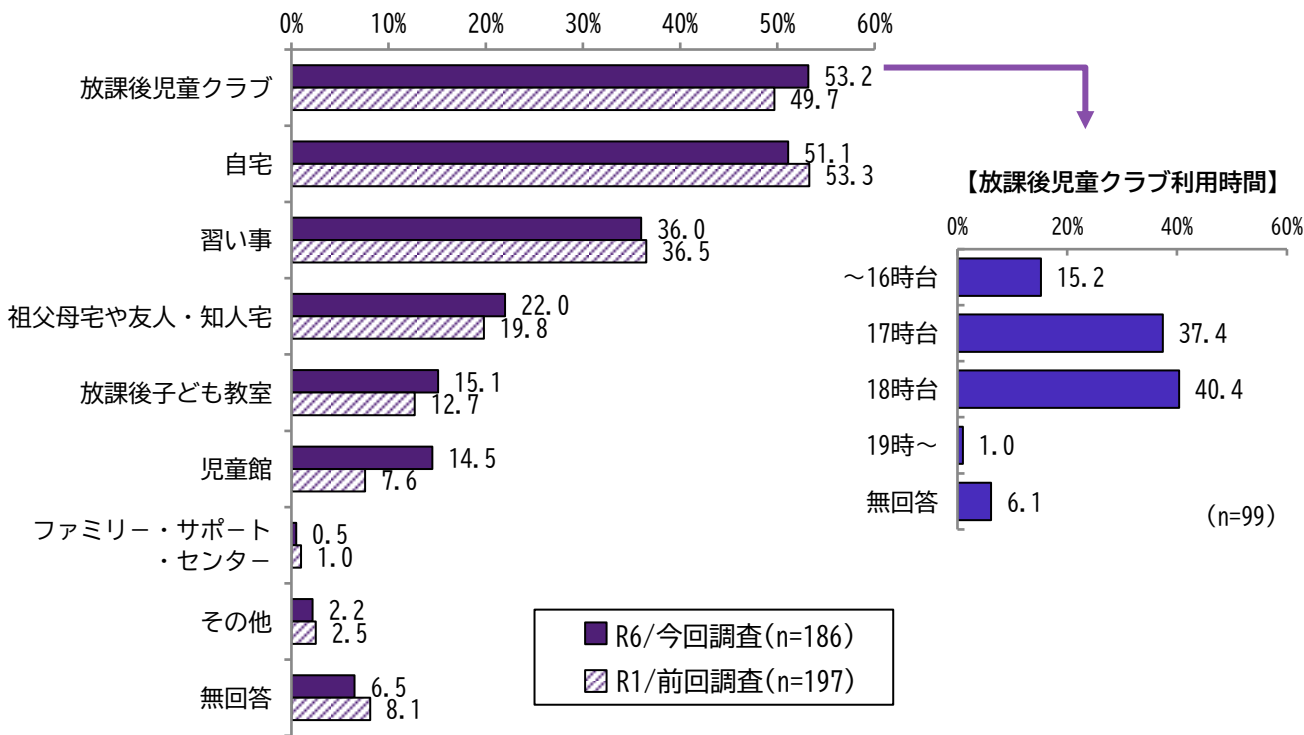
現在お子さんの年齢が5歳以上の方

問 40 小学校低学年のうちは、放課後の時間を、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

小学校低学年の放課後の過ごし方の希望についてみると、「放課後児童クラブ」が 53.2%で最も高くなっています。また、放課後児童クラブの利用希望時間は「18 時台」(40.4%) が最も高くなっています。

また、週当たりの希望日数は、放課後児童クラブ、自宅、放課後子ども教室は「5 日以上」、習い事は「2 日」、祖父母宅や友人・知人宅、児童館は「1 日」、ファミリー・サポート・センターは「3 日」がそれぞれ最も高くなっています。

図表 64 放課後過ごさせたい場所：低学年（全体／複数回答）



図表 65 場所別日数：低学年（週）

上段：回答者数（人） 下段：構成比（%）	全体	1日	2日	3日	4日	5日以上	無回答
放課後児童クラブ	99 100.0	6 6.1	6 6.1	18 18.2	6 6.1	54 54.5	9 9.1
自宅	95 100.0	6 6.3	16 16.8	23 24.2	8 8.4	29 30.5	13 13.7
習い事	67 100.0	21 31.3	34 50.7	5 7.5	2 3.0	-	5 7.5
祖父母宅や友人・知人宅	41 100.0	18 43.9	8 19.5	4 9.8	-	4 9.8	7 17.1
放課後子ども教室	28 100.0	6 21.4	1 3.6	7 25.0	1 3.6	9 32.1	4 14.3
児童館	27 100.0	12 44.4	4 14.8	1 3.7	1 3.7	3 11.1	6 22.2
ファミリー・サポート・センター	1 100.0	-	-	1 100.0	-	-	-
その他	4 100.0	-	-	1 25.0	-	1 25.0	2 50.0

(2) 高学年での放課後の過ごし方について

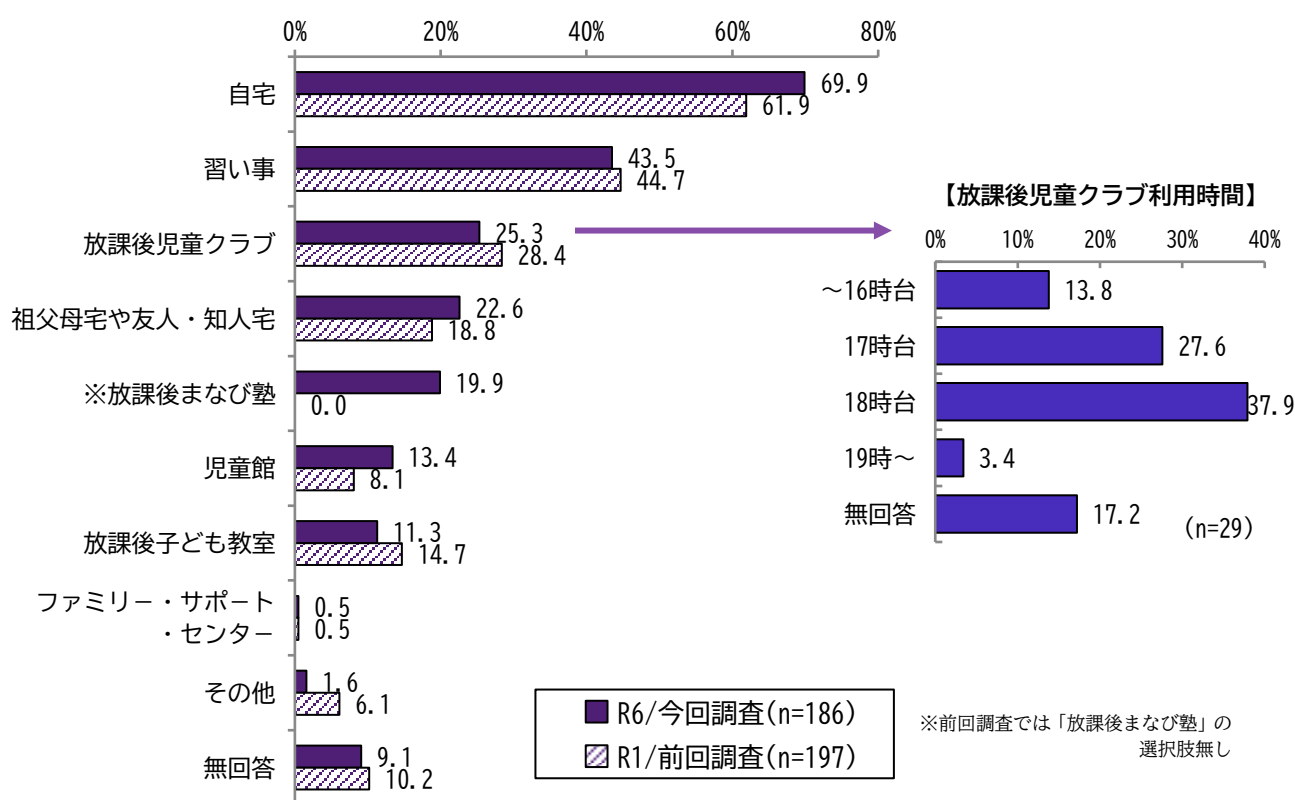
現在お子さんの年齢が5歳以上の方

問 41 それでは、小学校高学年になった場合はいかがですか。先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。(あてはまるものすべてに○)

小学校高学年の放課後の過ごし方の希望については、「自宅」(69.9%)が最も高くなっています。また、放課後児童クラブの利用希望時間は「18時台」(37.9%)が最も高くなっています。

また、週当たりの希望日数は、自宅、放課後児童クラブは「5日以上」、習い事、児童館は「2日」、祖父母宅や友人・知人宅は「1日」、放課後まなび塾、放課後子ども教室、ファミリー・サポート・センターは「3日」がそれぞれ最も高くなっています。

図表 66 放課後過ごさせたい場所：高学年（全体／複数回答）



図表 67 場所別日数：高学年（週）

上段：回答者数（人） 下段：構成比（%）	全体	1日	2日	3日	4日	5日以上	無回答
自宅	130 100.0	8 6.2	22 16.9	26 20.0	9 6.9	55 42.3	10 7.7
習い事	81 100.0	15 18.5	32 39.5	18 22.2	5 6.2	2 2.5	9 11.1
放課後児童クラブ	47 100.0	2 4.3	9 19.1	11 23.4	2 4.3	15 31.9	8 17.0
祖父母宅や友人・知人宅	42 100.0	18 42.9	7 16.7	2 4.8	-	8 19.0	7 16.7
放課後まなび塾	37 100.0	4 10.8	9 24.3	11 29.7	1 2.7	9 24.3	3 8.1
児童館	25 100.0	8 32.0	11 44.0	2 8.0	-	-	4 16.0
放課後子ども教室	21 100.0	4 19.0	4 19.0	7 33.3	-	3 14.3	3 14.3
ファミリー・サポート・センター	1 100.0	-	-	1 100.0	-	-	-
その他	3 100.0	-	-	1 33.3	-	-	2 66.7

10 育児休業について

(1) 母親の育児休業取得状況

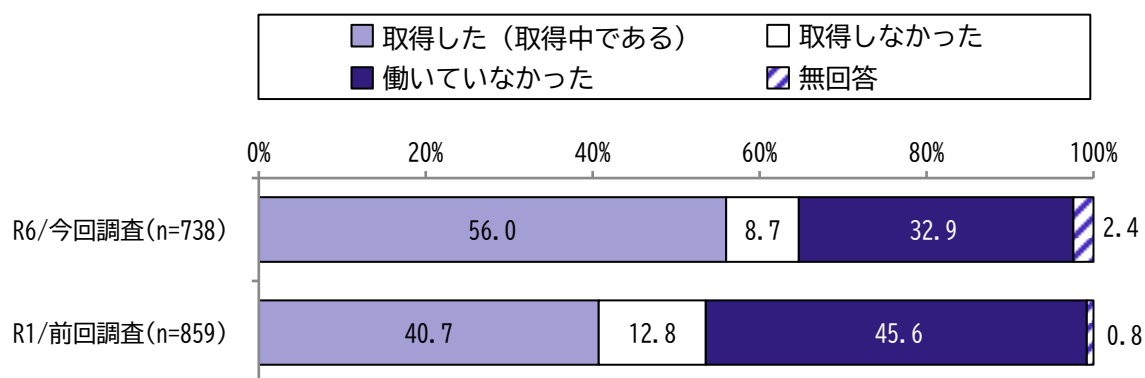
問 42 お子さんが生まれた時、母親は育児休業を取得しましたか。(○は1つ)

母親の育児休業の取得状況についてみると、母親は、「取得した(取得中である)」が 56.0%で最も高く、次いで「働いていなかった」(32.9%)、「取得しなかった」(8.7%)となっています。

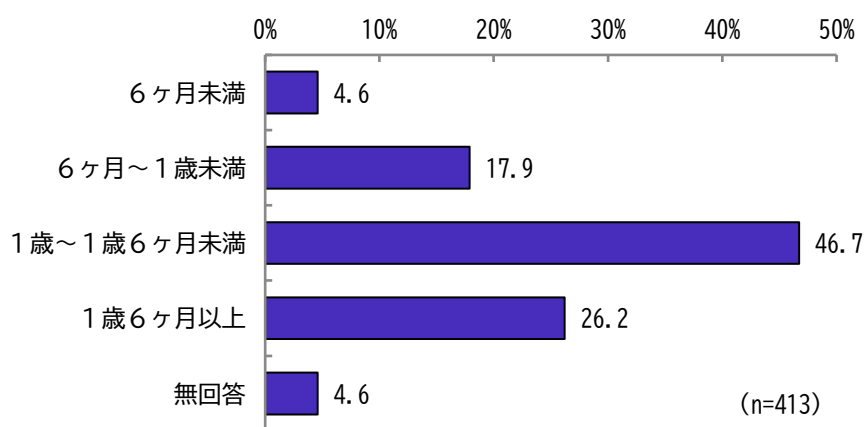
前回調査と比較すると、「取得した(取得中である)」が 15.3 ポイント増加しています。

また、育児休業の取得期間をみると、「1歳～1歳6ヶ月未満」(46.7%)が最も高くなっています。

図表 68 母親の育児休業の取得状況(全体、前回比較)



図表 69 母親の育児休業の取得期間(全体)



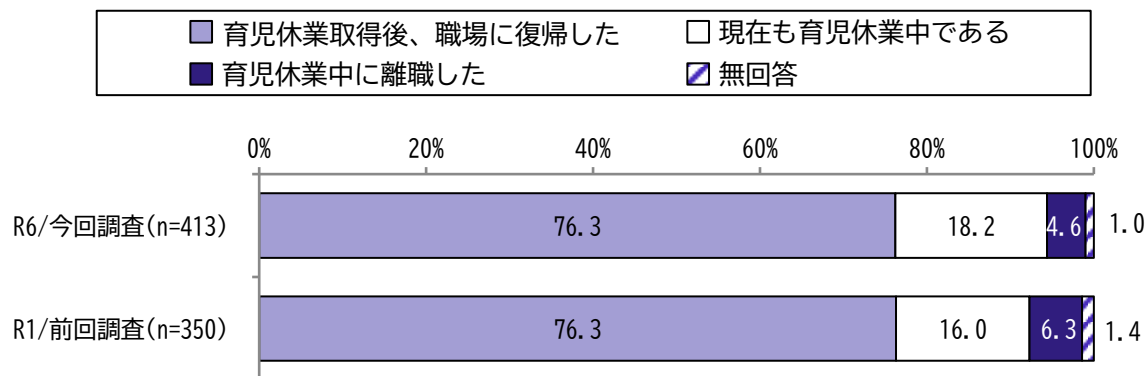
問 42 で「取得した（取得中である）」と回答した方

問 43 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（○は1つ）

育児休業取得後、職場に復帰したかについてみると、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 76.3%となっています。

前回調査と比較すると、「現在も育児休業中である」が 2.2 ポイント増加しています。

図表 70 職場復帰の時期について（全体、前回比較）

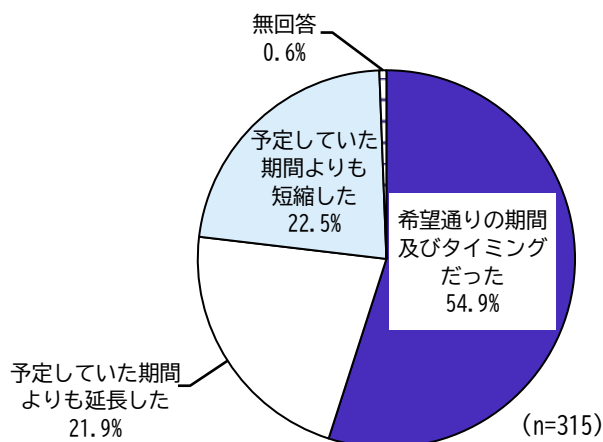


問 43 で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方

問 44 取得した育児休業の期間についてうかがいます。（○は1つ）

育児休業の取得期間についてみると、「希望通りの期間及びタイミングだった」が 54.9%で最も高く、次いで「予定していた期間よりも短縮した」(22.5%)、「予定していた期間よりも延長した」(21.9%)となっています。

図表 71 職場復帰の時期について（全体）



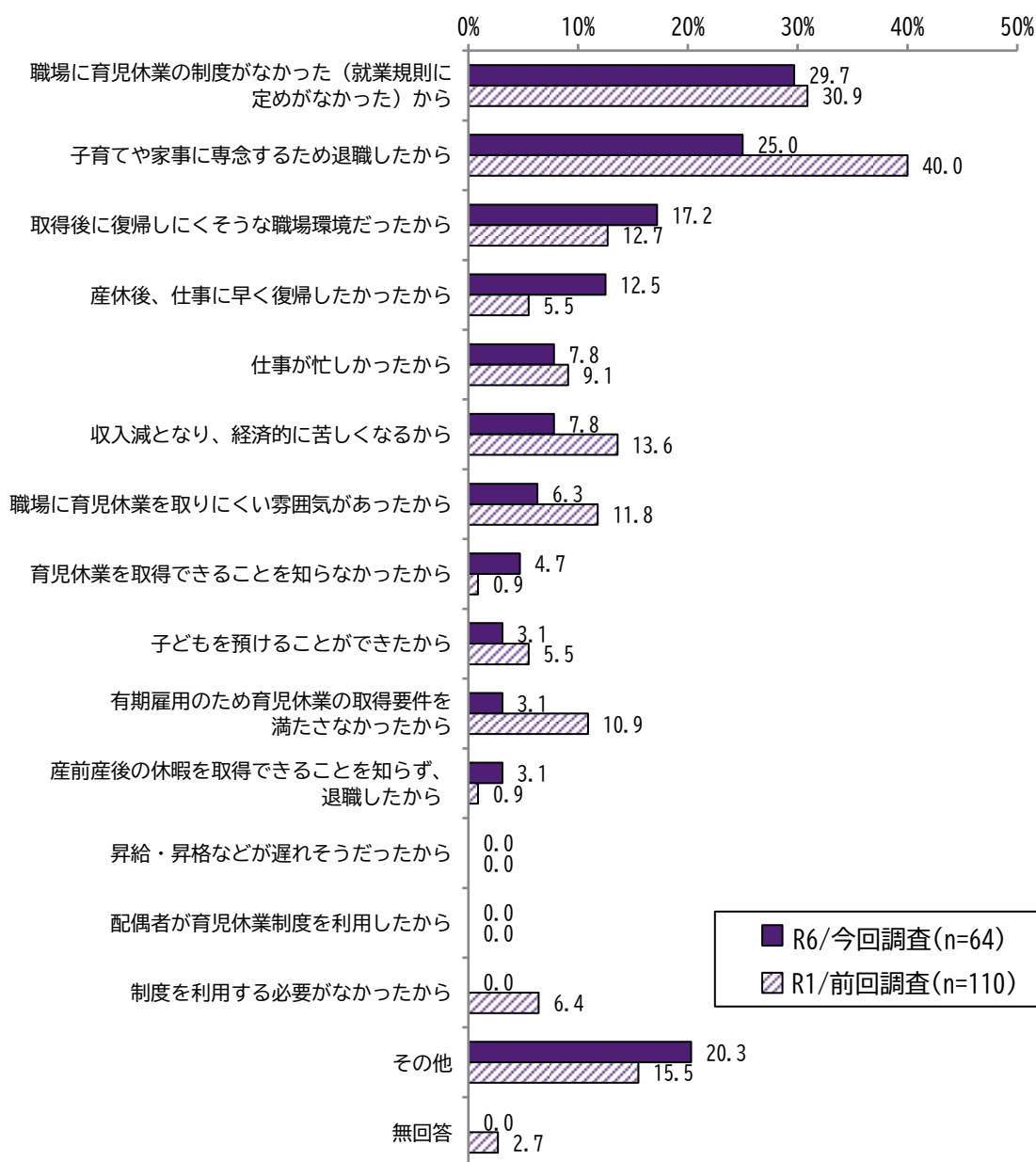
問 42 で「取得しなかった」と回答した方

問 45 母親が育児休業を取得しなかったのは、どのような理由からですか。(あてはまるものすべてに○)

母親が育児休業を取得しなかった理由をみると、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）から」が 29.7%で最も高く、次いで「子育てや家事に専念するため退職したから」（25.0%）、「取得後に復帰しにくそうな職場環境だったから」（17.2%）となっています。

前回調査と比較すると、「子育てや家事に専念するため退職したから」が 15.0 ポイント減少しています。

図表 72 母親が育児休業を取得しなかった理由（全体、前回比較／複数回答）



(2) 父親の育児休業取得状況

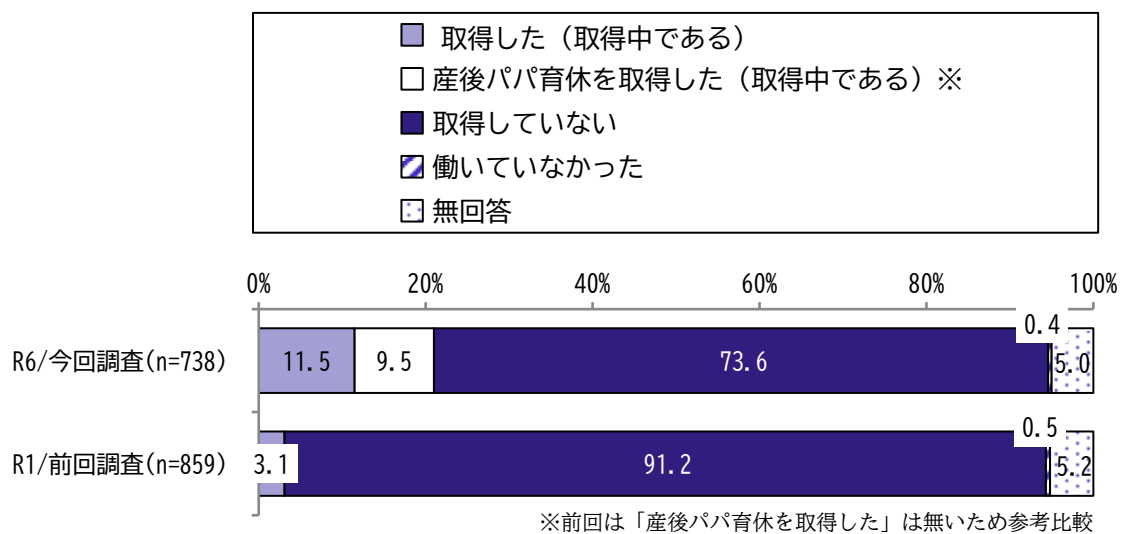
問 46 お子さんが生まれた時、父親は育児休業を取得しましたか。(○は1つ)

父親の育児休業の取得状況についてみると、「取得していない」が 73.6%で最も高く、次いで「取得した（取得中である）」（11.5%）、「産後パパ育休を取得した（取得中である）」（9.5%）となっています。

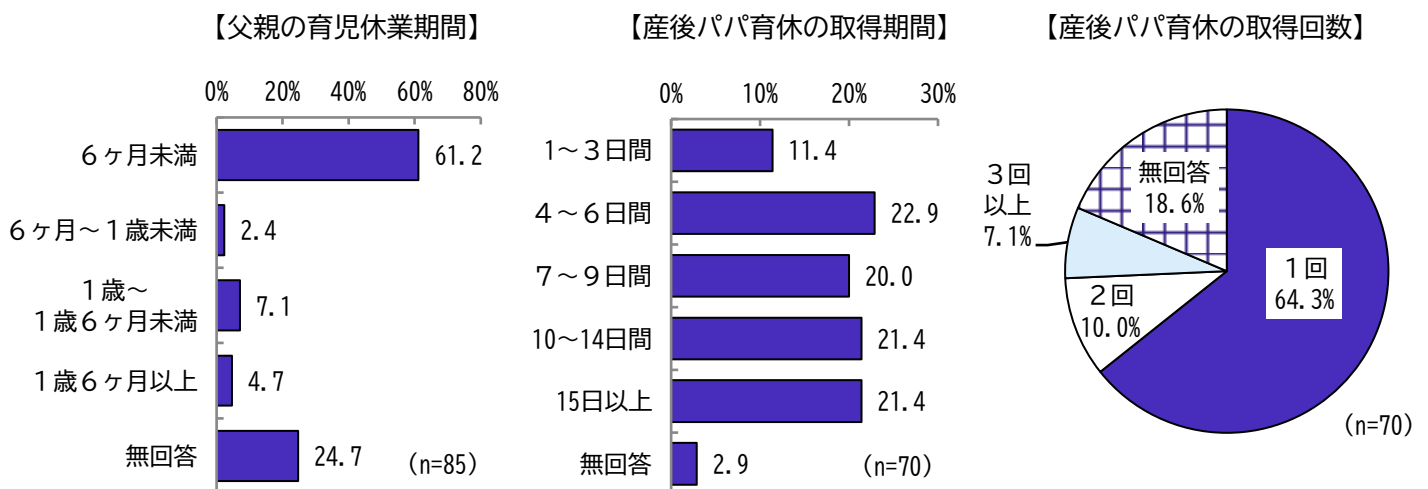
前回調査と比較すると、「取得していない」が 17.6 ポイント減少しています。

また、育児休業の取得期間は「6 ヶ月未満」が最も高く、産後パパ育休の取得期間は「4～6 日」、取得回数は「1 回」が最も高くなっています。

図表 73 父親の育児休業の取得状況（全体、前回比較）



図表 74 父親の育児休業と産後パパ育休の取得期間（全体）



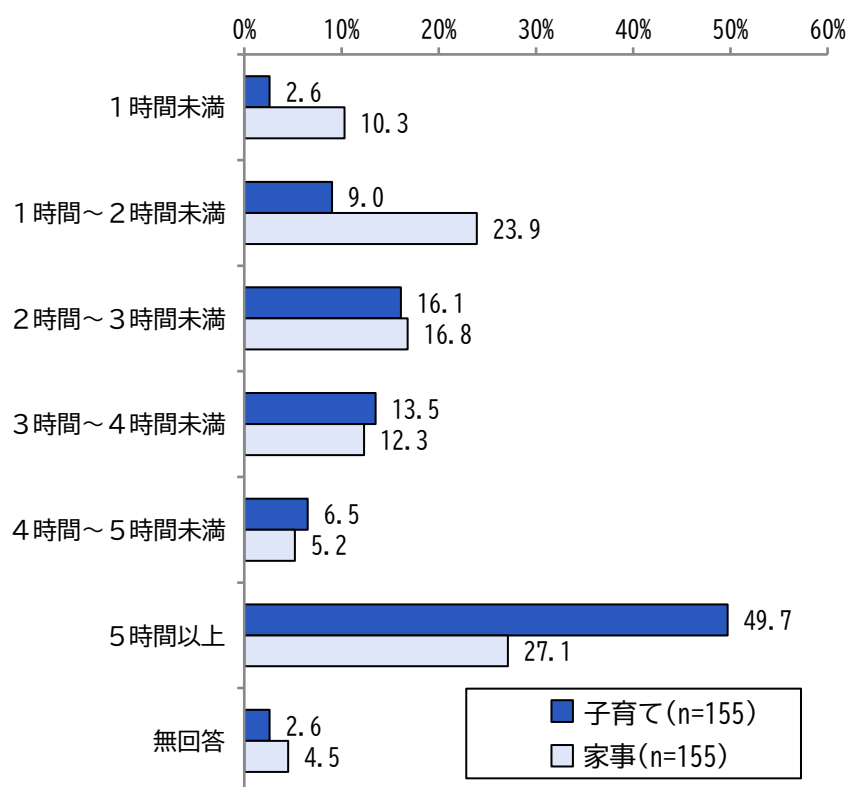
問 46 で「取得した（取得中である）」「産後パパ育児休を取得した（取得中である）」と回答した方

問 47 父親が育児休業中に 1 日あたりどれぐらいの時間、子育て及び家事を行いましたか。

（○はそれぞれ 1 つ）

育児休業中の父親が、1 日あたり子育て及び家事を行った時間についてみると、子育て、家事いずれも「5 時間以上」が最も高くなっています。

図表 75 父親が 1 日あたり子育て及び家事を行った時間（全体）

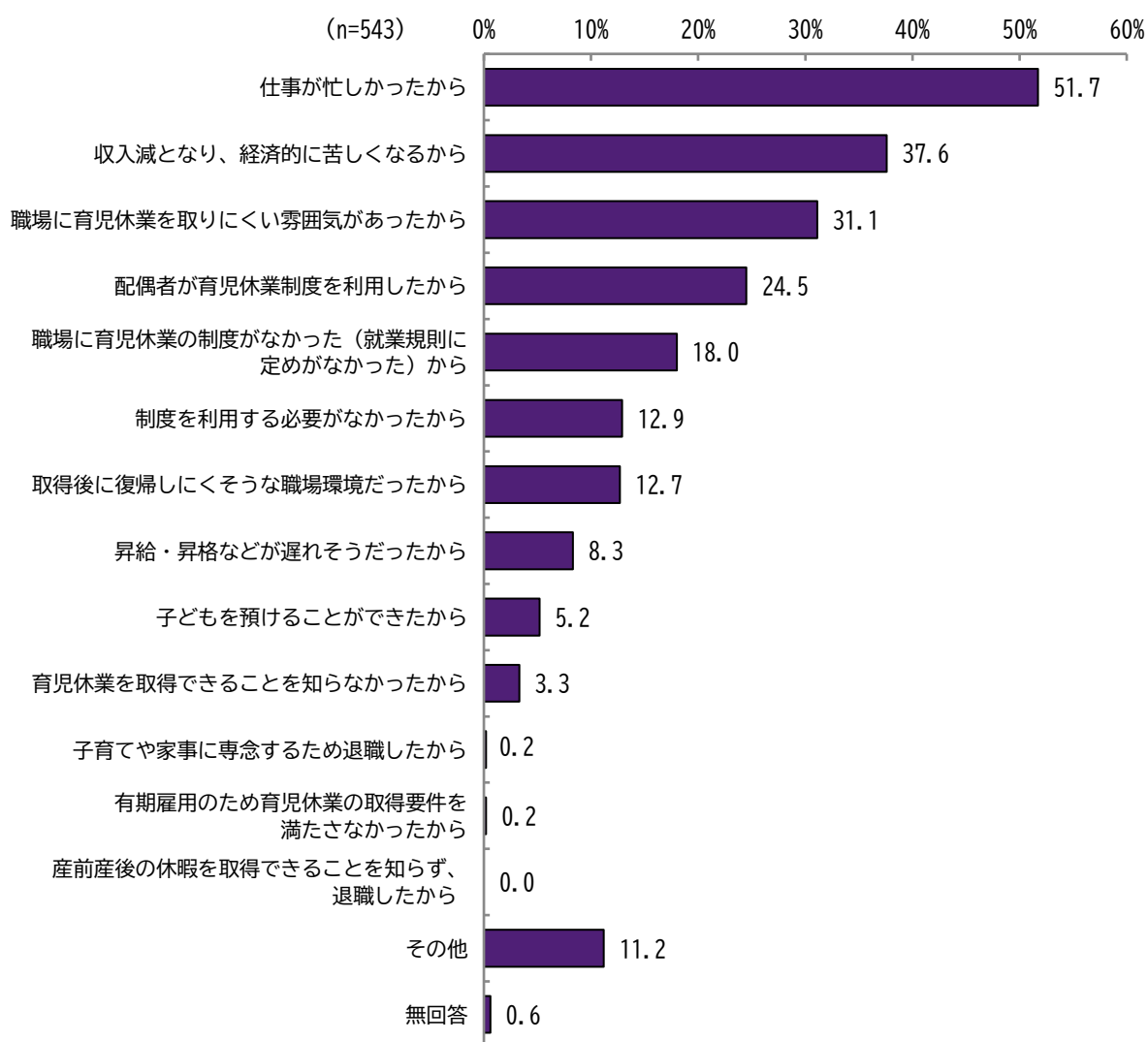


問 46 で「取得しなかった」と回答した方

問 48 父親が育児休業を取得しなかったのは、どのような理由からですか。(あてはまるものすべてに○)

父親が育児休業を取得しなかった理由をみると、「仕事が忙しかったから」が 51.7%で最も高く、次いで「収入減となり、経済的に苦しくなるから」(37.6%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があったから」(31.1%)となっています。

図表 76 父親が育児休業を取得しなかった理由（全体／複数回答）



11 子育て全般について

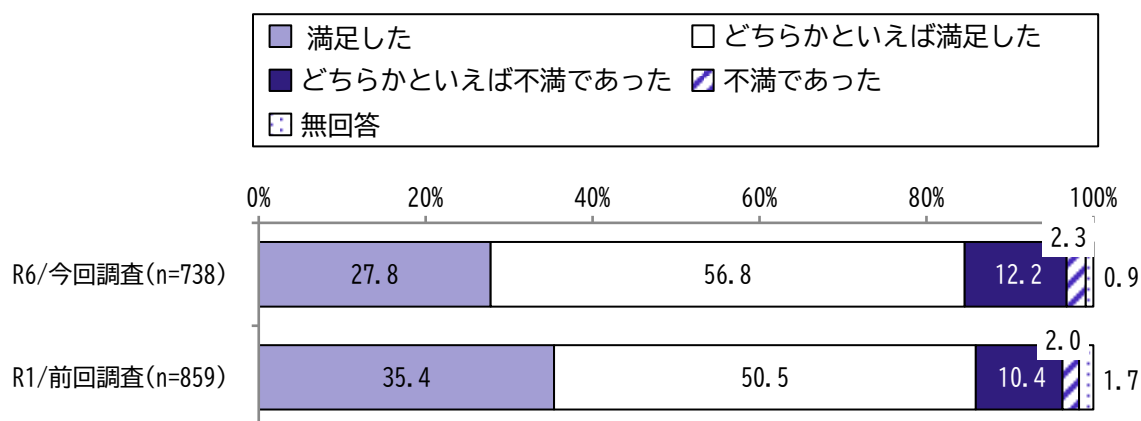
(1) 妊娠中・出産時の情報提供についての満足度

問 49 お子さんの母親は、お子さんの妊娠中・出産時の情報提供や相談体制について満足されましたか。
(○は1つ)

妊娠中・出産時の情報提供についての満足度をみると、「どちらかといえば満足した」が 56.8%で最も高く、「満足した」(27.8%)を合わせると 84.6%が妊娠中・出産時の情報提供について満足しています。

前回調査と比較すると、「満足した」が 7.6 ポイント減少しています。

図表 77 妊娠中・出産時の情報提供についての満足度（全体、前回比較）

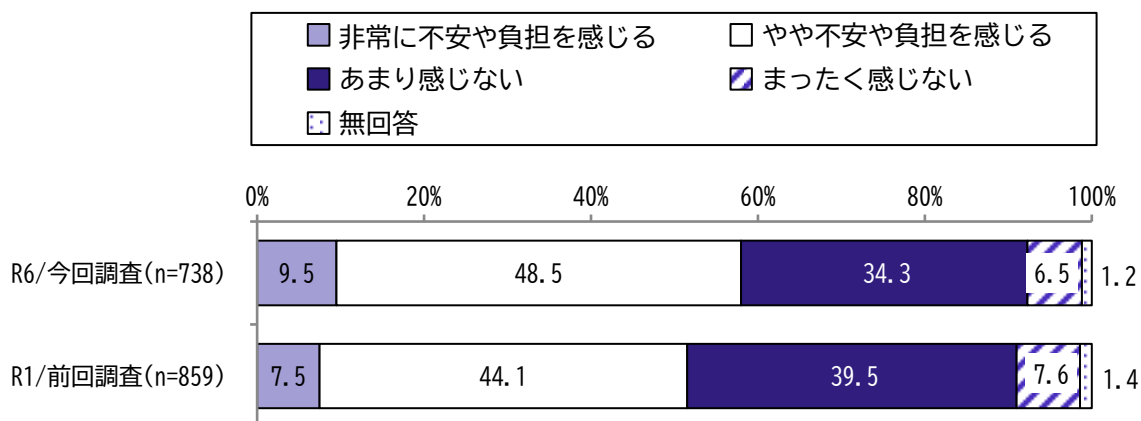


問 50 子育てに関して、不安や負担を感じることがありますか。(○は1つ)

子育てに関する不安の有無をみると、「やや不安や負担を感じる」が 48.5%で最も高く、「非常に不安や負担を感じる」(9.5%)を合わせると、58.0%が子育てに関して不安や負担を感じています。

前回調査と比較すると、「あまり感じない」が 5.2 ポイント減少しています。

図表 78 子育てに関する不安の有無（全体、前回比較）



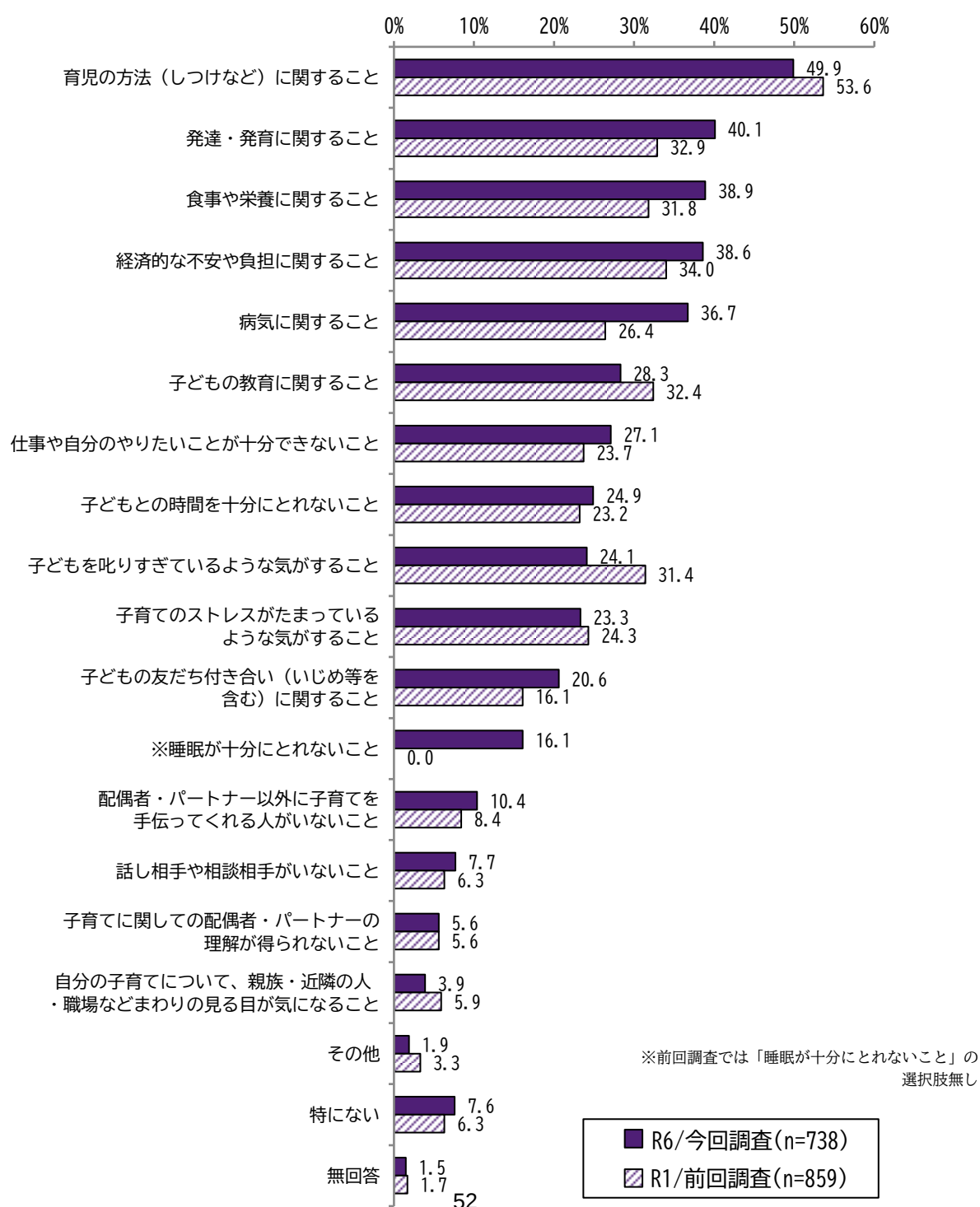
(2) 子育てに関する悩みや相談相手について

問51 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

子育てに関する悩みや気になることについてみると、「育児の方法（しつけなど）に関すること」が49.9%で最も高く、次いで「発達・発育に関すること」（40.1%）、「食事や栄養に関すること」（38.9%）となっています。

前回調査と比較すると、「病気に関すること」が10.3ポイント増加しています。

図表 79 子育てに関する悩み（全体、前回比較／複数回答）

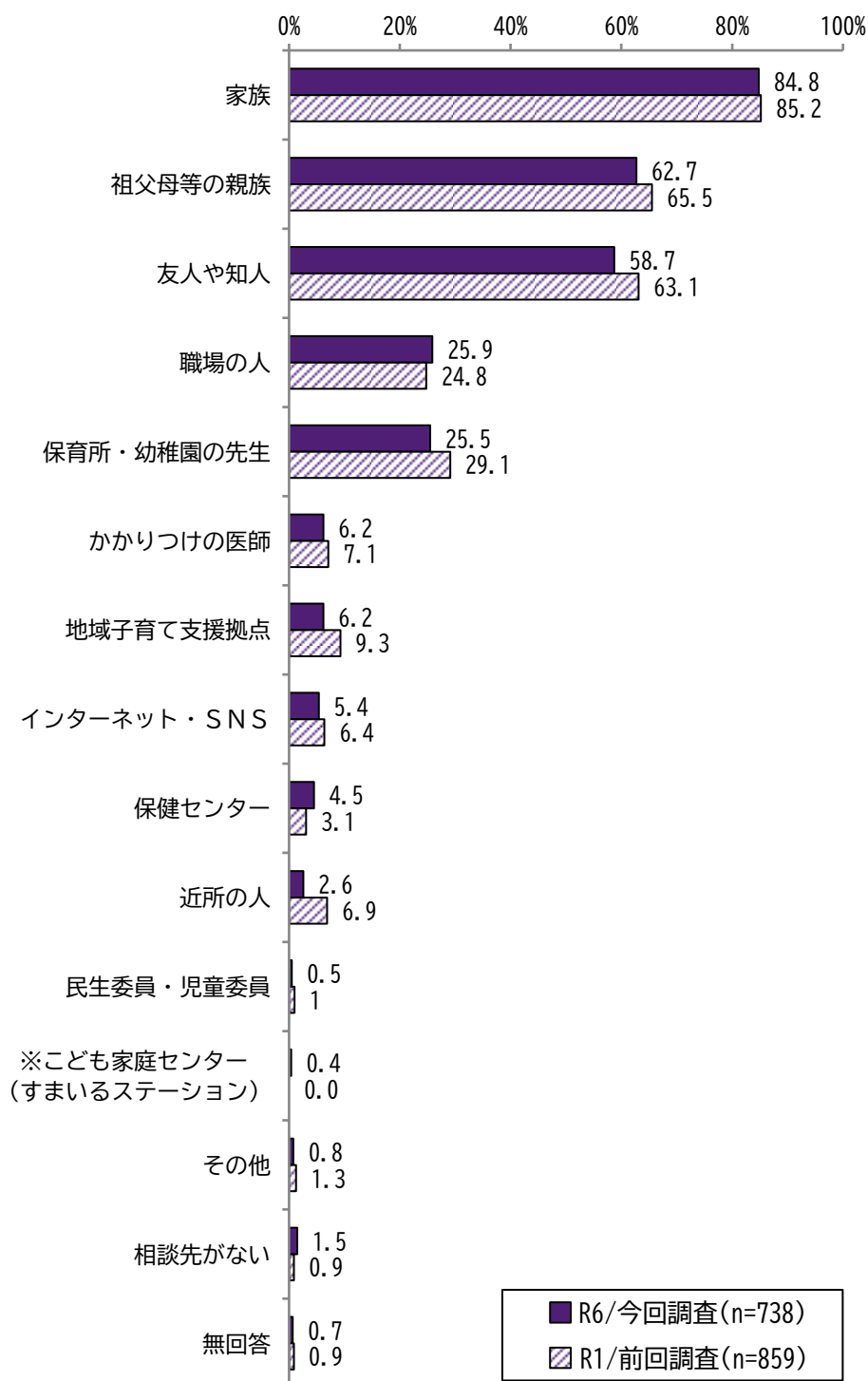


問 52 子育てする上で、気軽に相談できる人は誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

子育てをする上で、気軽に相談できる相手を見ると、「家族」が 84.8%で最も高く、次いで「祖父母等の親族」(62.7%)、「友人や知人」(58.7%)となっており、上位2項目は親族が占めています。

前回調査と比較すると、「友人や知人」が4.4ポイント減少しています。

図表 80 子育てする上での相談先・相談相手（全体、前回比較／複数回答）



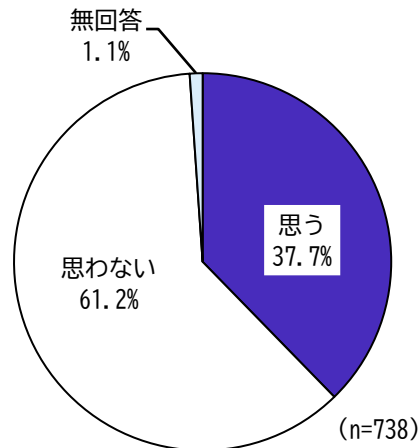
※前回調査では「こども家庭センター」の選択肢無し

(3) 家事代行・育児支援サービスの利用希望

問 53 あなたは、親族などからの援助を受けることができない場合など、「家事代行・育児支援サービス」などを利用したいと思いますか。(〇は1つ)

家事代行・育児支援サービスの利用希望をみると、「思う」が37.7%、「思わない」が61.2%となっています。

図表 81 家事代行・育児支援サービスの利用希望（全体）

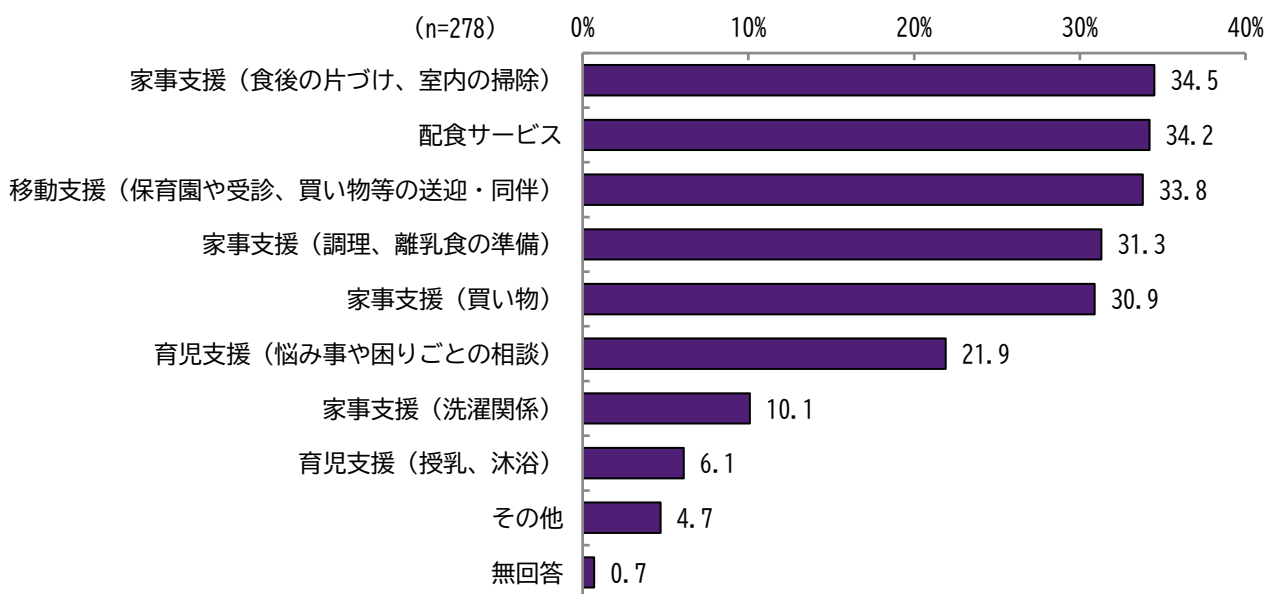


問 53 で「思う」と回答した方

問 54 あなたが家事代行・育児支援サービスの内容として、利用したい内容はどのようなことですか。

利用したい家事代行・育児支援サービスをみると、「家事支援（食後の片づけ、室内の掃除）」が34.5%で最も高く、次いで「配食サービス」（34.2%）、「移動支援（保育園や受診、買い物等の送迎・同伴）」（33.8%）となっています。

図表 82 利用したい家事代行・育児支援サービス（全体／複数回答）



利用したい家事代行・育児支援サービスの利用希望日数をみると、家事支援（食後の片づけ、室内の掃除）、家事支援（買い物）、家事支援（洗濯関係）、育児支援（授乳、沐浴）は「月4（週1）～月7回」、配食サービスは「月8（週2）～月11回」「月16（週4）～月19回」、移動支援（保育園や受診、買い物等の送迎・同伴）は「月4（週1）～月7回」「月8（週2）～月11回」、家事支援（調理、離乳食の準備）は「月16（週4）～月19回」、育児支援（悩み事や困りごとの相談）は「月1回」がそれぞれ最も高くなっています。

図表 83 利用したい家事代行・育児支援サービスの利用日数（全体）

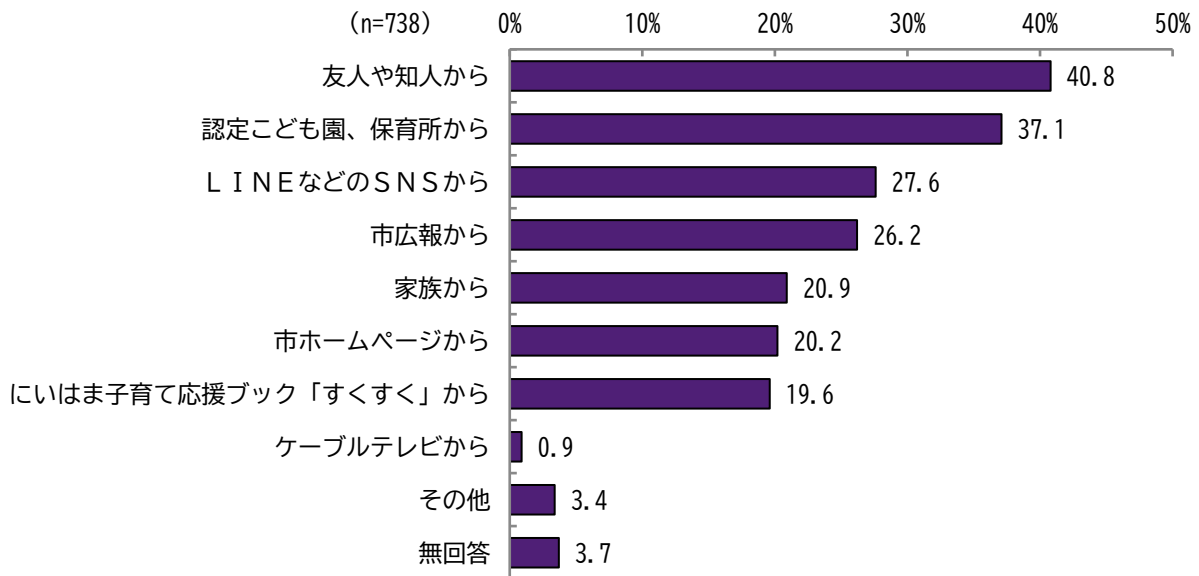
	全体	年に 1～5回	年に 6～11回	月1回	月2回	月3回	月4 (週1) ～月7回	月8 (週2) ～月11回	月12 (週3) ～月15回	月16 (週4) ～月19回	月20 (週5) 回以上	無回答
上段：回答者数（人） 下段：構成比（％）												
家事支援（食後の 片づけ、室内の掃除）	96	6	2	16	11	2	30	19	3	-	3	4
	100.0	6.3	2.1	16.7	11.5	2.1	31.3	19.8	3.1	-	3.1	4.2
配食サービス	95	3	-	4	6	2	3	20	18	20	15	4
	100.0	3.2	-	4.2	6.3	2.1	3.2	21.1	18.9	21.1	15.8	4.2
移動支援（保育園や受診、 買い物等の送迎・同伴）	94	7	1	14	12	7	18	18	11	-	4	2
	100.0	7.4	1.1	14.9	12.8	7.4	19.1	19.1	11.7	-	4.3	2.1
家事支援 （調理、離乳食の準備）	87	5	1	4	7	2	5	25	8	26	2	2
	100.0	5.7	1.1	4.6	8.0	2.3	5.7	28.7	9.2	29.9	2.3	2.3
家事支援（買い物）	86	5	3	1	15	-	36	18	6	-	-	2
	100.0	5.8	3.5	1.2	17.4	-	41.9	20.9	7.0	-	-	2.3
育児支援（悩み事や 困りごとの相談）	61	16	2	26	4	2	5	1	1	-	-	4
	100.0	26.2	3.3	42.6	6.6	3.3	8.2	1.6	1.6	-	-	6.6
家事支援（洗濯関係）	28	2	1	1	2	-	9	7	3	-	-	3
	100.0	7.1	3.6	3.6	7.1	-	32.1	25.0	10.7	-	-	10.7
育児支援（授乳、沐浴）	17	2	-	4	-	1	9	1	-	-	-	-
	100.0	11.8	-	23.5	-	5.9	52.9	5.9	-	-	-	-
その他	13	5	-	1	2	1	-	1	-	-	-	3
	100.0	38.5	-	7.7	15.4	7.7	-	7.7	-	-	-	23.1

(4) 子育て支援に関する情報提供について

問 55 新居浜市の子育て支援の情報を何で集めていますか。(あてはまるものすべてに○)

新居浜市の子育て支援情報の取得先をみると、「友人や知人から」が 40.8%で最も高く、次いで「認定こども園、保育所から」(37.1%)、「LINEなどのSNSから」(27.6%)となっています。

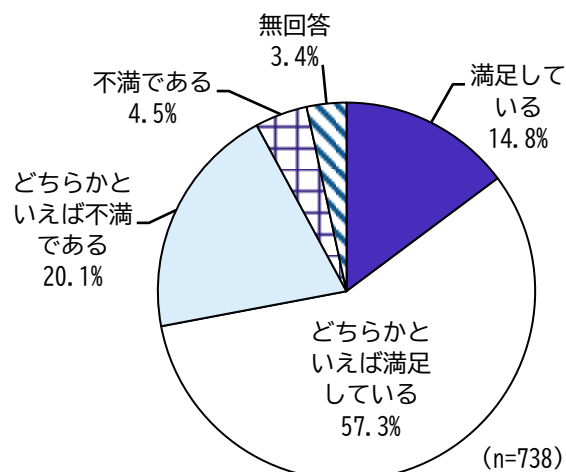
図表 84 新居浜市の子育て支援情報の取得先（全体／複数回答）



問 56 子育て支援に関する情報提供に満足していますか。(○は1つ)

子育てに関する情報提供の満足度をみると、「どちらかといえば満足している」が 57.3%で最も高く、「満足している」(14.8%)を合わせると、72.1%が情報提供に満足しています。

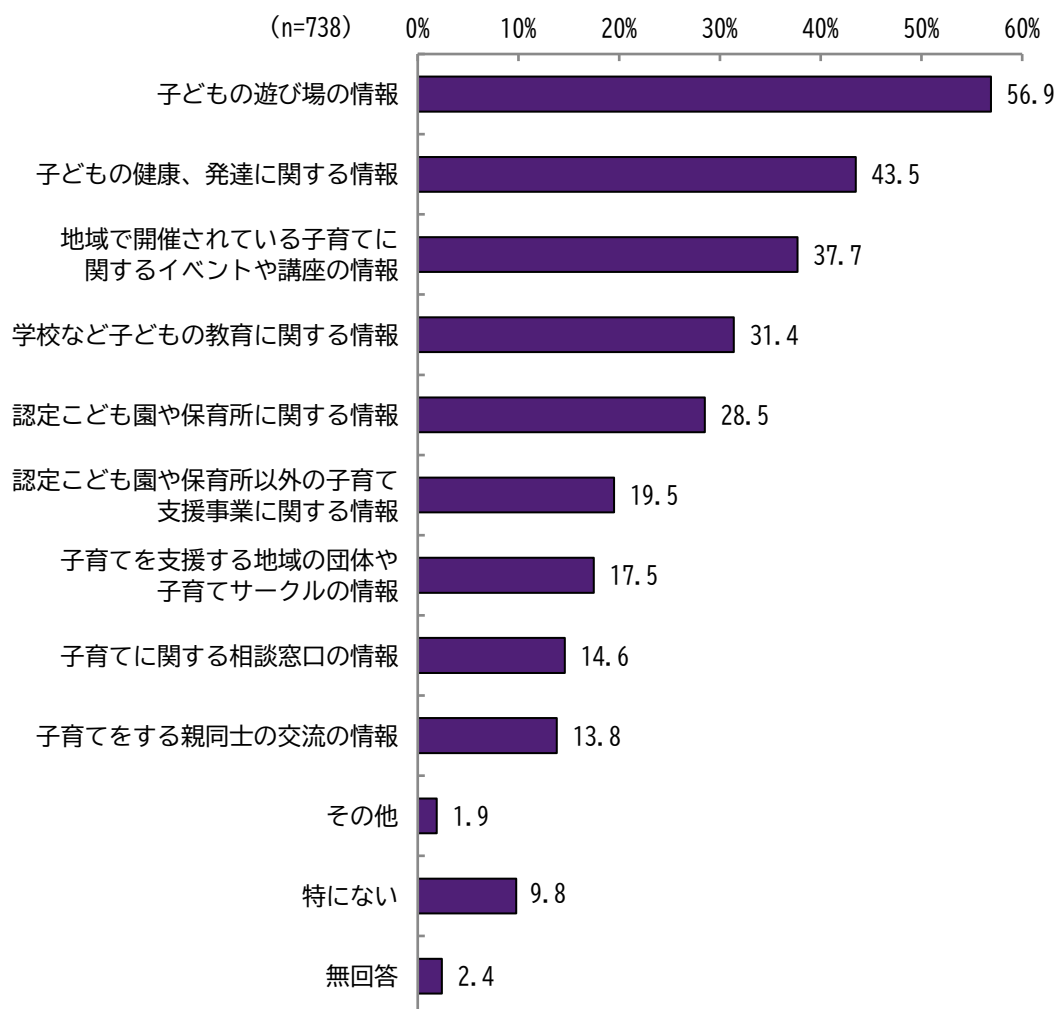
図表 85 子育てに関する情報提供についての満足度（全体）



問 57 子育て支援に関する情報提供でどのような情報がほしいですか。（あてはまるものすべてに○）

子育て支援に関して必要な情報については、「子どもの遊び場の情報」が 56.9%で最も高く、次いで「子どもの健康、発達に関する情報」（43.5%）、「地域で開催されている子育てに関するイベントや講座の情報」（37.7%）となっています。

図表 86 子育て支援に関して必要な情報（全体／複数回答）

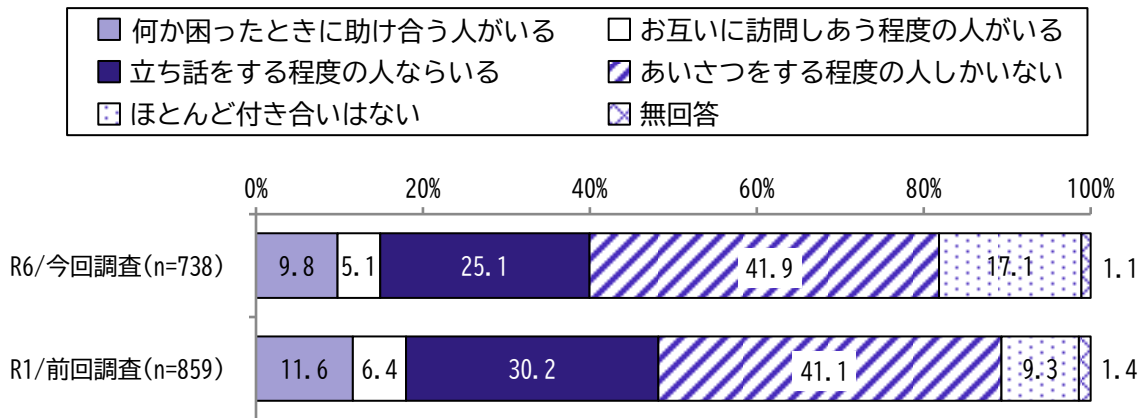


(5) 地域での子育てについて

問 58 お子さんのご家族は、ご近所の人とどの程度付き合いがありますか。(○は1つ)

近所との付き合いの程度についてみると、「あいさつをする程度の人しかいない」が 41.9%で最も高く、次いで「立ち話をする程度の人ならいる」(25.1%)、「ほとんどつきあいはない」(17.1%)となっています。前回調査と比較すると、「ほとんどつきあいはない」が 7.8 ポイント増加しています。

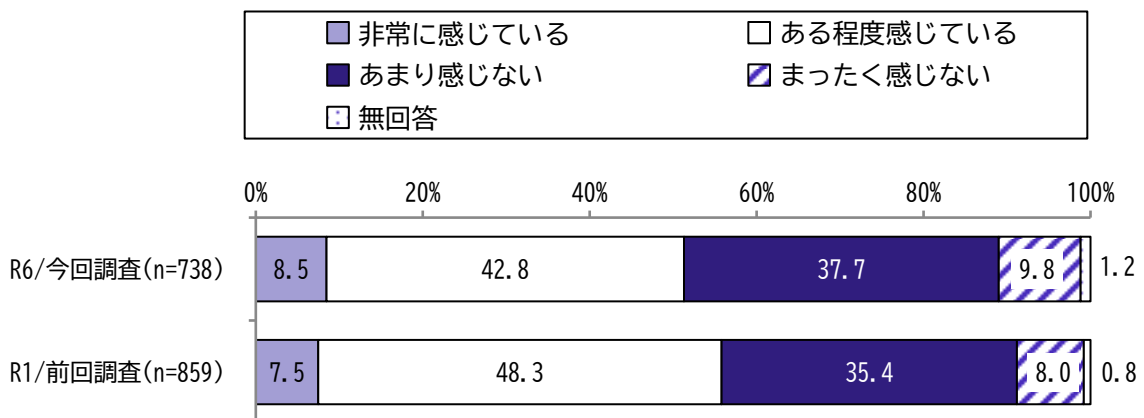
図表 87 地域住民との付き合いの程度（全体、前回比較）



問 59 自分自身の子育てが、地域の人や社会に支えられていると感じますか。(○は1つ)

子育てに関して周囲の支えがあると感じられるかについてみると、「ある程度感じている」が 42.8%で最も高く、「非常に感じている」を合わせると 51.3%が地域に支えられていると感じています。前回調査と比較すると、「ある程度感じている」が 5.5 ポイント減少しています。

図表 88 子育てが地域に支えられていると感じるか（全体、前回比較）

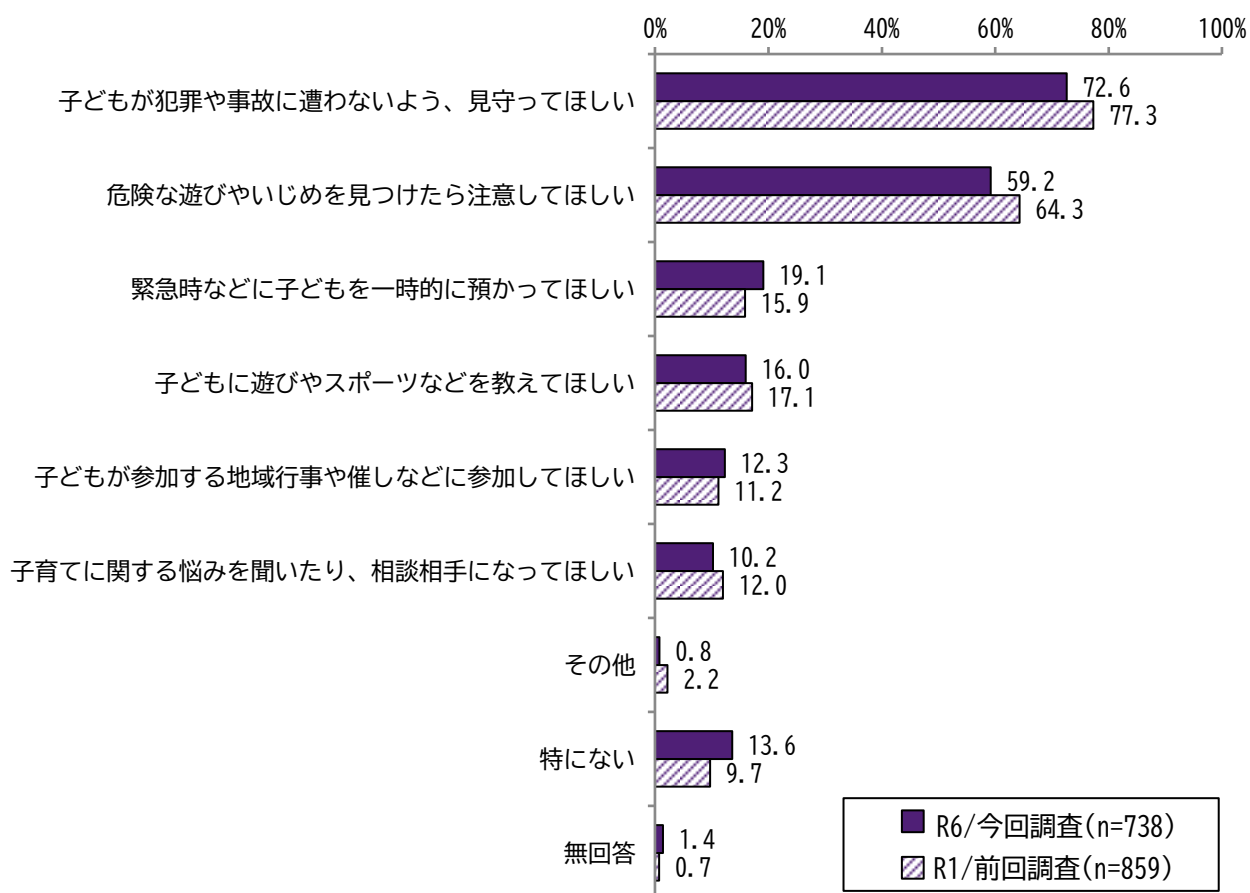


問 60 子育て支援として、地域の身近な人に望むことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

地域の身近な人に望む子育て支援についてみると、「子どもが犯罪や事故に遭わないよう、見守ってほしい」が72.6%で最も高く、次いで「危険な遊びやいじめを見つけたら注意してほしい」（59.2%）となっており、この二つが突出しています。

前回調査と比較すると、「危険な遊びやいじめを見つけたら注意してほしい」が5.1ポイント減少しています。

図表 89 地域の身近な人に望む子育て支援（全体、前回比較／複数回答）



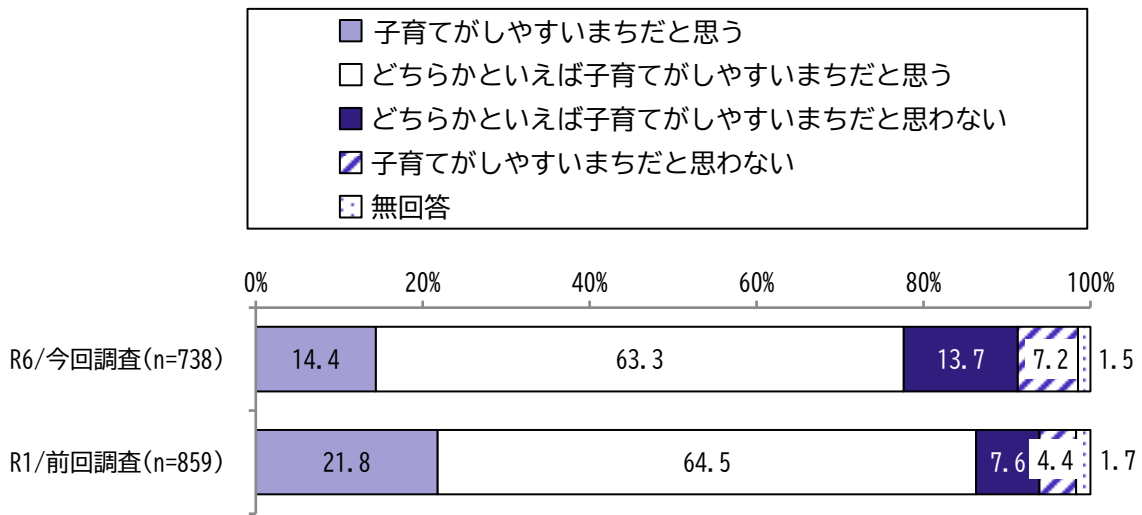
（６）新居浜市における子育てについて

問 61 新居浜市は子育てしやすいまちだと思いますか。（○は１つ）

新居浜市は子育てしやすいまちだと思うかについてみると、「どちらかといえば子育てがしやすいまちだと思う」が63.3%で最も高く、「子育てがしやすいまちだと思う」（14.4%）を合わせると77.7%が子育てがしやすいまちだと感じています。

前回調査と比較すると、「子育てがしやすいまちだと思う」が7.4ポイント減少しています。

図表 90 新居浜市は子育てしやすいまちだと思うか（全体、前回比較）

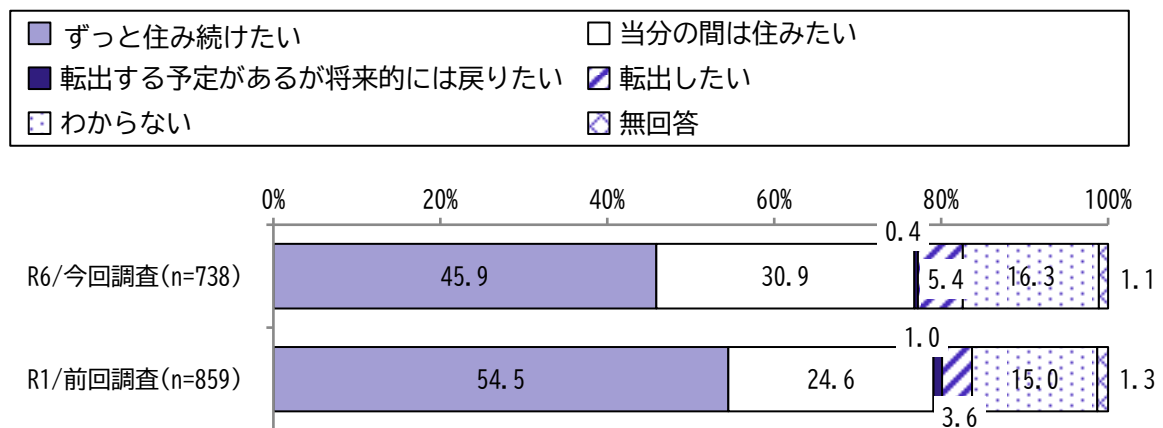


問 62 あなたは、これからも新居浜市に住み続けたいと思いますか。（○は１つ）

今後も新居浜市に住み続けたいかをみると、「ずっと住み続けたい」が45.9%で最も高く、次いで「当分の間は住みたい」（30.9%）、「わからない」（16.3%）となっています。

前回調査と比較すると、「ずっと住み続けたい」が8.6ポイント減少しています。

図表 91 今後も新居浜市に住み続けたいか（全体、前回比較）



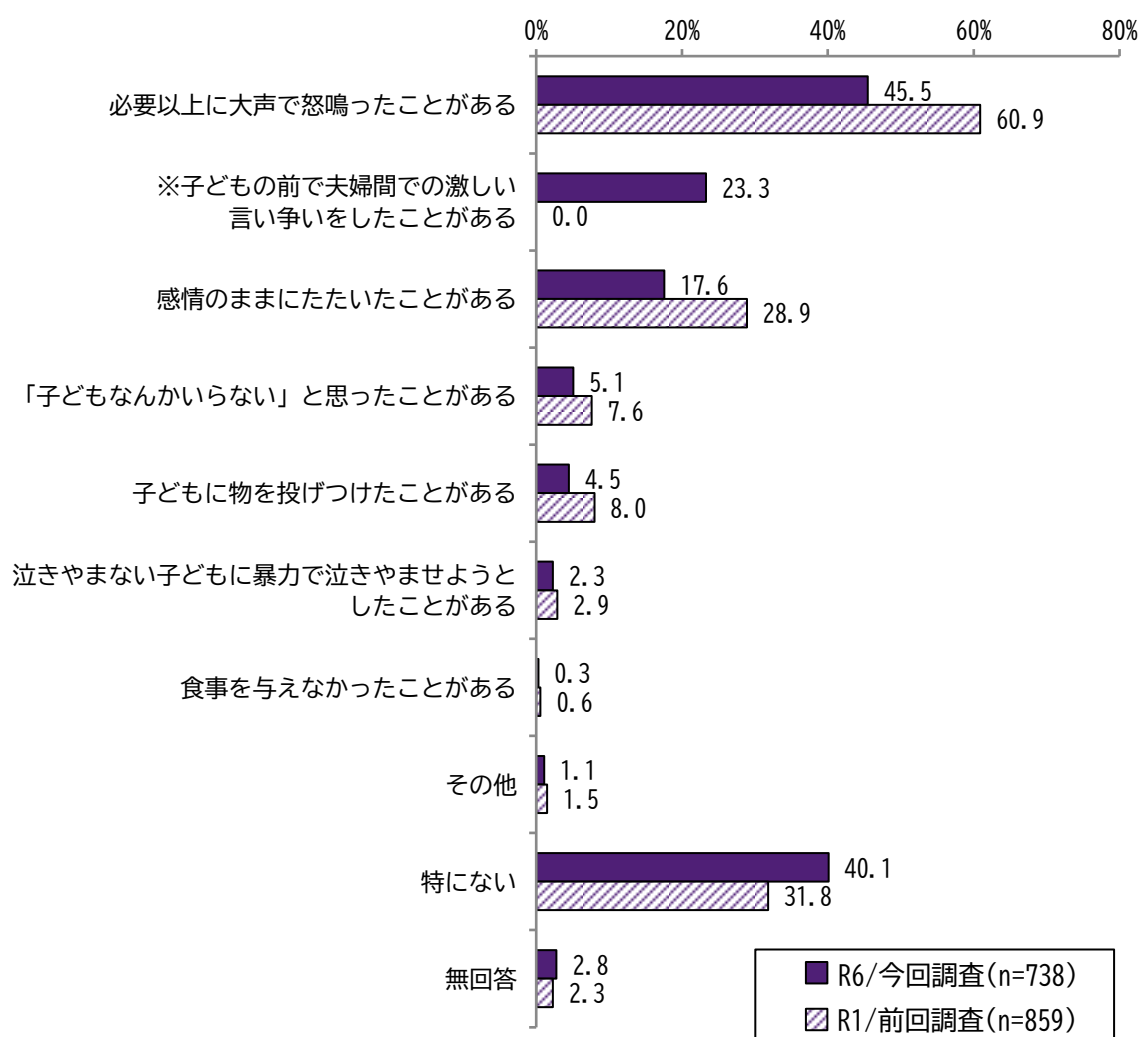
(7) 児童虐待について

問 63 あなたは今までに、自分の子どもに対し、次のようなことをしたことや感じたことがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

自分の子どもへの虐待経験についてみると、「必要以上に大声で怒鳴ったことがある」が 45.5%で最も高く、次いで「子どもの前で夫婦間の激しい言い争いをしたことがある」(23.3%)、「感情のままにたたいたことがある」(17.6%)となっています。

前回調査と比較すると、「必要以上に大声で怒鳴ったことがある」が 15.4 ポイント減少しています。

図表 92 自分の子どもへの虐待経験について（全体、前回比較／複数回答）



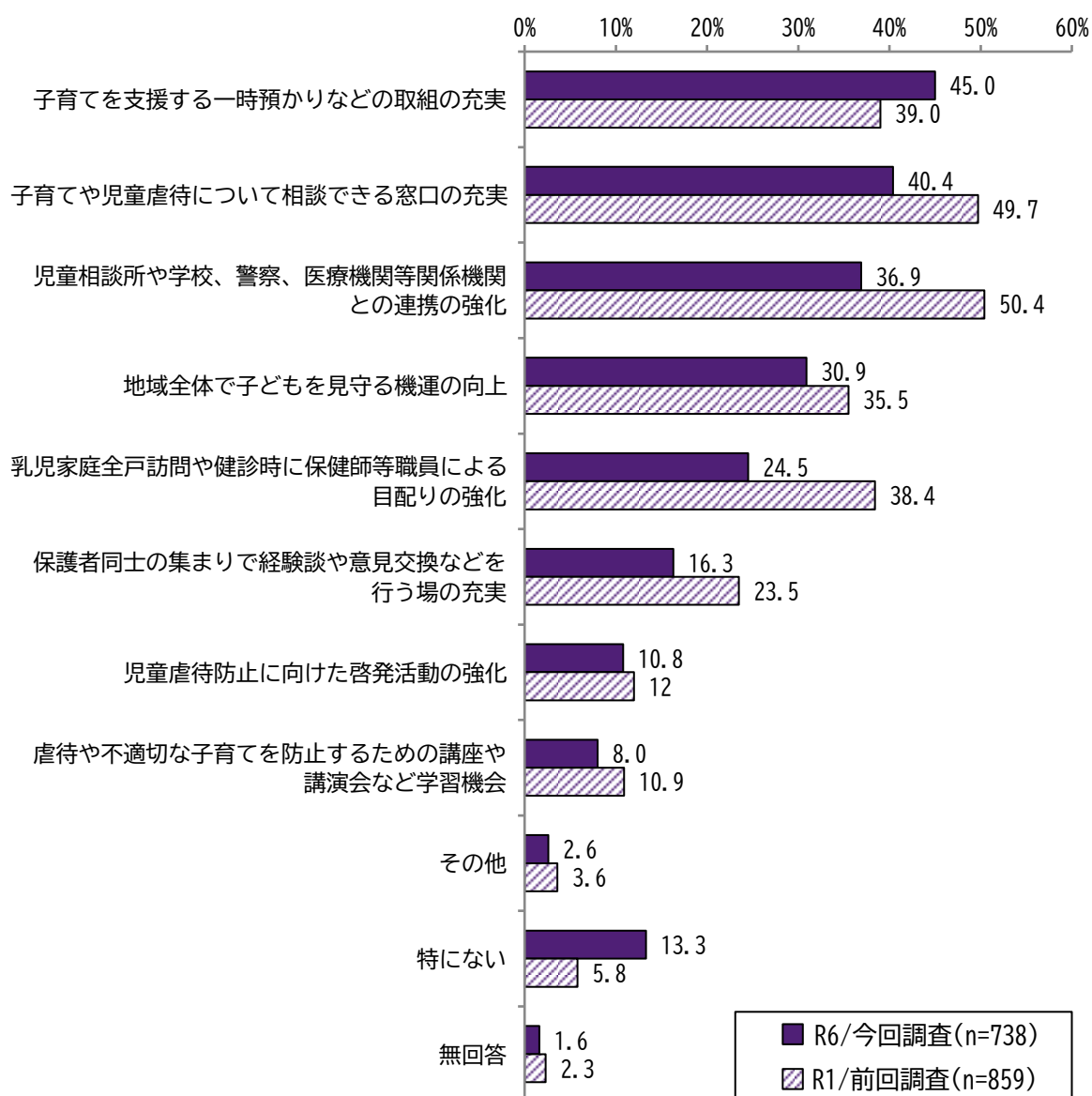
※前回調査では「子どもの前で夫婦間での激しい言い争いをしたことがある」の選択肢無し

問 64 児童虐待防止のために、新居浜市ではどのような取組が必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

児童虐待防止のために必要だと思う取組についてみると、「子育てを支援する一時預かりなどの取組の充実」が 45.0%で最も高く、次いで「子育てや児童虐待について相談できる窓口の充実」(40.4%)、「児童相談所や学校、警察、医療機関等関係機関との連携の強化」(36.9%)となっています。

前回調査と比較すると、「乳児家庭全戸訪問や健診時に保健師等職員による目配りの強化」が 13.9 ポイント減少しています。

図表 93 児童虐待防止のために必要な取組（全体、前回比較／複数回答）



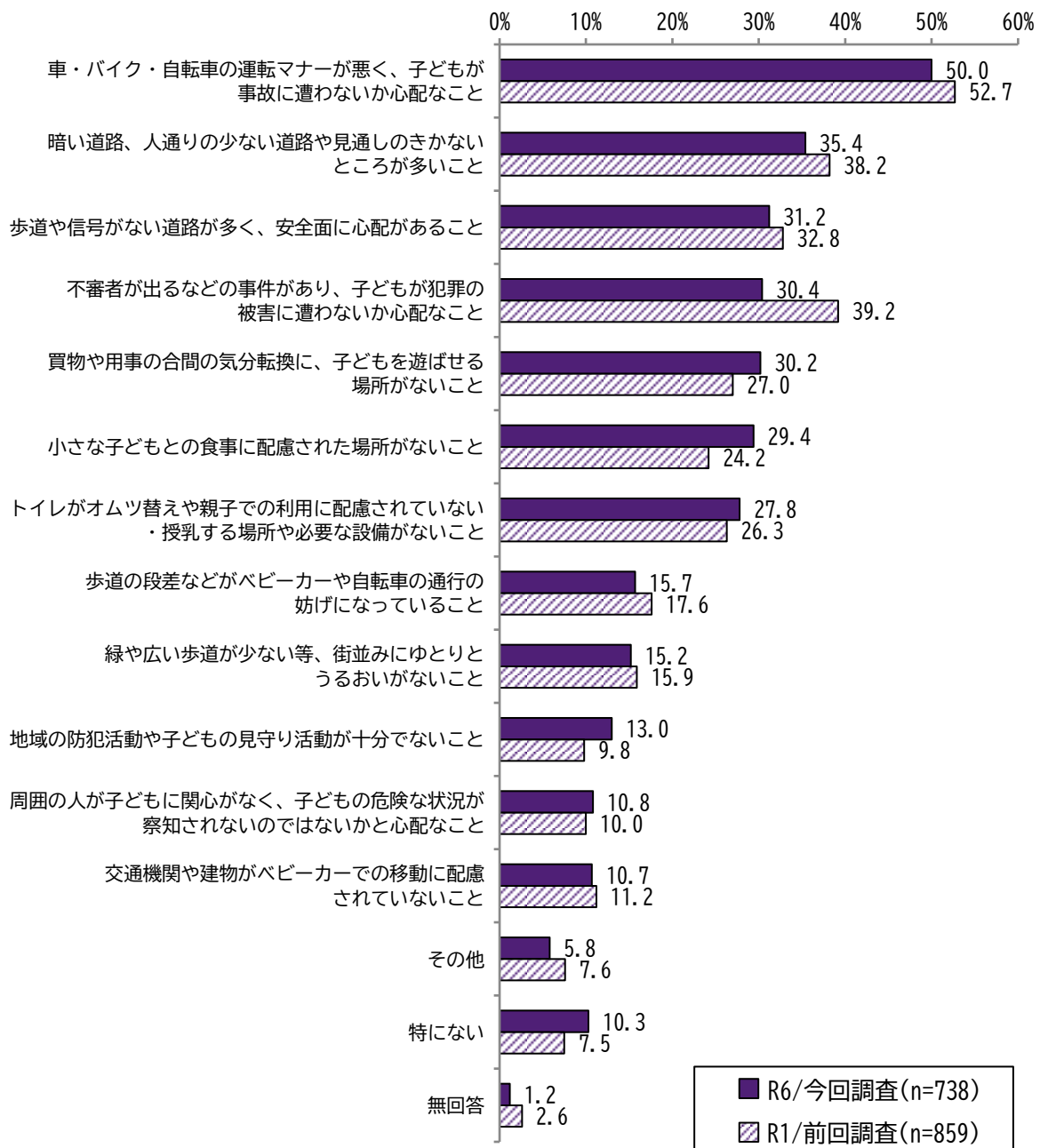
(8) 子どもを取り巻く環境について

問 63 お住まいの地域の子どもの取り巻く環境において、日頃気になっていることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

子どもを取り巻く環境について気になっていることをみると、「車・バイク・自転車の運転マナーが悪く、子どもが事故に遭わないか心配なこと」が50.0%で最も高く、次いで「暗い道路、人通りの少ない道路や見通しのきかないところが多いこと」(35.4%)、「歩道や信号がない道路が多く、安全面に心配があること」(31.2%)となっています。

前回調査と比較すると、「不審者が出るなどの事件があり、子どもが犯罪の被害に遭わないか心配なこと」が8.8ポイント減少しています。

図表 94 子どもを取り巻く環境について気になっていること（全体、前回比較／複数回答）

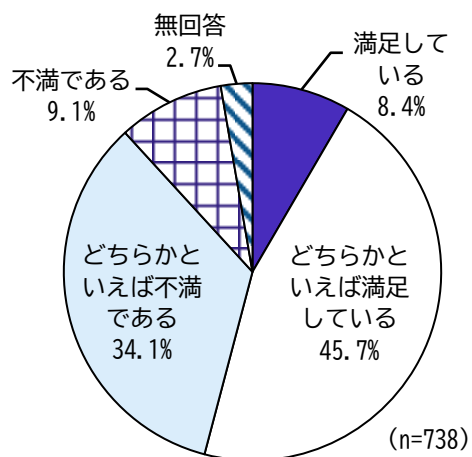


問 66 お住まいの地域における子どもの遊び場に関して満足していますか。(○は1つ)

子どもの遊び場に関する満足度をみると、「どちらかといえば満足している」が45.7%で最も高く、「満足している」(8.4%)を合わせると、54.1%が子どもの遊び場に関して満足しています。

一方、「どちらかといえば不満である」は34.1%、「不満である」は9.1%となっており、これらを合わせると43.2%が子どもの遊び場に関して満足していません。

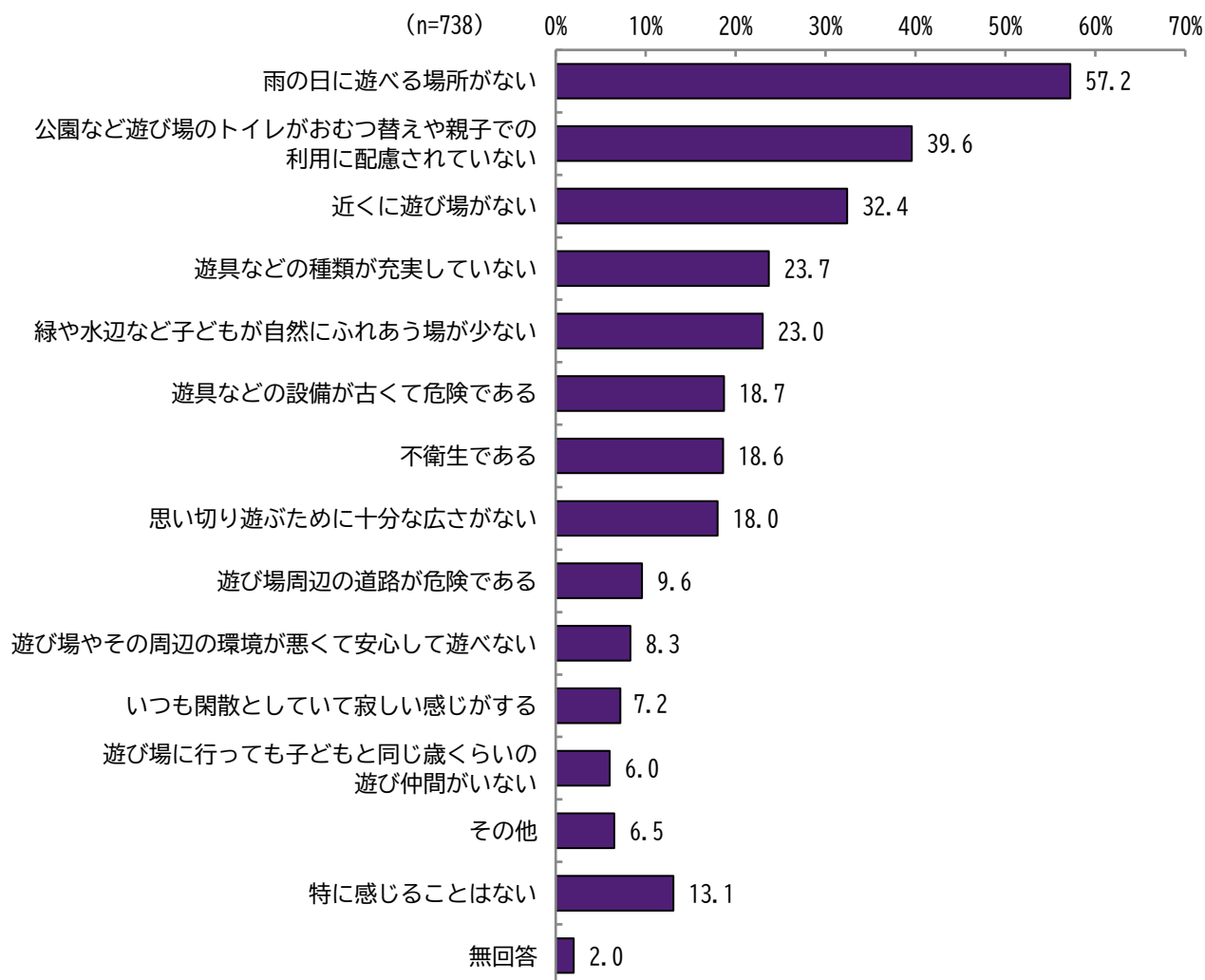
図表 95 子どもの遊び場に関する満足度（全体）



問 67 新居浜市内の子どもの遊び場について日ごろ感じることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

子どもの遊び場について感じていることをみると、「雨の日に遊べる場所がない」が 57.2%で最も高く、次いで「公園など遊び場のトイレがおむつ替えや親子での利用に配慮されていない」(39.6%)、「近くに遊び場がない」(32.4%)となっています。

図表 96 子どもの遊び場について感じていること（全体／複数回答）



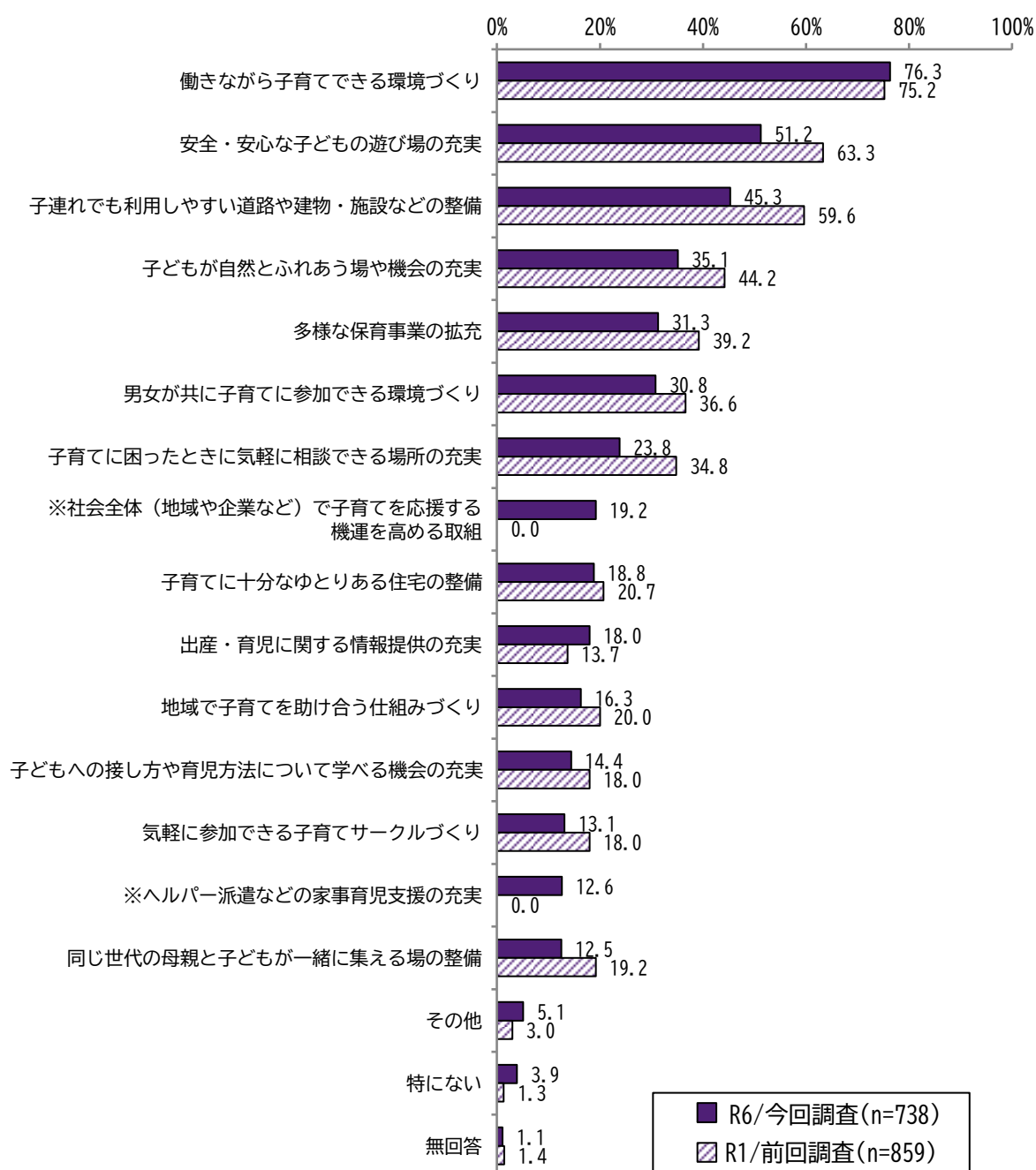
問 68 子育てしやすい社会にするためには、どのような支援策が必要だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

子育てしやすい社会にするために必要だと思う支援策についてみると、「働きながら子育てできる環境づくり」が 76.3%で最も高く、次いで「安全・安心な子どもの遊び場の充実」(51.2%)、「子連れでも利用しやすい道路や建物・施設などの整備」(45.3%)となっています。

前回調査と比較すると、「子連れでも利用しやすい道路や建物・施設などの整備」が 14.3 ポイント減少しています。

図表 97 子育てしやすい社会にするために必要な支援策（全体、前回比較／複数回答）



※前回調査では「社会全体（地域や企業など）で子育てを応援する機運を高める取組」「ヘルパー派遣などの家事育児支援の充実」の選択肢無し

Ⅲ 子ども・子育て支援に関するアンケート 調査結果（小学生児童）

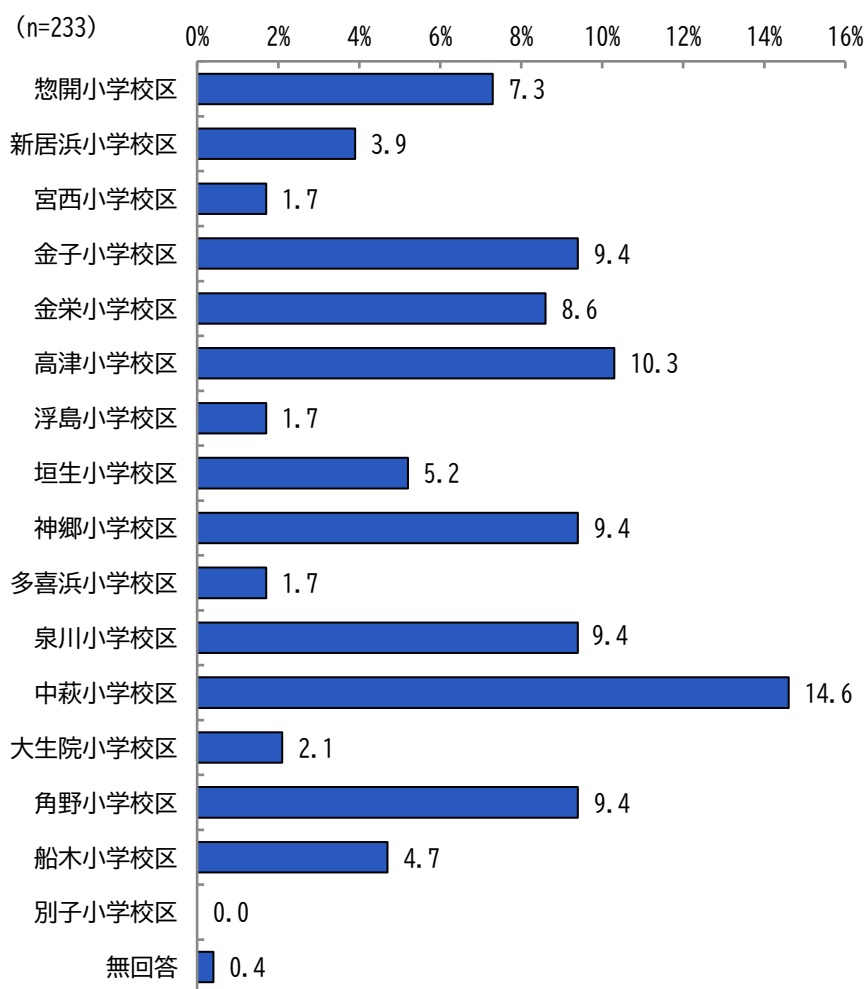
1 子どもと家族の状況

（１）家族の属性

問１ あなたのお住まいの小学校区はどちらですか。（○は１つ）

居住地域についてみると、「中萩小学校区」が14.6%で最も高く、次いで「高津小学校区」（10.3%）、「金子小学校区」「神郷小学校区」「泉川小学校区」「角野小学校区」（いずれも9.4%）となっています。

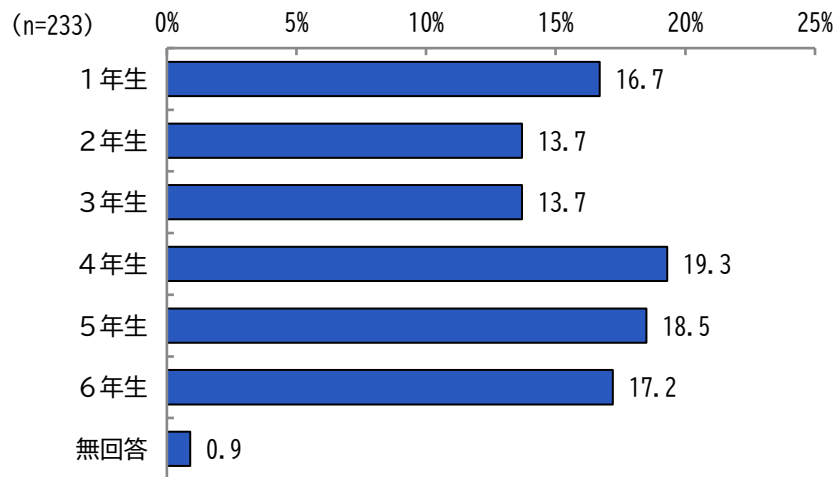
図表 98 居住区（全体）



問2 子どもの学年

子どもの学年についてみると、「4年生」が19.3%で最も高く、次いで「5年生」(18.5%)、「6年生」(17.2%)となっています。

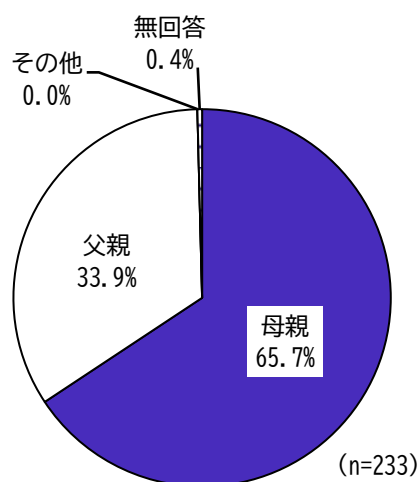
図表 99 子どもの学年（全体）



問3 この調査票にご回答いただく方について①続柄をお答えください。（○は1つ）

調査票の回答者についてみると、「母親」が65.7%、「父親」が33.9%となっています。

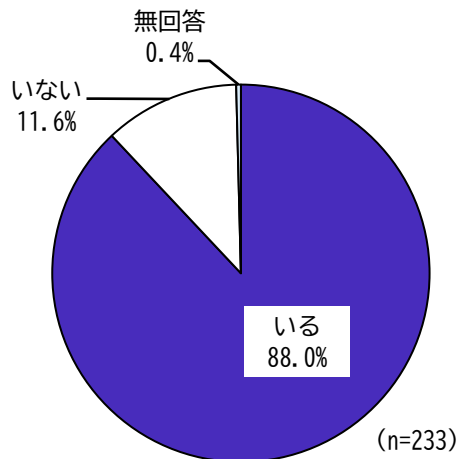
図表 100 調査票回答者（全体）



問3 この調査票にご回答いただいている方の②配偶関係の有無についてお答えください。(○は1つ)

回答者の配偶関係についてみると、「いる」が88.0%、「いない」が11.6%となっています。

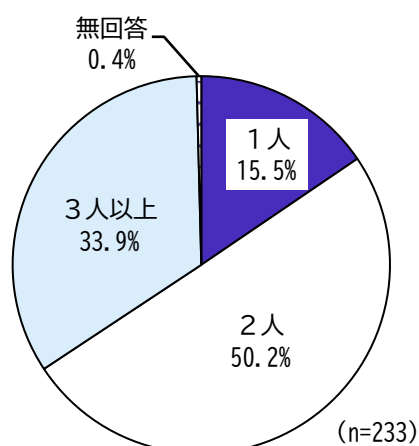
図表 101 回答者の配偶者の有無（全体）



問3 この調査票にご回答いただいている方の③子どもの人数（19歳未満）についてお答えください。

子どもの人数についてみると、「2人」が50.2%で最も高く、次いで「3人以上」(33.9%)、「1人」(15.5%)となっています。

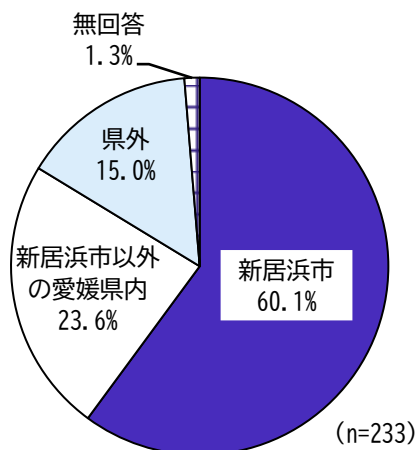
図表 102 子どもの人数（全体）



問3 この調査票にご回答いただいている方の④出身地についてお答えください。(○は1つ)

調査票の回答者の出身地についてみると、「新居浜市」が 60.1%で最も高く、次いで「新居浜市以外の愛媛県内」(23.6%)、「県外」(15.0%)となっています。

図表 103 回答者の出身地（全体）

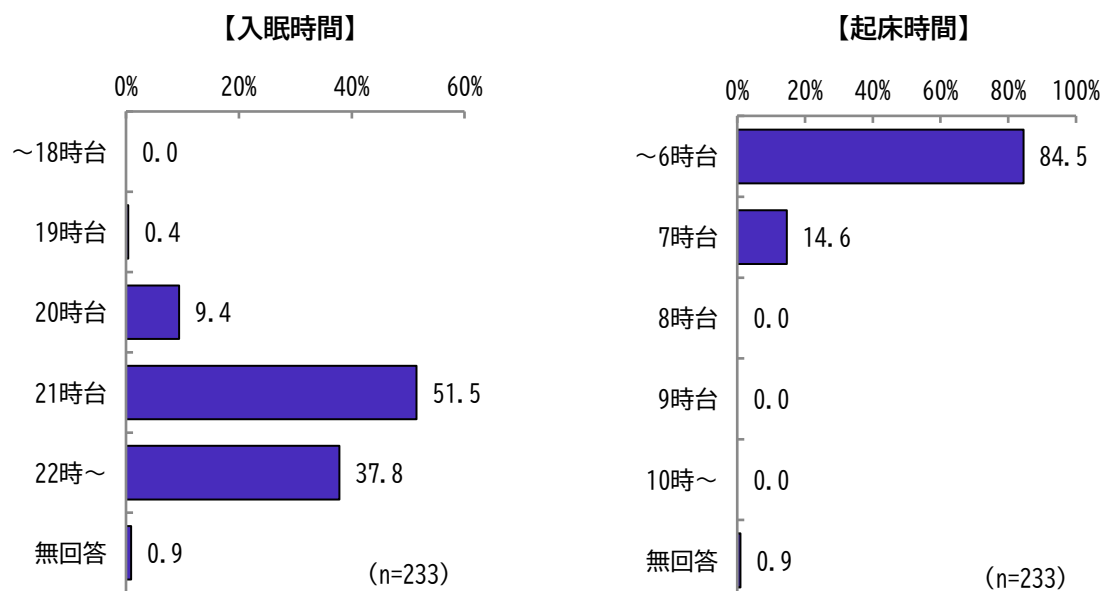


(2) 家族の生活状況

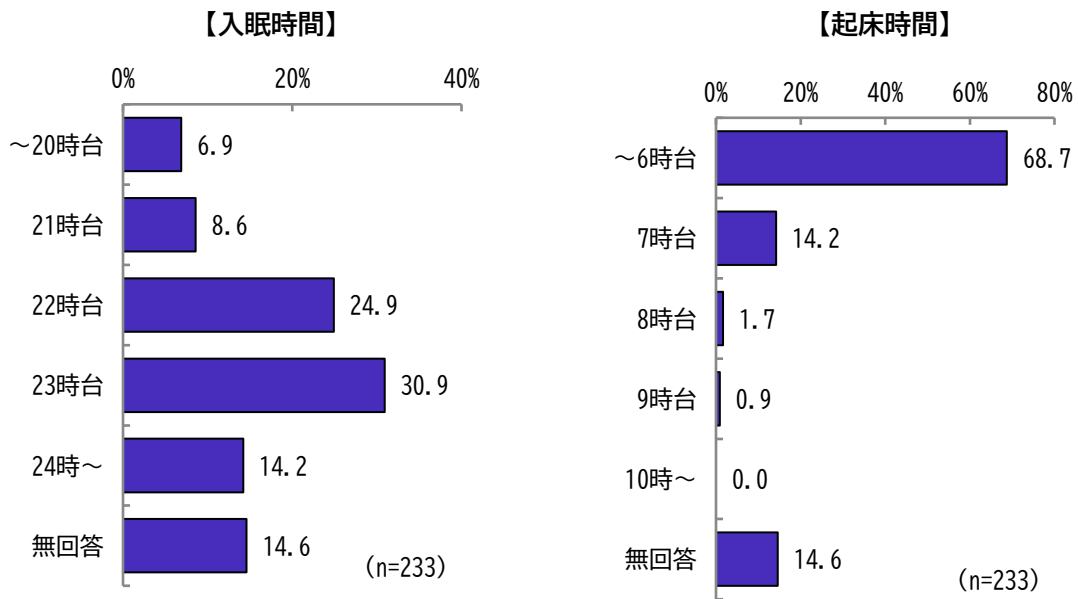
問4 ご家族の睡眠時間についてお答えください。

睡眠時間についてみると、子どもの入眠時間は「21 時台」(51.5%)、起床時間は「～6 時台」(84.5%)で最も高くなっています。また、父親、母親ともに入眠時間は「23 時台」、起床時間は「～6 時台」が最も高くなっています。

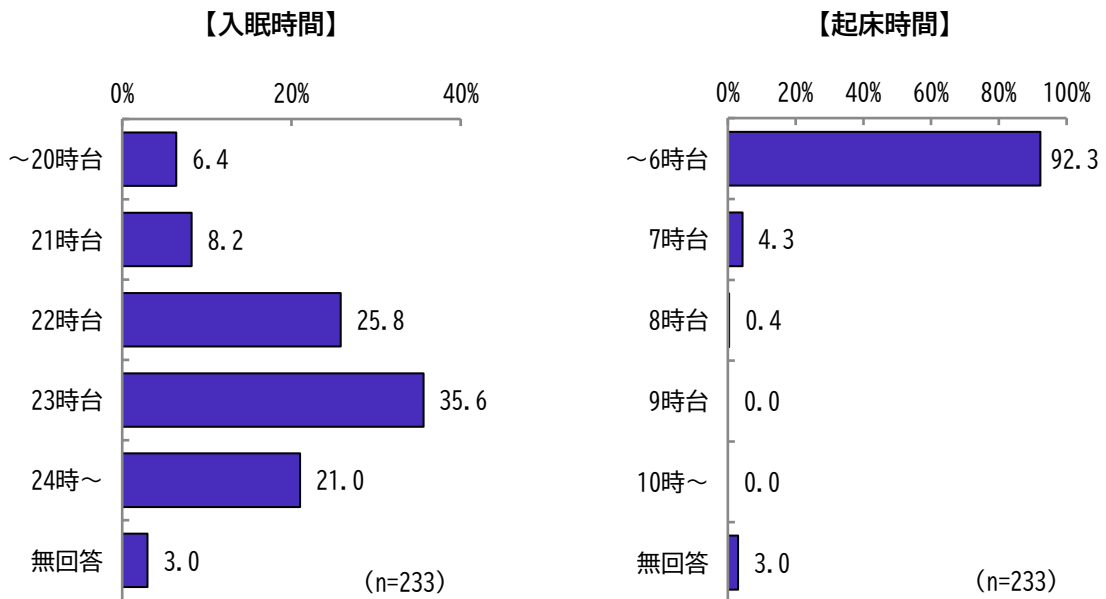
図表 104 子どもの入眠時間、起床時間（全体）



図表 105 父親の入眠時間、起床時間（全体）



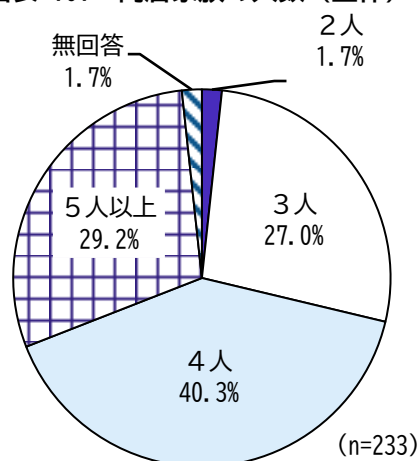
図表 106 母親の入眠時間、起床時間（全体）



問5 お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の人数をお答えください。

生計を同一にしている家族の人数をみると、「4人」が40.3%で最も高く、次いで「5人以上」(29.2%)、「3人」(27.0%)、「2人」(1.7%)となっています。

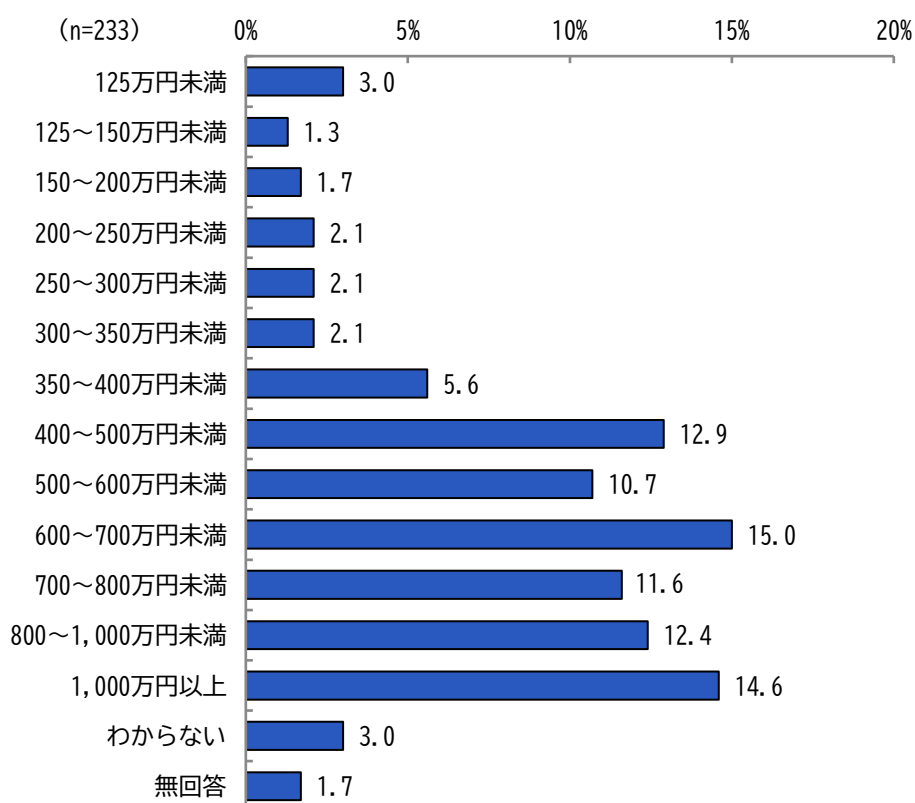
図表 107 同居家族の人数（全体）



問6 一緒にお住まいで、生計を共にしているご家族全員の収入を合わせた「世帯の年間収入（税込み）」は、おおよそいくらですか。

世帯の年間収入についてみると、「600～700万円未満」が15.0%で最も高く、次いで「1,000万円以上」(14.6%)、「400～500万円未満」(12.9%)となっています。

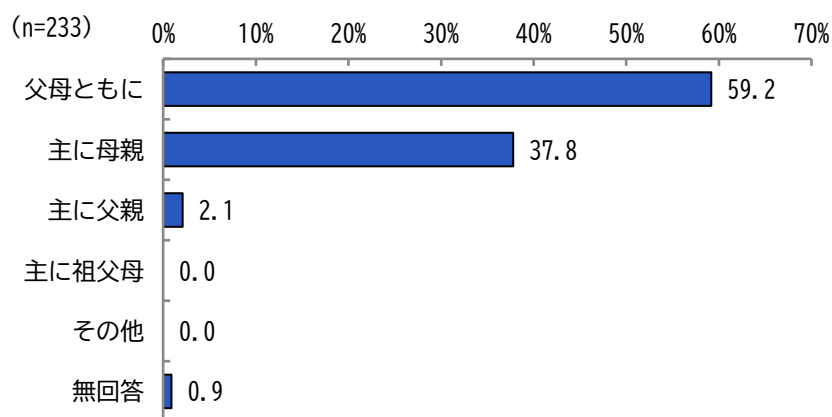
図表 108 世帯の年間収入（全体）



問7 主に、子育て（教育を含む）をしている方はどなたですか。（○は1つ）

主に子育てを行っているのは誰かについてみると、「父母ともに」が 59.2%で最も高く、次いで「主に母親」（37.8%）となっており、この2項目が突出しています。

図表 109 主に子育てを行っているのは誰か（全体）

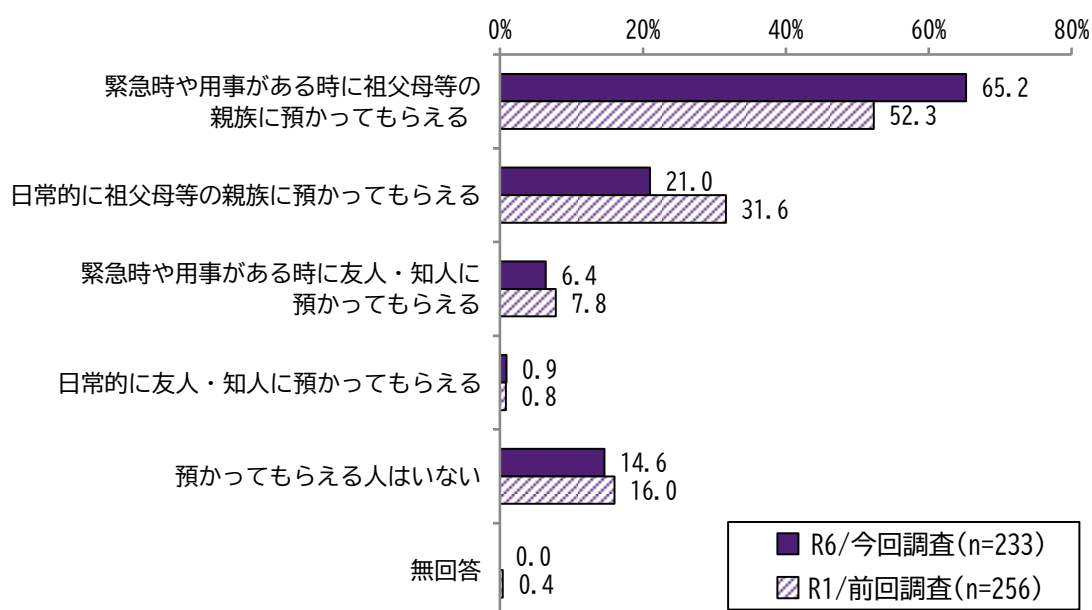


問8 日頃、お子さんを預けられる人はいますか。（あてはまるものすべてに○）

日頃、子どもを預けられる人の有無についてみると、「緊急時や用事がある時に祖父母等の親族に預かってもらえる」が 65.2%で最も高くなっています。

前回調査と比較すると、「緊急時や用事がある時に祖父母等の親族に預かってもらえる」が 12.9 ポイント増加しています。

図表 110 子どもを預けられる親族・知人の有無（全体、前回比較／複数回答）



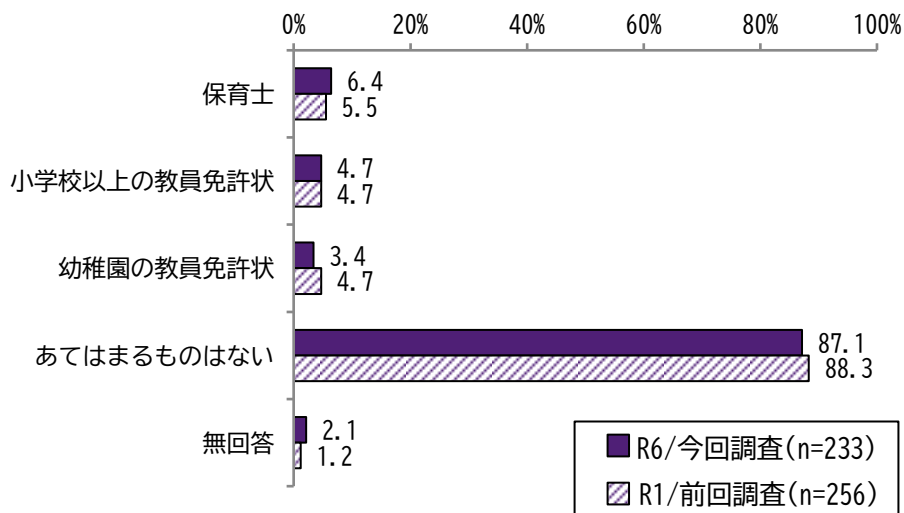
(3) 保育士等の資格保有状況と就労状況

問9 あなたがお持ちの資格の中で、次の項目にあてはまるものはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

保有している資格についてみると、保有している資格の内容としては、「保育士」が 6.4%となっており、「あてはまるものはない」が 87.1%と 8割を超えています

前回調査と比較すると、「幼稚園の教員免許状」の保有者が 1.3 ポイント減少しています。

図表 111 保有している資格（全体、前回比較／複数回答）

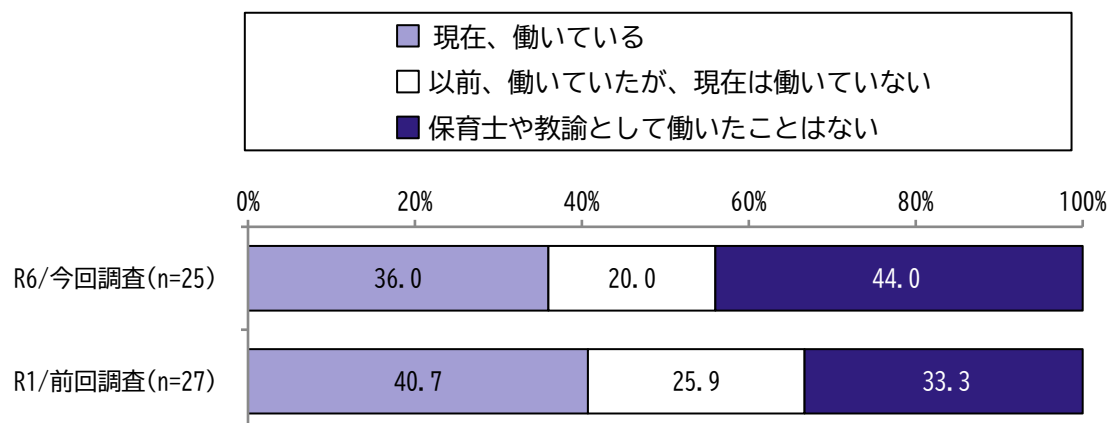


問9で何らかの資格を持っていると回答した方に

問10 現在、保育士や幼稚園・学校等の教諭として働いていますか。(○は1つ)

保育士等の資格保有者が現在も教諭として働いているかについてみると、「現在、働いている」は 36.0%となっています。前回調査と比較すると、「現在、働いている」が 4.7 ポイント減少し、「保育士や教諭として働いたことはない」が 10.7 ポイント増加しています。

図表 112 保育士や教諭としての就労経験などについて（全体、前回比較）

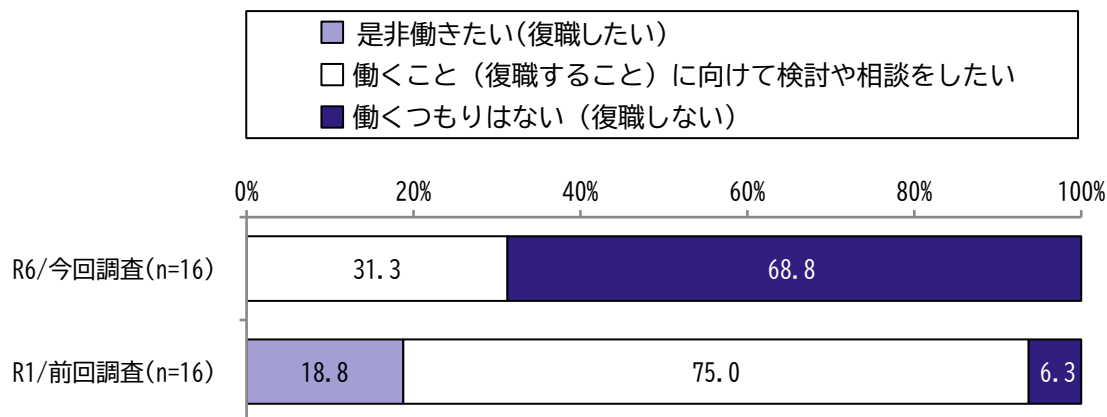


問 10 で「現在、働いている」「以前働いていたが、現在は働いていない」と回答した方に

問 11 あなたは、今後、保育士や幼稚園・学校の教諭として新居浜市で働きたいと思いますか（又は復職したいと思いますか）。（○は1つ）

現在保育士や教諭として就労していない方の今後の就労希望については、「働くつもりはない（復職しない）」が 68.8%で最も高くなっています。前回調査と比較すると、就労希望や就労を検討している人の割合は減少しています。

図表 113 保育士や教諭としての就労希望について（全体、前回比較）

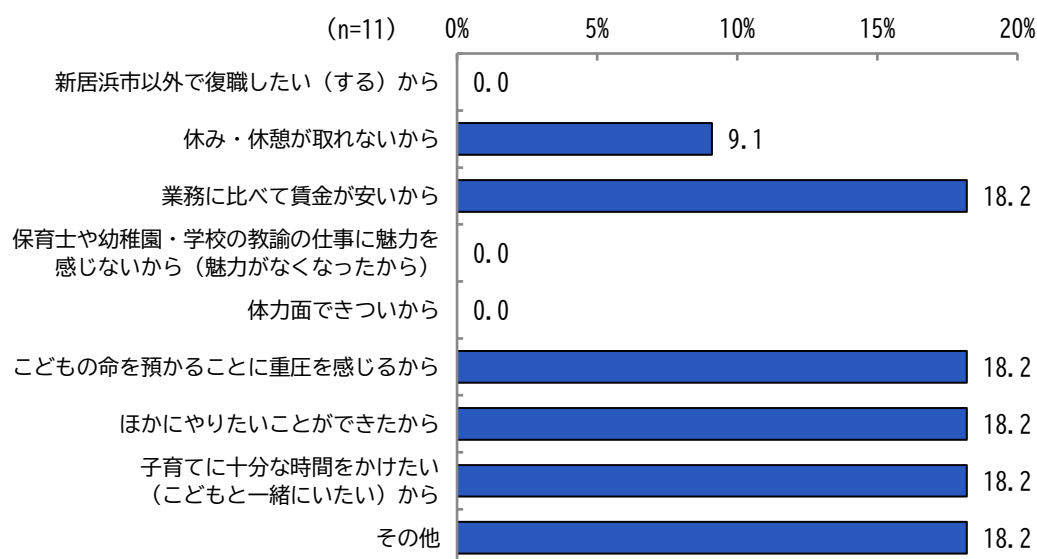


問 11 で「働くつもりはない（復職しない）」と回答した方に

問 12 就職（または復職）しない理由は以下のうちどれに当てはまりますか？（○は1つ）

保育士や教諭として働くつもりはない人の理由については、「業務に比べて賃金が安いから」「子どもの命を預かることに重圧を感じるから」「ほかにやりたいことができたから」「子育てに十分な時間をかけたい（子どもと一緒にいたい）から」がいずれも 18.2%となっています。

図表 114 保育士や教諭としての就労を希望しない理由（全体）



2 保護者の就労状況について

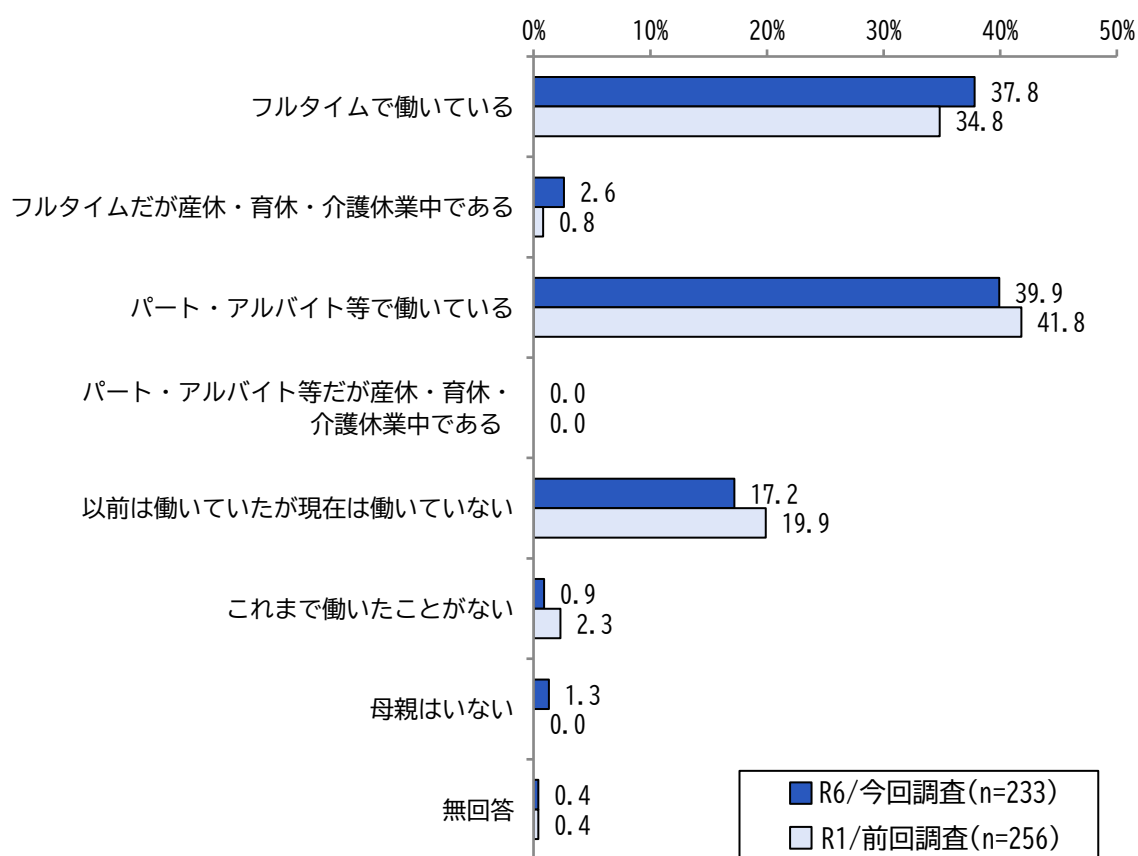
(1) 母親の就労状況

問 13 お子さんの母親は、現在働いていますか。(○は1つ)

母親の就労状況についてみると、「パート・アルバイト等で働いている」が39.9%で最も高く、次いで「フルタイムで働いている」(37.8%)、「以前は働いていたが現在は働いていない」(17.2%)となっており、現在就労中の母親は77.7%となっています。

前回調査と比較すると、「フルタイムで働いている」が3.0ポイント増加しています。

図表 115 母親の就労状況（全体、前回比較）

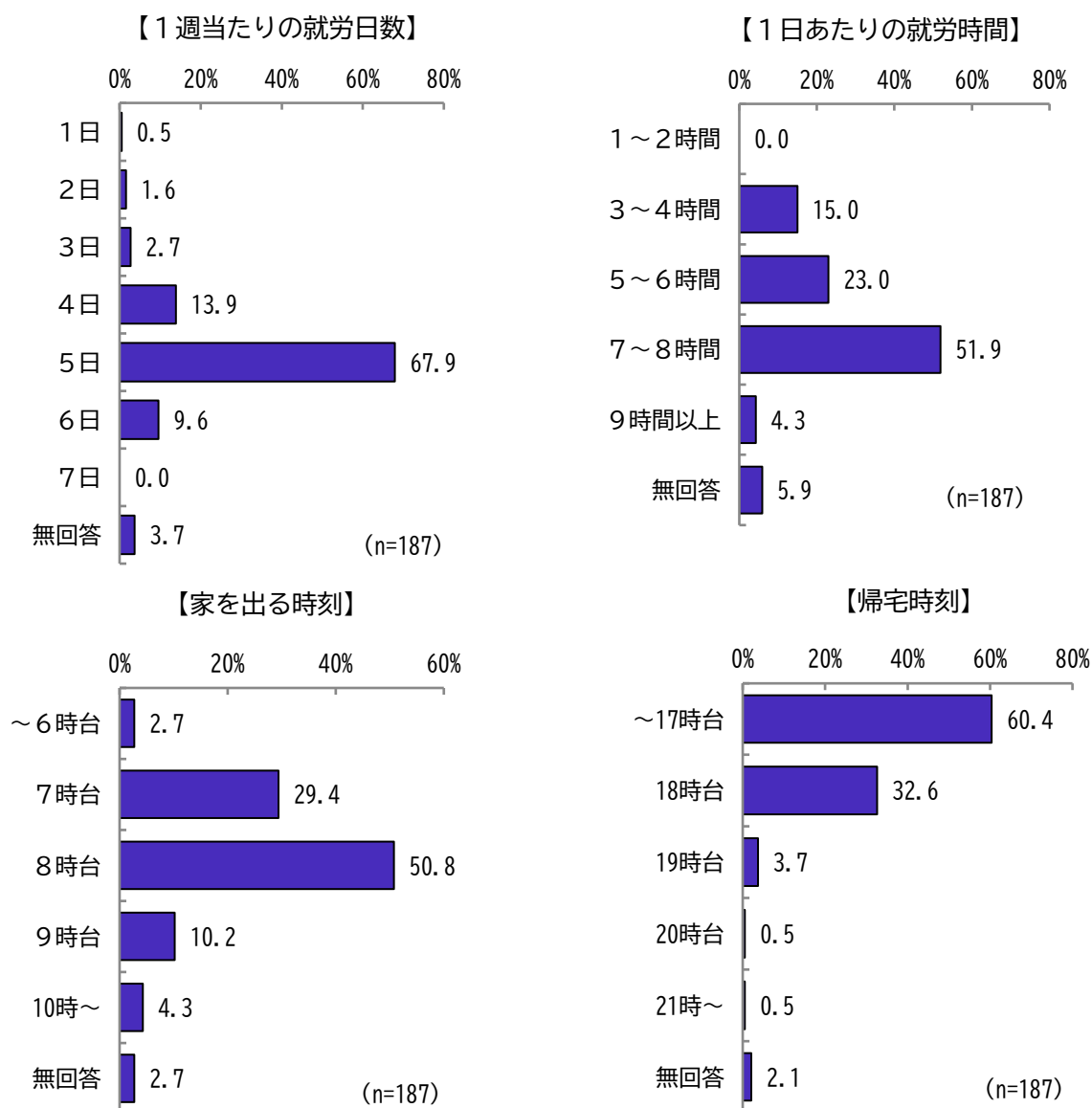


問13で「就労している」と回答した方にうかがいます。

問14 働いている日数や時間などについておうかがいします。

母親の就労日数は「5日」(67.9%)、就労時間は「7～8時間」(51.9%)が最も高くなっています。
また、母親の家を出る時刻は「8時台」(50.8%)、帰宅時刻は「～17時台」(60.4%)が最も高くなっています。

図表 116 母親の平均的な就労状況（全体）



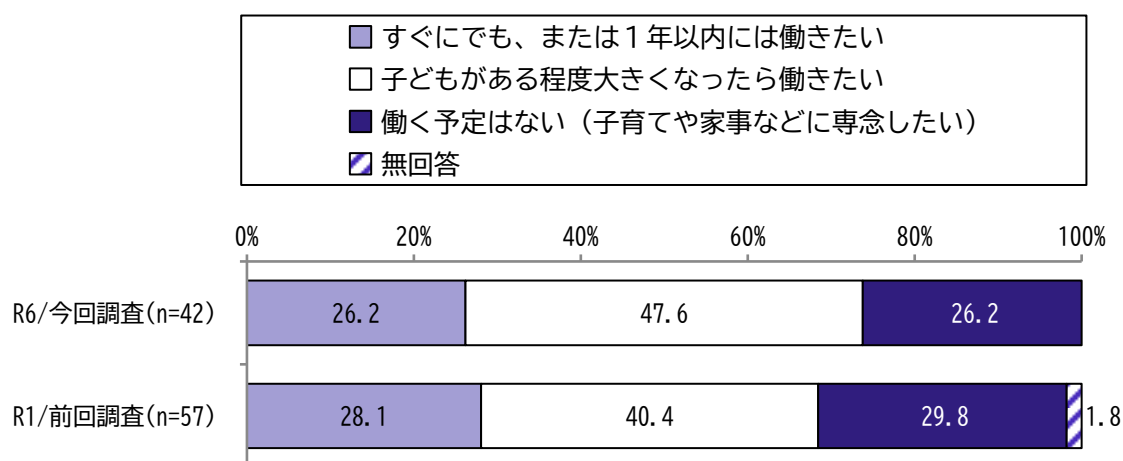
問 13 で「以前は働いていたが現在は働いていない」「これまで働いたことがない」と回答した方

問 15 今後、働きたいとお考えですか。(○は1つ)

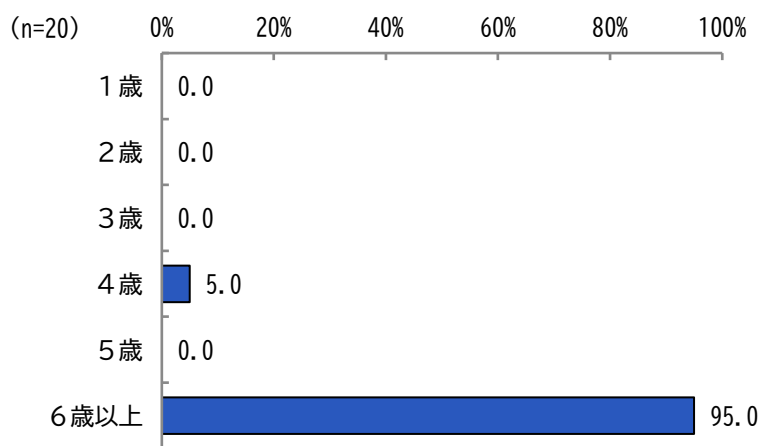
母親の今後の就労希望は、「子どもがある程度大きくなったら働きたい」が47.6%で最も高く、希望する就労開始時期は、「6歳以上」が9割を超えています。

前回調査と比較すると、「子どもがある程度大きくなったら働きたい」が7.2ポイント増加しています。

図表 117 母親の今後の就労希望（全体、前回比較）



図表 118 1年より先、末子が何歳になったら働きたいか（全体）



※父親は「以前は働いていたが現在は働いていない」「これまで働いたことがない」の回答者がいませんでした。

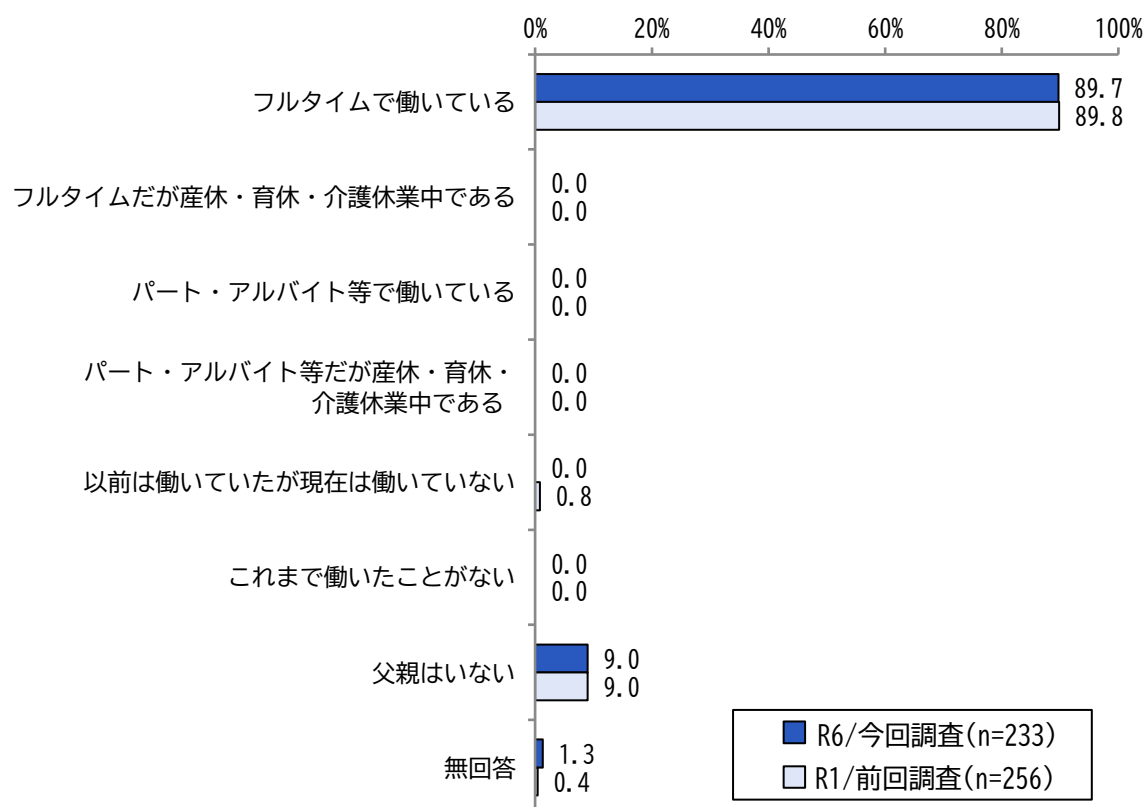
(2) 父親の就労状況

問 16 お子さんの父親は、現在働いていますか。(○は1つ)

父親の就労状況についてみると、「フルタイムで働いている」が 89.7%で最も高く、その割合は突出しています。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられません。

図表 119 父親の就労状況（全体、前回比較）

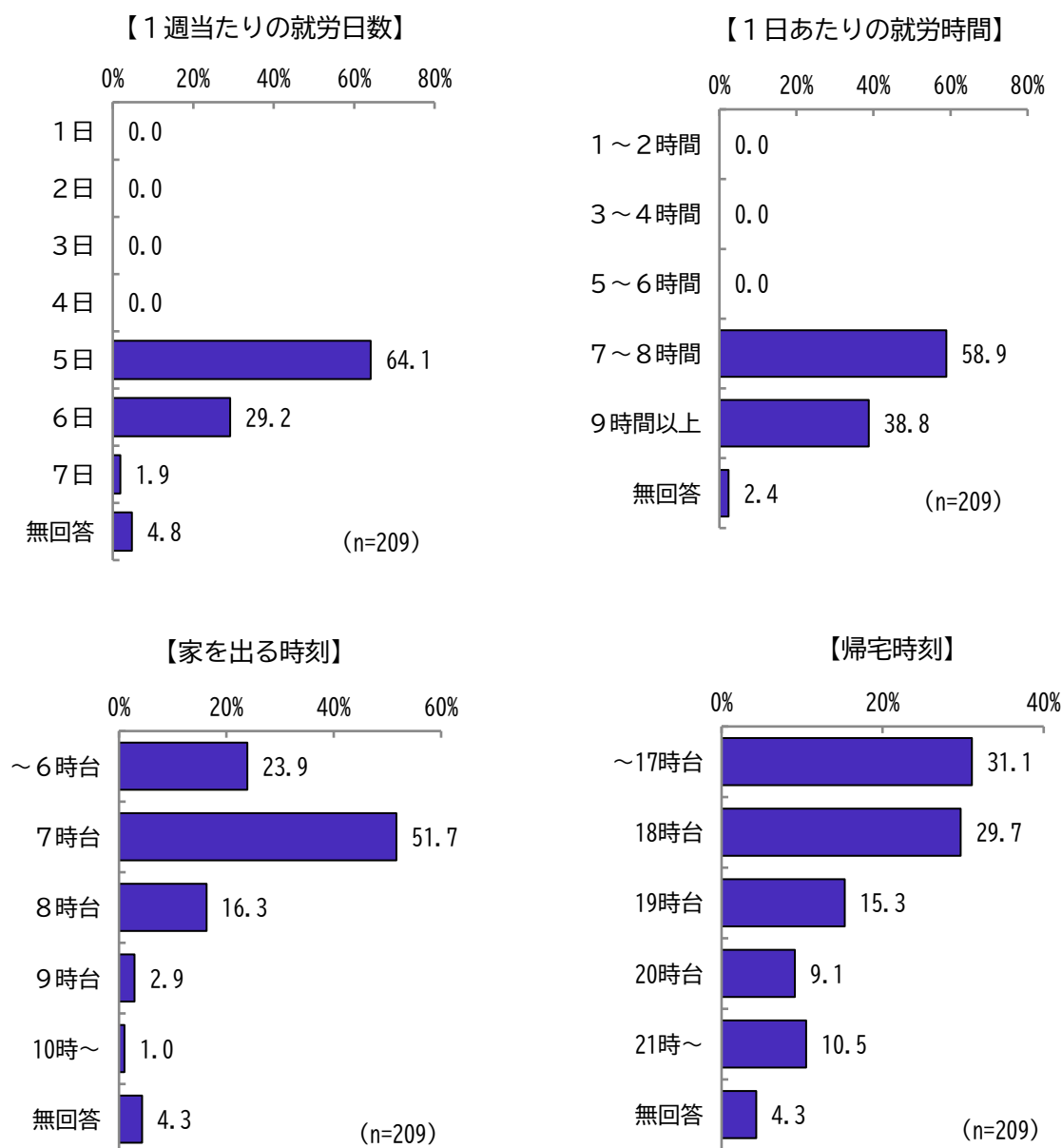


問16で「就労している」と回答した方

問17 働いている日数や時間などについておうかがいします。

父親の就労日数は「5日」(64.1%)、就労時間は「7～8時間」(58.9%)が最も高くなっています。
また、父親の家を出る時刻は「7時台」(51.7%)、帰宅時刻は「～17時台」(31.1%)が最も高くなっています。

図表 120 父親の平均的な就労状況（全体）



3 放課後児童クラブの利用状況について

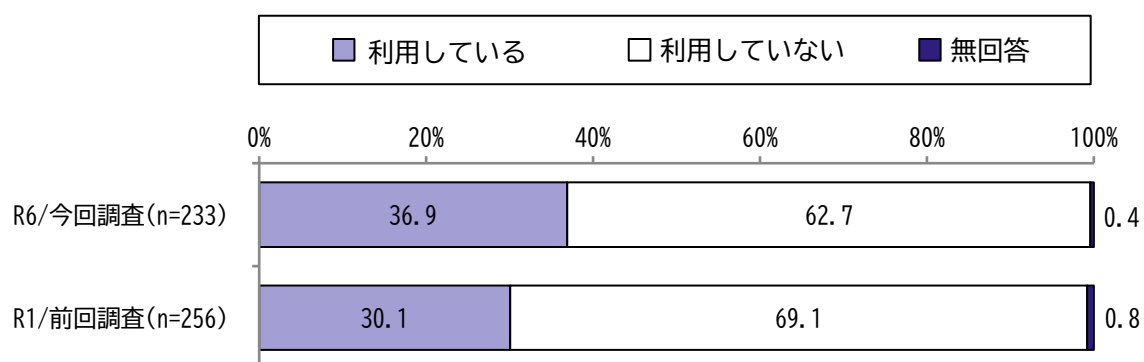
(1) 放課後児童クラブの利用状況

問 19 お子さんは、現在、放課後児童クラブを利用していますか。(○は1つ)

放課後児童クラブの利用状況についてみると、「利用している」が36.9%、「利用していない」が62.7%となっています。

前回調査と比較すると「利用している」が6.8ポイント増加しています。

図表 121 放課後児童クラブの利用の有無（全体、前回比較）



問 19 で「利用している」と回答した方

問 20 放課後児童クラブの利用状況についておうかがいします。

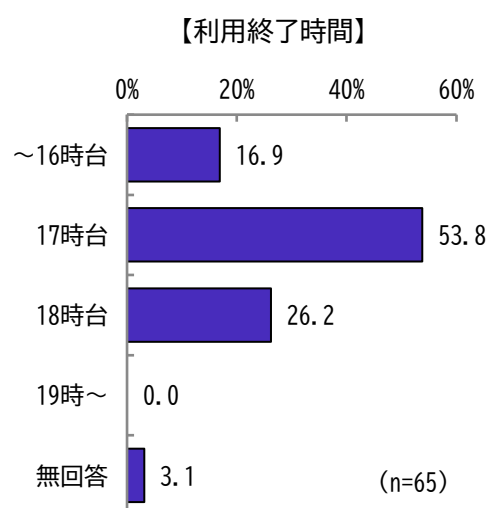
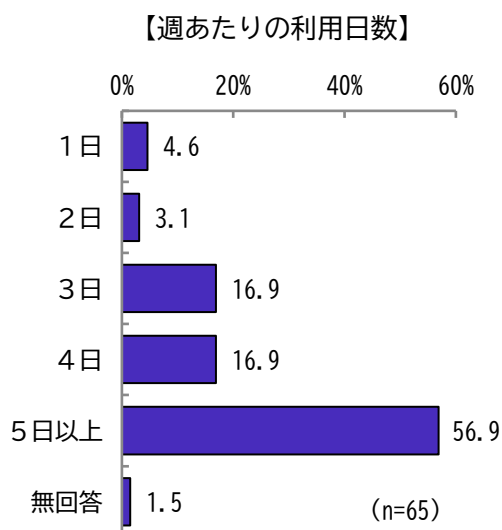
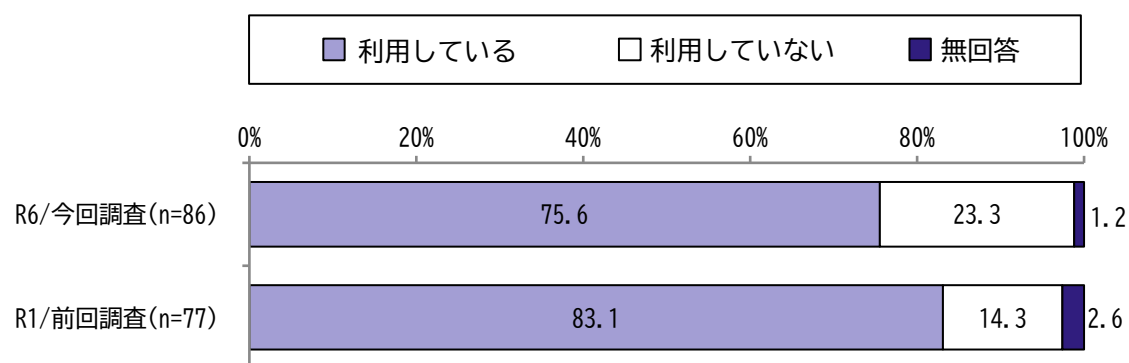
【平日の利用状況】

平日の放課後児童クラブの利用状況についてみると、「利用している」が 75.6%、「利用していない」が 23.3%となっています。

前回調査と比較すると、「利用していない」が 9.0 ポイント増加しています。

また、利用日数と利用終了時間についてみると、週「5日以上」(56.9%)、「17 時台」(53.8%) が最も高くなっています。

図表 122 平日の放課後児童クラブの利用状況（全体、前回比較）



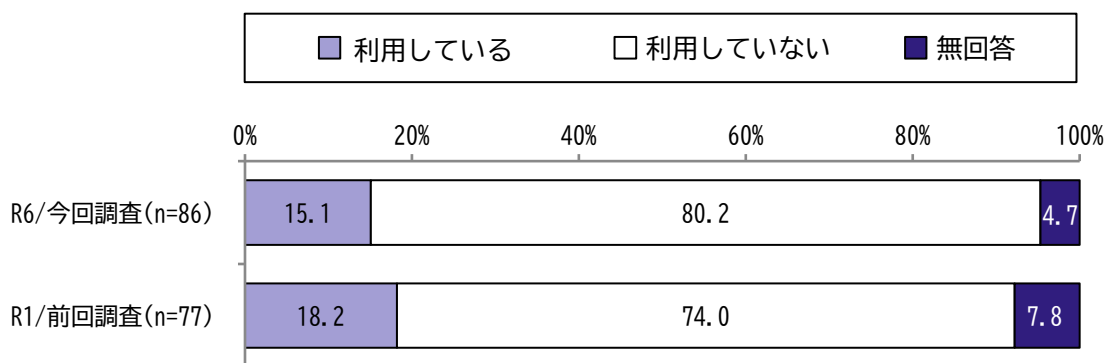
【土曜日の利用状況】

土曜日の放課後児童クラブの利用状況についてみると、「利用している」が15.1%、「利用していない」が80.2%となっています。

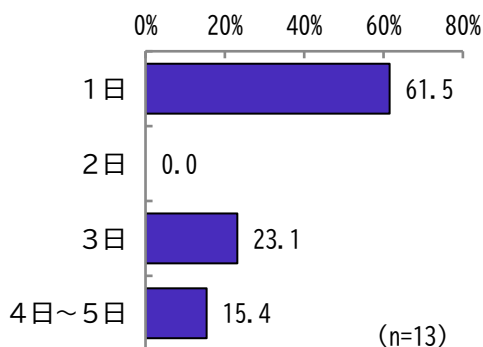
前回調査と比較すると、「利用していない」が6.2ポイント増加しています。

また、希望する月あたりの利用日数は「1日」(61.5%)、利用開始時間は「8時台」(76.9%)、利用終了時間は「17時台」(69.2%)がそれぞれ最も高くなっています。

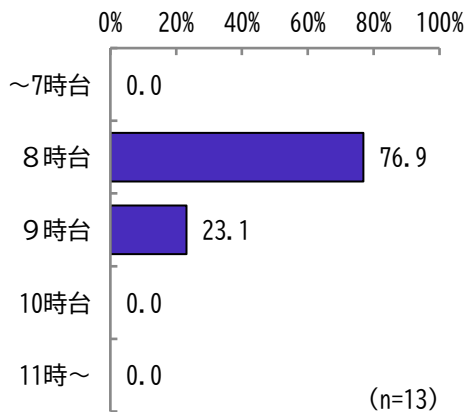
図表 123 土曜日の放課後児童クラブの利用状況（全体、前回比較）



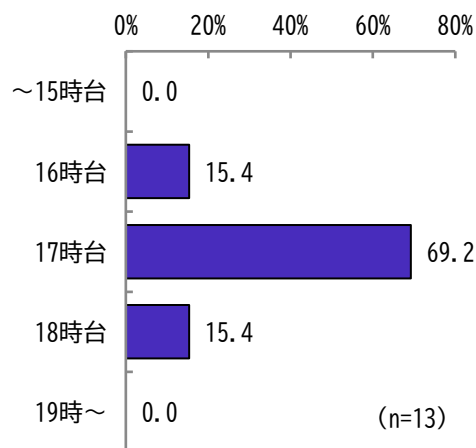
【月あたりの利用日数】



【利用開始時間】



【利用終了時間】



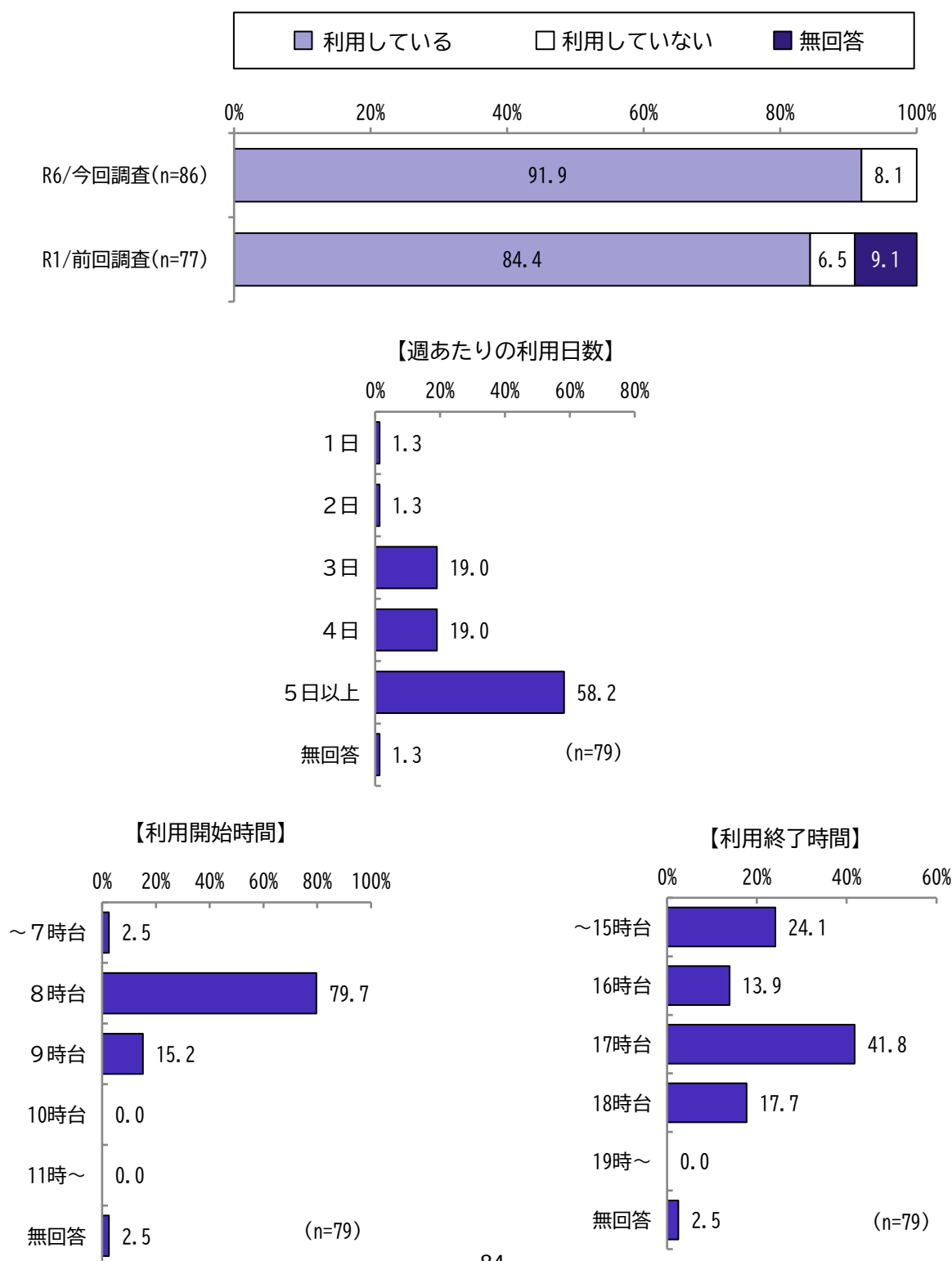
【長期休暇中の利用状況】

長期休暇中の放課後児童クラブの利用状況についてみると、「利用している」が91.9%、「利用していない」が8.1%となっています。

前回調査と比較すると、「利用している」が7.5ポイント増加しています。

また、希望する週あたりの利用日数は「5日以上」（58.2%）、利用開始時間は「8時台」（79.7%）、利用終了時間は「17時台」（41.8%）がそれぞれ最も高くなっています。

図表 124 長期休暇中の放課後児童クラブの利用状況（全体、前回比較）



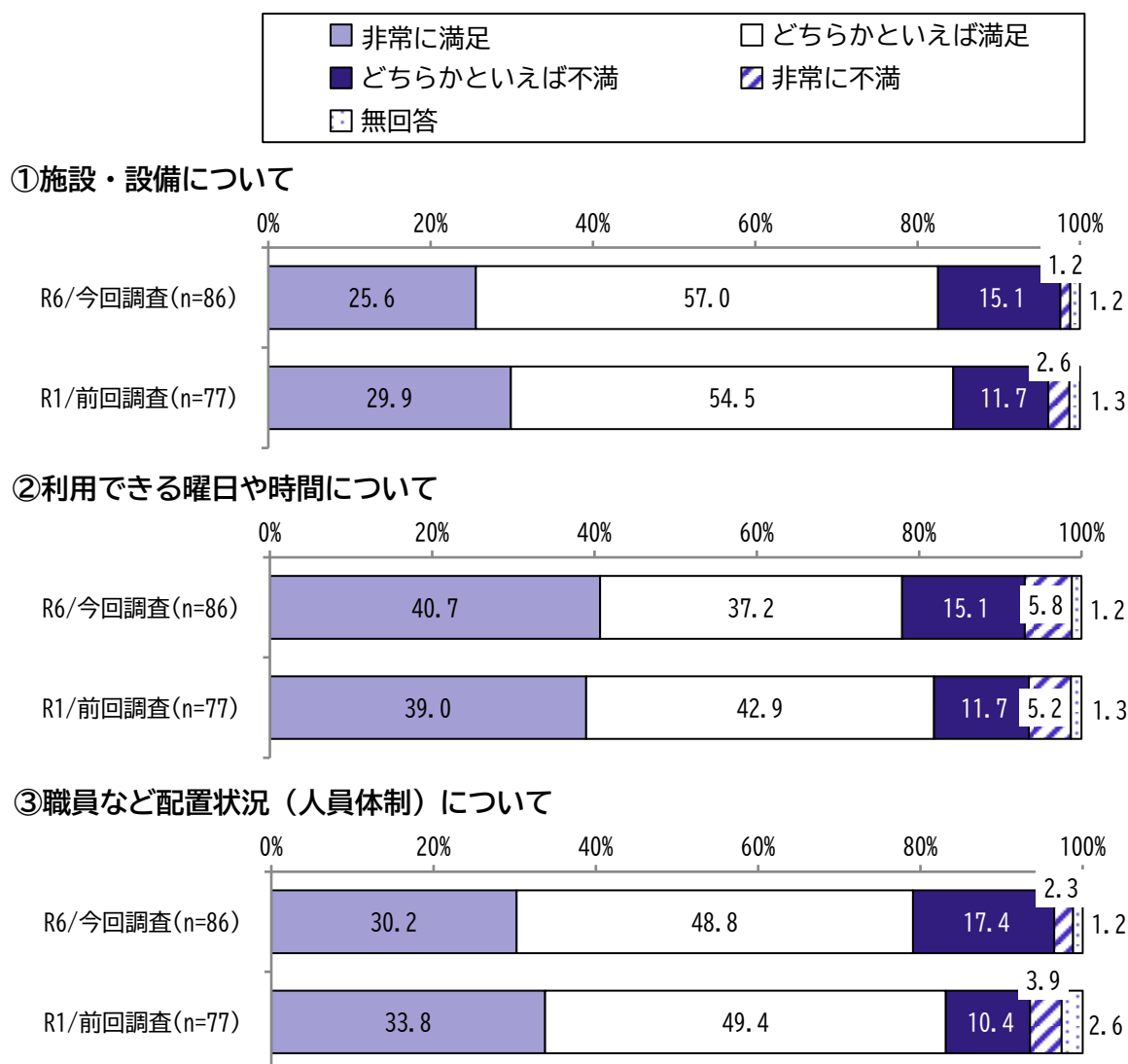
問 19 で「利用している」と回答した方

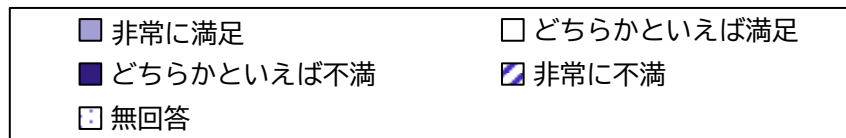
問 21 現在利用している放課後児童クラブに対する満足度を、次にあげる項目ごとにお答えください。
(○は1つずつ)

放課後児童クラブの満足度について①～⑧の項目別にみると、「非常に満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足している』割合は、①施設・設備については82.6%、②利用できる曜日や時間についてが77.9%、③職員など配置状況(人員体制)については79.0%、④子どもへの接し方・支援内容については77.9%、⑤病気やけがの時の対応については89.6%、⑥保護者への情報伝達については88.4%、⑦事故防止や災害時避難などの安全対策については90.7%、⑧総合的な満足度については80.2%となっており、いずれの項目においても満足している人の割合が不満を感じている人の割合よりも高くなっています。

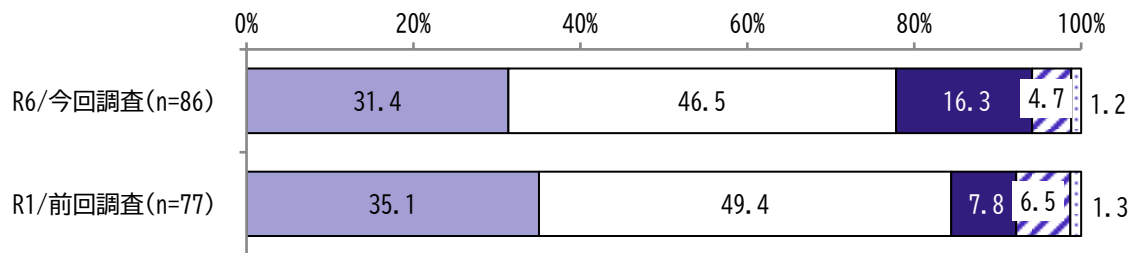
前回調査と比較すると、『満足している』割合は、⑦事故防止や災害時避難などの安全対策についてのみ増加しています。

図表 125 放課後児童クラブに関する満足度(全体、前回比較)

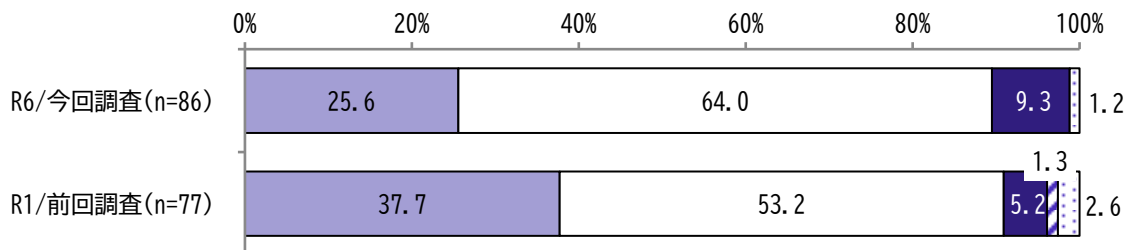




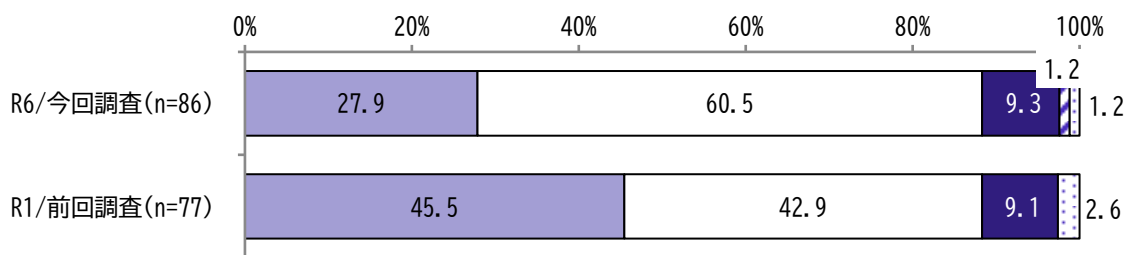
④子どもへの接し方・支援内容について



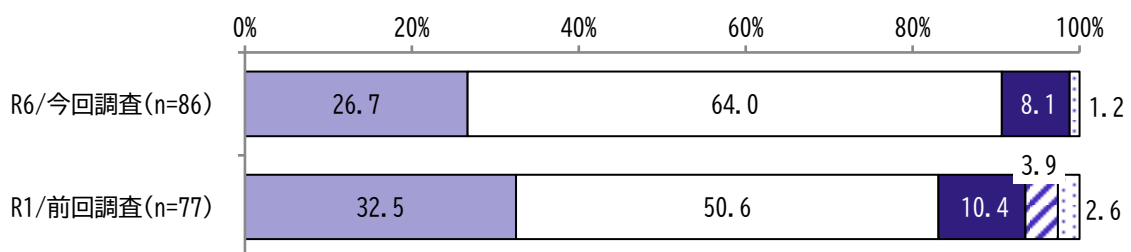
⑤病気やけがの時の対応について



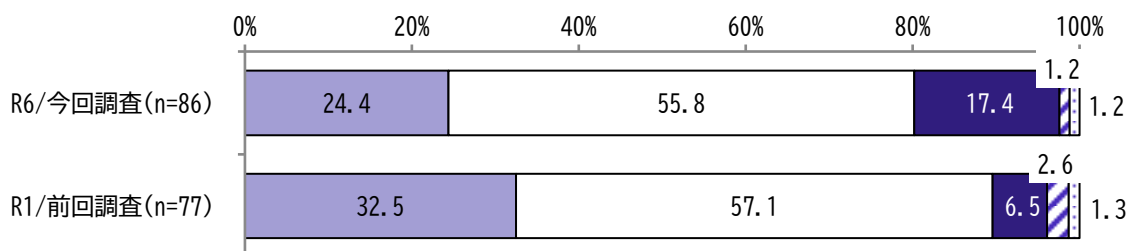
⑥保護者への情報伝達について



⑦事故防止や災害時避難などの安全対策について



⑧総合的な満足度について



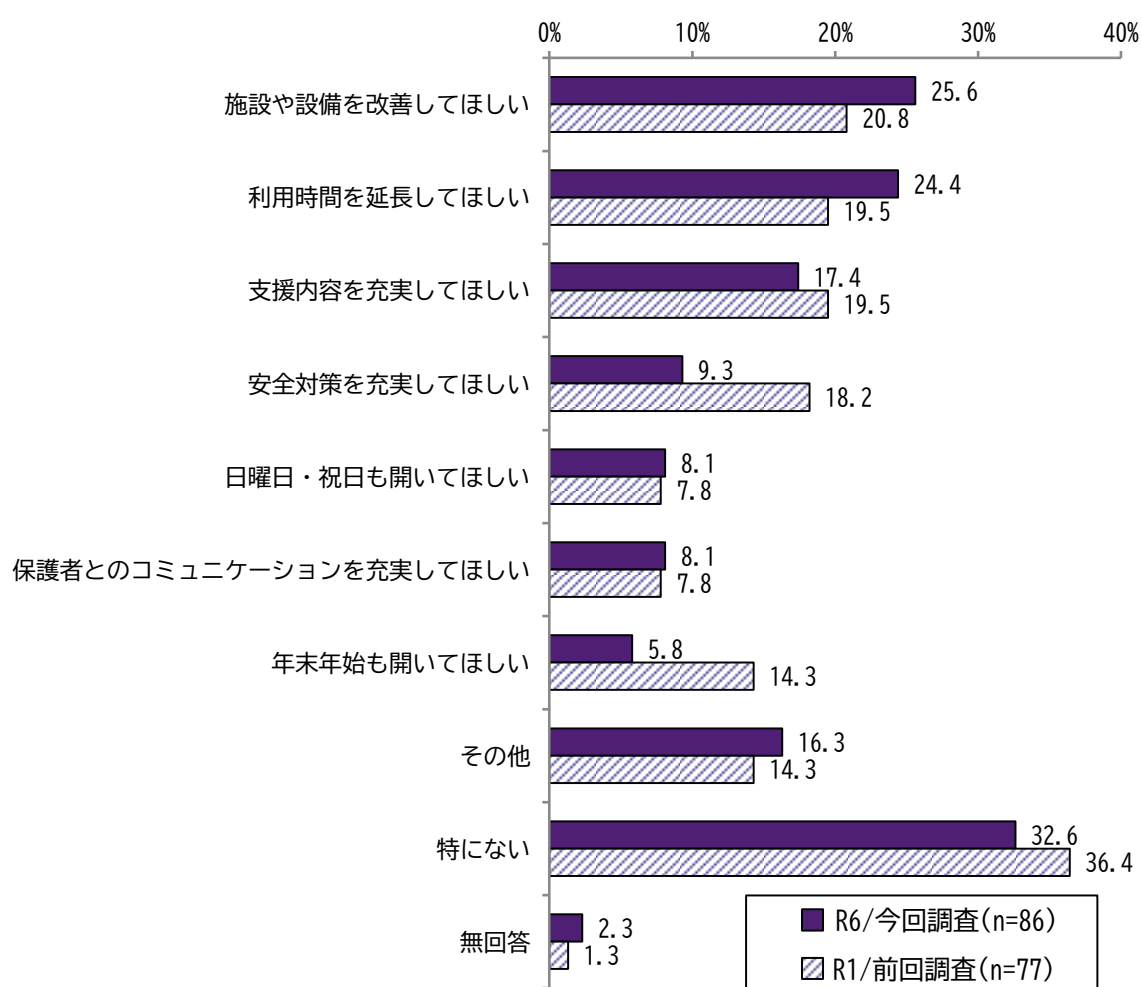
問 19 で「利用している」と回答した方

問 22 現在利用している放課後児童クラブに対して、どのようなことを充実してほしいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

放課後児童クラブについて充実してほしいことをみると、「施設や設備を改善してほしい」が 25.6%で高く、次いで「利用時間を延長してほしい」(24.4%)、「支援内容を充実してほしい」(17.4%)となっています。また、「特にない」が32.6%となっています。

前回調査と比較すると、「安全対策を充実してほしい」が8.9ポイント減少しています。

図表 126 放課後児童クラブについて充実してほしいこと（全体／複数回答）



問 19 で「利用していない」と回答した方

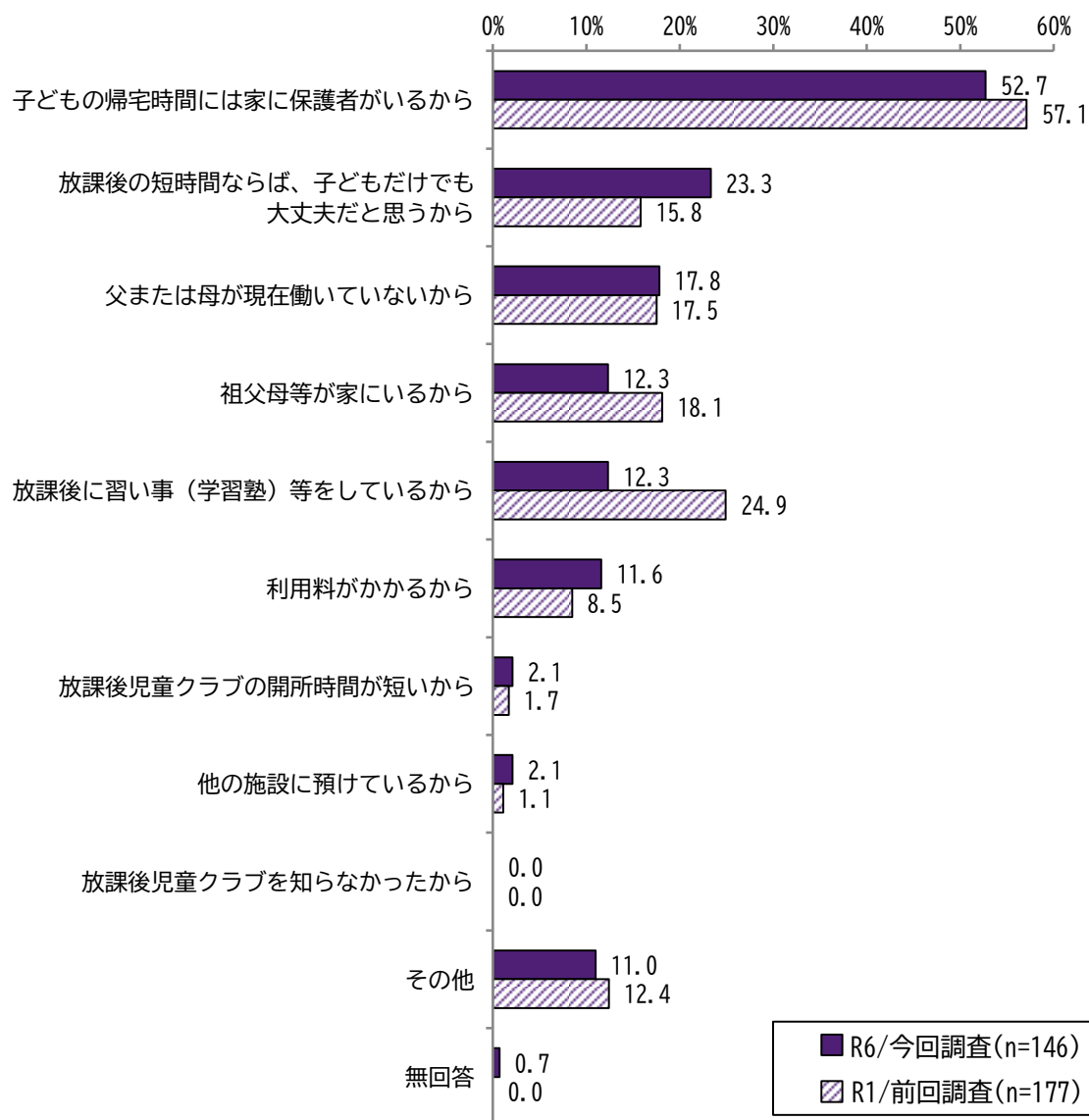
問 23 現在、放課後児童クラブを利用していないのは、どのような理由からですか。

(あてはまるものすべてに○)

放課後児童クラブを利用していない理由をみると、「子どもの帰宅時間には家に保護者がいるから」が 52.7%で最も高く、次いで「放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから」(23.3%)、「父または母が現在働いていないから」(17.8%)となっています。

前回調査と比較すると、「放課後に習い事(学習塾)等をしているから」が 12.6 ポイント減少しています。

図表 127 放課後児童クラブを利用していない理由(全体、前回比較/複数回答)

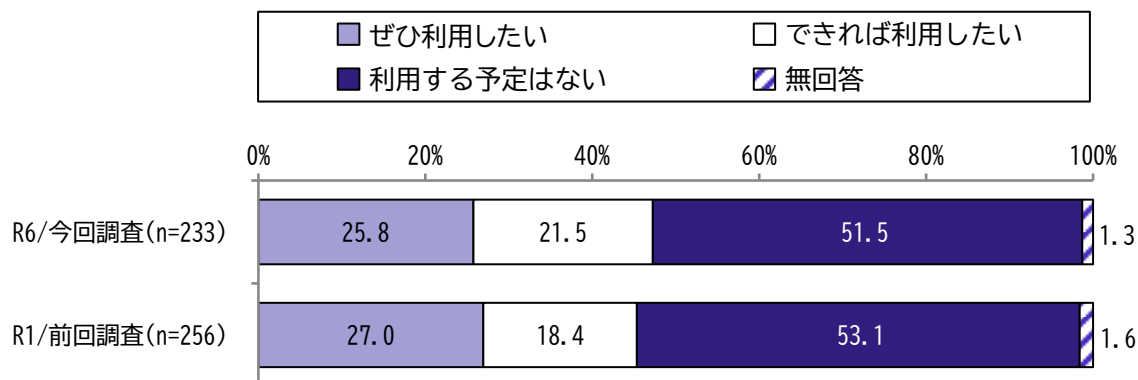


(2) 放課後児童クラブの利用希望

問 24 お子さんについて、現在利用している、利用していないにかかわらず、今後、放課後児童クラブを利用したいと思いますか。(○は1つ)

放課後児童クラブの利用希望についてみると、「利用する予定はない」が 51.5%で最も高く、利用意向がある人は 47.3%となっています。前回調査と比較すると、「できれば利用したい」が 3.1 ポイント増加しています。

図表 128 放課後児童クラブの利用希望（全体、前回比較）

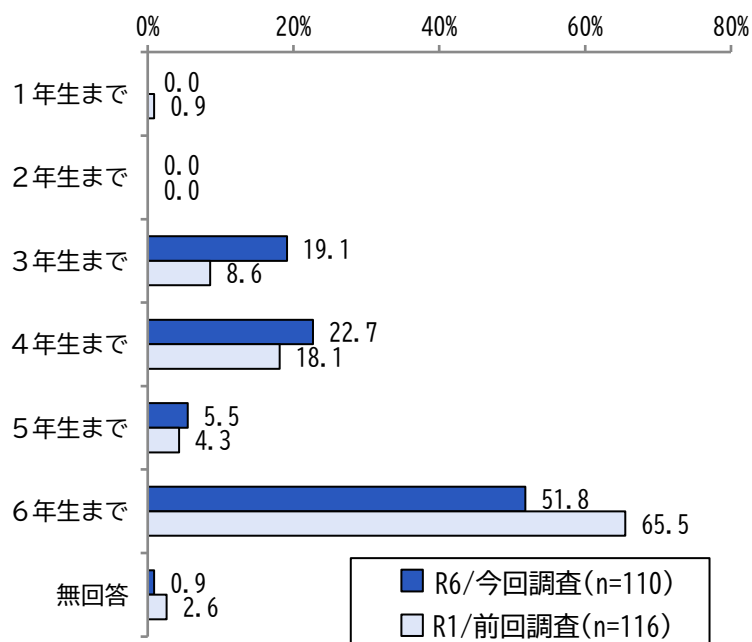


問 24 で「利用したい」と回答した方

問 25 放課後児童クラブを何年生まで利用したいと思いますか。(○は1つ)

放課後児童クラブを何年生まで利用したいかについてみると、「6年生まで」が 51.8%で最も高く、次いで「4年生まで」(22.7%)、「3年生まで」(19.1%)となっています。前回調査と比較すると、「6年生まで」が 13.7 ポイント減少しています。

図表 129 放課後児童クラブを何年生まで利用したいか（全体、前回比較）



問 24 で「利用したい」と回答した方

問 26 今後の希望として、どの程度利用したいですか。

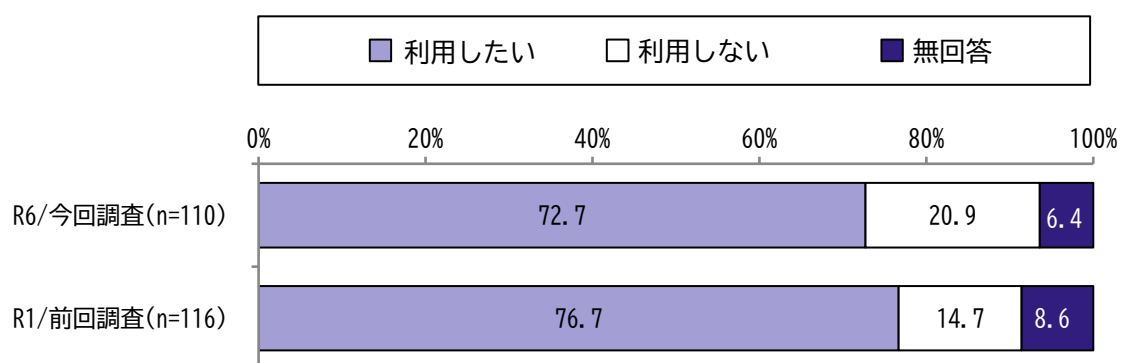
【平日の利用希望】

平日の放課後児童クラブの利用希望は、「利用したい」が72.7%、「利用しない」が20.9%となっています。

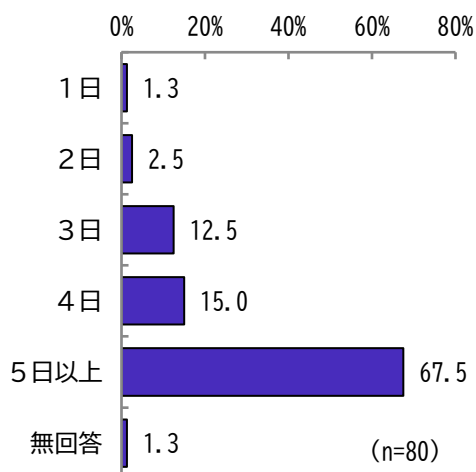
前回調査と比較すると、「利用しない」が6.2ポイント増加しています。

また、希望する週あたりの利用日数は「5日以上」(67.5%)、利用終了時間は「18 時台」(46.3%) が最も高くなっています。

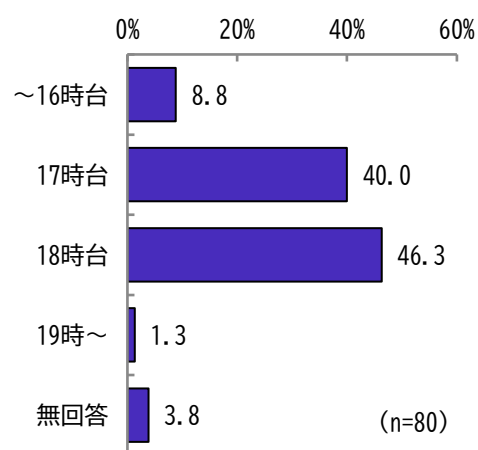
図表 130 放課後児童クラブの利用希望：平日（全体、前回比較）



【週あたりの利用日数】



【利用終了時間】



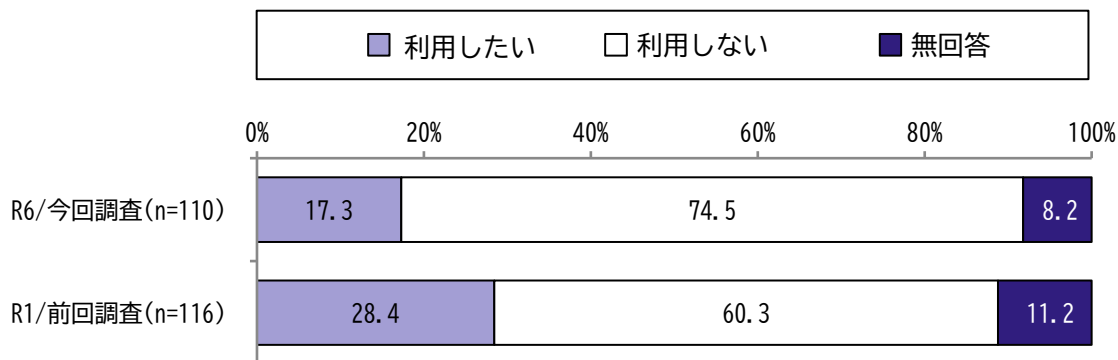
【土曜日の利用希望】

土曜日の放課後児童クラブの利用希望は、「利用したい」が17.3%、「利用しない」が74.5%となっています。

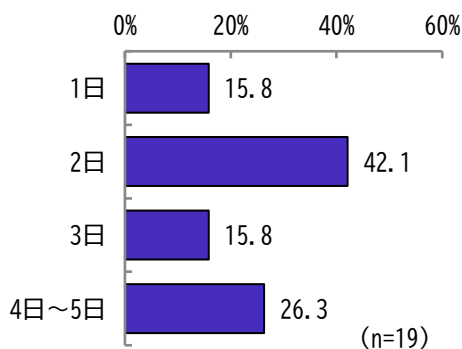
前回調査と比較すると、「利用しない」が14.2ポイント増加しています。

また、希望する月あたりの利用日数は「2日」(42.1%)、利用開始時間は「8時台」(47.4%)、利用終了時間は「18時台」(47.4%)が最も高くなっています。

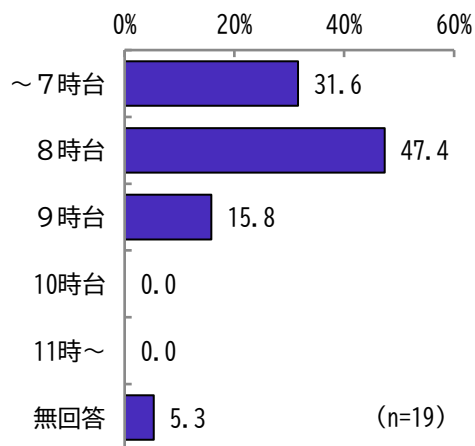
図表 131 放課後児童クラブの利用希望：土曜日（全体、前回比較）



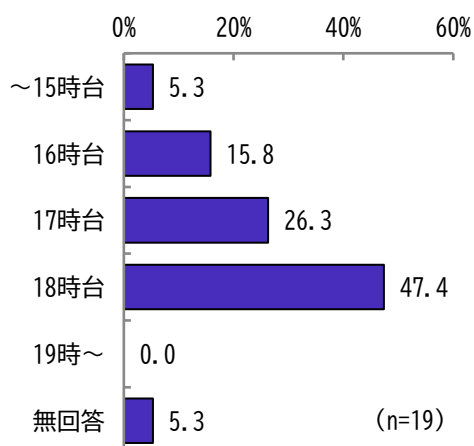
【月あたりの利用日数】



【利用開始時間】



【利用終了時間】



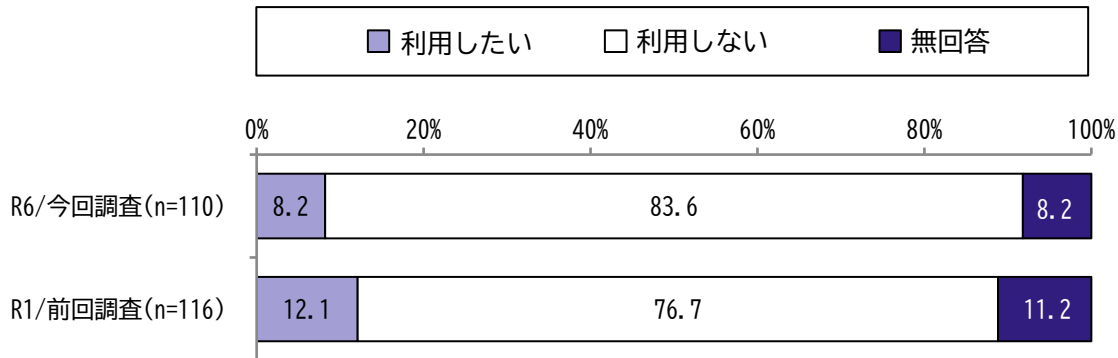
【日曜日・祝日の利用希望】

日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望は、「利用したい」が8.2%、「利用しない」が83.6%となっています。

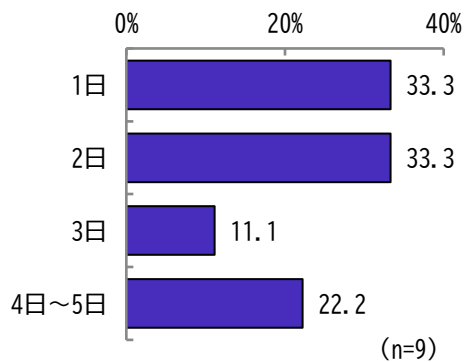
前回調査と比較すると、「利用しない」が6.9ポイント増加しています。

また、希望する月あたりの利用日数は「1日」「2日」(33.3%)、利用開始時間は「8時台」(77.8%)、利用終了時間は「16時台」「18時台」(33.3%)が最も高くなっています。

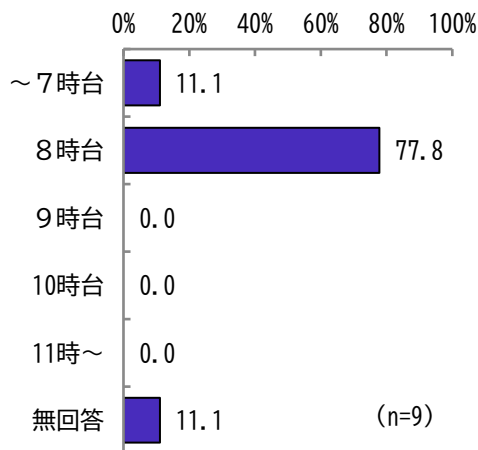
図表 132 放課後児童クラブの利用希望：日曜・祝日（全体、前回比較）



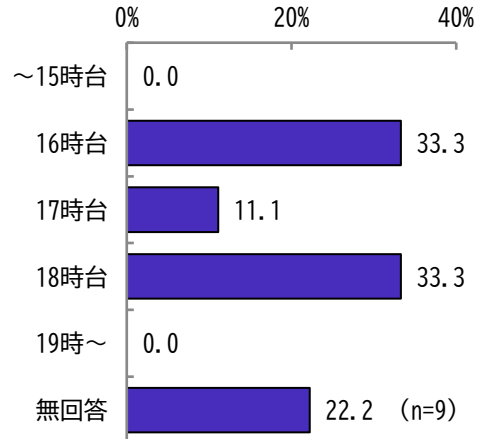
【月あたりの利用日数】



【利用開始時間】



【利用終了時間】



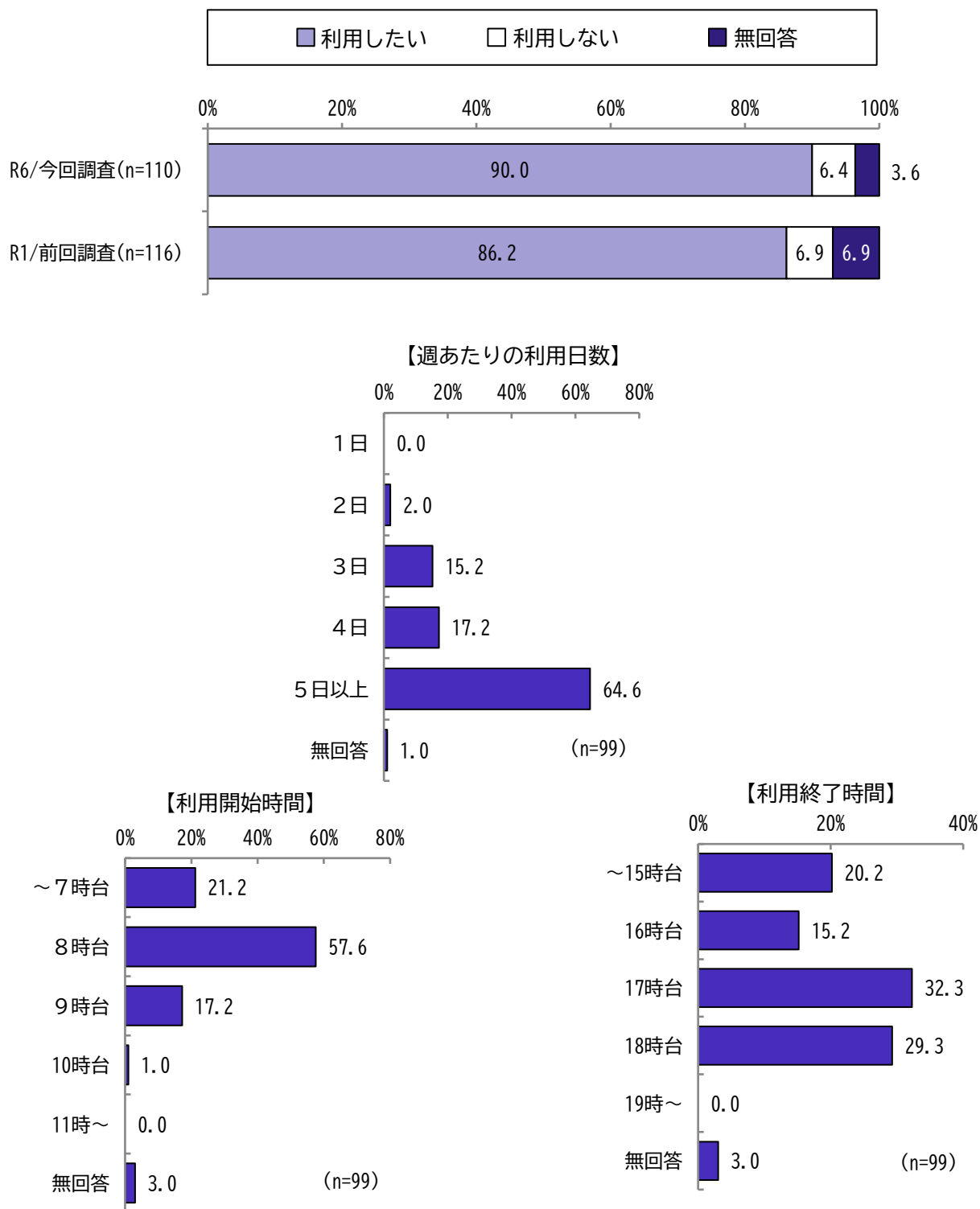
【長期休暇中の利用希望】

長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望は、「利用したい」が90.0%、「利用しない」が6.4%となっています。

前回調査と比較すると、「利用したい」が3.8ポイント増加しています。

また、希望する週あたりの利用日数は「5日以上」（64.6%）、利用開始時間は「8時台」（57.6%）、利用終了時間は「17時台」（32.3%）が最も高くなっています。

図表 133 放課後児童クラブの利用希望：長期休暇中（全体、前回比較）



問 27 『放課後子ども教室』の利用についておうかがいします。

【現在の利用状況】

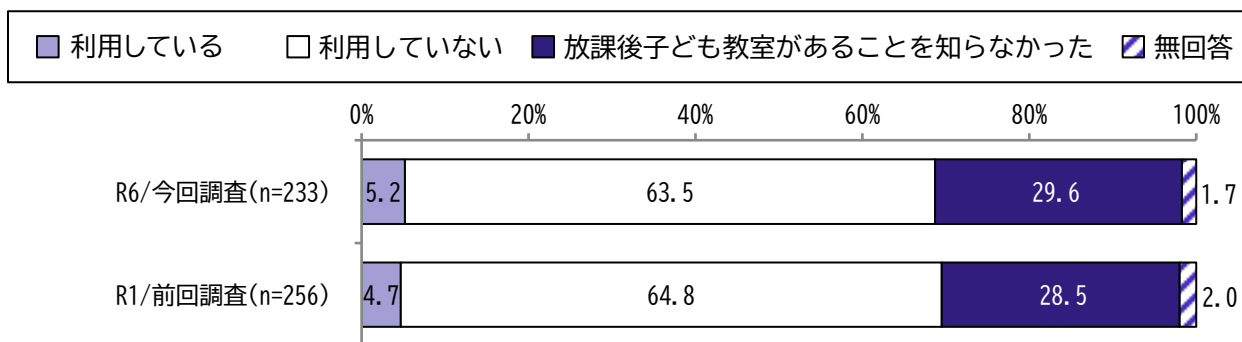
放課後子ども教室の利用状況をみると、「利用していない」が63.5%を占めています。前回調査と比較すると、「利用していない」が1.3ポイント減少しています。

【今後の利用希望】

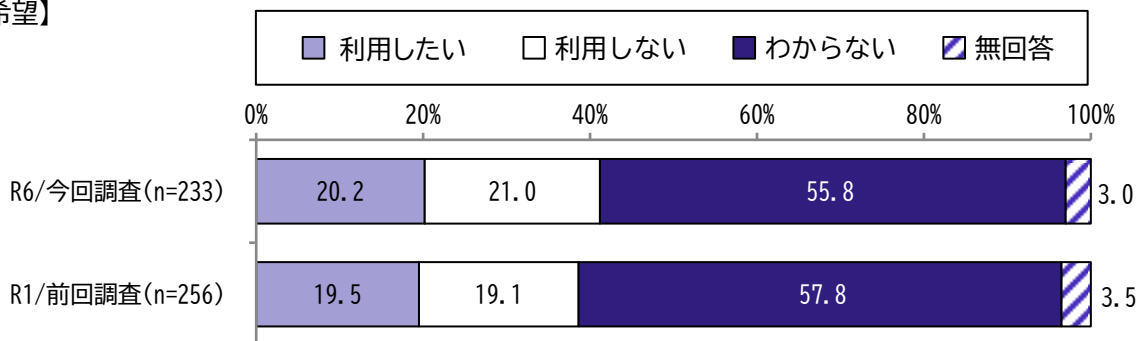
放課後子ども教室の利用希望をみると、「利用したい」が20.2%、「利用しない」が21.0%となっています。前回調査と比較すると、「わからない」が2.0ポイント減少しています。また、現在の月あたりの利用日数、今後の月あたりの利用希望日数ともに「1～4日」が最も高くなっています。

図表 134 放課後子ども教室の利用状況と利用希望（全体、前回比較）

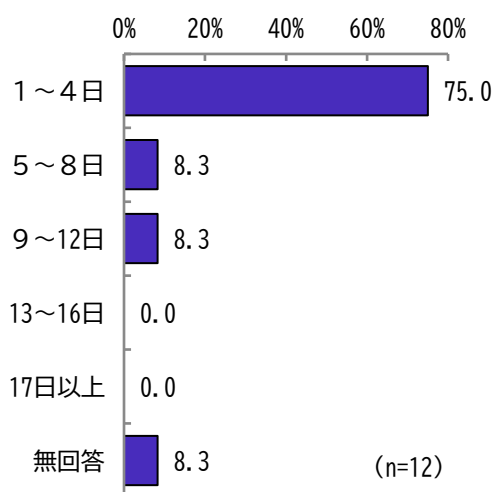
【現在の利用状況】



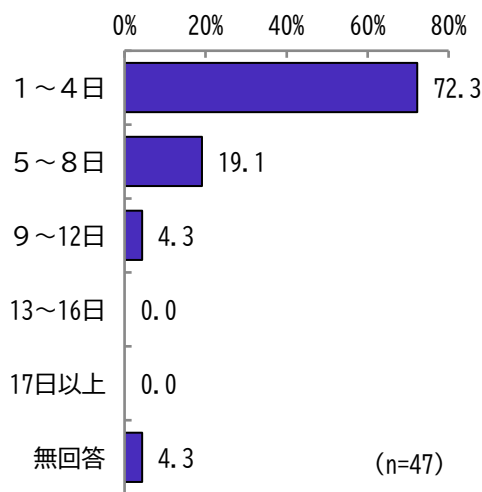
【今後の利用希望】



【現在の月あたりの利用日数】



【今後の月あたりの利用希望日数】



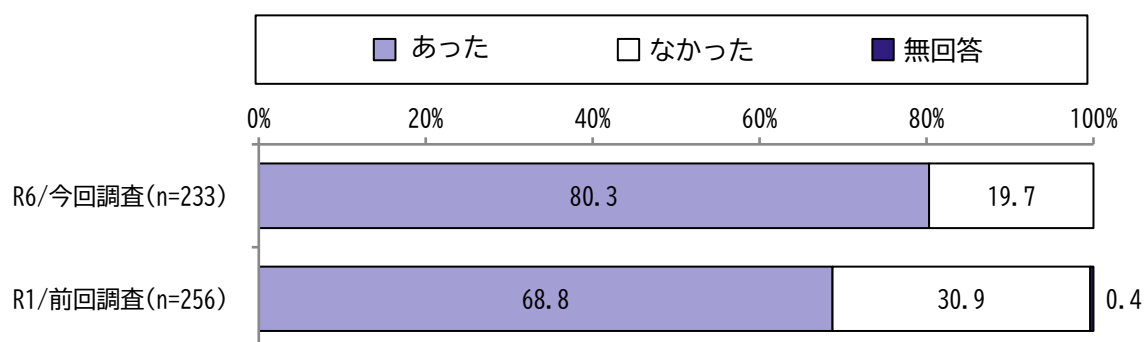
4 子どもが病気の時の対応について

(1) 学校を休まなければならない場合の対処方法

問 28 最近1年間に、お子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。
(○は1つ)

子どもが病気等で学校を休まなければならなかったことがあったかをみると、「あった」が80.3%、「なかった」が19.7%となっています。前回調査と比較すると、「あった」が11.5ポイント増加しています。

図表 135 子どもが学校を休まなければならなかったことがあったか（全体、前回比較）

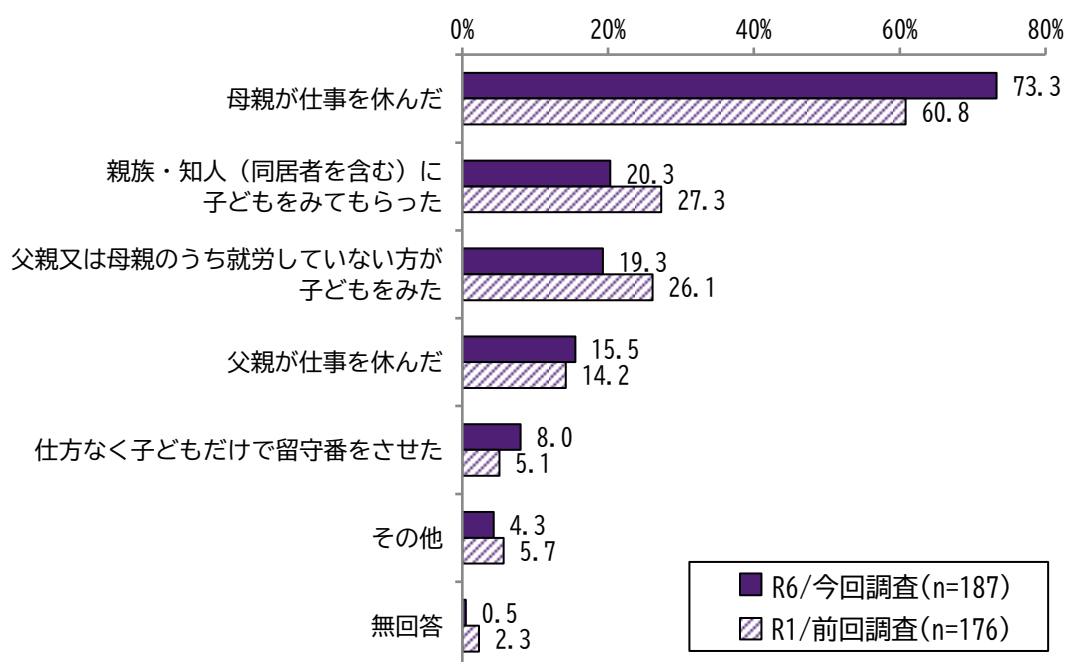


問 28 で「あった」と回答した方

問 29 その時、どのように対処されましたか。(あてはまるものすべてに○)

子どもが病気等で学校を休んだ際の対処法については、「母親が仕事を休んだ」(73.3%)が最も高く、その割合は突出しています。前回調査と比較すると、「母親が仕事を休んだ」が12.5ポイント増加しています。

図表 136 子どもが学校を休んだ際の対処方法（全体、前回比較／複数回答）



(2) 病児・病後児保育施設等の利用希望

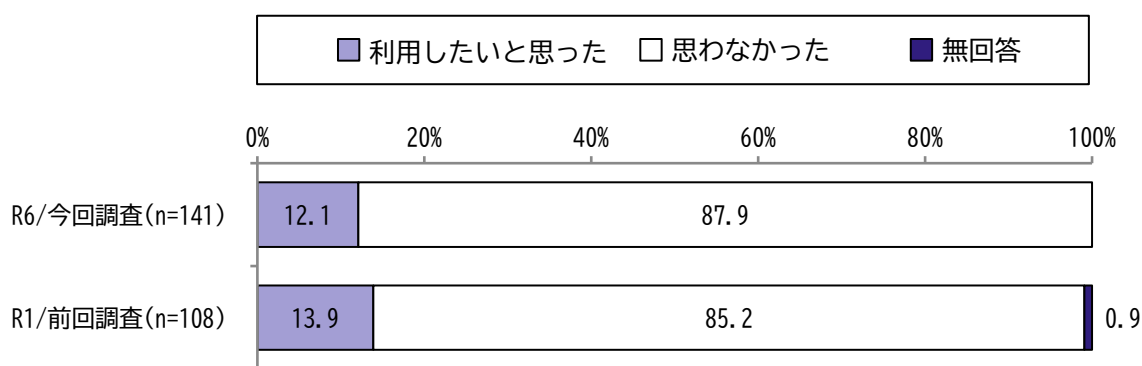
問 29 で「母親が仕事を休んだ」「父親が仕事を休んだ」と回答した方

問 30 保護者が仕事を休んだ時、『病児・病後児のための保育施設等』を利用したいと思いましたか。
(○は1つ)

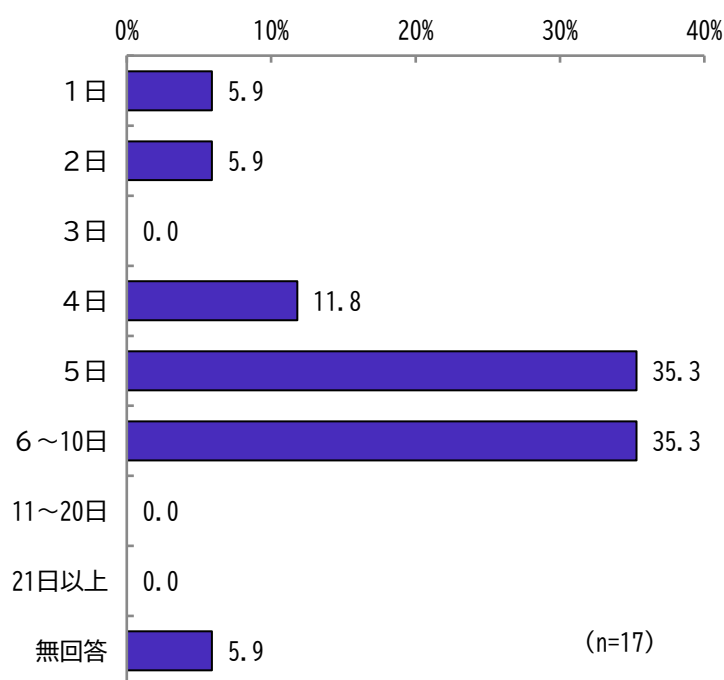
父親、または母親が休んだ場合に、病児・病後児保育施設等を利用したいかについてみると、「利用したいと思った」が12.1%、「思わなかった」が87.9%となっています。

また、年あたりの利用希望日数については、「5日」「6日～10日」(ともに35.3%)が最も高くなっています。

図表 137 病児・病後児保育施設等の利用希望（全体、前回比較）



図表 138 利用希望日数（全体）

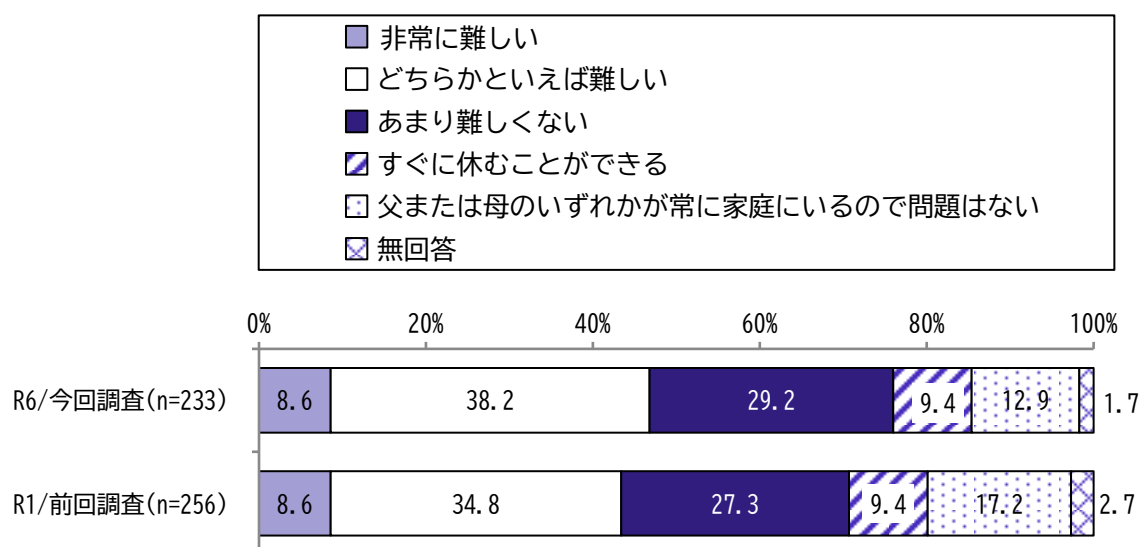


問 31 お子さんが病気やケガの時、保護者が仕事を休むことは難しいですか。(○は1つ)

子どもが病気の際に保護者が仕事を休む場合の困難度についてみると、「どちらかといえば難しい」が38.2%で最も高く、次いで「あまり難しくない」(29.2%)、「父または母のいずれかが常に家庭にいるので問題はない」(12.9%)となっています。

前回調査と比較すると、「父または母のいずれかが常に家庭にいるので問題はない」が4.3ポイント減少しています。

図表 139 子どもが病気の際、保護者が仕事を休む場合の困難度（全体、前回比較）



5 小学校での放課後の過ごし方について

(1) 低学年の放課後の過ごし方について

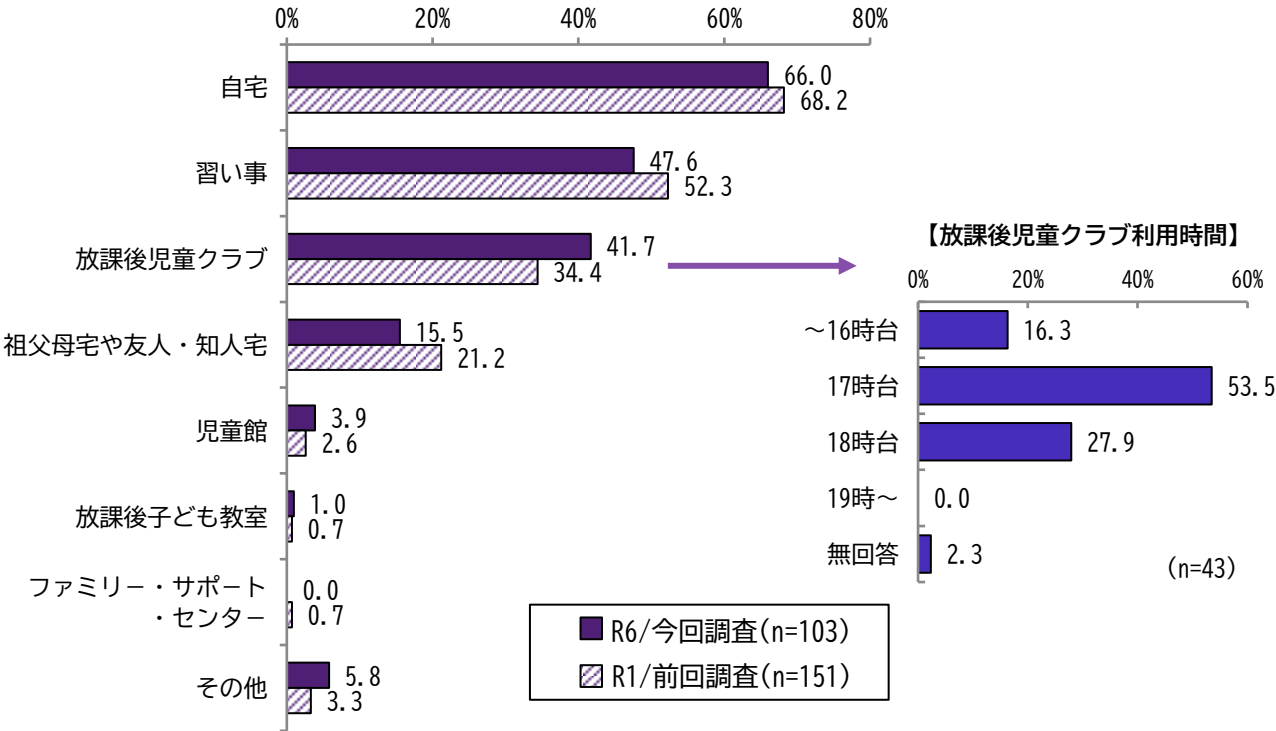
現在お子さんが1～3年生の方

問 32 お子さんは現在、放課後の時間を、どのような場所で過ごしていますか。(あてはまるものすべてに○)

小学校低学年の放課後過ごしている場所についてみると、「自宅」が66.0%で最も高くなっています。また、放課後児童クラブの利用希望時間は「17 時台」(53.5%) までが最も高くなっています。前回調査と比較すると、「放課後児童クラブ」が7.3 ポイント増加しています。

場所別の週当たりの利用日数は、自宅、放課後児童クラブは「5 日以上」、習い事、祖父母宅や友人・知人宅、児童館、放課後子ども教室は「1 日」が最も高くなっています。

図表 140 放課後過ごしている場所：低学年（全体／複数回答）



図表 141 場所別日数：低学年（週）

上段：回答者数（人） 下段：構成比（%）	全体	1日	2日	3日	4日	5日以上	無回答
自宅	68 100.0	7 10.3	9 13.2	7 10.3	4 5.9	41 60.3	-
習い事	49 100.0	16 32.7	14 28.6	8 16.3	5 10.2	4 8.2	2 4.1
放課後児童クラブ	43 100.0	-	3 7.0	7 16.3	9 20.9	24 55.8	-
祖父母宅や友人・知人宅	16 100.0	6 37.5	4 25.0	1 6.3	-	5 31.3	-
児童館	4 100.0	4 100.0	-	-	-	-	-
放課後子ども教室	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-
その他	6 100.0	3 50.0	2 33.3	-	-	1 16.7	-

※「ファミリー・サポート・センター」の回答者無し

(2) 高学年の放課後の過ごし方について

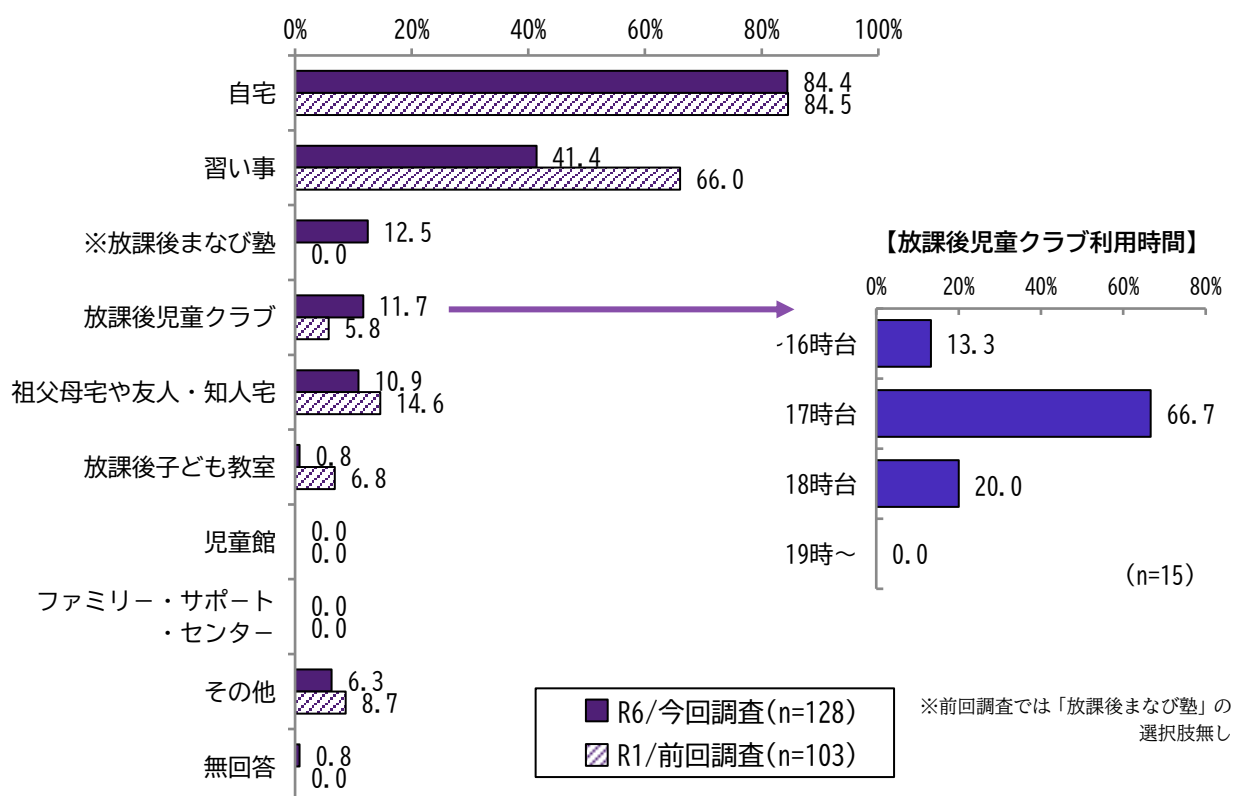
現在お子さんが4～6年生の方

問 33 お子さんは現在、放課後の時間を、どのような場所で過ごしていますか。(あてはまるものすべてに○)

小学校高学年の放課後過ごしている場所についてみると、「自宅」が84.4%で最も高くなっています。また、放課後児童クラブの利用希望時間は「17 時台」(66.7%)までが最も高くなっています。前回調査と比較すると、「習い事」が24.6 ポイント減少しています。

場所別の週当たりの利用日数は、自宅、放課後児童クラブは「5日以上」、習い事は「3日」、祖父母宅や友人・知人宅、放課後子ども教室は「1日」、放課後まなび塾は「2日」が最も高くなっています。

図表 142 放課後過ごしている場所：高学年（全体／複数回答）



図表 143 場所別日数：高学年（週）

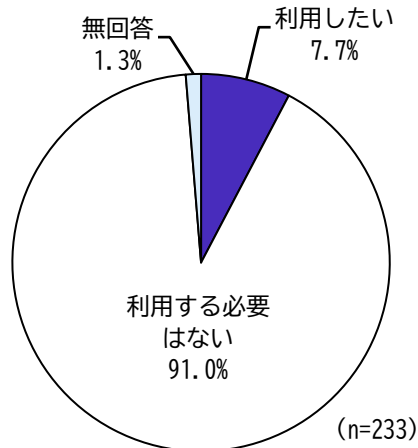
上段：回答者数（人） 下段：構成比（%）	全体	1日	2日	3日	4日	5日以上	無回答
自宅	108 100.0	9 8.3	15 13.9	10 9.3	10 9.3	59 54.6	5 4.6
習い事	53 100.0	11 20.8	15 28.3	17 32.1	7 13.2	3 5.7	-
放課後児童クラブ	15 100.0	2 13.3	-	5 33.3	2 13.3	6 40.0	-
祖父母宅や友人・知人宅	14 100.0	8 57.1	3 21.4	2 14.3	-	1 7.1	-
放課後まなび塾	16 100.0	3 18.8	5 31.3	4 25.0	1 6.3	3 18.8	-
放課後子ども教室	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-
その他	8 100	2 25	1 12.5	1 12.5	1 12.5	2 25	1 12.5

※「ファミリー・サポート・センター」「児童館」の回答者無し

問 34 お子さんについて、保護者の事情（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用したいですか。（○は1つ）

保護者の事情により、短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用する意向があるかについてみると、「利用したい」が7.7%、「利用する必要はない」が91.0%となっています。

図表 144 ショートステイの利用希望（全体）

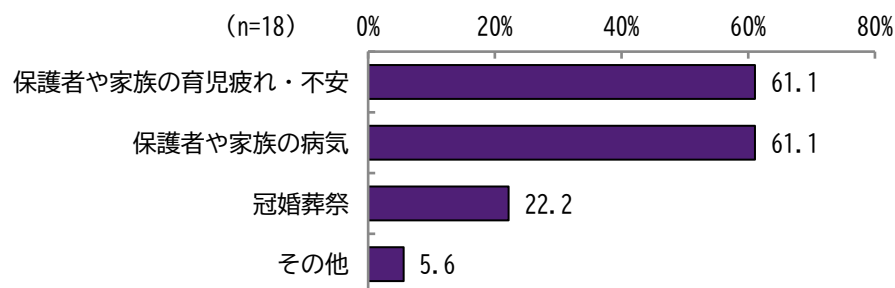


問 34 で「利用したい」と回答した方

問 35 ショートステイの利用目的は何ですか。（○はいくつでも、希望する泊数を数字で記入）

ショートステイを利用したいと回答した人の利用目的についてみると、「保護者や家族の育児疲れ・不安」「保護者や家族の病気」（ともに 61.1%）が最も高くなっています。また、年あたりの理由別利用希望泊数は、保護者や家族の育児疲れ・不安は「1泊」、保護者や家族の病気は「2泊」、冠婚葬祭は「1泊」「3泊」が最も高くなっています。

図表 145 ショートステイを利用したい理由（全体、前回比較）



図表 146 理由別利用希望泊数（年間）

上段：回答者数（人） 下段：構成比（%）	全体	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6～10泊	11～20泊	21泊以上	無回答
保護者や家族の 育児疲れ・不安	11 100.0	4 36.4	1 9.1	1 9.1	-	2 18.2	1 9.1	-	1 9.1	1 9.1
保護者や家族の 病気	11 100.0	1 9.1	3 27.3	2 18.2	-	-	1 9.1	-	1 9.1	3 27.3
冠婚葬祭	4 100.0	2 50.0	-	2 50.0	-	-	-	-	-	-
その他	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0

6 子育て全般について

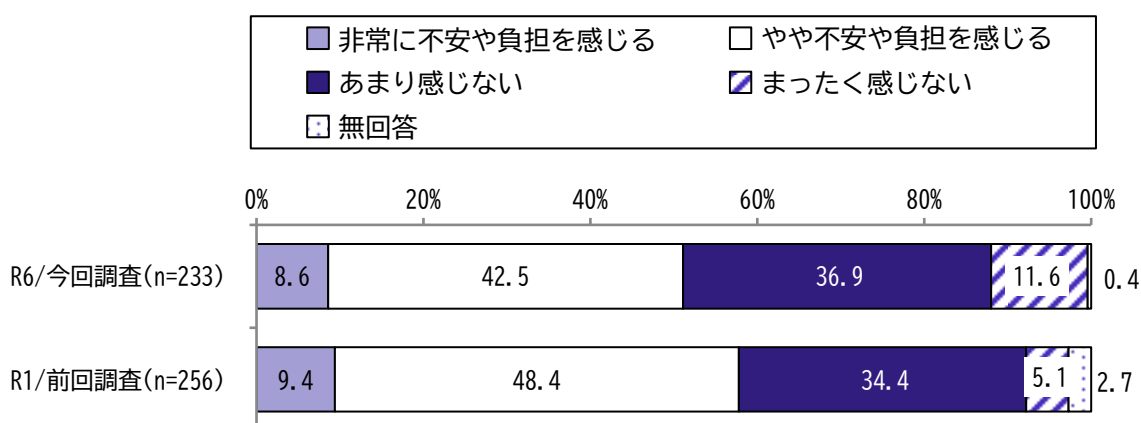
(1) 子育てに関する不安の有無

問 36 子育てに関して、不安や負担を感じることがありますか。(○は1つ)

子育てに関する不安の有無をみると、「やや不安や負担を感じる」が42.5%で最も高く、「非常に不安や負担を感じる」(8.6%)を合わせると、51.1%が子育てに関して不安や負担を感じています。一方、不安や負担を感じていない人は48.5%となっています。

前回調査と比較すると、「まったく感じない」が6.5ポイント増加しています。

図表 147 子育てに関する不安の有無（全体、前回比較）



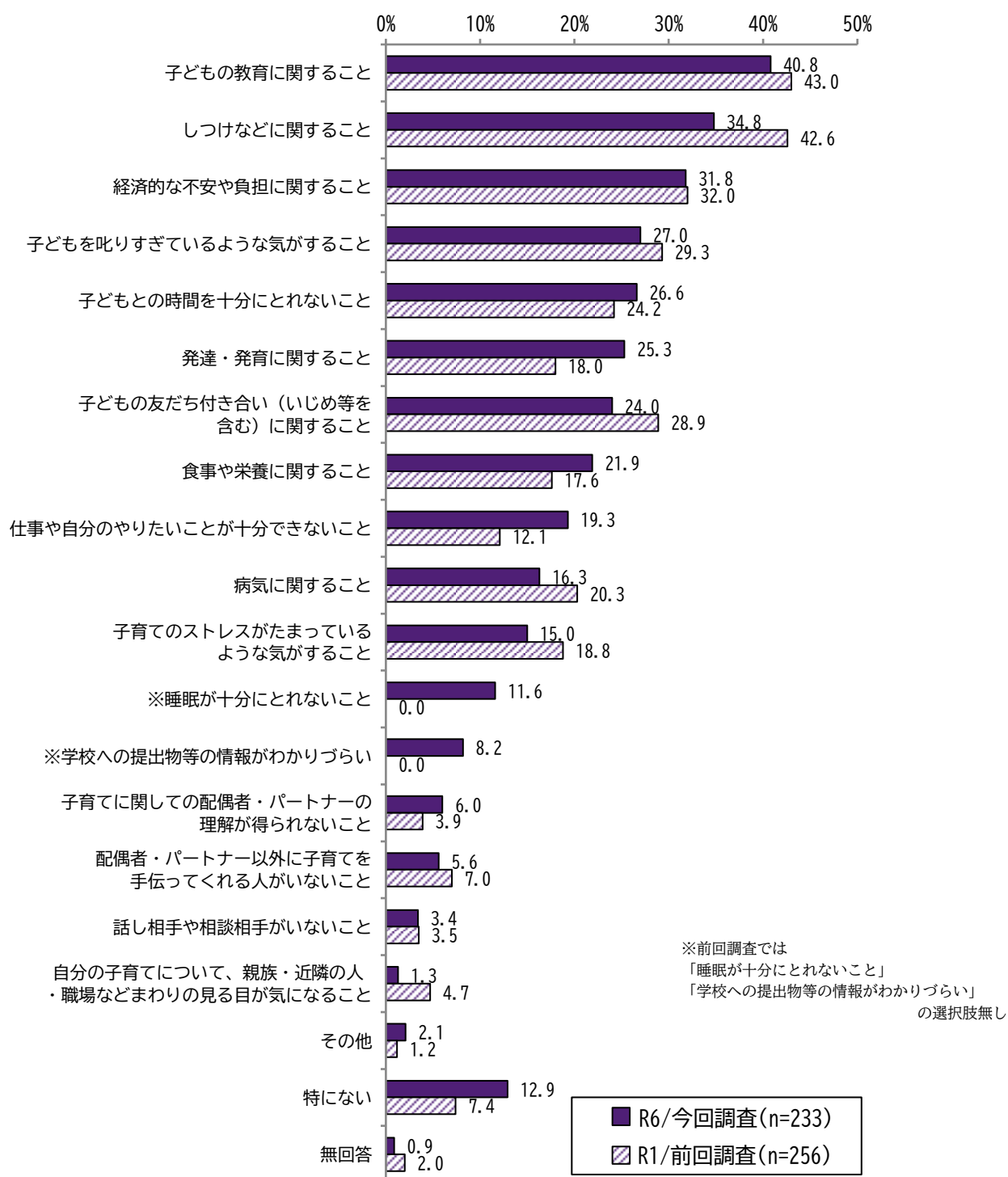
(2) 子育てに関する悩みや相談相手について

問37 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

子育てに関する悩みや気になることについてみると、「子どもの教育に関すること」が40.8%で最も高く、次いで「しつけなどに関すること」(34.8%)、「経済的な不安や負担に関すること」(31.8%)となっています。

前回調査と比較すると、「しつけなどに関すること」が7.8ポイント減少しています。

図表 148 子育てに関する悩み(全体、前回比較/複数回答)

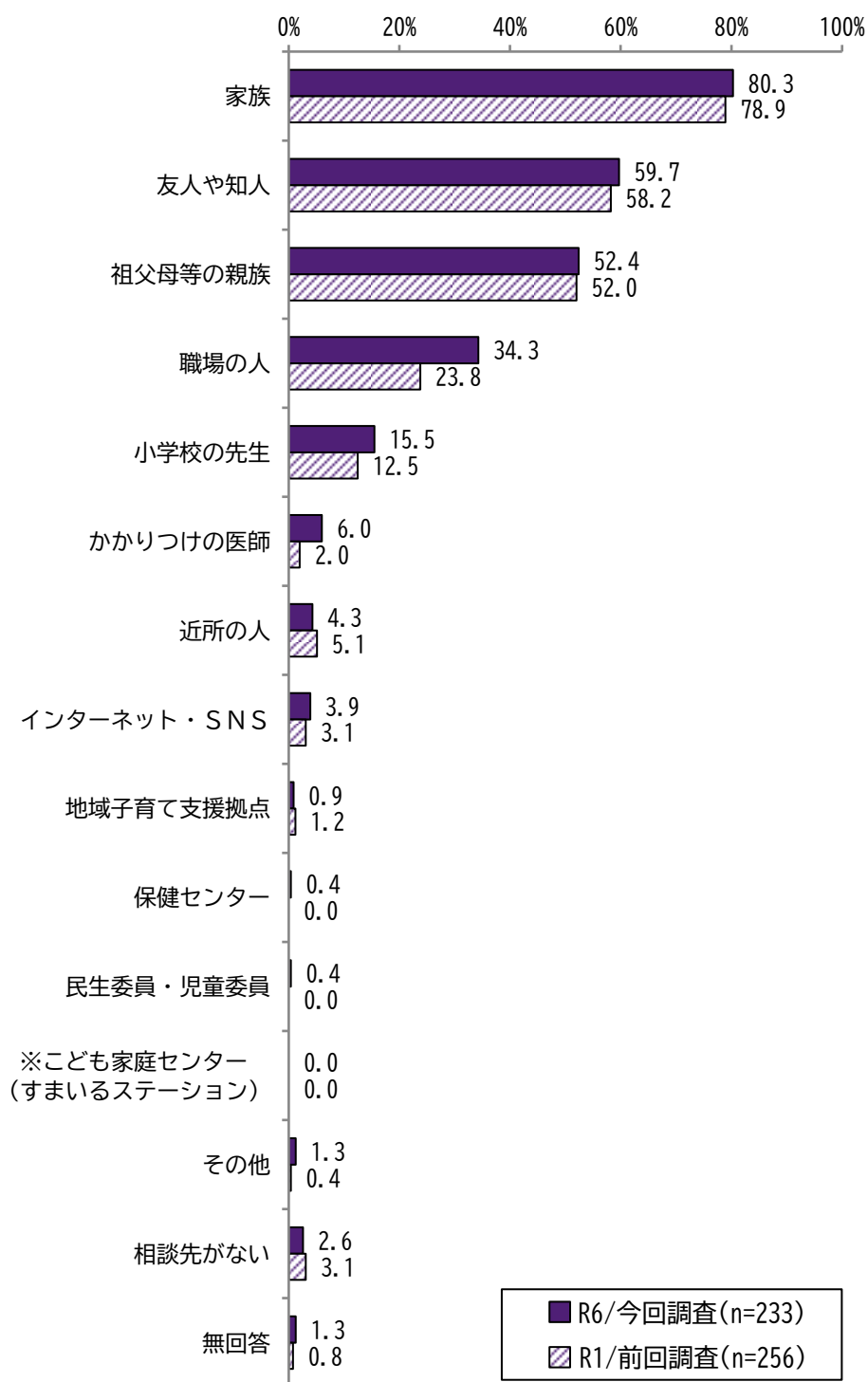


問 38 子育てする上で、気軽に相談できる人は誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

子育てをする上で、気軽に相談できる相手をみると、「家族」が80.3%で最も高く、次いで「友人や知人」(59.7%)、「祖父母等の親族」(52.4%)、となっています。

前回調査と比較すると、「職場の人」が10.5ポイント増加しています。

図表 149 子育てするうえでの相談先・相談相手（全体、前回比較／複数回答）



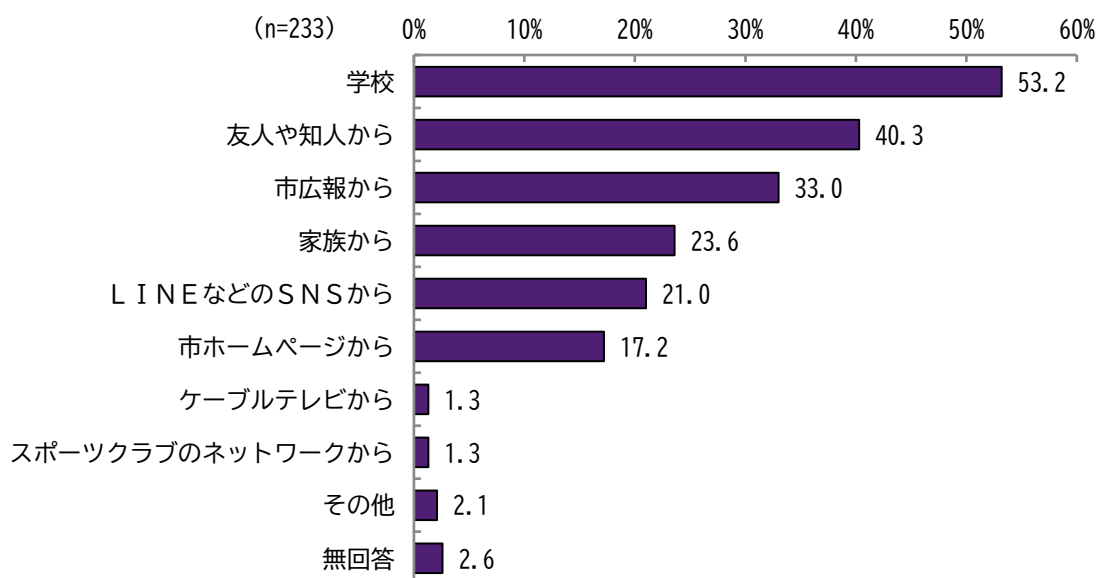
※前回調査では「こども家庭センター」の選択肢無し

(3) 子育て支援に関する情報提供について

問 39 新居浜市の子育て支援の情報を何で集めていますか。(あてはまるものすべてに○)

新居浜市の子育て支援情報の取得先をみると、「学校」が 53.2%で最も高く、次いで「友人や知人から」(40.3%)、「市広報から」(33.0%)となっています。

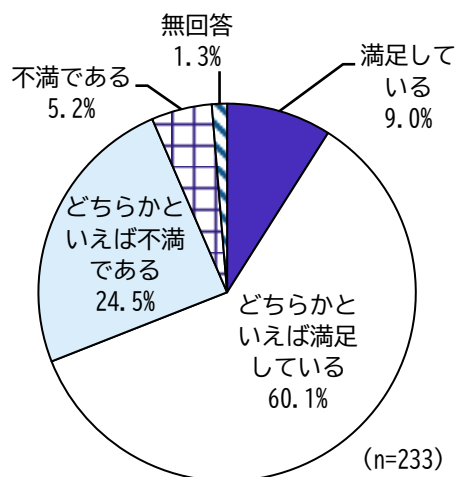
図表 150 新居浜市の子育て支援情報の取得先（全体／複数回答）



問 40 子育て支援に関する情報提供に満足していますか。(○は1つ)

子育てに関する情報提供の満足度をみると、「どちらかといえば満足している」が 60.1%で最も高く、「満足している」(9.0%)を合わせると、69.1%が情報提供に満足しています。

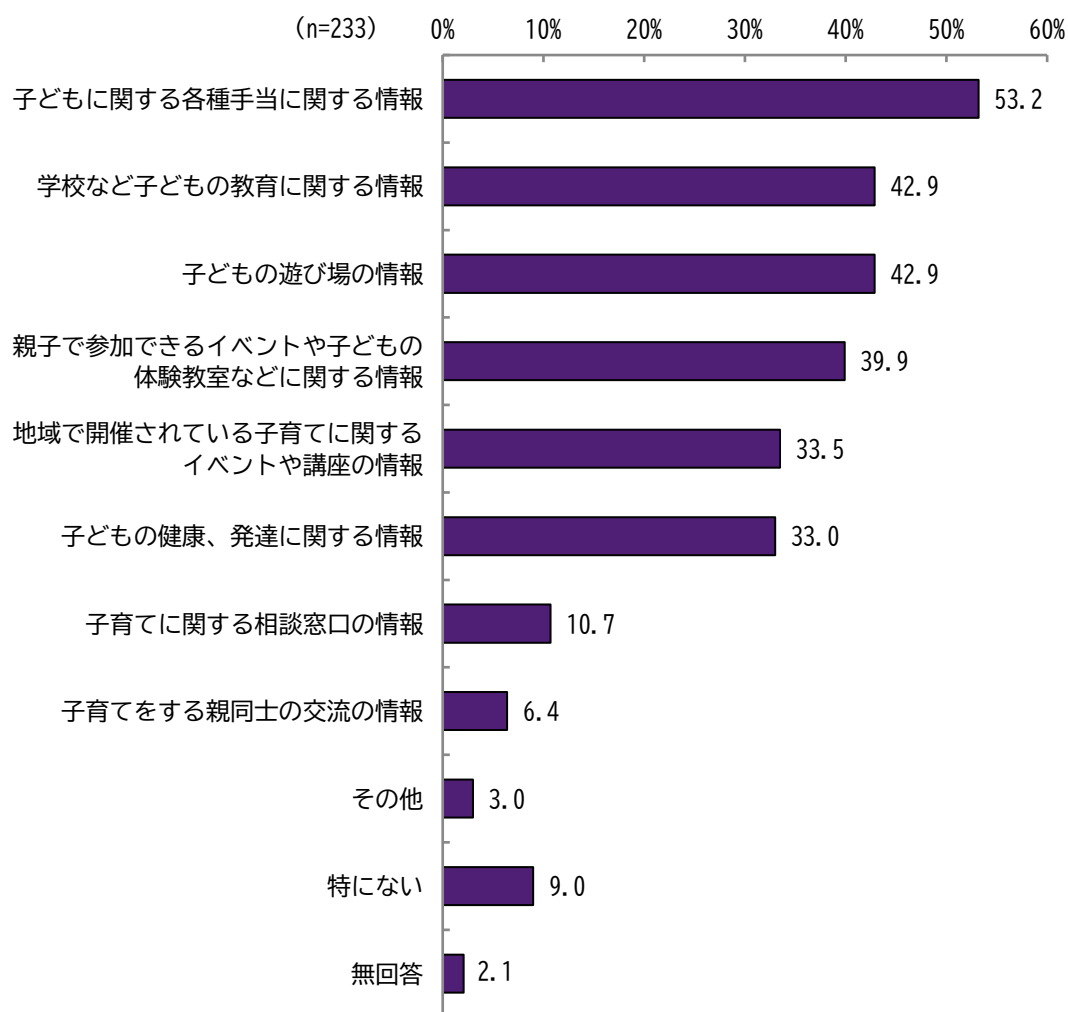
図表 151 子育てに関する情報提供についての満足度（全体）



問 41 子育て支援に関する情報提供でどのような情報がほしいですか。（あてはまるものすべてに○）

子育て支援に関して必要な情報については、「子どもに関する各種手当に関する情報」が 53.2%で最も高く、次いで「学校など子どもの教育に関する情報」「子どもの遊び場の情報」（ともに 42.9%）となっています。

図表 152 子育て支援に関して必要な情報（全体／複数回答）



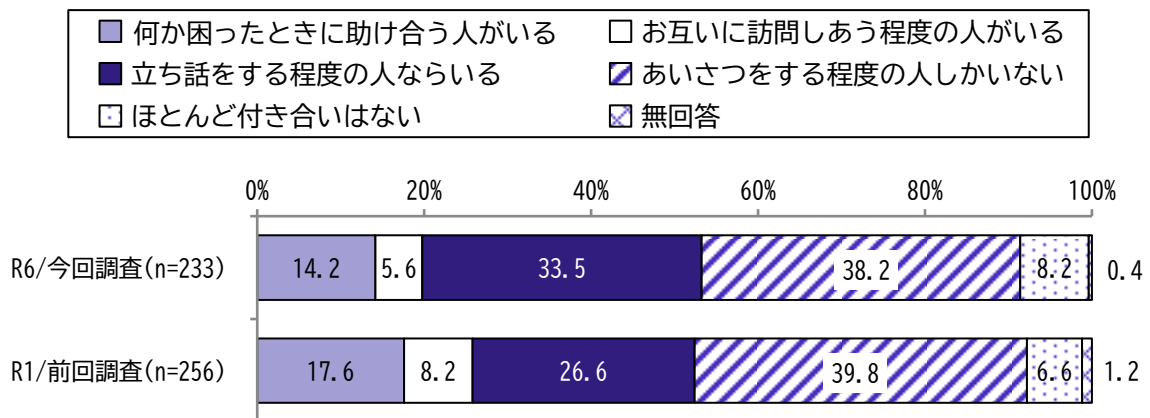
(4) 地域での子育てについて

問 42 お子さんのご家族は、ご近所の人とどの程度付き合いがありますか。(○は1つ)

近所との付き合いの程度についてみると、「あいさつをする程度の人しかいない」が 38.2%で最も高く、次いで「立ち話をする程度の人ならいる」(33.5%)、「何か困ったときに助け合う人がある」(14.2%)となっています。

前回調査と比較すると、「立ち話をする程度の人ならいる」が6.9ポイント増加しています。

図表 153 子どもと地域住民との付き合いの程度（全体、前回比較）

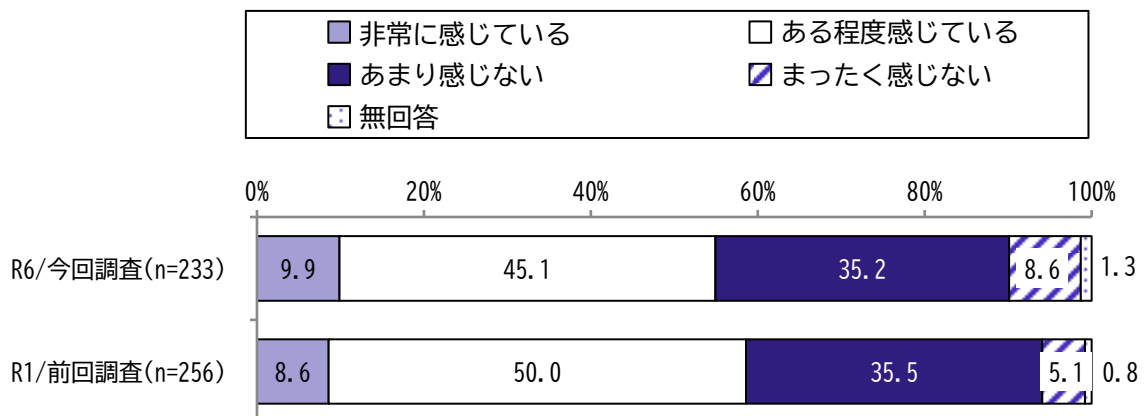


問 43 自分自身の子育てが、地域の人や社会に支えられていると感じますか。(○は1つ)

子育てに関して周囲の支えがあると感じられるかについてみると、「ある程度感じている」が 45.1%で最も高く、「非常に感じている」(9.9%)を合わせると 55.0%が地域に支えられていると感じています。

前回調査と比較すると、「ある程度感じている」が4.9ポイント減少しています。

図表 154 子育てが地域に支えられていると感じるか（全体、前回比較）



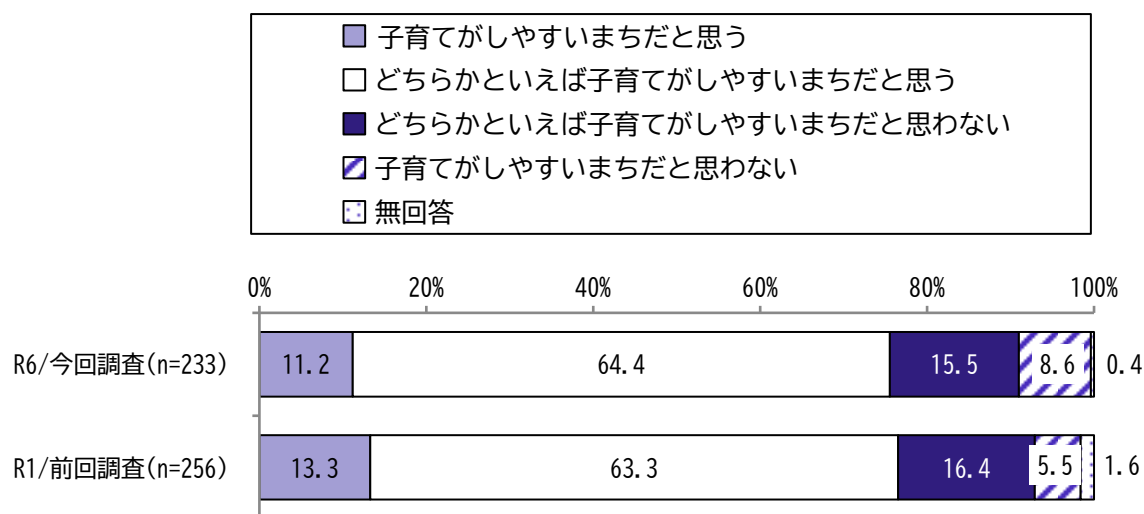
（５）新居浜市における子育てについて

問 44 新居浜市は子育てしやすいまちだと思いますか。（○は１つ）

新居浜市は子育てしやすいまちだと思うかについてみると、「どちらかといえば子育てがしやすいまちだと思う」が64.4%で最も高く、「子育てしやすいまちだと思う」（11.2%）を合わせると75.6%が子育てがしやすいまちだと感じています。

前回調査と比較すると、「子育てしやすいまちだと思わない」が3.1ポイント増加しています。

図表 155 新居浜市は子育てしやすいまちだと思うか（全体、前回比較）

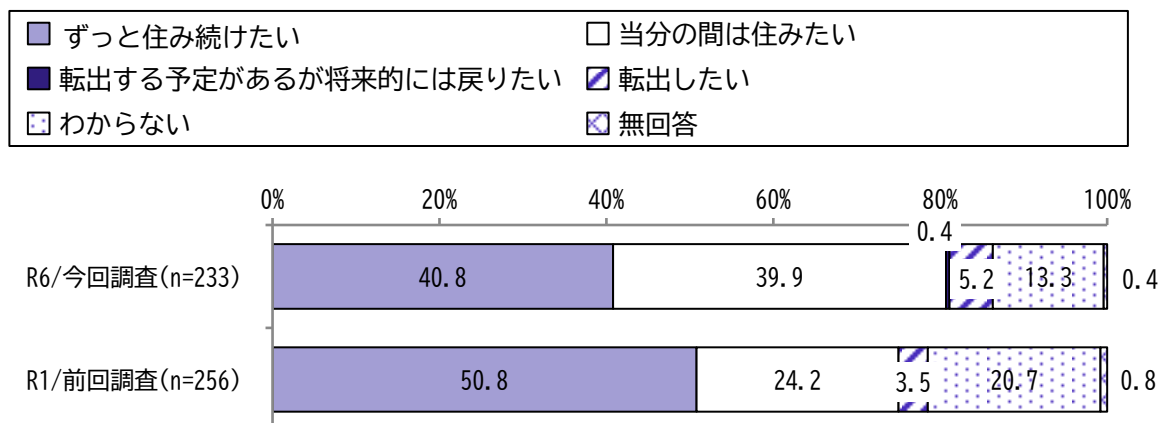


問 45 あなたは、これからも新居浜市に住み続けたいと思いますか。（○は１つ）

今後も新居浜市に住み続けたいかをみると、「ずっと住み続けたい」が40.8%で最も高く、次いで「当分の間は住みたい」（39.9%）、「わからない」（13.3%）となっています。

前回調査と比較すると、「当分の間は住みたい」が15.7ポイント増加しています。

図表 156 今後も新居浜市に住み続けたいか（全体、前回比較）



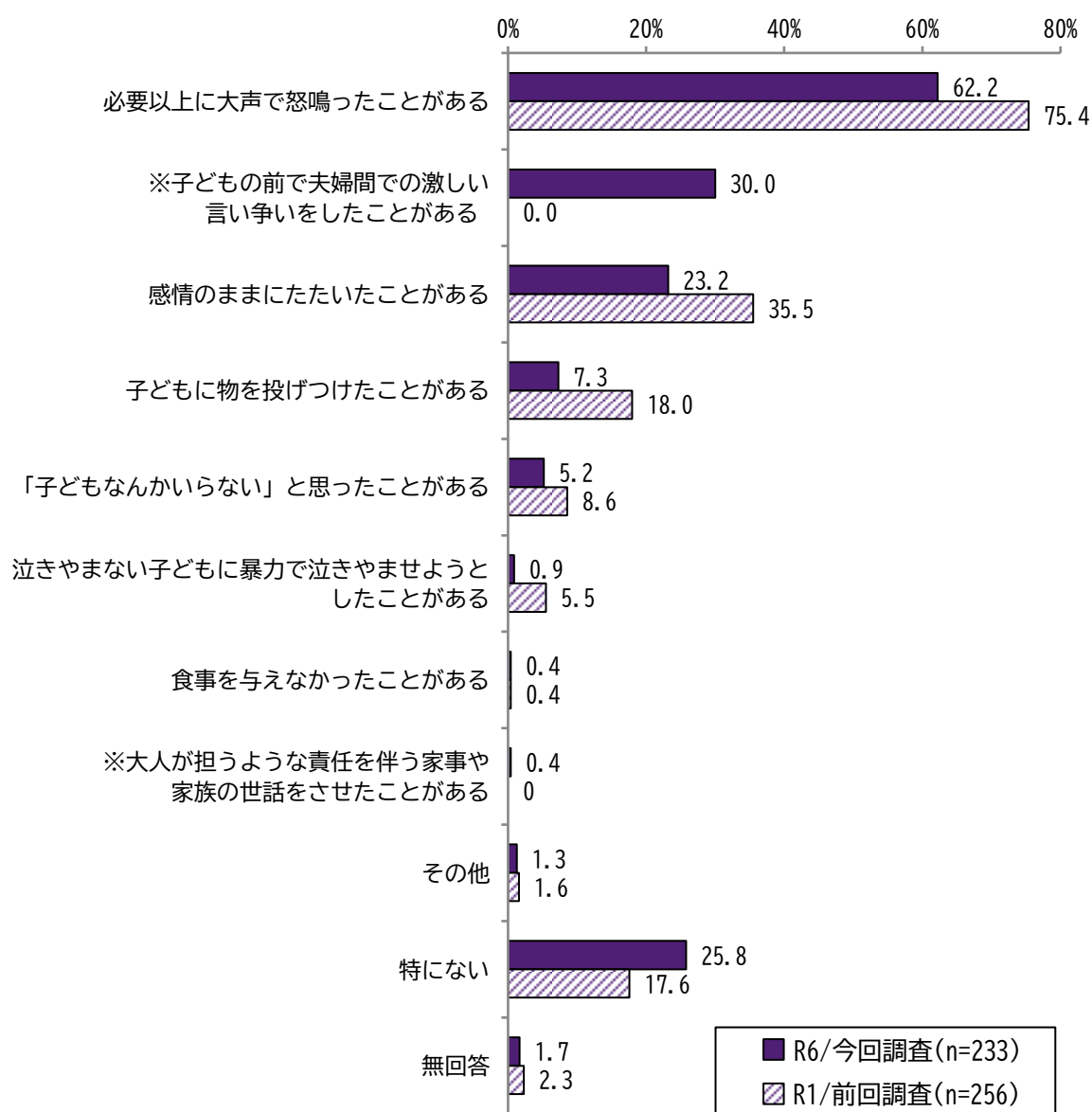
（６）児童虐待について

問 46 あなたは今までに、自分の子どもに対し、次のようなことをしたことや感じたことがありますか。
（あてはまるものすべてに○）

自分の子どもへの虐待経験についてみると、「必要以上に大声で怒鳴ったことがある」が 62.2%で最も高く、次いで「子どもの前で夫婦間での激しい言い争いをしたことがある」（30.0%）、「感情のままにたたいたことがある」（23.2%）となっています。

前回調査と比較すると、「必要以上に大声で怒鳴ったことがある」が 13.2 ポイント減少しています。

図表 157 自分の子どもへの虐待経験について（全体、前回比較／複数回答）



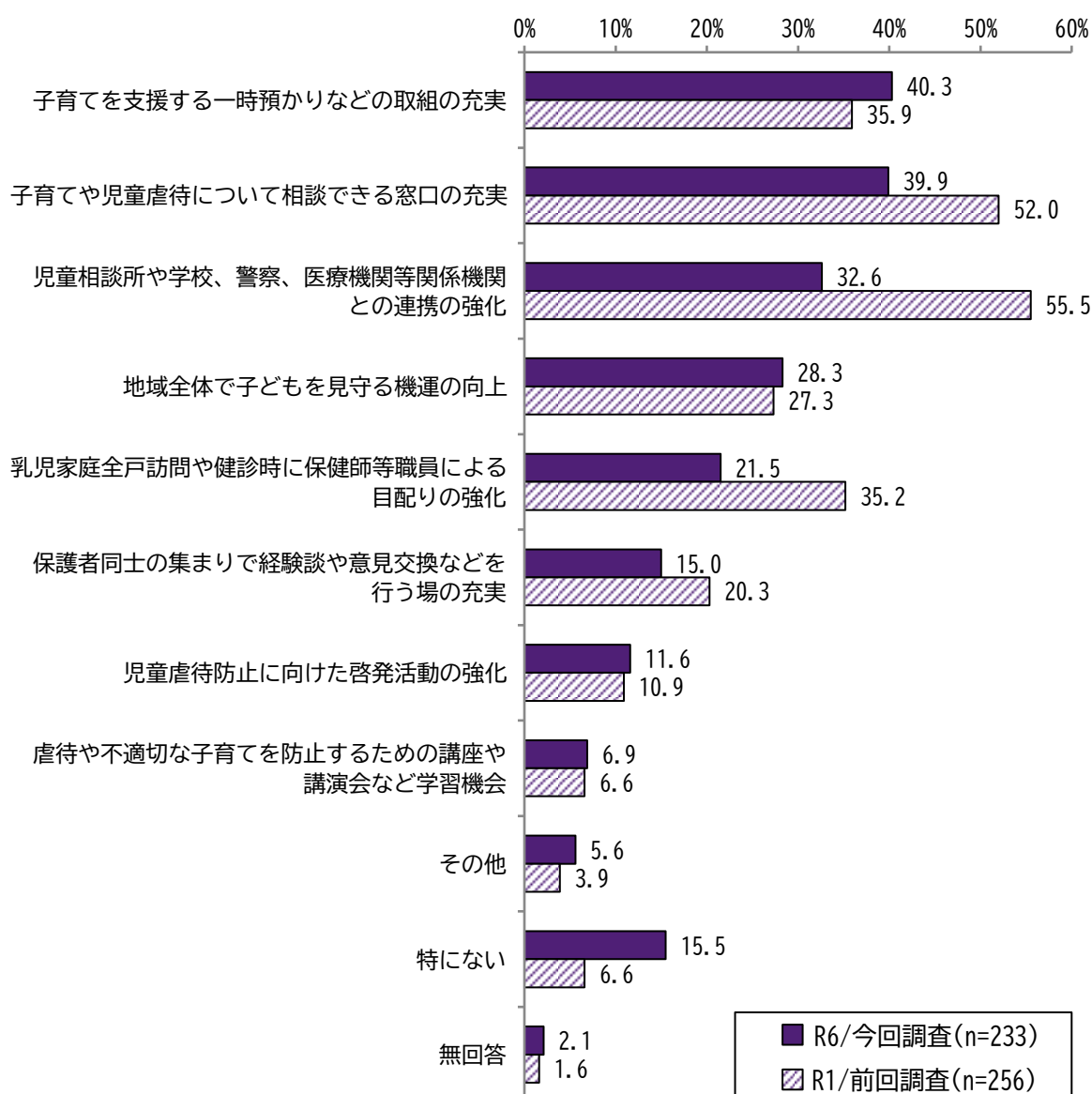
※前回調査では「子どもの前で夫婦間での激しい言い争いをしたことがある」「大人が担うような責任を伴う家事や家族の世話をさせたことがある」の選択肢無し

問 47 児童虐待防止のために、新居浜市ではどのような取組が必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

児童虐待防止のために必要だと思う取組についてみると、「子育てを支援する一時預かりなどの取組の充実」が 40.3%で最も高く、次いで「子育てや児童虐待について相談できる窓口の充実」(39.9%)、「児童相談所や学校、警察、医療機関等関係機関との連携の強化」(32.6%)となっています。

前回調査と比較すると、「児童相談所や学校、警察、医療機関等関係機関との連携の強化」が 22.9 ポイント減少しています。

図表 158 児童虐待防止のために必要な取組（全体、前回比較／複数回答）



(7) 家庭の経済状況について

【生活困難世帯について】

本報告書では、『生活困難度別』として、生活困難世帯、非生活困難世帯世帯別に結果を比較しています。

世帯の年間収入の水準について、「生計を同一にしている家族の人数」の情報も踏まえて下記のような処理をし、「等価世帯収入」を算出、分類を行いました。

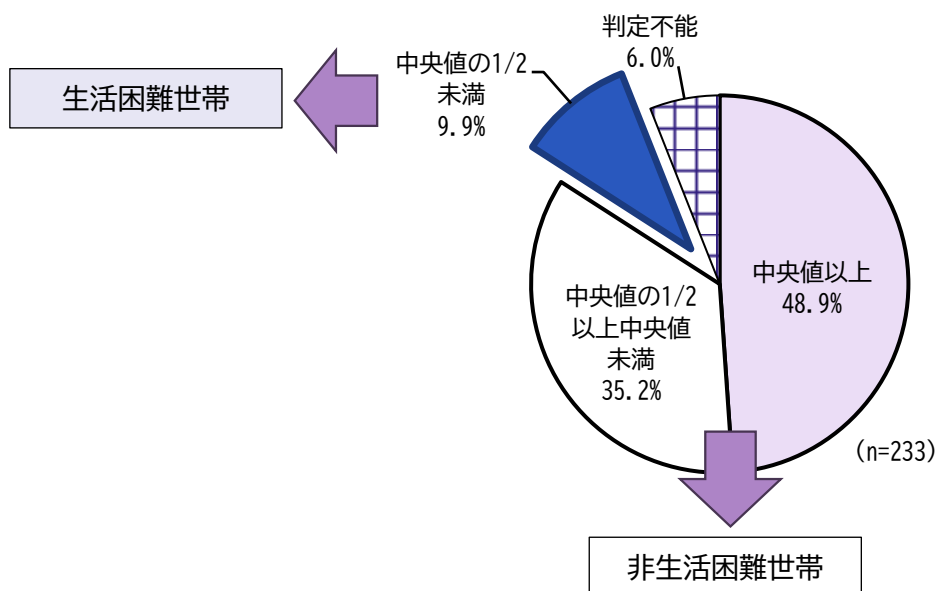
「等価世帯収入の水準」の算出（内閣府：令和3年子供の生活状況調査の分析報告書参照）

- ・年間収入に関する回答の各選択肢の中央値をその世帯の収入の値とする。（例えば、「50万円未満」であれば25万円、「50～100万円」であれば75万円とする。なお、「1,000万円以上」は1,050万円とする。）
- ・上記の値を、調査票の設問で把握される世帯人員（生計を同一にしている家族の合計人数）の平方根をとったもので除す。
- ・上記の方法で算出した値（等価世帯収入）の中央値を求め、さらに、その2分の1未満であるか否かを分類する。

《本調査の数値による算出結果》

※等価世帯収入の中央値： 317.54万円 等価世帯収入の中央値の2分の1： 158.77万円

上記の方法により算出された値によって、等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の世帯を【生活困難世帯】、「中央値の2分の1以上中央値未満」「中央値以上」の世帯を【非生活困難世帯】と分類しています。



（※世帯の年間収入、家族の合計人数のいずれかが「わからない」または無回答の場合は判定不能）

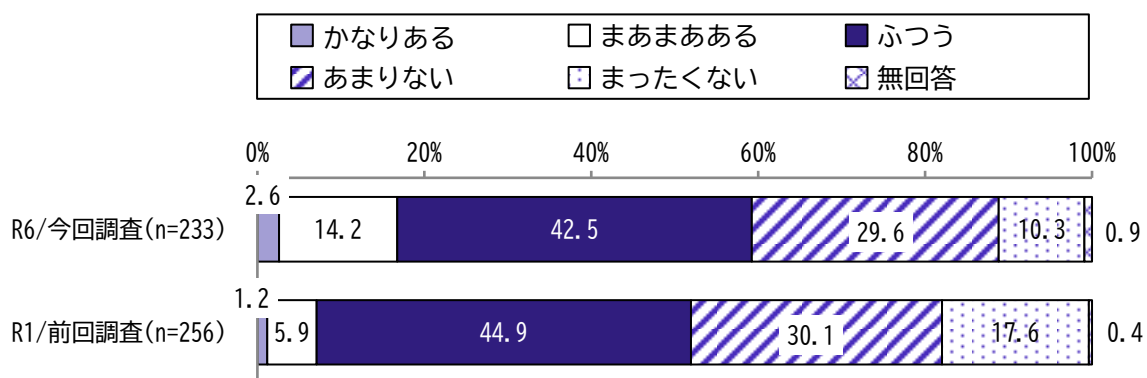
問 48 あなたの世帯では、現在の生活に経済的なゆとりがありますか。(○は1つ)

世帯の経済状況についてみると、「ふつう」が42.5%で最も高く、次いで、ゆとりが「あまりない」(29.6%)、「まあまあある」(14.2%)となっています。

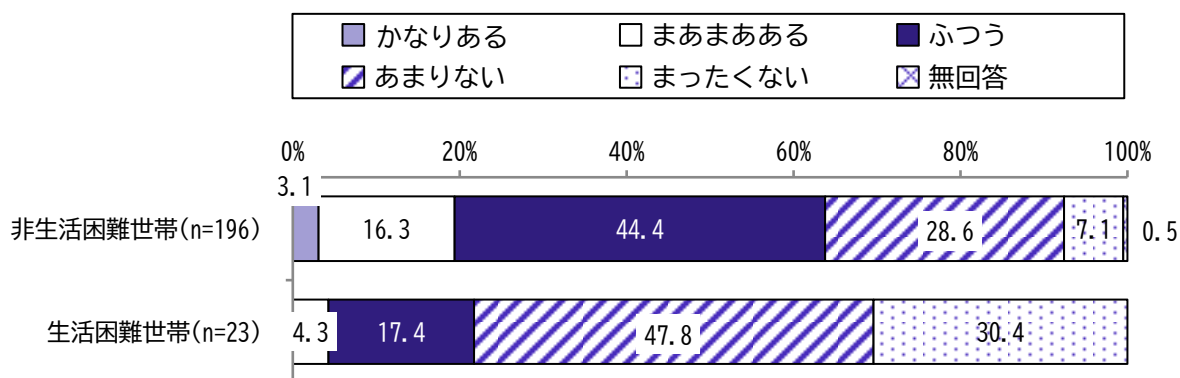
前回調査と比較すると、「まあまあある」が8.3ポイント増加しています。

また、経済状況を生活困難度別にみると、生活困難世帯では非生活困難世帯に比べて、ゆとりが「あまりない」「まったくない」割合が高く、7割以上が生活にゆとりがないと感じています。

図表 159 世帯の経済状況（全体、前回比較）



図表 160 世帯の経済状況（生活困難度別）



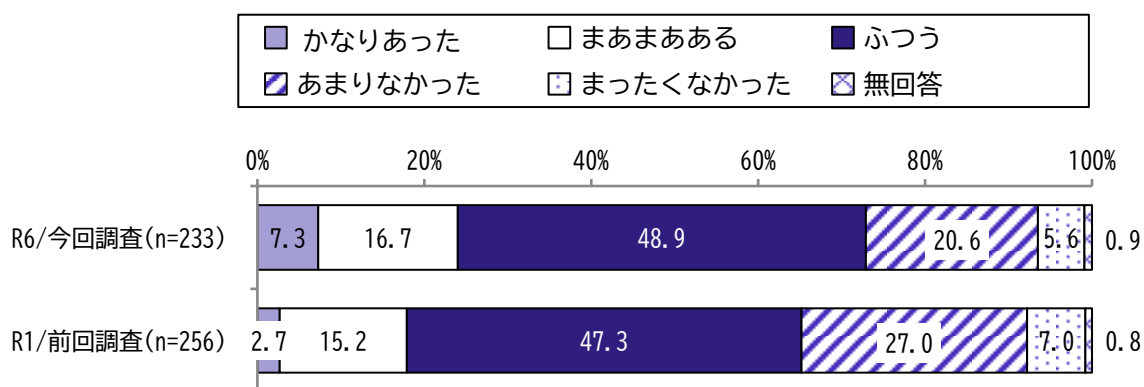
問 49 あなたが子どもの頃、生活に経済的なゆとりがありましたか。(○は1つ)

子どもの頃の世帯の経済状況にゆとりがあったかをみると、「ふつう」が 48.9%と最も高く、次いで、ゆとりが「あまりなかった」(20.6%)、「まあまあある」(16.7%) となっています。

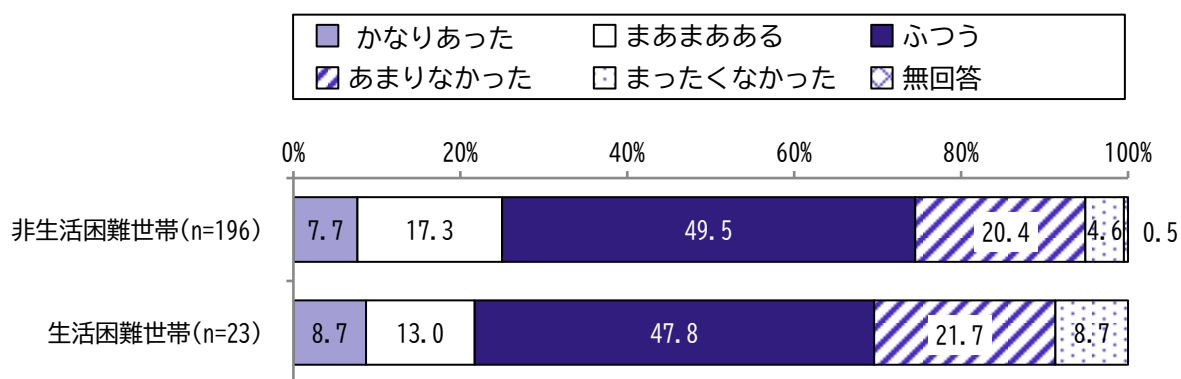
前回調査と比較すると、「あまりなかった」が6.4 ポイント減少しています。

生活困難度別にみると、生活困難世帯では非生活困難世帯に比べて、ゆとりが「あまりなかった」「まったくなかった」割合が高くなっています。

図表 161 子どもの頃の世帯の経済状況（全体、前回比較）



図表 162 子どもの頃の世帯の経済状況（生活困難度別）



問 50 お子さんに将来どの学校まで進んでほしいと思いますか。(〇は1つ)

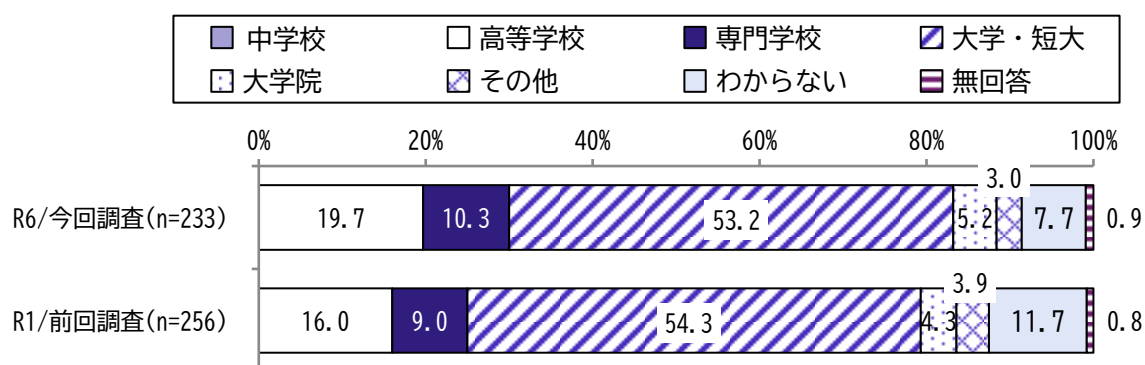
子どもの進学先の希望についてみると、「大学・短大」が53.2%と最も高く、次いで「高等学校」(19.7%)、「専門学校」(10.3%)となっています。

前回調査と比較すると、「高等学校」が3.7ポイント増加しています。

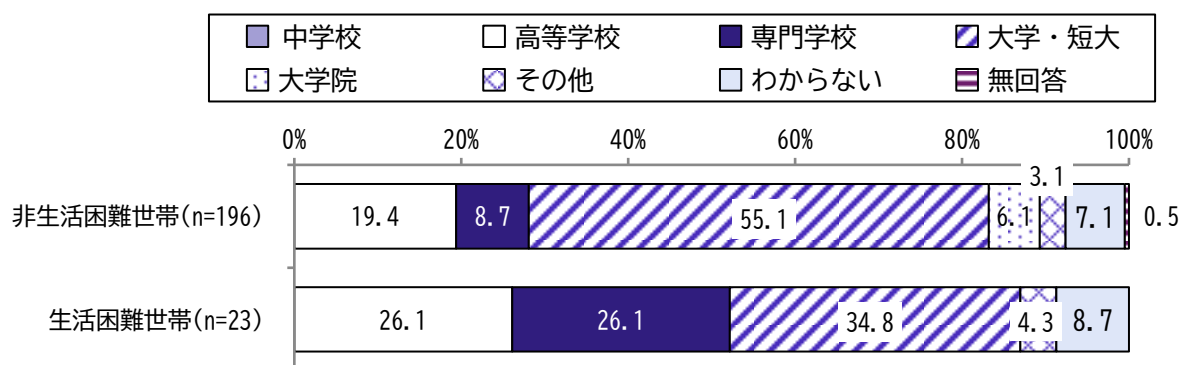
生活困難度別にみると、非生活困難世帯、生活困難世帯ともに「大学・短大」が最も高くなっていますが、その割合は、非生活困難世帯が55.1%、生活困難世帯では34.8%と非生活困難世帯が上回っています。

一方、「高等学校」「専門学校」の割合は、生活困難世帯が上回っています。

図表 163 子どもの進学先の希望（全体、前回比較）



図表 164 子どもの進学先の希望（生活困難度別）

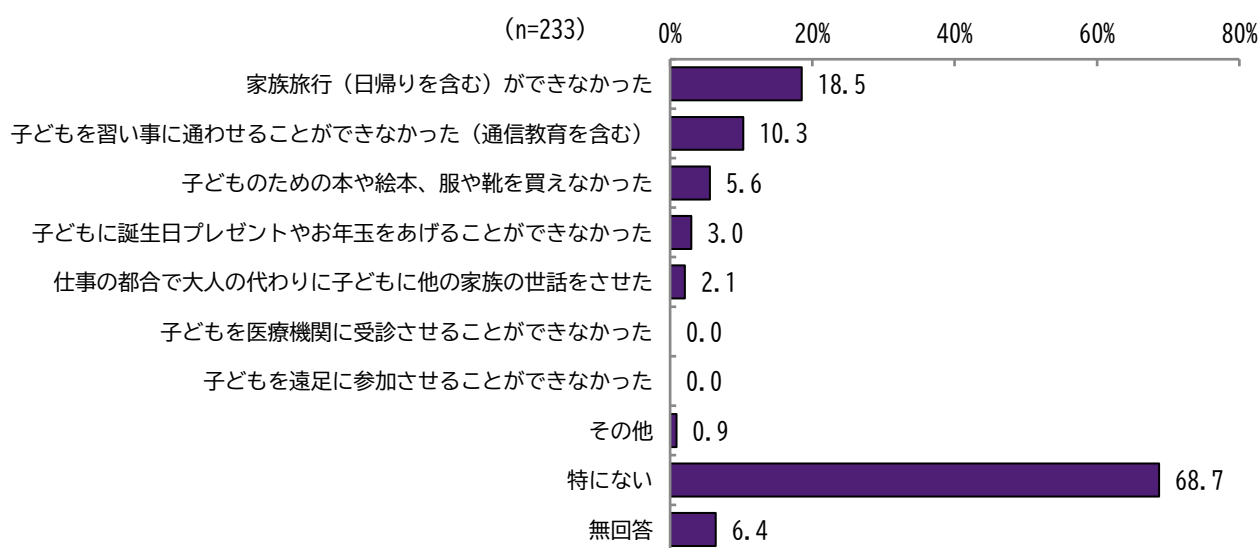


問 51 あなたの世帯では、おおむね1年の間に、経済的な理由で、次のような経験をしたことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

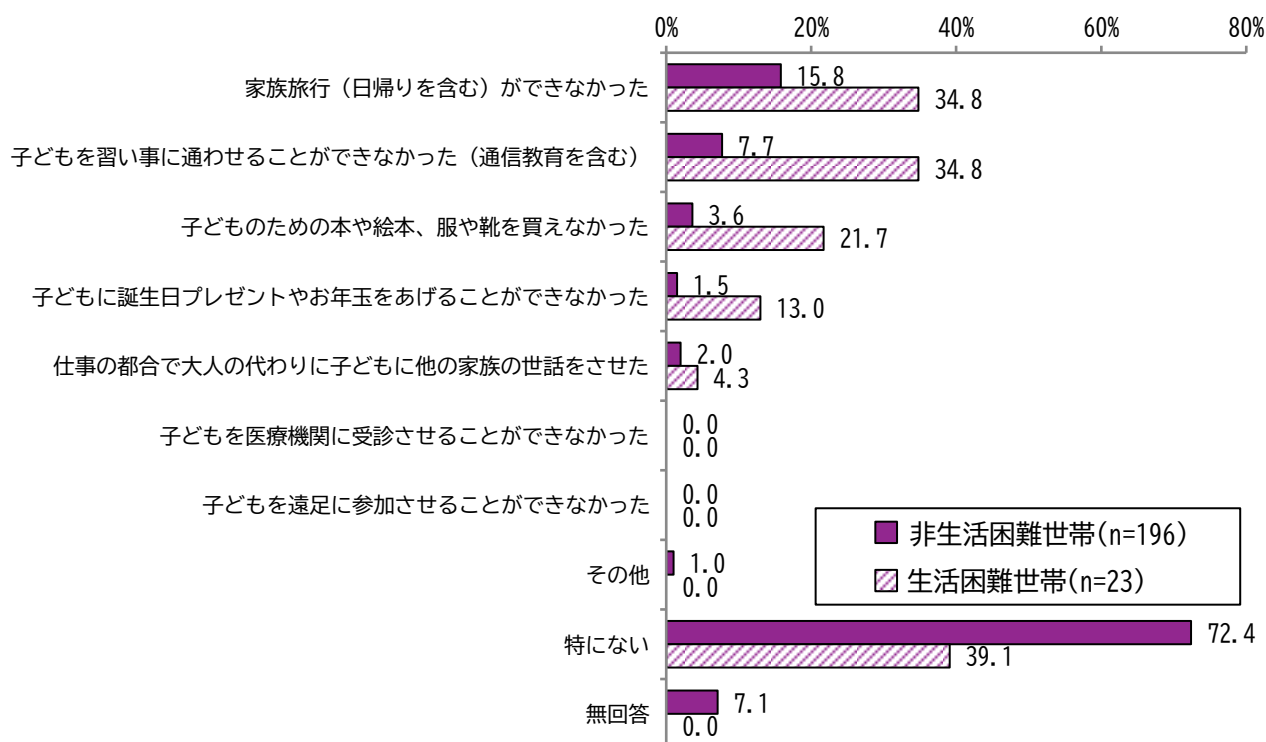
経済的な理由でできなかったことについては、「家族旅行（日帰りを含む）ができなかった」が18.5%、「子どもを習い事に通わせることができなかった（通信教育を含む）」（10.3%）となっており、「特にない」が68.7%となっています。

生活困難度別にみると、上位4項目の割合については、生活困難世帯の割合は、非生活困難世帯の割合の2倍から3倍以上となっています。

図表 165 経済的な理由でできなかったこと（全体／複数回答）



図表 166 経済的な理由でできなかったこと（生活困難度別／複数回答）

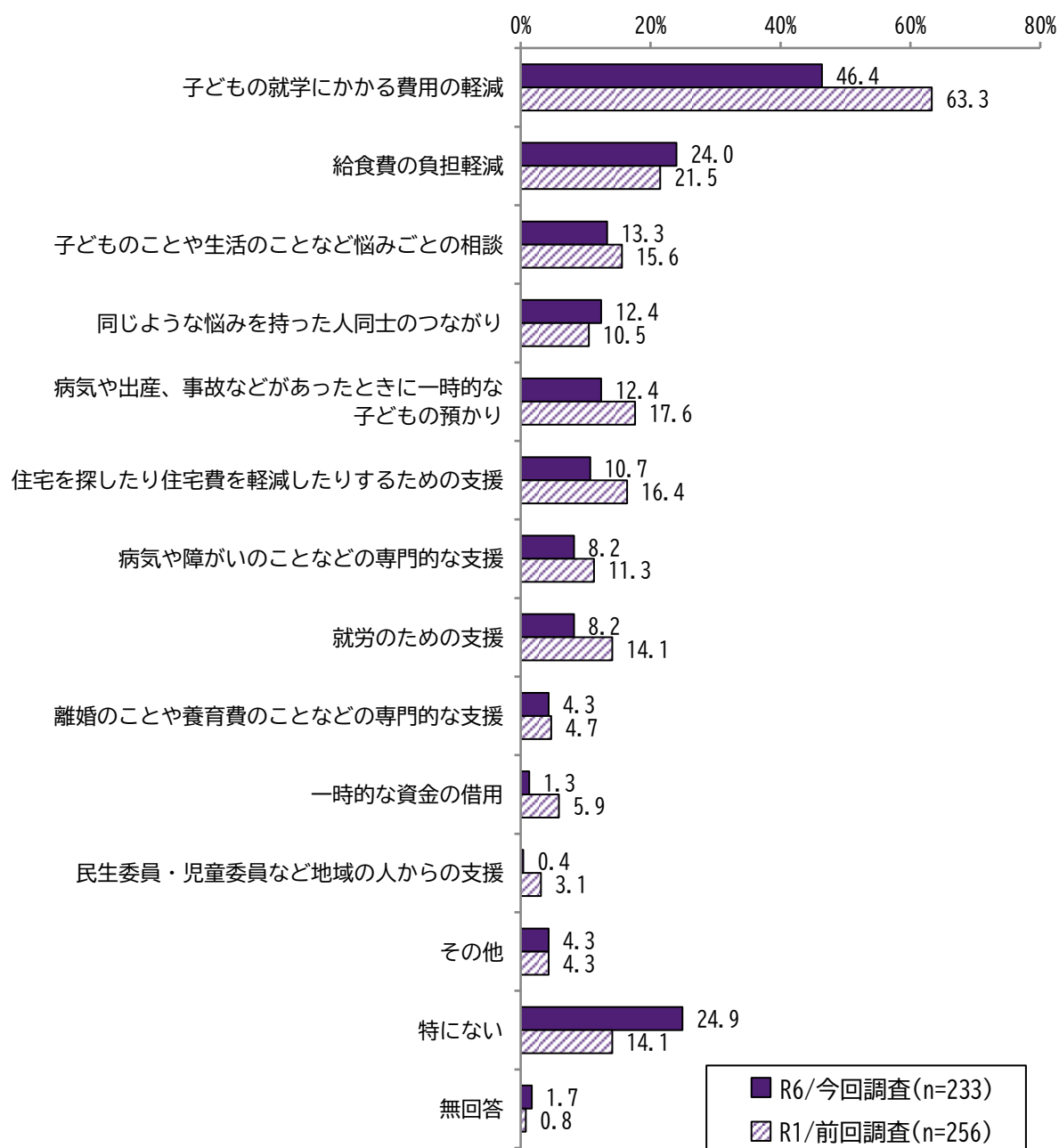


問 52 あなたの世帯にとって現在必要としている、または重要だと思う支援はどのようなことですか。
(〇は3つまで)

世帯が必要としている支援についてみると、「子どもの就学にかかる費用の軽減」が 46.4%と最も高く、次いで「給食費の負担軽減」(24.0%)、「子どものことや生活のことなど悩みごとの相談」(13.3%) などとなっています。

前回調査と比較すると、「子どもの就学にかかる費用の軽減」が 16.9 ポイント減少しています。

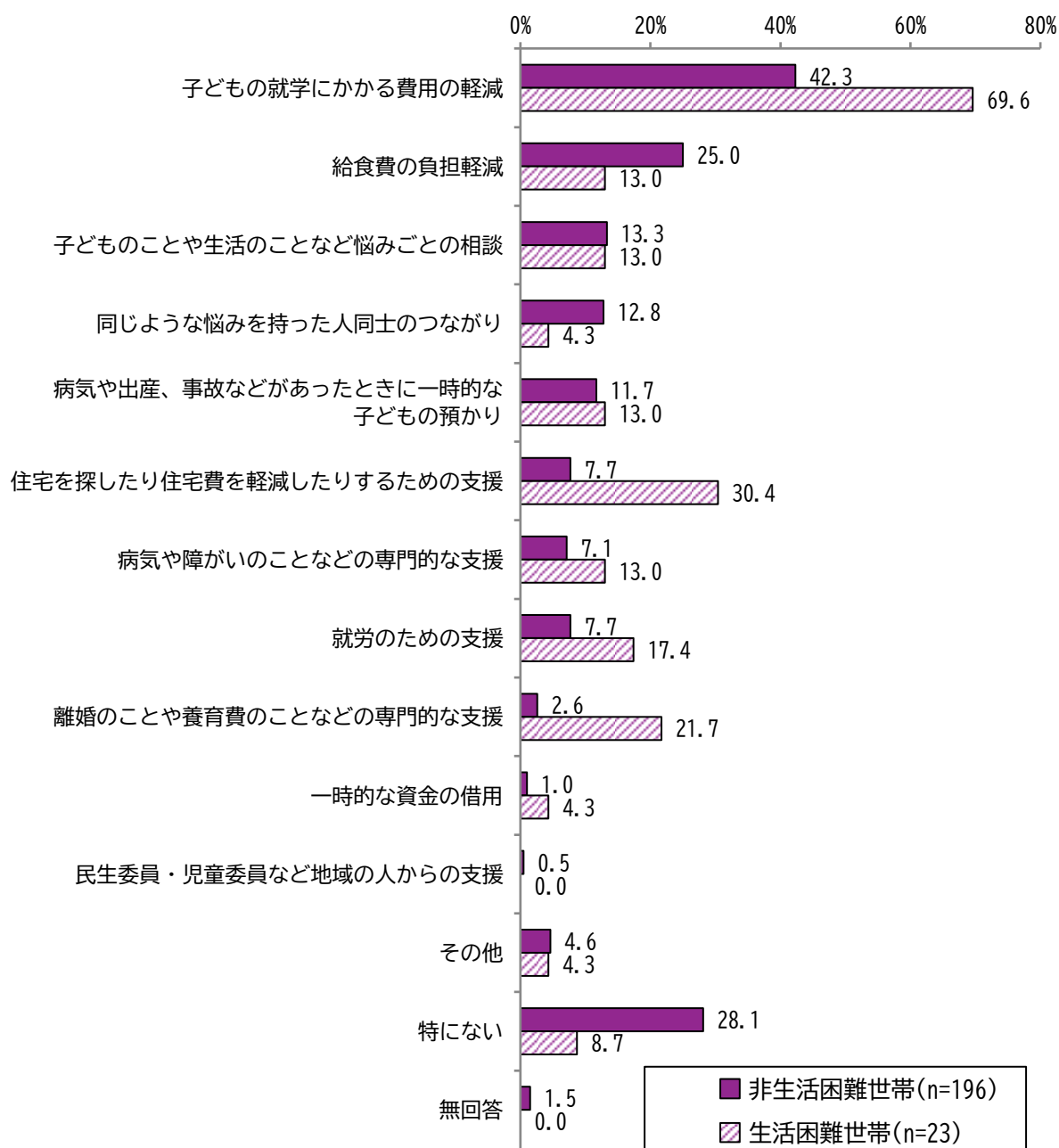
図表 167 必要な支援（全体、前回比較／複数回答）



生活困難度別にみると、「子どもの就学にかかる費用の軽減」、「住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援」、「病気や障がいのことなどの専門的な支援」、「就労のための支援」、「離婚のことや養育費のことなどの専門的な支援」については、生活困難世帯の割合の方が大きく上回っています。

一方、「給食費の負担軽減」、「同じような悩みを持った人同士のつながり」、「特にない」については非生活困難世帯の割合の方が上回っています。

図表 168 必要な支援（生活困難度別／複数回答）



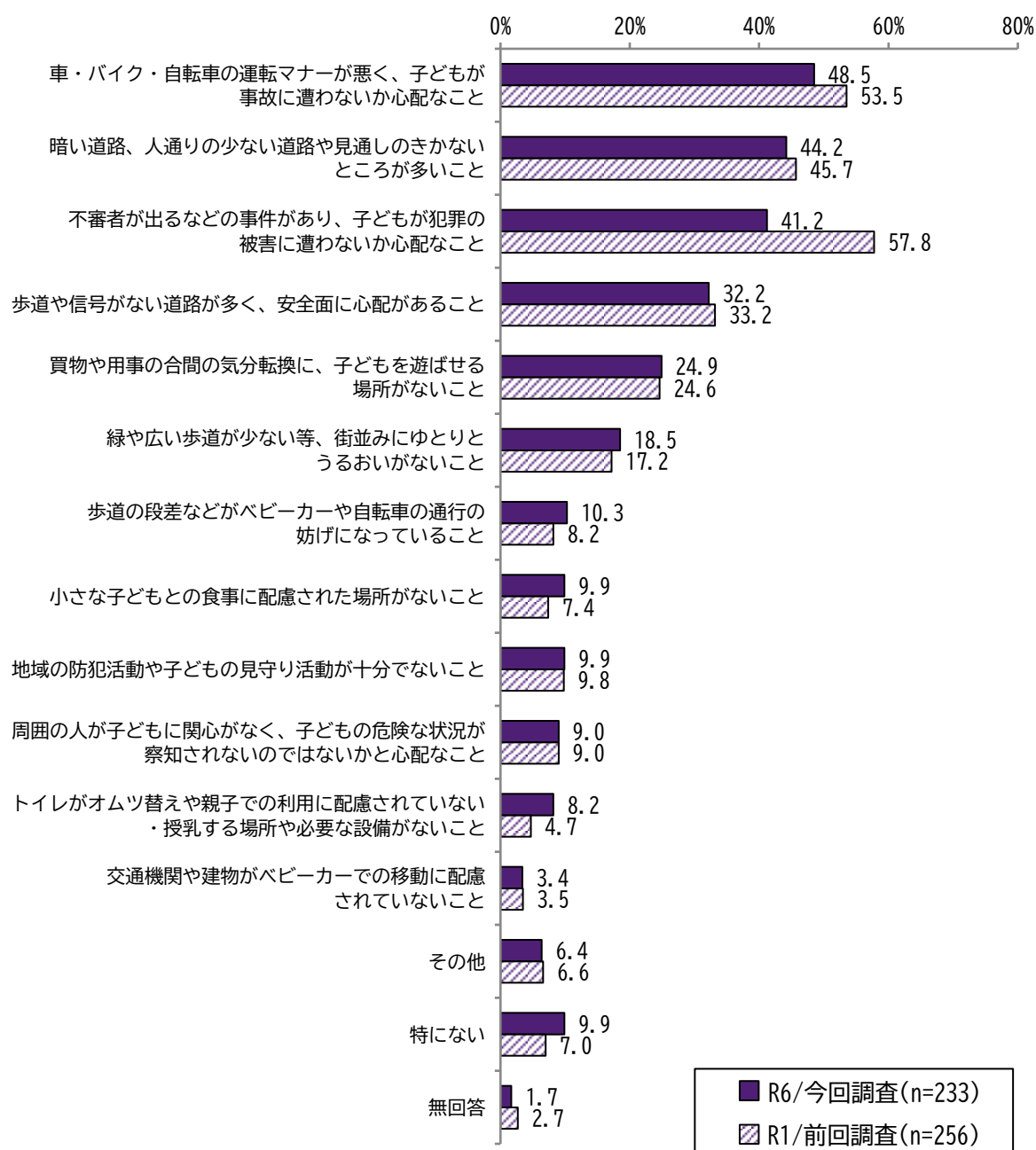
(8) 子どもを取り巻く環境について

問 53 お住まいの地域の子どもを取り巻く環境において、日頃気になっていることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

子どもを取り巻く環境について気になっていることをみると、「車・バイク・自転車の運転マナーが悪く、子どもが事故に遭わないか心配なこと」が48.5%で最も高く、次いで「暗い道路、人通りの少ない道路や見通しのきかないところが多いこと」(44.2%)、「不審者が出るなどの事件があり、子どもが犯罪の被害に遭わないか心配なこと」(41.2%) などとなっています。

前回調査と比較すると、「不審者が出るなどの事件があり、子どもが犯罪の被害に遭わないか心配なこと」が16.6ポイント減少しています。

図表 169 子どもを取り巻く環境について気になっていること（全体、前回比較／複数回答）

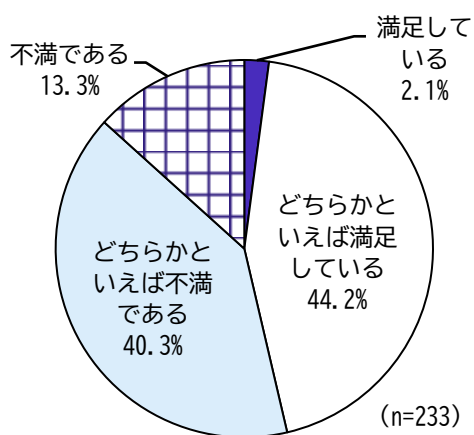


問 54 お住まいの地域における子どもの遊び場に関して満足していますか。(○は1つ)

子どもの遊び場に関する満足度をみると、「どちらかといえば満足している」が44.2%で最も高く、「満足している」(2.1%)を合わせると、46.3%が子どもの遊び場に関して満足しています。

一方、「どちらかといえば不満である」は40.3%、「不満である」は13.3%となっており、これらを合わせると53.6%が子どもの遊び場に関して満足していないという結果となっています。

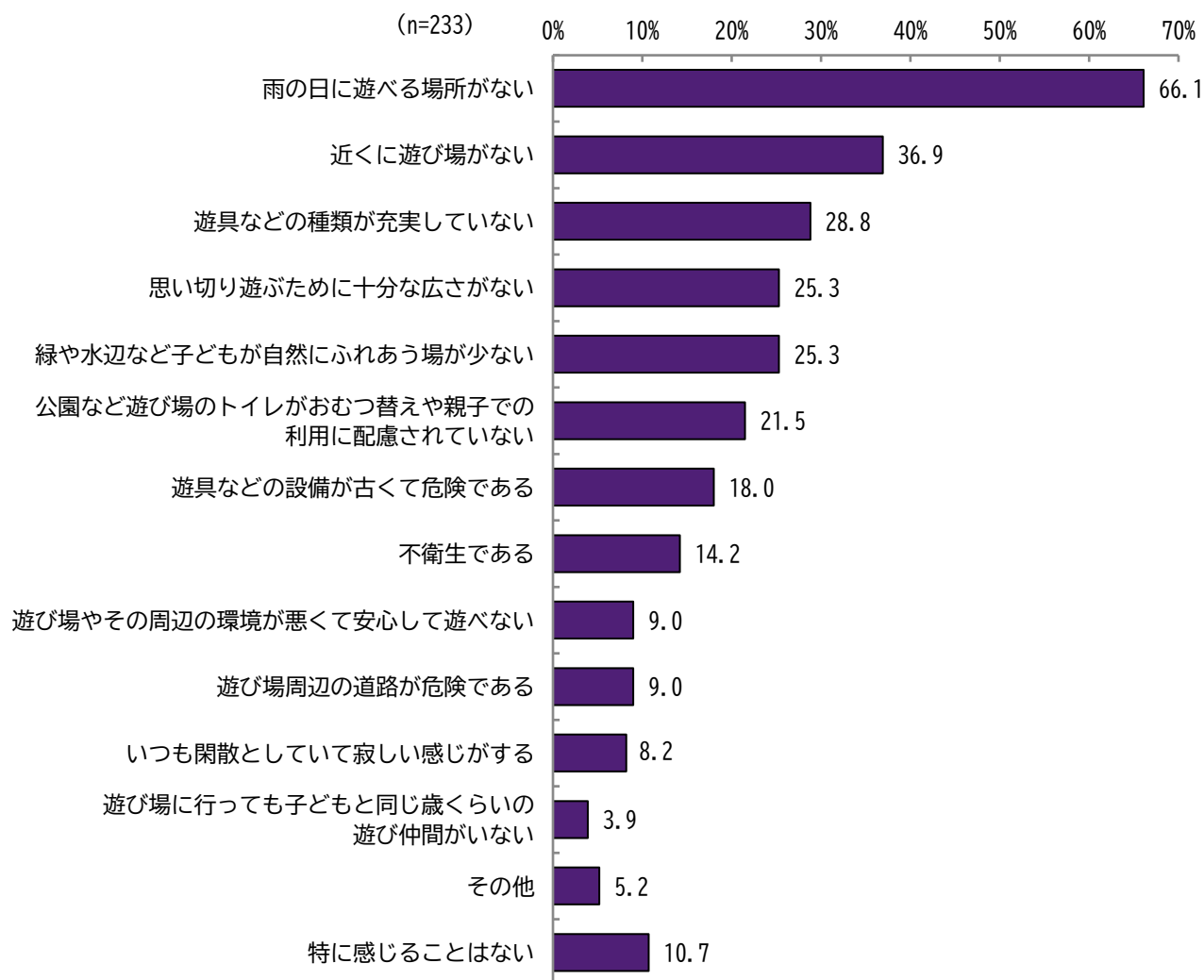
図表 170 子どもの遊び場に関する満足度（全体）



問 55 新居浜市内の子どもの遊び場について日ごろ感じることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

子どもの遊び場について感じていることをみると、「雨の日に遊べる場所がない」が 66.1%で最も高く、次いで「近くに遊び場がない」(36.9%)、「遊具などの種類が充実していない」(28.8%) などとなっています。

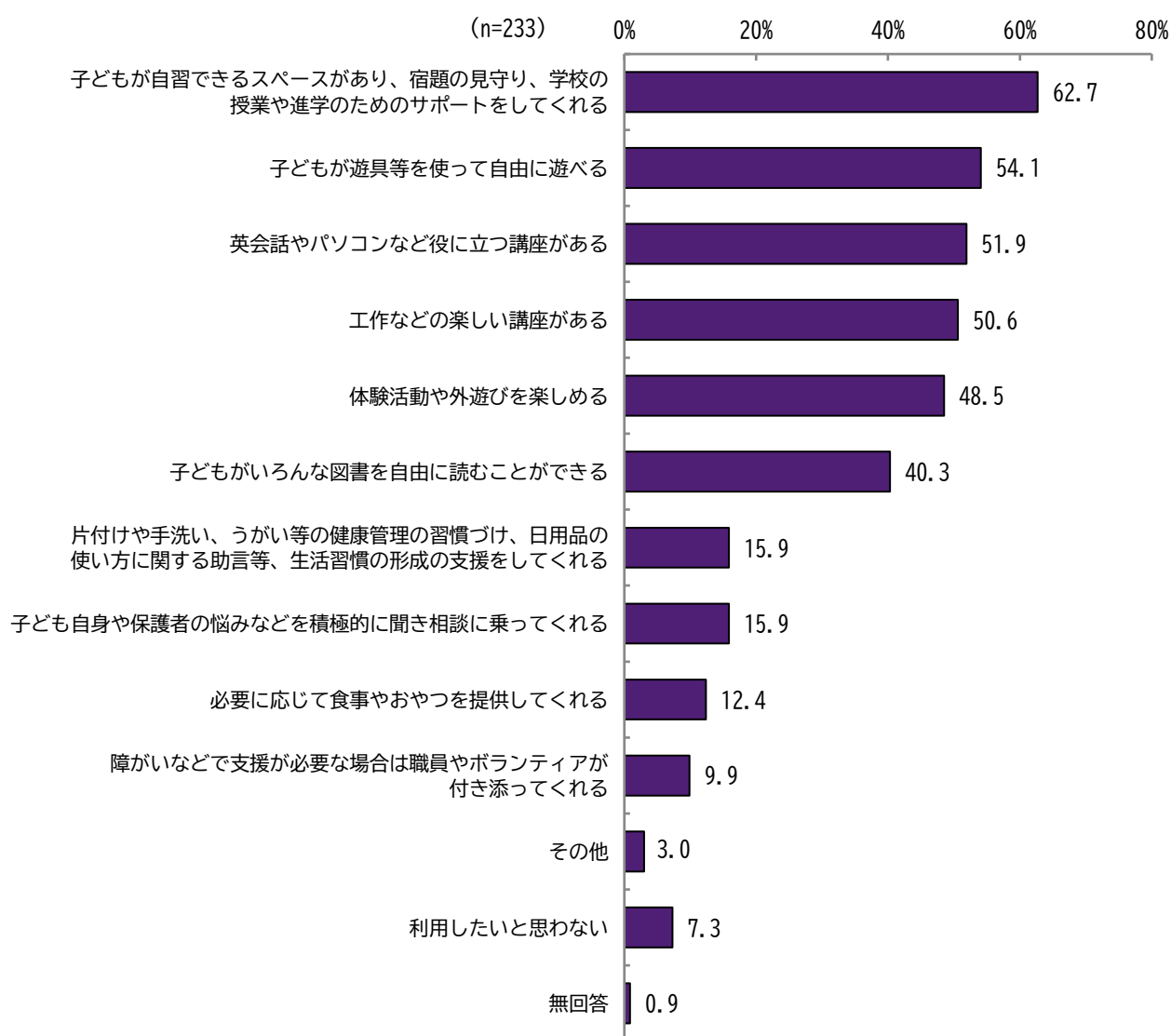
図表 171 子どもの遊び場について感じること（全体／複数回答）



問 56 公民館などの公共施設で、下記のような子どもの居場所支援に関する企画やサービスがあれば利用してみたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

公共施設での居場所支援として参加したいものについてみると、「子どもが自習できるスペースがあり、宿題の見守り、学校の授業や進学のためのサポートをしてくれる」が62.7%と最も高く、次いで「子どもが遊具等を使って自由に遊べる」(54.1%)、「英会話やパソコンなど役に立つ講座がある」(51.9%) などとなっています。

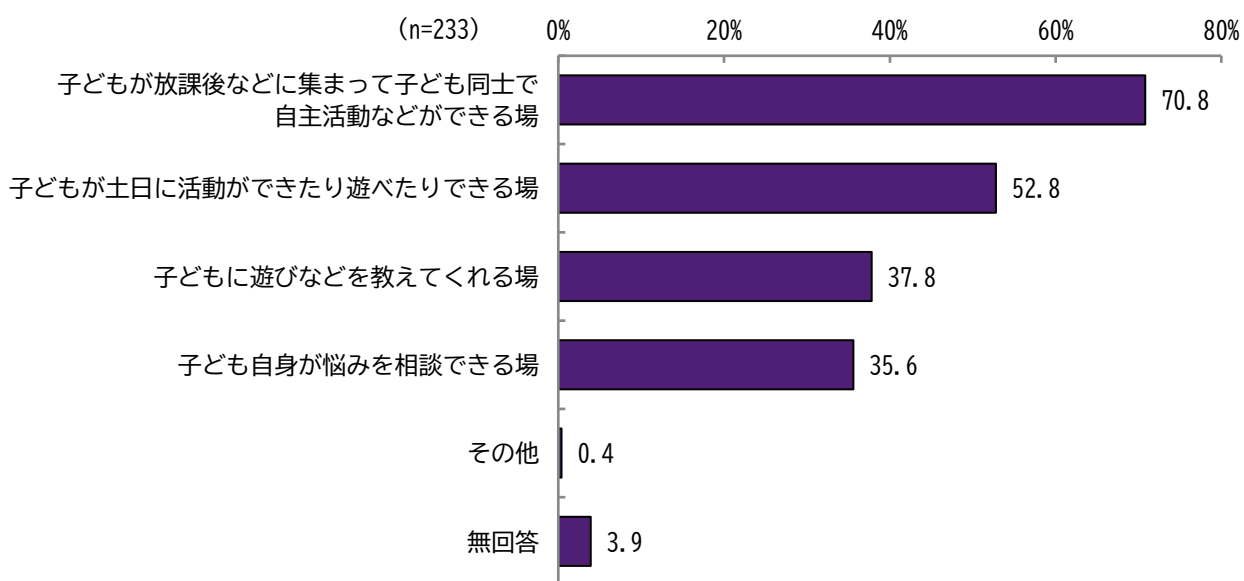
図表 172 子どもの居場所支援に関する企画等へ利用希望（全体／複数回答）



問 57 身近な地域で、子ども同士が交流等を行うことのできる場ができた場合、どのようなものが望ましいですか。(あてはまるものすべてに○)

子ども同士の交流の場として望ましいものと、「子どもが放課後などに集まって子ども同士で自主活動などができる場」が70.8%で最も高く、次いで「子どもが土日に活動ができたり遊べたりできる場」(52.8%)、「子どもに遊びなどを教えてくれる場」(37.8%)、「子ども自身が悩みを相談できる場」(35.6%)となっています。

図表 173 子ども同士の交流の場として望ましいもの（全体／複数回答）

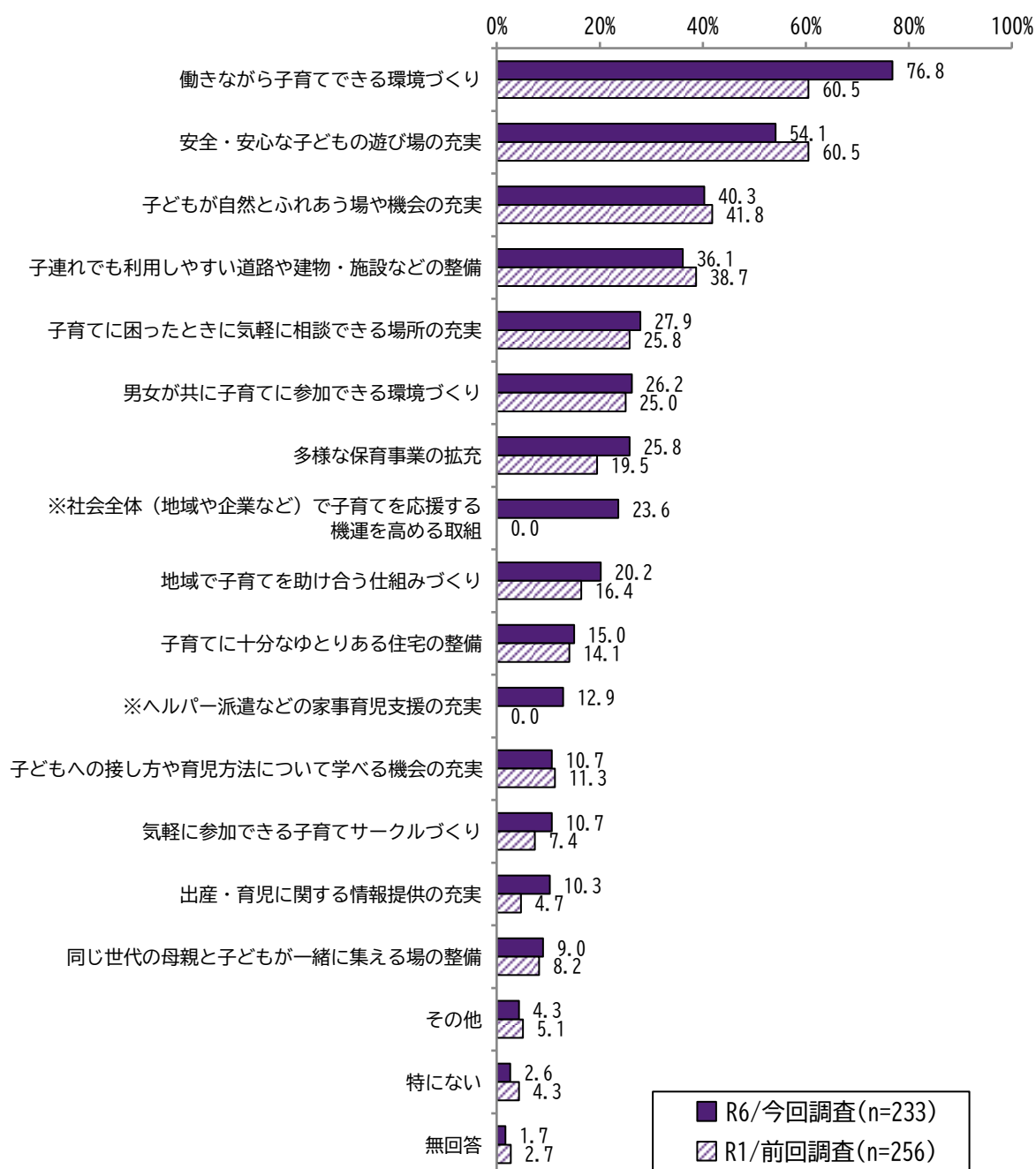


問 58 子育てしやすい社会にするためには、どのような支援策が必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

子育てしやすい社会にするために必要だと思う支援策についてみると、「働きながら子育てできる環境づくり」が 76.8%で最も高く、次いで「安全・安心な子どもの遊び場の充実」(54.1%)、「子どもが自然とふれあう場や機会の充実」(40.3%)となっています。

前回調査と比較すると、「働きながら子育てできる環境づくり」が 16.3 ポイント増加しています。

図表 174 子育てしやすい社会にするために必要な支援策（全体、前回比較／複数回答）



※前回調査では「社会全体（地域や企業など）で子育てを応援する機運を高める取組」「ヘルパー派遣などの家事育児支援の充実」の選択肢無し

IV 自由意見

1 就学前保護者

問 69 子育て環境や子育て支援に関して、ご意見やご要望があればご記入ください。

自由意見については、合計 203 件の意見が寄せられました。内容ごとに分類すると、①子育て環境の整備について（64 件）、②経済支援について（44 件）、③保育所・幼稚園・病児保育事業について（32 件）、④子育て支援制度について（26 件）、⑤相談支援・情報提供について（21 件）、⑥仕事と子育ての両立について（16 件）となっています。以下に代表的な意見を抜粋して掲載しています。

①子育て環境の整備について（遊び場、公園、病院、交通整備など）

No.	意見
1	近場に公園（遊具がない）が無く、行くとしたら車で連れていくか児童センターくらいしかない。色々なサポートを受けたくても金銭面に不安がある。
2	小学生以上の子どもと乳幼児が別で遊べる公園がほしいです。
3	スーパーやドラッグストアでの店内カートにベビーカーの導入を増やしてほしい。公園等におむつ替えや授乳できる場所を作してほしい。
4	夏場は、外の気温が36℃くらいになり子どもを外の公園などで遊ばせられないので、公園に直射日光、紫外線が当たらないように、遊具にテント（大きいテント）などをして日陰で遊べて、遊具でのやけどや熱中症予防ができて、外で遊べるようにしてほしいです。
5	学区によっては公園が少ない所がある。公園があっても草木の手入れがされていない。天気によって左右されることなく遊べる所がほしい。子どもたちだけでも参加できるイベントをつくってほしい（子どもの自立）。
6	第2子の出産を機に、地元である新居浜で子育てがしたく10数年ぶりに新居浜市に戻ってきました。子どもを遊ばせるところも多くあり、のびのびと子育てできそうです。ただ、公園等の公共施設の設備や掃除がもう少し整うと良いなと感じています。また、少子化対策として新居浜市でも思い切った子育て支援を打ち立てても良いのかなと思います。（給食費無料など）私の周りでは新居浜市を離れて出産したけど、やはり新居浜市で子育てがしたいという友人がたくさんいます。今後の新居浜市の少子化を食い止めるためにもどうかよろしくお願いします。
7	公園のトイレがもう少し綺麗だと子どもも行きやすいです。
8	大きな公園や遊び場、支援センター等も多く子育てしやすい環境だと思っています。公園等の遊び場のトイレにおむつ交換台があったらいいのになと感じることが時々あります。（あってもトイレがあまりキレイではなく使いづらい。）子どもたちが多く来る場所のトイレ・オムツ台は清潔だととてもうれしいです。
9	公園のトイレが汚い、古いので新しくしてほしい。小学校に来年入学するが、小学校内での事故などニュースでみると、不安が大きい。（ぶつかっても救急車を呼んでもらえないなど）
10	オムツ交換台や子どもを座らせておくイス、子ども用トイレが女性トイレにしかない場合が多く、「子育ては母親が行う」という概念を押し付けられているようでプレッシャーを感じる。一番手のかかる0～3歳までのトイレ問題を男女が協力して乗り越えていくには、早期に各所の男性トイレにも女性トイレと同じレベルの施設が施されることを願います。
11	雨の日には遊ぶとなると、マイントピア一択になり、行っても混んでいるので、同じ様に楽しめる室内の遊び場ができるとうれしいです。
12	雨や雨上がりのため公園で遊べないような日に、遊べる場所がない。有料ならあるが、保護者にも料金がかかり、毎週土日に1,000円、2,000円使うのは厳しい。松山や今治などはショッピングモール内のフリースペースのような場所に、すべり台やキッズスペースの遊具があるのに、新居浜はマットがあるだけで、すべり台などがなくて遊ばせられない。雨の休日に無料で少しでも遊べるスペースを作してほしい。
13	今はもうなくなってしまった、フジグラン3Fにあった「キッズUSランド」のような、大型の室内遊び場がほしい。その際、利用料金がかかってもいい。ちゃんと管理してくれるなら、1日利用で1人1,500円ぐらいかかってもかまわない。（土日祝なら）平日は、もうちょっと金額を下げてほしい。（1,000円以下で）

No.	意見
14	雨の日に、お金がかからずに遊べるような場所をつくってほしいです。（夏の暑い日も、暑すぎて遊べないので）海や川で気軽に子どもを連れて遊びに行けるように環境や設備、サービスを充実してほしいです。子どもの遊びスポットなど、アプリなどで利用するとポイントがたまって、ポイントに応じたサービスをしてくれるとありがたいです。
15	新居浜で室内で遊ぶところと言えば、イオンや、児童センターぐらいしかないので、もっと子どもがのびのび遊べる公園みたいな施設を作って頂きたいです。
16	夏、熱中症などを避けるための室内で遊べる場所（無料か安い）があったら、と思う。
17	子どもが雨の日でも遊べる場所がほしいです。マイントピア別子などはもう小学生向きではないというか、狭くて小さい子どもがいると気を使うので行けないです。
18	小児科を増やしてほしい。仕事帰りの夕方に体調が悪い子どもをみてる小児科が少ないです。混んでいたりします。お盆など祝祭日に「できれば休んでほしい」とか「祖父母の方が見てくれるのでは…？」と直接的ではないけれど、保育園などに言われると困る。祖父母がいない家庭もあるし、地元じゃない人もいます。もっと預けやすい保育をしてほしい。人手が足りないのは分かりますが…。歩道が狭い所もまだまだあります、ベビーカーはたぶん使いにくい。車イスも。
19	小児科の数を増やしてほしい。
20	以前住んでいた市では、大体の歯科医院に託児があり、自分が治療や検診の時に子どもを見てもらうことができ、とても安心し、助かった。新居浜市ではそのようなところはなく、親族に預けなければならず、不便。
21	土曜日受診できる小児科が少ない。西条市まで行かないといけない。移動時間が長くなり子どもに負担をかけてしまい、子育てのしにくさを感じる。
22	市内の信号機を見直してほしい。昔と違って、交通量が増えているのに、変わるのが遅い信号があり、子ども達が一度赤になるとしばらく青にならないからと、無理な横断をするので危険！いつか事故がおこりそうで怖い。
23	放課後等子どもたちだけであそびに行くには大きな道路を渡らないと遊ぶ場所が無いので小さな公園でもできたらうれしいです。自転車で行かすのもこわくて。
24	夏は子どもとプールに行きたいですが、新居浜市の市民プールは、きれいなイメージがあまりなく、利用をためらっています。子どもと利用する場所が古く、老朽化しているのは不安なので、きれいだと思えます。
25	大きなショッピングセンターにはあるのですが、2人乗りができる子どものショッピングカートをちょっとしたスーパーなどにももっと置いて頂けるとすごく助かります。
26	市内を子どもと一緒に散歩をしていても、道や川がゴミなどで汚れている。ずっと住み続けるなら、きれいな環境で子育てをしたい。
27	未だに子育ては母親がするものという風調がある。父も母も平等に相談したり、集える場所が大事だと思う。
28	新バイパスが開通して車通りが多くなったので、歩道橋を設置してほしい。松原団地前など現在は信号無しの横断歩道なので子どもは危険です。
29	児童館やふれあい広場など、新居浜市内で考えると数としては十分にあるかと思いますが、運転ができないなどの事情がある場合、家の近くにないと利用できません。どの地域にも徒歩圏内でそういった施設があると大変助かります。
30	図書館が遠い。支所や移動図書館はあるが、基本平日なので利用できない。保育士さんの労働環境を改善してほしい（給与など）。
31	保育園での誤飲事故、児童が怪我をした際に救急車を呼ばない、通学路のカーブミラーの破損など子育てをする上で不安が多い。住みやすい街に整備することも大事だが、まずは子どもの安全を守る街にすることが重要だと思う。園や学校の教員の待遇改善、専門知識をつけてもらい事故をできるだけ未然に防ぐ、起きた際は適切な対応をとってほしい。
32	科学博物館の常設展の老朽化が気になっています。市内の県施設の不備に対しても市から要望を申し入れるなど連携を。

②経済支援について

No.	意見
1	子育て支援をもっと増やしてほしい。子どもが遊ぶ遊び場（雨でも利用（可））を増やしてほしい。少子化対策した家庭への支援を増やす。
2	子育て支援金を、年齢に関わらず1人当たり1ヶ月3万円位にしてほしいです。
3	上の子（長男）と末っ子の歳の差が10歳。末っ子の妊娠・出産の時、長男の時には無かったサービスや助成が増えていて、以前より子育てがしやすくなったと感じました。
4	非課税の人への補助金はあるが普通家庭にはあまりないので、何かあればうれしいです。全体的に値上がりしているので、何か補助があればいいと思います。おむつ券はとっても助かりました。
5	保育料が高いので見直してほしいです。よろしくお願いします。
6	3才未満の保育料が高すぎる。何のために働いているかわからなくなり、一時は、保育所をやめさそうかと考えた。

No.	意見
7	経済面での不安を感じる時がある。
8	シングルマザーで子どもを育てています。シングルで子どもを育てるにあたり、もっと支援拡充してほしいです。必ずしも養育費をもらえる訳でもなく、病気等で仕事を休み看病する期間も給料の補填もなく、育てる環境が苦しく感じます。どんな理由であれ、両親がいる世帯とは全額面やサポートの面が足りないのがしんどいと感じる程です。どの家族構成でも安心して暮らせる支援、手当てがあると嬉しいです。
9	産後、里帰りもなく、家族の支援もない場合、母は十分に休めない。家事代行してほしいと言っても値段が高い。ファミサポも有料。サービスを利用して休んで下さいと言われても、金銭的余裕のある家庭はいいが、お金がかかると利用しづらい。お金が心配でサービスを利用できない。本当なら、ファミサポ、家事代行、宅配サービス等、いろいろサービスを利用して休みたいのに休めない。つらい。
10	金銭的なサポートが少ないと感じる。第2子以上を育てることに不安を感じる。ミルクやおむつ等の消耗品についてのサポートがもう少しあっていいのではと感じる。
11	現在は妻も仕事をしており利用していないが、地域子育て支援拠点施設に助けられたと言っていた。2人目が産まれたら、また利用したいと。周囲でも金銭面で、子どもは2人までというのをよく聞く。本人は3人目も欲しいがあきらめざるを得ないと。何かしら支援があればいいのかもしれない。自分達も同様。
12	児童扶養手当の所得制限の改善をしてほしいです。頑張っても普通に働いていると、全くもらえません。
13	物価が上がる中、子育て支援も上げていただきたい。
14	やはり金銭面で不安が大きい。保育料の無償化は実施している自治体もある。新居浜市でも実施してほしい。それだけで人口も増え税収も増えるのではないかな。それと間接的な支援が少ないと思う。例えば新築の家や太陽光、蓄電池に関しての支援金がほしい。
15	就学前の子どもが3人います。4人目が欲しい気持ちもありますが、共働きは現実となり、住宅費用など経済面が心配であることから市町村独自の子育て支援策を期待しています。以下のとおり要望しますので、よろしくお願いします。①中学校卒業までの給食費の無償化②子の年齢に応じて祝金を支給(18歳到達時に200万円など)大学など教育費にあてられる。③多子世帯における住宅関係費用の補助④子育て支援にかかわる全ての所得制限撤廃
16	0～3歳までの保育料の補助があると嬉しい。パートだと子どもが病気や熱で休むと収入も減り保育料の為に働いているような感じになり、もっと収入を増やさければと思うと、子どもとの時間が減りなかなか仕事と育児の両立ができない。他の県や市では0～3歳の無償化など支援があり、いいなと思いました。
17	他の市町でやっていた若年出産世帯応援給付金がある新居浜市ではなかったのが残念だった。
18	保育園等の体操服などをリユースしてほしい。
19	多子家庭にもっと補助、支援がほしい。
20	新居浜市は医療費や補助に関して子育て支援が充実していると感じています。
21	物価も上がっているのに給料は上がらない、子どもの熱で会社に行けなくて給料にならないなど、子育てに資金が追いつかない、手当などもっと充実させてほしい。
22	子どもが生まれて一番困っているのは、金銭面です。夫婦ともに育休を取得すると、金銭面で難しいと感じました。給付金もありますが、プラスアルファで市から金銭的な支援（あるいは市内でのみ使える商品券等）があると良いかと思います。

③保育所・幼稚園・病児保育事業について

No.	意見
1	学童保育を19時までにして欲しい。仕事が17:30におわるので18時までには迎えに行けない。このままフルタイムで働き続けた場合、保育料が高い。
2	親が休みの日は保育園でみてもらえない制度をどうにかしてほしい。母親も人間なので休息を頂きたいです。
3	仕事が休みの時に短時間でも保育園に行ってくれれば助かります。仕事休み＝保育園も休ませるとなるとフルタイムで働いていると家のことや用事が済ませられない。昔みたいに近所付き合いがなく防犯面でも不安なことが多い。最近は挨拶しただけで変質者、不審者扱いになっているような気がする。顔見知りになる機会が少ないからではないかと思う。小学校になれば行き帰り安全に通学できるか心配です。旧道はスピードを出す車も多く見られます。外灯も増やしてほしいです。よろしくお願いします。
4	保育園の入所を増やしてほしい。午前のみや時短等でもいいので。就職活動すらもできない。一時預かり等もすぐ定員数に達して利用できないため登録していても意見がない。
5	預けられる施設を充実してほしい。予約待ちや抽選など1ヶ月先でしか予約がとれず困っています。頼れる親族などは県外で(九州)気軽に通えません。孤立している家庭のための支援がなく働いている、働いていない関係なく孤立している家庭の支援を充実させてほしいです。フォローできる場所がなく働くこともできません。

No.	意見
6	幼稚園の環境、先生の対応、児童館のスタッフさん等とても満足しています。ですが、（認定こども園を利用しています）預かり保育を利用する際、先生も余裕がなく、長時間の利用を渋られることが多いです。先生方が気持ちよく保育ができる環境作りをお願いしたいです。子育てをしている私たちよりも、まずは保育施設の職員の心身の充実を優先してほしいです。
7	夏休み等の学童期間中も給食を提供してほしい。
8	認定こども園で土曜の預かり制度があるが、前もって（前月に）申請しないと利用できない。突発的に利用したいことがあるがほぼ利用できない。3～5日前、やめて一週間前までの申請で利用できたらありがたい。土曜利用した時に、平日でどこか子どもをお休みさせるよう注意されたことがある。仕事以外で利用することはたまになのにも思いました。リフレッシュといっても、たまっている家事を一気に片づけたりと本当のリフレッシュではないことが多いのではと思います。
9	保育所の決定が3月上旬でしたが、他市と比べて遅すぎるので、改善してほしいです。市役所に行くといつも親切に対応してくれて嬉しいですね。ありがとうございます。
10	保育園の先生に以前、仕事が休みの日、用事などで預けていたらきつい言い方でいろいろ言われたので、今は私的な用事で預けにくい。仕事が休みの日でも気軽に預けられたらうれしいです。
11	私は、市内の幼稚園に勤務しています。どこの園もそうですが、慢性的な人不足です。保育士や幼稚園教諭の仕事面、給料面を改善しない限り、人が入ってこず、退職する人が増えていく一方でありこの状況は変わりません。保育の仕事や子どものことが好きな先生が、環境が原因で辞めていくのは悲しいです。子どもが宝のように保育士も大切な宝です。他の県でも、幼稚園や保育園に対する独自の支援や取り組みがあります。新居浜市も子ども誰でも通園制度を開始する前に、それよりもやってほしいことがたくさんあります。現場の先生たちの声を聞いてください。きっとその声が新居浜市をより活性化させ、子育てをしやすい市へと変えてくれることと思います。長々と失礼しました。ご検討のほどをよろしくお願いします。
12	他県から引っ越してきて、保育園の見学をいくつかしたが、園の質が低く感じます。何をしても先生に指示された事、みんな同じ事で、昔ながらの大人主導権、大人目線の教育であり、子どもの自由な選択、発想、自主性が尊重されていない。大人、保護者の都合でなく、子どもの方を向いて保育してほしい。今通っているのは公立保育園ですが、特に感じます。市外、他県の進んだ園の取り組み等、調査したり、取り入れようとしていたりしているのでしょうか。
13	放課後児童クラブの開始時間を、親の始業時間に合わせてほしい。新居浜市は8時始業の企業が多い中、集団登校のない夏休みなどの長期休み期間に、送り迎えが必要にも関わらず預り時刻が遅く、職場の理解も低く困る。
14	保育園利用中、保護者がしんどいという理由での預かりはしてくれない雰囲気があります。そういった理由での預かりも認めていただくと保護者は助かると思います。また、兄弟の一方が体調不良のとき、元気な子の方の預かりも気持ちよく認めていただくと嬉しいです。
15	通院や急用の際に託児できる施設が少ない。子育てに関するセミナーに託児がないため参加が難しい。

④子育て支援制度について

No.	意見
1	小児科が少なすぎる。市役所の子ども料（？）が平日の夕方までで、毎月の手続きのため、会社を休むor（時短）にする必要があり、Webで24時間できるようにしてほしい。同じ年の子と会える機会がほしい。小学校が1クラスのみと聞いているので、早く合併してほしい。
2	市や行政は環境を整えるのに頑張っていると思います。小学生以上の子どもの学力向上の為の支援があればと思います。
3	産後ケアがあるのはとても助かるが、予約してからになるので、夜泣きがひどかった翌日などの本当にしんどい時、休みたい時、いっぱいいっぱいの時に利用できないのが残念です。
4	保育園に行ってる子どもでも、支援センターが利用できたらいいなと思います。
5	子育て応援パスポートが今年の4月から変更になったが使えるものがなく残念。以前のほうがよかった。変わったと思えば、また9月以降に変更となるようで、面倒。通園しているが、働く者としてとても助かっている。保育士の求人をよく見かけるが、労働内容のわりに給与が低いと思う。良質な環境をというならば、まず、保育士の確保のためにも賃上げではないだろうか。こどもだれでも通園制度が始まるなら、なおのことだと思う。
6	新たな事業や取り組み、支援など、取り入れる際は、必ず現場の現状や実状を把握して、慎重にしてほしいです。保育現場や学校教育など人員が不足しているのに、求められることが多すぎます。だから、免許を持っても、職につながらない人が少ないと思います。処遇や待遇（働く人）などの改善を、制度や事業を取り入れるより最優先させるべきではないでしょうか？質の悪いサービスや支援は事故やけがにもつながります。現場の人の声をもう少し聞いて下さい。母親・父親の立場でもあり、教育者でもある私達にとっては、色々考えさせられることが多い世の中です。いろいろな目線からみてほしいです。
7	子どもの成長をみられるのは限られているのでせめて1才までとは言わず3才までゆっくり過ごしたいところです。賃上げされると金銭面的にもゆとりがでるので、子育てに向きあいやすくなる（心のゆとり）。新居浜市は子育て支援センターなどが充実しているので非常に助かっています。

No.	意見
8	民間で子育て支援をしている人たちが、市と協力すれば、よりよいものになると思うので、官民の連携をとれるような仕組みづくりをしてほしい。産後は、子どもを連れて出向くことも面倒になりがちなので、ネットでの予約ができたり、空き状況を確認できるようになるといい。（電話も後回しになりがち）公園はたくさんあるけれど、暑い時期や雨のときに遊べる場所が少ないので、そういった場所を増やしてもらえるとありがたい。
9	こども誰でも通園制度は保育士の負担を増やしているだけなのでやめた方がよい。
10	保育園入園までは、子育てひろばに定期的に通い、温かく受け入れてもらい、心の拠り所だった。保育園に入園すると、拠点施設へは行けなくなり、仕事と子育てに追われる日々で、その様な拠り所がなくなってしまったというのが現状である。
11	不登校児に対しての対応が新時代になってほしい。不登校児専門機関と学校がしっかり連携してほしい。勉強も遅れたりするので何かしら支援がほしい。
12	一時保育で預けられる人数の拡大、子育て世帯への経済支援の実施（おむつ券などは大変助かりましたので拡充を期待）をお願いしたい
13	5ヶ月検診の時にいただける、木のおもちゃやブックスタートの取り組みは、すごく有り難いので、続けていただくと嬉しいなと思います。 新居浜市では、2人目以降の保育料の減額をいただいておりますが、年齢制限（1人目が小3まで）をなくしていただきたいです。やはり年を空けて2人目、3人目を考える人も多いと思います。私もその1人です。他の市との差別化を図り、新居浜市へ人を呼び込めるアピールポイントになると思います。

⑤相談支援・情報提供について

No.	意見
1	相談できる場所や人も大事であるが、それは本人が自発的に行うことであって本当に苦しい人は行動できるエネルギーが残っていない。家庭訪問の義務づけ、月〇回（又は年〇回）の子ども宿泊券の配布等、受動的な援助が必要だと経験をして思う。また子どもを預けるにしても信頼がないと預けられないので、日頃からコンタクトを取って（コンタクトを取る方法は考えてほしい）、いざという時のために関係性を築いておくことも大事だと思う。保育士や保健師等資格と経験がある方をお願いしたい。
2	産後ケアを使える期間が短かすぎて里帰り後利用できずつらかった。コロナ禍以降、交流が減り、「孤育て」となっている印象。気軽な相談先がないと感じた。医療関係に勤めていますが、産後うつの方が多いように感じる。実際自分もなった時、相談場所、治療受け入れの医療機関が少ないと思った。新居浜市は他市と比べても、子育て世代に対しての手当給付金はないし、補助住宅など定住してもらえそうな取組みも劣っていると思う。若年世代の子育てがしにくいと感じる。相談先がない。保育園でもグローバル化が進んでない。マチコミやキッズビューを情報発信にもっと市と連携して活用したら良いと思う。
3	先日、実家の近所でネグレクトや虐待を思わせるような事がありました。私はすぐに「189に電話してみたら？」と言いましたが、小さな子がいない家庭の人たちはその存在も知らず、ポスターを貼っていても目に止まっていないことが会話の中でわかりました。子育てをしているとポスターはよく見かけるし、周知の事だと思っていたので立場が違えば目に入る情報にも差が生じるんだ、とその時に思いました。どんな年齢でも立場でもわかりやすく目に付きやすい広報が必要なのかなと思います。
4	前市では就学前に5才で相談したり保育園と保健センターが子どもの様子を共有するような事業があったが、新居浜になかったので、就学前サポートが不安。就学前はわざわざ相談するまでではない層の人のフォローもあれば良いと思う。
5	保育園の送迎でお父さんの姿をよく見かけerようになった。あとは祖父母の送迎もとても多いと思う。母親だけでなく、祖父母や父親にターゲットを絞った相談の場や、公演会があるようなイベントが増えてもいいかなとは思ふ。
6	失敗談（成功談）を集めて、冊子にしてほしい。金銭面の支援策一覧にして分かり易くしてほしい。（ひとり親用も）
7	保健センターの訪問等の際に一時預り場所や、ショートステイ等ができるという情報を説明してほしい。一覧の本だけ渡されて、見ておいてくださいと言われても見る事を忘れたり、家事・育児で見る事ができないので、せっかく時間を作って来ているならちゃんとしてほしい。個人の小児科が少ない中、外来でも完全予約制にされると、ひとり親としては、仕事も休みたくなないので困る。小児科が少ない。
8	家事代行サービスなど受けたい支援はたくさんあるが、手伝いに来てくださる方が本当に信用できるか心配になる。ニュースなどよくあり、特に新居浜市は子どもが亡くなったり、けがをする信じがたいニュースがよく出る印象。誠実に取り組む方の見極めが難しいと思う。子育て支援も充実しているが、実際に頼れるほどの専門的な知識を生かしている方は少ないと感じている。小学校、幼稚園など平成の初期のような人間関係の築き方を多々感じる。田舎のよさなのか、もう少し教育に関する最新の情報が全体に届くようにしてほしい。
9	はじめての子育て、保育園入所までの期間、子育て広場の存在にとっても助けられました。入所後は利用できる施設が変わってきますが、児童館もあって利用しています。一時預かり（土日の）等も充実してほしい。産後ケアもそうでしたが、知らないサービスが結構あったので、もっと情報収集が必要だと感じるし、情報提供方法も増やしてほしいと思います。また、今後小学生になった場合の学童など、放課後の過ごし方に不安があります。

No.	意見
10	おむつ券など子育て世代の支援があると助かる。幼稚園などの情報へのアクセスが容易であってほしい。
11	産後ケア事業の予約のしやすさ（時期によっては空きがない）。保健センターでの手続きの簡素化。仕組みがよくわからず、必要書類を集めるのに家と保健センターを何往復もした。子育てしながらだと時間の捻出も大変であり、活用しにくい。

⑥仕事と子育ての両立について

No.	意見
1	第一子の時は産休育休を取り職場復帰したが、フルタイムで時短などの対処があまりとられず、1年働いて退職した。子育てをしながら働ける、理解のある職場環境の拡大を求める。
2	シングルマザーなので、経済的に苦しい時もあるが、なかなかフルタイムで働くことができない。もっと子どもがいてもフルタイムで働きやすい町になってほしい。
3	家事代行、ファミリーサポートなど働きながら子育てする人たちに、敷居が低く提供されるよう取り組んでもらいたい。
4	新居浜は地域子育て支援拠点施設など、子どもと一緒に楽しめる場所が多くあり、気軽に行くことができ、子育てしやすい環境だと感じている。ただ、育休が終わり、働き出してから子育てと仕事、家庭でのことを毎日行っていくと考えると不安が出てくる。子育てと仕事の両立ができるような支援があると嬉しいと思う。（具体的には今は思い付きませんが）
5	今は下の子が小さいため時短で働いているが、下の子が3才になるとフルタイムに戻り、交代勤務も求められる。上の子は来年小学生になるが学童も18時までしかやっていないため、現実的に考えるとフルタイムで仕事が続けられないと思う。仕事と子育ての両立がしやすい社会になり子どもと向きあう時間が取れるようになってほしい。
6	病気の時に仕事が休めないので困っている。
7	子どもが1歳頃、母親が子宮外妊娠で緊急入院・手術となった際に、どうしても父親の仕事の都合がつかず、一時的に預かり保育を利用しようと該当の保育園・幼稚園を調べ、連絡を取りましたが、その時はどこも緊急での受け入れが不可でした。結局無理をして父親が1週間仕事を休みましたが、本当に緊急で必要としている家庭に支援が行き届けばよいと思いました。
8	シングルマザーで仕事と子育ての両立ができず、ストレスから子どもに辛く当たってしまったことがあるので、親不要で子どもだけ参加のイベントなど、親の休む時間を確保してくれる取り組みがあればいいなと思った。共働きでも育児や家事は母親がするもの、自分は仕事だけしかしないという男性がまだ根絶しないので意識を変えさせる行政的な強いアプローチがほしい。

2 小学生児童保護者

問 59 子育て環境や子育て支援に関して、ご意見やご要望があればご記入ください。

自由意見については、合計 63 件の意見が寄せられました。内容ごとに分類すると、①経済支援について（22 件）、②子育て支援制度について（18 件）、③子育て施設の整備（16 件）、④相談支援・情報提供について（7 件）となっています。以下に代表的な意見を抜粋して掲載しています。

①経済支援について

No.	意見
1	少子化を食い止めるには、高所得者にも同じように支援するべきです。お金に困っているわけではないけれども、たくさん子どもを持つと損した（金銭的には）と思われかねません。
2	母子になっても収入があるからと言って給食費が免除又は半額にならない。育てて行く為に夜勤をしているのに。私がいけない時は子ども達だけなので心配な時がある。
3	P T A 費用、部活支援費等の追加費用が高すぎる。公立の小中学校では、低所得者の家庭でも払えるような金額となるよう、最大限の努力をするべき。核家族の一人親が稼いだ給料のような、非課税枠を少し越える世帯らは、就業支援のサービスがほとんどなく、子が2人以上いると校内費・修学旅行費、これらの支払いにより生活が困窮している。給食費を浮かせるために、不登校になる子どもがいることがない行政にしてほしい。
4	児童クラブの利用について、利用料金の日割計算があれば必要な時のみ（午前中授業の時など）利用できて良いのと思います。
5	給食費が無料の地域があるのに新浜居市はない。非課税の世帯ばかり優遇されていて、共働きの家庭は負担が多く、時間もない。講演会や講座など意味はない。現実的なことをしてほしい。共働きの家庭はお金の負担も多く、しんどいことばかり。きちんとお金を払っていてもメリットがない。
6	兄弟で年齢差があるため今年度から下の子の保育料が満額になったが、年齢差関係なく子どもの人数で支援してほしい。税金をもう少し子育て支援に回してほしい。
7	短時間の預かり保育でもお金がかかるので家計にすごくゆとりがないと預けようと思わない。
8	ひとり親の児童扶養手当における年収の限度額を上げてほしい。
9	子どもの年が離れているので3人産んで育てる経済負担は同じなのに、3人目の支援があまり感じないです。産んだ私達の責任なので仕方ないが、同じ3人目を育てる家庭をみるとうらやましく思える。
10	昔と比べ家庭での経済的な負担が増大するなかで、せめて義務教育だけでも無償（給食費、校納金等）にするべき。遊び場は逆に選択肢が増えたように思います。
11	物価高ですべての物が高いので、それを補填する補助金の様な物があるとすごく助かります。

②子育て支援制度について

No.	意見
1	障害のある子が生まれても親が一生をかけて、仕事も辞めて介助するようなことにならない仕組みを作って、出産への不安を取り除いて下さい。こわくて産めないです。子どもを産んだ親の責任として全てを親に負わせることのないように願います。また、老後不安がないならば、子どもを育てることにもっと前向きになれると思います。
2	まだまだ子育て、学校行事といったら「母親」みたいな意識があるのか、P T A、参観日等、女性ばかりです。仕事を（子どもの事で）休むのも女性。もっと男性（父親）が休めたり、子育てに参加できるような環境になってほしい。
3	共働き世帯がほとんどだと思うので、子どもの行事や病気などで仕事に行けない時等、社会全体の理解が進むといいと思います。悩みを持つ親同士が悩みを共有できるような仕組みがあるといいと思います。
4	長期休みなど児童クラブを利用したいが、利用人数が多く部屋も狭い。先生も大変そうで、すんなり行ける子ならいいが、特性のある子の場合利用が難しい。させたくはないが仕事を休むわけにもいかず、子どもだけで留守番をさせないといけない。給食費や教材費も子どもが多いと負担である。保育園の時の方が負担は少なかった。
5	就労中子どもの面倒を見てくれる気軽な場所がもっとあってもよいかも。

No.	意見
6	社会環境の変化により、周囲の大人の考え方も変わり、子どもを見守る環境も変わってきたと思います。危険な状況が察知されないことも増えてきたように思います。地域での子育ての助け合う仕組みや見守り、安全、安心な子育てができる社会になるよう願っています。また、現在、発達に不安をかかえる子ども達も多く、遊び場に行っても、騒ぐなどの為迷惑がかかってしまう等の理由から諦めてしまう、満足に遊べない、学べないということも多々あります。可能であれば、発達障害児向けのワークショップ、遊び、学びの場、スポーツイベントの開催を願っています。
7	最近不審者の出没が多く、子どもたちだけで下校させるのが不安です。地区によっては、見守り隊の活躍が多いところもあるのですが。可能なら、見守り隊を増やしてほしいです。
8	フルタイムで仕事をしながらの子育てはかなりしんどい。病気の時など、子どもが多い分、休まなくてはならない事が多く、辛くなることがある。職場では管理職のため、休みでも電話がかかってくる、持ち帰った仕事等があるため、子どもより仕事優先になってしまうことが多い。子ども第一に考えたいが、仕事優先になったり、その他家事等も重なり子どもが後回しになることが多く、気分が滅入ってくることもある。
9	現状でもいろいろな場面で子育て支援を感じる機会があります。感謝しています。今後もなお一層の支援をいただいて、子育てしやすいまちづくりをお願いしたいです。

③子育て施設の整備

No.	意見
1	新居浜市の道路状況に不満がある。子どもが自転車に乗るようになって自転車が通行できる幅が狭く、危ない。自転車通行可能な歩道も段差が多く事故につながるので改善してほしい。カーブミラーより優先して実施すべき。
2	集団登校をなくし通学バスがあればいい。学校用品で繰り返し使用できるものは下の学年に使ってもらう（例算数ボックスは毎年個人で買うのではなく使い回しをすれば負担が減ると思う）。
3	子どもが歩いて行ける範囲に公園や広場など遊べる場所が少ない。道路に犬や猫など動物のフンが落ちていることが多く不衛生。野良猫も多く敷地内に入ってきているため、敷地内の庭などでも安心して遊ばせにくい。
4	公園のトイレが汚く子どもも利用したがない。
5	安心安全な環境の整備などに力を入れていただければ、こちらも安心して暮らせると思います。
6	今の子どもが帰ってきてくれるようなおしゃれな街にしてほしい。
7	公園や人工物、施設でなく、自然の中で遊ぶ環境をアシストしてほしい。 滝宮の山を解放する、整備する、くらのことはやればよい。禁止ばかりが多い（自転車に乗るな、校区の外に行くな、公園ボール禁止など） 上記、責任を避けて、リスクの低いゲーム遊びばかりになってる印象。学校と自治体が一体になって、何が問題なのか、一回整理する必要あり。学校の責任は大きいですが、地域の方針を決めた上で、必要な規制と撤廃すべき規制を再検討すべき。
8	子どもが安心してボール遊びを楽しめる場所がほしい。昔は自治会館等で遊んでも文句を言われることが無かったのに、今はボールで遊ばない等と貼り紙がされていて、子どもが十分に遊べる環境が少ない。低年齢と高年齢では遊ぶ種類が違うので、公園では配慮が難しい。ゲームセンターやカラオケ、バッティングセンターやゲームなどお金をかけないと遊べないことが多く、両親も共働きでは、自宅でも十分に目が届かない。外で元気よく遊んでほしい。

④相談支援・情報提供について

No.	意見
1	何度かこども発達支援センターに相談に行ったことがありますが、こちらの発言に対して「大変ですね」「がんばってますね」等、共感して話を聞けば満足するだろう、と考えているようなマニュアル対応に感じました。そのため、困り事は解決していませんが、相談に行くのはやめました。学校生活も、規則に縛られすぎています。人間として状況に応じて判断してほしいです。給食の牛乳も各家庭に選択制にしてください。
2	虐待など起こらないようにするのはもちろんのこと、少しでも悩みを抱えている方が気軽に相談できる場をたくさん作るべき。
3	育児や家事の男性の参加をもっと促してほしい。
4	子育てについての支援や行政サービスが今あるものも、分かりにくいことが多い。利用しやすさを向上させてほしいです。